Vol. 72 通巻827号　平成3年2月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可　ISSN 0912-8182

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1991

2

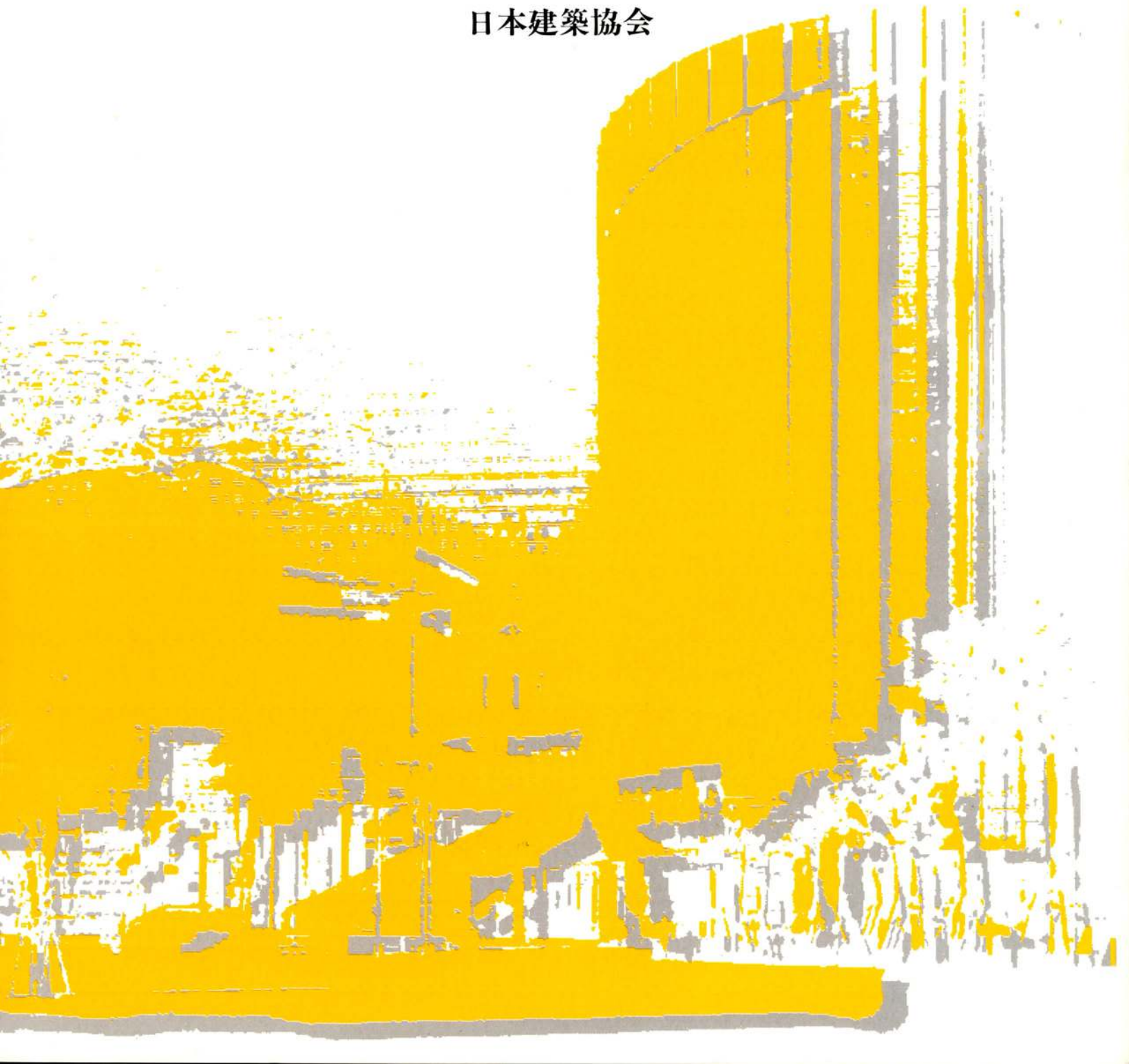
特集

オフィス・プレジャー―感性に訴えるオフィス・インテリア―

建築の風景―アマチュアカメラマン写真コンテスト―

新しい都市空間づくり―II―

日本建築協会

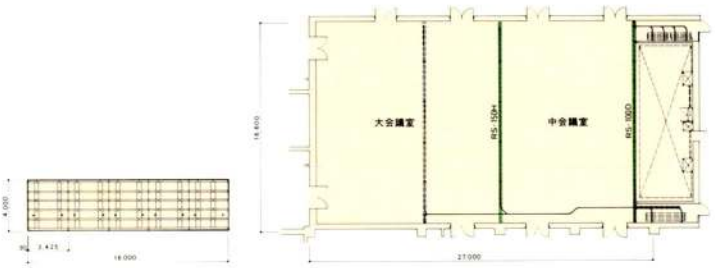


小松ウォール

間仕切の総合メーカー



尼崎信用金庫本店(兵庫)　設計／日建設計　施工／鹿島建設



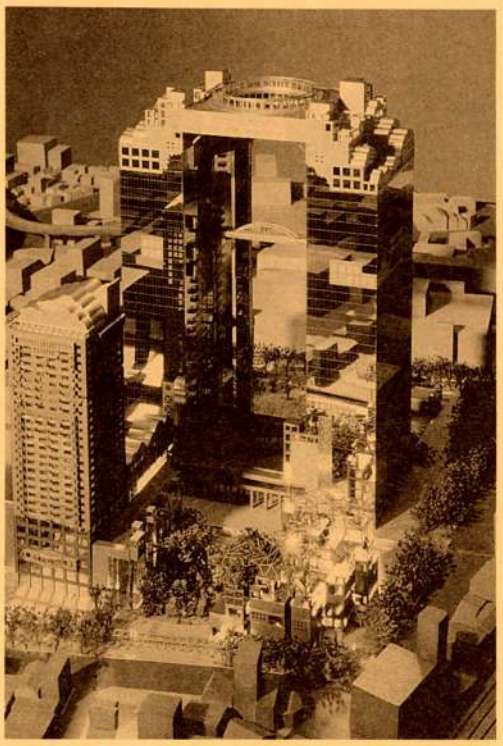
操作性・耐久性・安全性、そして遮音性に抜群のクオリティーを誇る「小松ランニング」は、従来までの移動間仕切の常識をはるかに超越した大型移動壁です。優れた生産技術と施工力は、移動壁にとって難問といわれていた遮音と固定性能を完璧にクリアし、固定壁と何ら劣らないまでの性能と機能の実現に成功しました。超大型壁面であってもわずか2人でスムーズに可動させることが出来、短時間で思いのままの空間創りを可能としました。豊かな装飾性も合わせもち、ホテル、美術館、結婚式場、学校、文化施設等の空間の自由設計に多大のユーティリティーを発揮しています。

ウォールをシステムで考えた、大/型/移/動/壁



小松ウォール工業株式会社　●本社 〒923 石川県小松市工業団地1-72 ☎(0761)21-3131代　● 支店・営業所 札幌 仙台 福島 宇都宮 水戸 大宮 新潟 多摩 東京 横浜 千葉 静岡 金沢 福井 松本 静岡 名古屋 京都 大阪 和歌山 神戸 岡山 広島 高松 松山 福岡 熊本 佐賀

「ヤマトインターナショナル」、「飯田市美術博物館」、「相鉄文化会館」等、相次いで話題作を発表してきた原広司氏の大阪で初めてのプロジェクト「新梅田シティ開発計画（仮称）」が、平成２年７月に着工されました。
「空中庭園」をもつ「連結超高層」という独創的な今回のプロジェクトは、多様な建築表現の可能性を示した、氏の「様相論」にもとづく一連のデザインを、垂直方向にも発展させたものといえるでしょう。
氏の言う「応答する建築」において、「光のワイドレシーバー」という役割をもった雲形屋根に特徴づけられるスカイラインは、宇宙あるいは未来との交信をもイメージさせる詩情をたたえ、都市レベルでの極めて強いアイデンティティを獲得しています。
「都市の発想」と題した今回の企画は、都市とのかかわりに特に焦点を当てて「新梅田シティ」を紹介するもので、初期のスケッチを含めたドローイングや模型、さらに原氏自らのお話を通して、「新梅田シティ」が都市の文脈の中でいかに「発想」されたかを知ることができると思います。
ふるってご参加下さい。



原広司氏 作品展・講演会

都市の発想

—新梅田シティ開発計画の出発点—



日本建築協会　若い会員の集い小委員会企画

■作品展

開催期間

1991年３月19日(火)→３月24日(日)

午前11時半～午後７時半（入場無料）

＊ただし、入場は午後７時20分までにお願いします。

会場

ソニータワー（心斎橋）9Fソニーサロン

（大阪市中央区心斎橋筋1-1-10）

TEL.06-251-2391

■講演会

開催日時

1991年３月22日(金)

開場18：00　開会18：30→閉会20：30

会場

朝日生命ホール〔朝日生命館８階〕

（大阪市中央区高麗橋4-2-16）

TEL.06-203-2971

講師

原広司氏（東京大学生産技術研究所教授）

定員

350名

参加会費

会員1,000円、一般1,500円

＊当日受付でいただきます。

申込方法

FAX、電話で下記までお申込み下さい。

参加証をお送りいたします。

〔申込み締切 3月15日(金)午後5時〕

日本建築協会事業課

大阪市北区梅田1-1-3-2100

TEL.06-348-0633 FAX.06-348-0634

原広司（はらひろし）氏プロフィール

●経歴

1936年川崎市に生まれる。

現在、東京大学生産技術研究所教授。

1970年より設計活動はアトリエ・ファイ建築研究所と協同。

●主な作品

ヤマト・インターナショナル東京支店

飯田市美術博物館

●主な受賞歴

1987年西ドイツケルン市都市再開発国際コンペ「メディア・パーク」最優秀作品

1987年AD Award受賞（ヤマト・インターナショナル）

上記催しは、以下の「新梅田シティ開発計画」（仮称）の関係各社のご協力により実現いたしました。

□新梅田シティ開発協議会（積水ハウス株式会社・株式会社青木建設・株式会社東芝・ダイハツディーゼル株式会社）

□新梅田シティ新築工事共同企業体（竹中工務店・大林組・鹿島建設・青木建設）

□旭硝子株式会社・三協アルミニウム工業株式会社・昭和鋼機株式会社・新日軽株式会社・トーヨーサッシ株式会社・日本板硝子株式会社・ニューウォールシステム株式会社・不二サッシ株式会社・YKKアーキテクチュラルプロダクツ株式会社

◀「建築と社会」復刻版の発行について(予告)

日本建築協会は、明平成４年３月30日に創立75年を迎えることになりました。これを機に大正6年９月から連綿と発行を続けている「建築と社会」誌の復刻版を下記概要のとおり発行することになり、現在、その準備に入っています。創刊号から欠号なく保存しているのは、当協会に１部があるのみで、全国の図書館、大学、建築関係団体とも完全保存がされていない状況です。大正、昭和、平成と三代を通ずる近代建築、まちづくりに関する法制、社会経済、国民生活、調査研究などの生き証人ともいえる本誌がこのような保存状況では誠にさびしく、調査研究に携わる皆さんからも、復刻の要請があるところです。また、第二次大戦後の紙質が非常に悪く、長期の保存に耐えない状態でもあります。

この事業は平成８年までの５ヵ年計画でありますが、関係各位のご協力ご支援を得て是非成功させたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

記

書　名　復刻版「建築と社会」全87巻・別冊１
概　要　A５判（１～22巻、大正６年９月号～大正13年12月号）
　　B５判（23巻～87巻、大正14年１月号～昭和30年12月号）
　　上製本・クロス装、毎配本毎ダンボール箱入
　　本文クリーンキムマリ紙、写真コート紙使用
別　冊　解説・総目次・索引
解説者　大阪芸術大学助教授　山形　政昭氏
推薦者　日本建築協会会長　佐野　正一氏
　　東畑建築事務所会長　東畑　謙三氏
　　日建設計最高顧問　塚本　猛次氏
　　大阪大学名誉教授　足立　孝氏
　　京都大学教授　金多　潔氏
発行所　不二出版株式会社（東京都文京区）Tel 03-3812-4433
お問合せ　日本建築協会事務局（担当松田）Tel 06-348-0635

◀「イスラムの建築を訪ねて」海外研修旅行延期のお知らせ

日本建築協会若い会員の集い小委員会にて企画しておりました「イスラムの建築を訪ねて」海外研修旅行（1991年２月５日～２月19日）は、中東湾岸戦争勃発による中東情勢悪化のため、延期いたしました。

情勢が落ち着き次第、再度同様の内容で企画する予定にしております。実施時期については、「建築と社会」会告欄にてご案内いたします。

日本建築協会後援・協賛の催し

■平成３年度１級・２級建築施工管理技術検定試験受験準備講習会

平成３年度の１級建築施工管理技術検定試験（学科試験）の試験日は６月16日㈰、２級は10月20日㈰となっており、受験申込は１級が２月15日～３月１日、２級が７月26日～８月９日に受け付けられますが、それに先立ち、受験のための講習会が下記のように行われます。講習会の主催は、建築施工管理技術研究会。

対　象　１級および２級建築施工管理技術検定試験受験予定者
受講料　●１級
　２日間コース（８時間×２日＝16時間）25,000円
　３日間コース（６時間×３日＝18時間）28,000円
　●２級
　３日間コース（６時間×３日＝18時間）28,000円
開催地　●１級　講習時期４月下旬～６月上旬
　２日間コース　東京・名古屋・大阪
　３日間コース　札幌・盛岡・仙台・秋田・宇都宮・大宮・水戸・東京・千葉・横浜・新潟・静岡・名古屋・津・大阪・岡山・広島・松山・福岡・熊本・鹿児島・那覇
　●２級　講習時期９月中旬～10月上旬
　３日間コース　札幌・仙台・大宮・東京（建築と躯体と仕上を２ヵ所で）・横浜・新潟・名古屋・大阪・広島・鹿児島
問合先　建築施工管理技術研究会（TEL 03-3268-8751）へ。

なお、検定試験は㈶建設業振興基金（TEL 03-3502-6131）が実施するもので、受験の手続きは建設業振興基金の試験研修本部へ。

●お詫びと訂正

本誌'91.１月号 "新年のご挨拶。ページ中で、住鋼エンジニアリング株式会社の掲載位置（業種別）で設計事務所欄に掲載すべきところ、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

■「建築と街づくりを考える」—PART２—

日本建築学会主催の連続講演会第２弾は、「21世紀の都市産業と街づくり」で、産業構造の変化、社会構造の変化、交通体系の変化を街づくりを考える際の視点に据えることを提唱するもの。

日　時　平成３年３月８日㈮18：00～20：00
会　場　イトーキ大阪ニューオフィスギャラリー９階
　大阪市中央区淡路町１－６－11　TEL 06-223-3181
講　師　藤田邦昭氏（都市問題経営研究所所長）
司　会　鳴海邦碩氏（大阪大学助教授）
定　員　100名（先着順）
参加費　1,000円（資料代含む）—当日会場で徴収—
申　込　２月28日までに、往復ハガキで日本建築学会近畿支部（大阪市西区靱本町１－８－４　TEL 06-443-0538）へ。

■'91経営セミナー「中堅幹部職員研修会」

建築設計者の中堅幹部を対象に、幹部社員育成のためのセミナーが企画されました。

主　催　㈳新日本建築家協会近畿支部
日　時　1991年３月16日㈯10：00～17：00
会　場　大阪国際交流センター３階
　大阪市天王寺区上本町８－２－６　TEL 06-772-5931
定　員　72名（定員になり次第締め切り）
受講料　主催・後援団体会員20,000円　一般25,000円
内　容　パートⅠ　コミュニケーション／山本久男氏（経営コンサルタント）
　パートⅡ　経営能力初期講座／林　唯夫氏（昭和設計）
　パートⅢ　管理職とは何か／太田隆信氏（坂倉建築研究所）
申込先　㈳新日本建築家協会近畿支部（大阪市中央区備後町２－５－８　TEL06-229-3371）へ。

1917創刊
1991
72集
建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

2 通巻 827

「建築と社会」2月号表紙
デザイン・白子正人
（グラフィックデザイナー 日本タイポグラフィ協会会員）

今月号は、鹿児島市立図書館・科学館の写真をモチーフにさせていただいた。こうした優れた建築物に毎月触れることができ、そしてその創作のエピソードを聞くことは仕事プラスアルファの楽しみである。
メインカラーの黄色は「黄水仙」という色に少し赤みをプラスしたもの。都会では花屋さんの花か幅をきかせているが、水仙、野原ではそろそろ咲き初める頃だろうか…。

■特集予告
3月号／東海支部復活30周年記念
4月号／建築家のための設備知識
—商業ビルによるケーススタディー
5月号／今、京都（仮称）
6月号／建築と土木、近畿地建（仮称）

会　長　佐野正一
副会長　金多　潔・秦袋公明
　　市川　宏・鴻池藤一
編集委員会（平成2年度）
■編集理事
井上　豊
金井　弘次
小島　雄
城　憲一
須賀　好富
竹中　鍾一
深江　実
松村　慶三
溝神宏至朗
若山　繁
■編集委員長
溝神宏至朗
■編集顧問
東　孝光
■編集委員
★計画系分科会
☆計画系
梅村　宏尚
河端　秀直
小浦　久子
※鈴木　克彦
○田中　直人
中井　省吾
松川　敏正
山尾　弘子
横関　真紀
吉村　英祐
☆建築計画系
石山　道男
○上杉　秀隆
江副　敏史
北村　潤
※佐藤不二男
塚本　史郎
刃金　国男
三沢　真理
森田　晴美
矢野　裕芳
山中　恵子
山本　匡
☆インテリア・住宅系
石倉　健彦
大森　智子
大橋真由美
○加藤　力
神谷　剛
※北浦かほる
駒田　哲男
西川　純一
福田　由利
増地　秀夫
★構造分科会
和泉　一義
稲葉　繁夫
角　彰
多賀　謙蔵
馬場　研介
○山崎　雅生
★設備分科会
安倍　浩一
池田　秀行
○遠藤　進
梶井　宏修
河津　隆之
伊達　正雄
★施工材料分科会
○有光　利治
植田　実
河戸　隆
志水　史典
松村　衛
村上　信直
★法令分科会
佐藤　勝
○島田　裕至
高橋　博之
寺田　恭信
松井　昭
■作品作風小委員会
荒川　朱美
遠藤　公介
尾崎　久純
岡本　隆
※北澤　修一
玉崎　良和
富田　昌義
福地　一彦
前川　治彦
松田　善弘
○宮下　幹雄
水川　尚彦
宮崎ひろ志
■会員企画小委員会
伊藤　郁郎
稲木　裕子
上埜　京子
尾崎　俊文
大沢　智弘
北村　恭一
小板橋鉄雄
小林　孝一
※佐伯由紀子
柴田　厚
○高田　光雄
※高橋　麗子
塚口　明洋
増渕　昌利
山岸　章子
■広告企画小委員会
※池渕　俊男
佐野　寛志
○下村　甫
橋本龍二郎
原田　常介
藤田　孝吉
山下　修司
○渡辺　忠
○印 副委員長と幹事　※印 同代行

印　刷　平成3年2月20日
発　行　平成3年2月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06—348—0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06—606—1111㈹
青葉印刷株式会社
電　06—351—5428㈹
定　価　980円（本体価格951円・送料共消費税29円）

特集●オフィス・プレジャー—感性に訴えるオフィス・インテリア—
●建築の風景—アマチュアカメラマン写真コンテスト—
●新しい都市空間づくり—II—
SPECIAL FEATURES ON THE OFFICE PLEASURE, PHOTO CONTEST"SCENES OF ARCHITECTURE" & THE PLANNING FOR URBAN ENVIRONMENTS－II－

会告
原広司作品展・講演会「都市の発想—新梅田シティ開発計画の出発点—」.「建築と社会」復刻版の発行について(予告).「イスラムの建築を訪ねて」海外研修旅行延期のお知らせ. 日本建築協会後援・協賛の催し. — 1

作品作風
鹿児島市立図書館・科学館 — 設計監理：安井建築設計事務所・永園設計共同企業体 — 施工：錢高組・小牧建設・渡辺組建設共同企業体 — 4
ドリーム21（東大阪市立児童文化スポーツセンター） — 設計：安井建築設計事務所 — 監理：東大阪市建設局・安井建築設計事務所 — 施工：モリタ建設 — 8
K.シオノビル — 設計施工：大林組 — 10
都市の中の城 鷹ヶ峯の家／中山卓三 — 12
吉川浩（イメージ図書館館長）／北村恭一 — 14
最近竣工した新建築9点（No.2321～No.2329） — 16
第22回中部建築賞 — 17

Gallery
ゲートタワービルは260mへ. ライト財団の世界巡回展大阪で開催.「地下室」をテーマにコンペ.
being
「建築の彩時記展—港町・函館—こすり出し」 — 56
スケッチブック
DAIKO通信. 1991 TAKENAKA DESIGN KYUSHU展. 第5回A＋E FORUM開催. NSGガラスサーカス. タキロン・デザインコンペ受賞者決まる. 建築省エネルギー賞作品募集 — 172
INFORMATION
建築においての一過性と永遠性. 世田谷区都市の公園設計競技 — 188

書評
『建築企画論』—建築のソフトテクノロジー／増渕昌利 — 18
ブックステーション／大沢智弘・山寄章子 — 19
直貼り木質床の床衝撃音遮断性能の実態／翁長博 — 20
神戸市駐車場整備型総合設計制度の創設／茗荷修 — 21
磁器調ガラス建材／猪野達雄 — 23
「建築基準法を読みこなすコツ」研修会参加記／山田修 — 24

GBRCニュース
建築デザイン会議'90 KUROBE／建築デザイン会議実行委員会 — 25

法令コーナー
精神病院見学記／岡崎甚幸. 京都の景観と建築物の高さ(1)／國廣勲. 奉仕と罪／西部明郎. 感字から漢字に／大内実 — 26

新建材紹介コーナー
出版委員会レポート
レポート
建築の眼

特集
オフィス・プレジャー—感性に訴えるオフィス・インテリア—
空間の機能
ヴォリューム — 宮下幹雄 — 28
プラウジング — 大森智子 — 29
感覚空間 — 北浦かほる — 30
情報管理 — 西川純一 — 31
ハイクオリティ・エレメント — 加藤力 — 32
空間の装備
コーポレートアート — 駒田哲男 — 33
緑被量 — 神谷剛 — 34
ソフトサーフェイス — 駒田哲男 — 35
カラーサーフェイス — 駒田哲男 — 36
タスク&アンビエント — 加藤力 — 37
行動と心理
アイデンテティ — 北浦かほる — 38
ステージ性 — 福田由利 — 39
景観性 — 加藤力 — 40
リフレッシュ性 — 福田由利 — 41
テリトリー — 大森智子 — 42

総論
これからのオフィス・インテリア — 内田繁 — 43
解説
オフィス・プレジャー15のキーワード — 加藤力 — 46
事例
オフィス空間における小さな仕掛け—オフィスワーカーの心のサポートシステム — 福田由利・西川純一 — 48

特集
建築の風景—アマチュアカメラマン写真コンテスト—
講評 — 高田誠三・津田洋甫 — 58
作品
福岡タワーの印象. 飛鳥路の蝶part1朝霞. TWIN21. 高速道路と全日空ホテル・シェラトン. LOFTと子供. ミラクルタワー. 日ざし. 水都. ミラーセイルと夏雲と. 海上に浮かぶ. サザンクロス. 船形ホテルにスクリュー. 徳島県文化の森総合公園より. お台場とスーパータワー. 涼風を浴びて. 緑の青山学院. 風雪に耐えて. 維新号走ル. 実る大地と武道館. スナップショット. 銀行側より眺めた市役所. 憩う. 建映. ふれあいの街. スペースに挑戦. 雪景ツイン. 日本火災横浜ビル. ホテルとアクアライナー. 大きなタマゴ. 青空へ切り込む. 造形的なビル群. パターン. NSビル. アサヒビール吾妻橋ビル. たそがれ. M食. 夕焼けの映えるころ. 窓. きらめき. クリスマスの夜. 幻想空間. O.B.P. IN THE NIGHT. 夜の公園. 帆船ランデブーの夜. 隅田川の夜. 夜のシェラトン — 60

特集
新しい都市空間づくり—II—
座談会
どうなる？これからの都市づくり—初夢朝まで座談会— — 173

構造の頁189
設備の頁191
施工材料の頁178
追悼文
弁天町プロジェクトORC200の構造設計／辻英一・浮田高志 — 181
新しいマルチ型空気調和機／大西晴夫 — 183
フローベース工法／永田圭助 — 184
鳥田家弘先生の急逝を悼む／嶋田勝次. 西村良平氏を偲ぶ／篠田匡世. 鶴田昭一. 松田至弘. 梶本秀尾氏を悼む／今村膳 — 185

月報
平成2年12月分 — 188
アメリカからの報告(9)
世紀末の精華と改変—パリのグランド・プロジェクト／薄田学 — 190

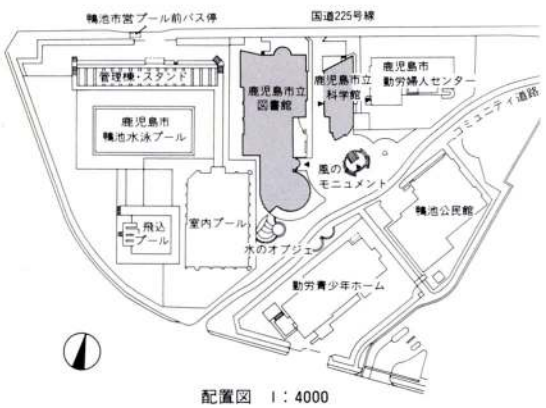


南側コミュニティ道路より全景

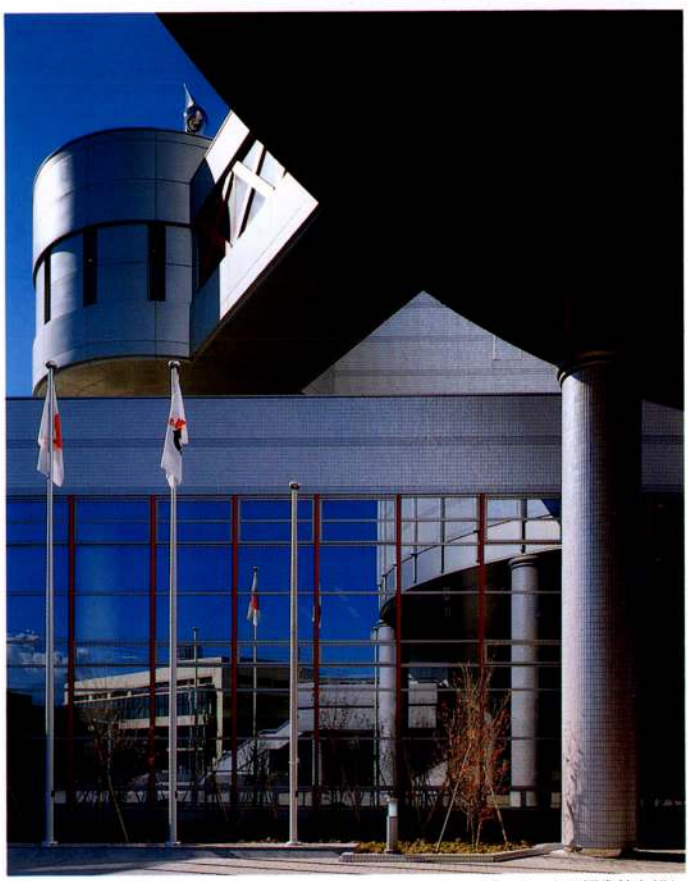
鹿児島市立図書館・科学館

設計監理　安井建築設計事務所・永園設計共同企業体
展示設計　仙田満＋環境デザイン研究所
施　　工　錢高組・小牧建設・渡辺組建設共同企業体

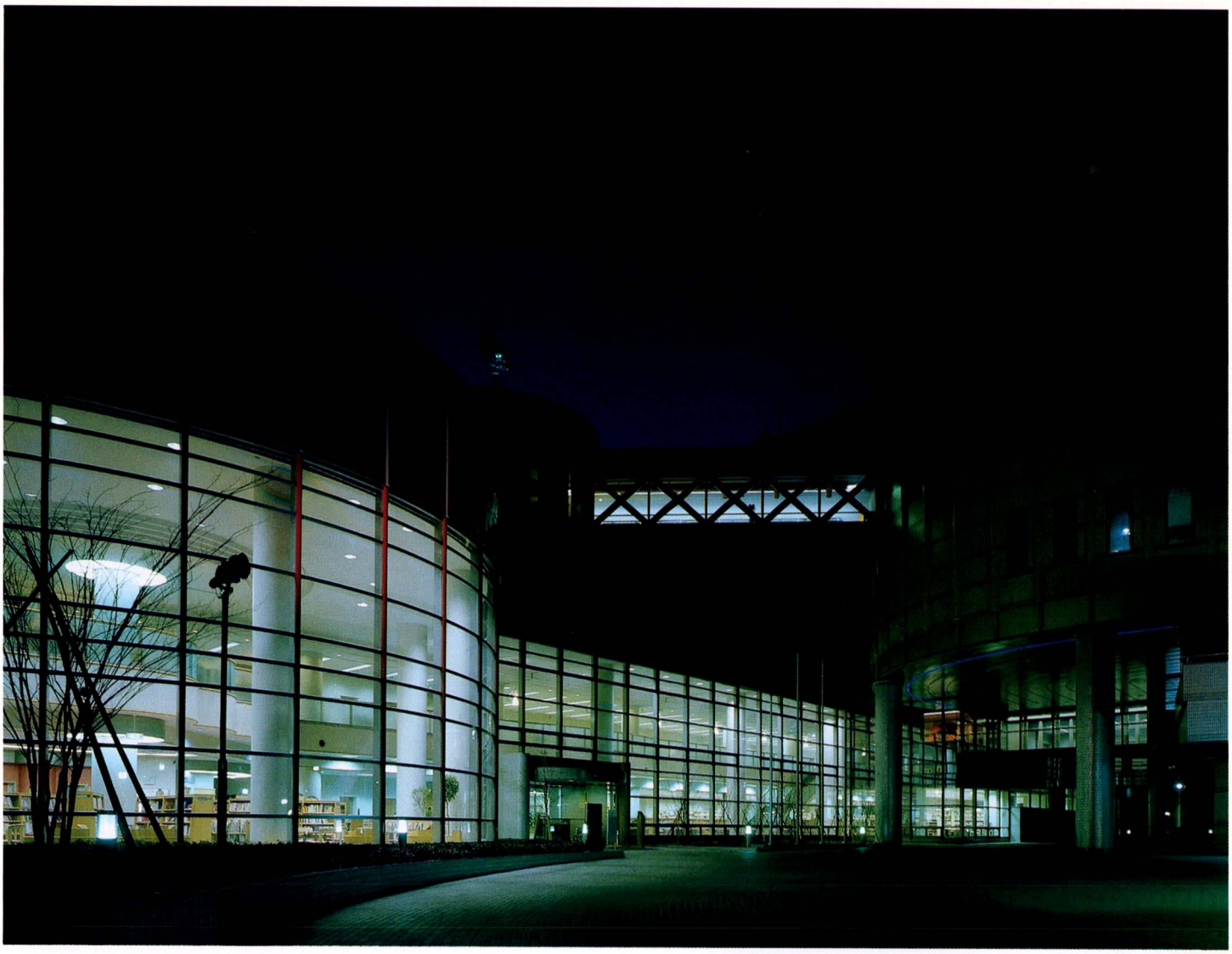
電　　気　九電工・親栄電設・大福電設共同企業体
空　　調　日立プラント建設・中央工業・図南工業共同企業体
給排水衛生　福南工業・山口設備共同企業体
プラネタリウム全天全周映画　五藤光学研究所



配置図　1：4000



ピロティから図書館を望む



夜　景

当施設は鹿児島市の市制100周年記念事業として計画されたものである。

敷地は市南部の鴨池運動公園の西端にあり、北側の国道と開館に合わせて整備された南側の公園内道路にはさまれている。

図書館と科学館は異種用途でありながら両施設とも情報の発信源ともいうべき共通性があり、いかに複合施設としての一体感を持たせるかが計画のポイントであった。

正面アプローチは市の基本構想に沿って南側の公園内道路(コミュニティ道路)からとしたが、バス等の利用が予想される北側の国道からも通り抜けの吹き抜け空間を経由してアプローチが可能となるようにした。なおサービス動線（ＢＭ車・展示物の搬入等）は国道側に限定している。

敷地の制約、公園建ぺい率の規制および公園内道路との連続性をもたらすようオープンスペースの確保を図ったため、建物は必然的に高層の構成となっている。

図書館の計画では、開放性・快適性を満たすため吹き抜け空間を設けて広がりを出し、低層部に所要室を配置して利用のし易さを重視した。

科学館の計画では、主入口を外部階段を上がった2階レベルに設定した。なお雨天・降灰時には団体利用や身障者の利便を図るため1階のピロティに専用入口を設けている。展示室の重層化には吹き抜けを多用し連続性のある動的な空間を設定した。

外観は円と曲線、直線と鋭角で構成された平面形を高さの変化でバランスをとり、縦横のストライプで単調さを避けるとともにリズミカルでモダンな複合施設をめざした。外壁にはラスター釉の磁器タイル、メタリック色のアルミパネル、熱線反射ガラスなどすべて光沢のある材料を採用し、未来志向的でハイテックなイメージを強調した。

また、メンテナンスフリーはもとより、降灰対策として外部の竪樋や窓廻りの形状に工夫し、台風時の開口部からの雨水の進入防止や軒天井吹き上げ防止等にも留意している。

（竹田正治／安井建築設計事務所）



科学館入口附近



図書館：1階ブラウジング



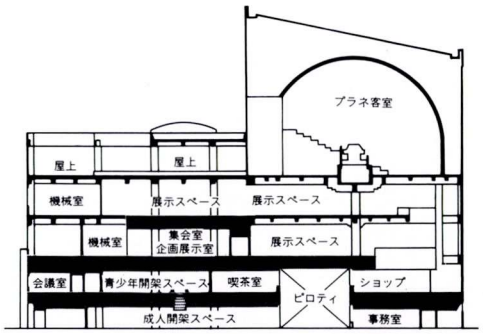
図書館：2階開架スペース



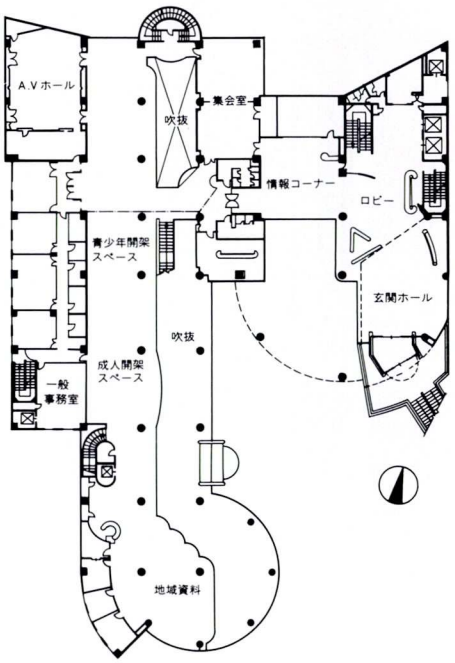
2階情報コーナー



図書館：児童開架スペース



断面図 1：1,000



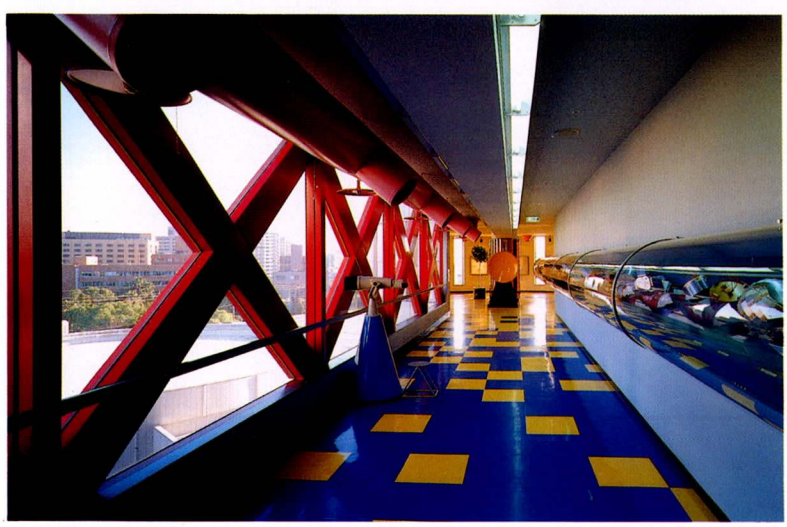
2階平面図 1：1,000

所 在 地　鹿児島市鴨池2丁目31－18
建築面積　3,296㎡
延床面積　11,127㎡
構造規模　SRC、一部S、6F
工　　期　昭和63年12月～平成2年12月
最 寄 駅　JR鹿児島本線 西鹿児島駅

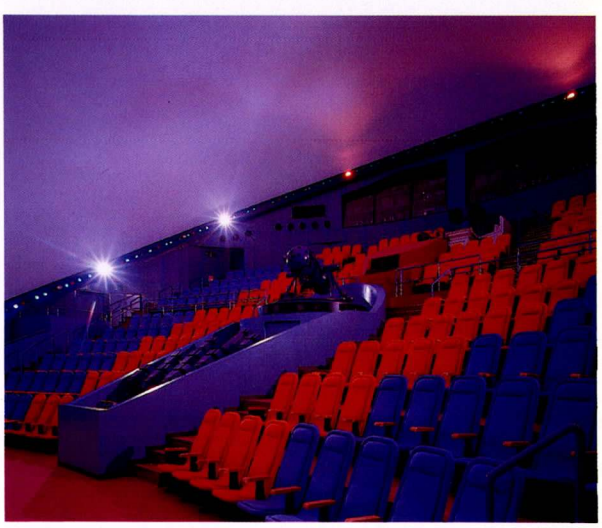
撮　　影　河野博之



科学館：2階～4階展示室吹抜け



科学館：4階展示室



科学館：5階プラネタリウム室

ドリーム21（東大阪市立児童文化スポーツセンター）

設　　計　安井建築設計事務所
監　　理　東大阪市建設局・安井建築設計事務所
施　　工　モリタ建設

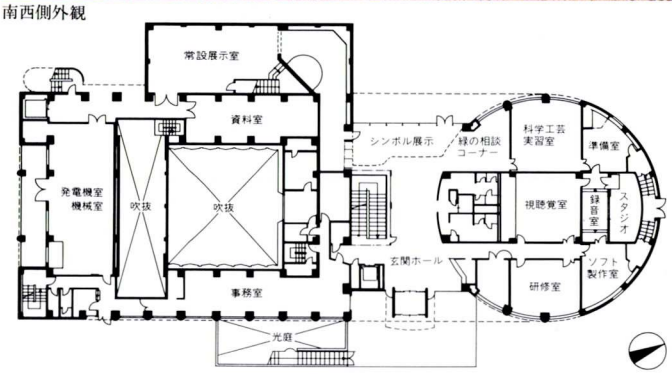
機械／三冷社　　電気／近畿工業　　プラネタリウム／ミノルタカメラ
外構／築山商店　　内装／みずほ　　建具／二和産業
屋根／タムラコマ工業　　体育館床器具／ミズノ　　タイル／島田タイル



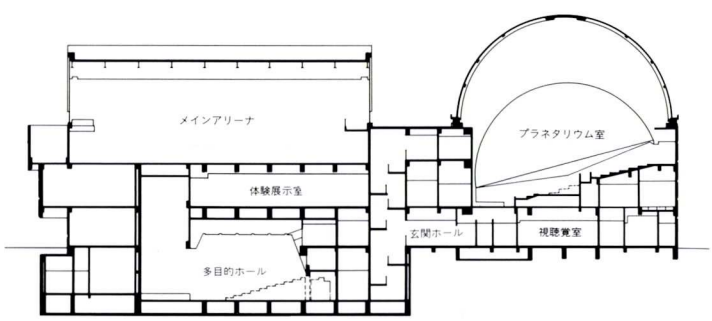
東側外観


南西側外観


玄関ホール



1階平面図　1：800



断面図　1：800

所 在 地　東大阪市松原南2丁目7-21（花園中央公園内）
整備面積　43,440.5㎡
建築面積　 1,699.70㎡
延床面積　 4,744.36㎡
構造規模　RC、一部SRC、B1F、3F
工　　期　平成元年4月～平成2年12月
最 寄 駅　近鉄奈良線 東花園駅

撮　　影　Kフォトサービス

本センターは子供達が楽しみながら、科学・文化・スポーツについて関心を高め、知識や技能を身につけて、未来の創造への意欲を育成する場として計画された。敷地は東大阪市の中央部、花園ラグビー場に隣接し、公園整備事業が進行中の花園中央公園内である。当初は児童文化科学館として指名設計競技が行われたが、昭和63年度に、スポーツ部門を合わせて建設する計画が加わり、都市公園法の厳しい建築制限内で建設されたものである。

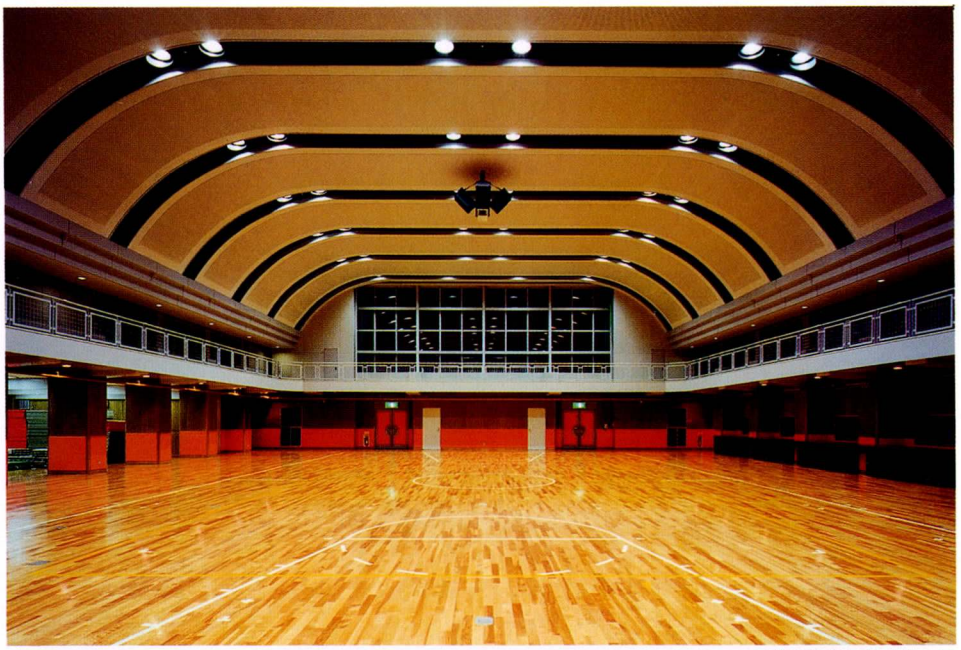
建物構成は、中央の共用ロビーを中心に各部門が上下、左右に展開する明快な動線計画とし、各部門が各々独立して利用できるよう配慮した。

日常的利用の多い展示室や実習室、視聴覚室は1階を入口とし、大スパンや特殊架構となるアリーナやプラネタリウムを 2，3 階に配置した。プラネタリウムは集会・会議にも利用できる段床椅子席を持った直径20ｍの最新型設備である。文化ホールは地階光庭に面してホワイエを設けた約 200 席の小規模多目的ホールであるが、児童演劇・音楽会・舞踊・映画等の発表・鑑賞のほか、特別展示室として利用可能なように電動収納席とした。

全体として内外部は、明快な形態と現代的な色彩によるアクセント、サイン類で、楽しく親しめる空間演出を行なった。

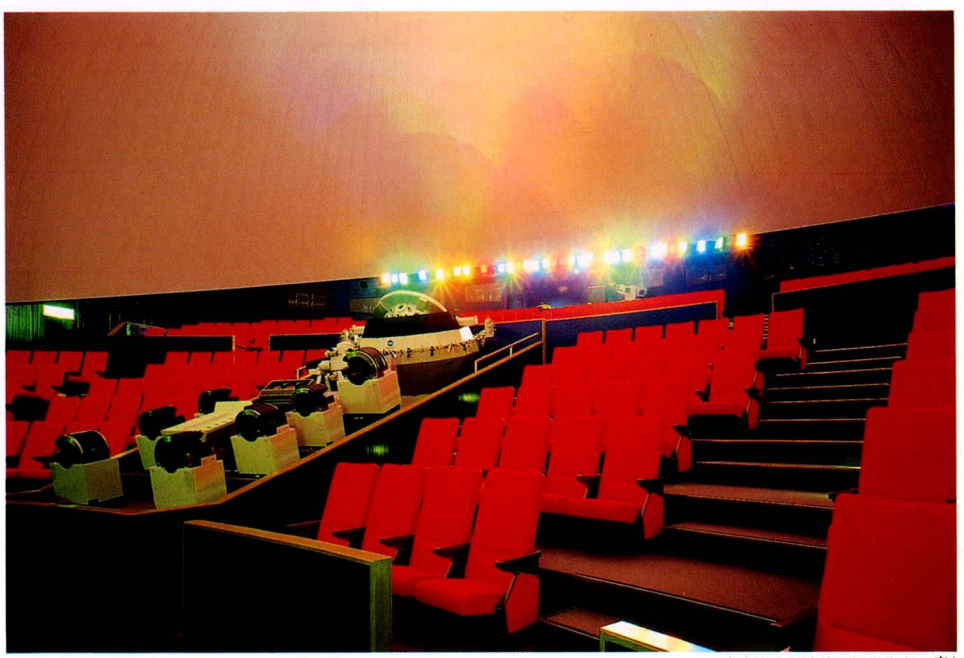
外観は、遠景でも存在がはっきりわかり、子供達にも理解しやすい単純な形―台形と球―の屋根と、D型の特徴ある基壇部で構成した。屋根はステンレス鋼板縦リブ葺きとして、光沢のあるテクスチュアを持った未来指向の建物に相応しい表現としている。一方、基壇部はラスター釉タイルと反射ガラスで公園の緑や空の色を映して、時間の変化による躍動感を表現すると共に、7色のボーダーを用いて、このセンターが子供達にとって現代から未来への虹（夢）の架け橋にという希いをこめた。

（森田芳次／安井建築設計事務所）


のびのびひろば（アリーナ）


星っ子ひろば（多目的ホール）


探検ひろば（展示室）


宇宙ひろば（プラネタリウム室）



K.シオノビル

設計施工　大林組

所 在 地　大阪市中央区道修町３－１－６
敷地面積　765.77㎡
建築面積　634.27㎡
延床面積　4,920.95㎡
構造規模　SRC、８F、P２
工　　期　平成元年７月～平成２年９月
最 寄 駅　地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅

撮　　影　名執一雄



ファサード見上げ

古くからの医薬品企業の並ぶ道修町通りに面して立つ中規模のオフィスビルである。この敷地には江戸時代末期（1852年上棟）から建つ商家があり、昔の船場の雰囲気を残していた。

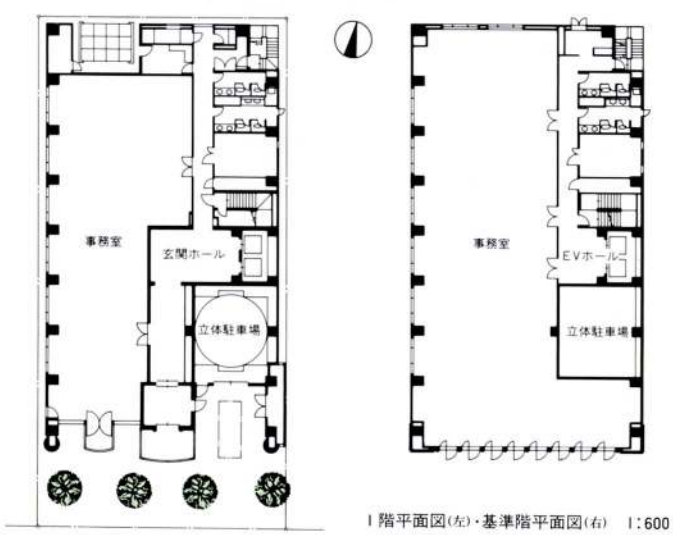
計画に際しては、道修町通りの街なみの景観形成に寄与する事をテーマとし、建物を４Ｍセットバックしてプラザを設けて、街路樹（アメリカハナミズキ）を配し、街なみに豊かな表情を与えている。１階エレベーターホールには、彫刻家・江口　週氏作になる「遺された時―瑞禾（ズイカ）―」を設けた。作品はこの地に建てられていた和漢薬種商・塩野屋吉兵衛居宅の大黒柱と梁を用いて制作したものである。

外観はタイル打込ＰＣ版に単窓風横連窓とし、ＰＣ方立をアクセントとして格調を意識した特徴的なデザインとした。また建物全体のグレードを高めるために、１・２階はグレーピンクの花崗石貼とし、２本の丸柱をゲートとして意味づけて、風除室回りを２階分の吹抜とした。

基準階は、共用スペースをリニアに配し、事務室は無柱空間として、自由なオフィスレイアウトに対応できる使いやすいスペースを確保している。

最上階には坪庭の手水鉢や緑が、目を楽しませてくれる。

（田澤道生・白神敏史／大林組設計部）



１階平面図(左)・基準階平面図(右)　1:600



エントランスホール



１階エレベーターホール(彫刻「遺された時―瑞禾―」／江口 週氏作)



８階　坪庭

Gallery　まち・建築・ひと



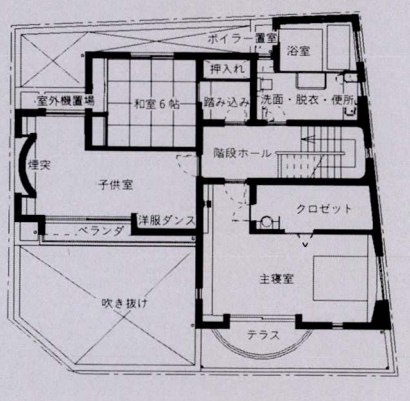
都市の中の城　――　人は、日常の社会活動の中で精神をすり減らし、疲れきって「家」にかえってくる。しかし本来そのやすらぎの場であるはずの「家」にもなかなかそれを見つけ出す事が難しい。この家のオーナーである０氏は設計当初からこの点を重要視され周囲から一切の干渉を受けない「家」を望まれた。敷地一杯に巡らせた塀は、外部から内の空間を完全に遮断し、その中に別なる世界を生み出している。これはまさしく現代の都市に於ける「城壁」であり、それに内包される空間は、全てその中にある人々に専有される事となる。
その中での人々の営みは、外からもそして外へも干渉しない自由なものとなり、陽光あふれ木樹の間をそよ風が吹くやすらぎの場がそこに提供される。
これは、まさしく「都市の中の城」であり都市生活者にとっての「家」である。

（中山卓三）

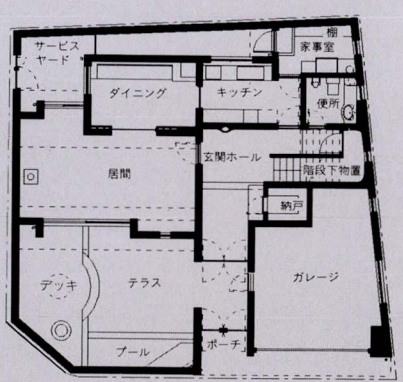




都市の中の城



2階



1階





都市の中の城　　鷹ヶ峯の家

設　　計 ／ 建築・監理
株式会社　都市・建築設計事務所　アイタック　　中山卓三
設備　株式会社　安枝設計　　安枝　治
構造　田村建築事務所　　田村泰男
施　　工 ／ 株式会社　田中工務店
所 在 地 ／ 京都市北区鷹ヶ峯
構造規模 ／ RC造2階建て
敷地面積 ／ 221.50㎡　建築面積 ／ 132.38㎡　延床面積 ／ 249.62㎡

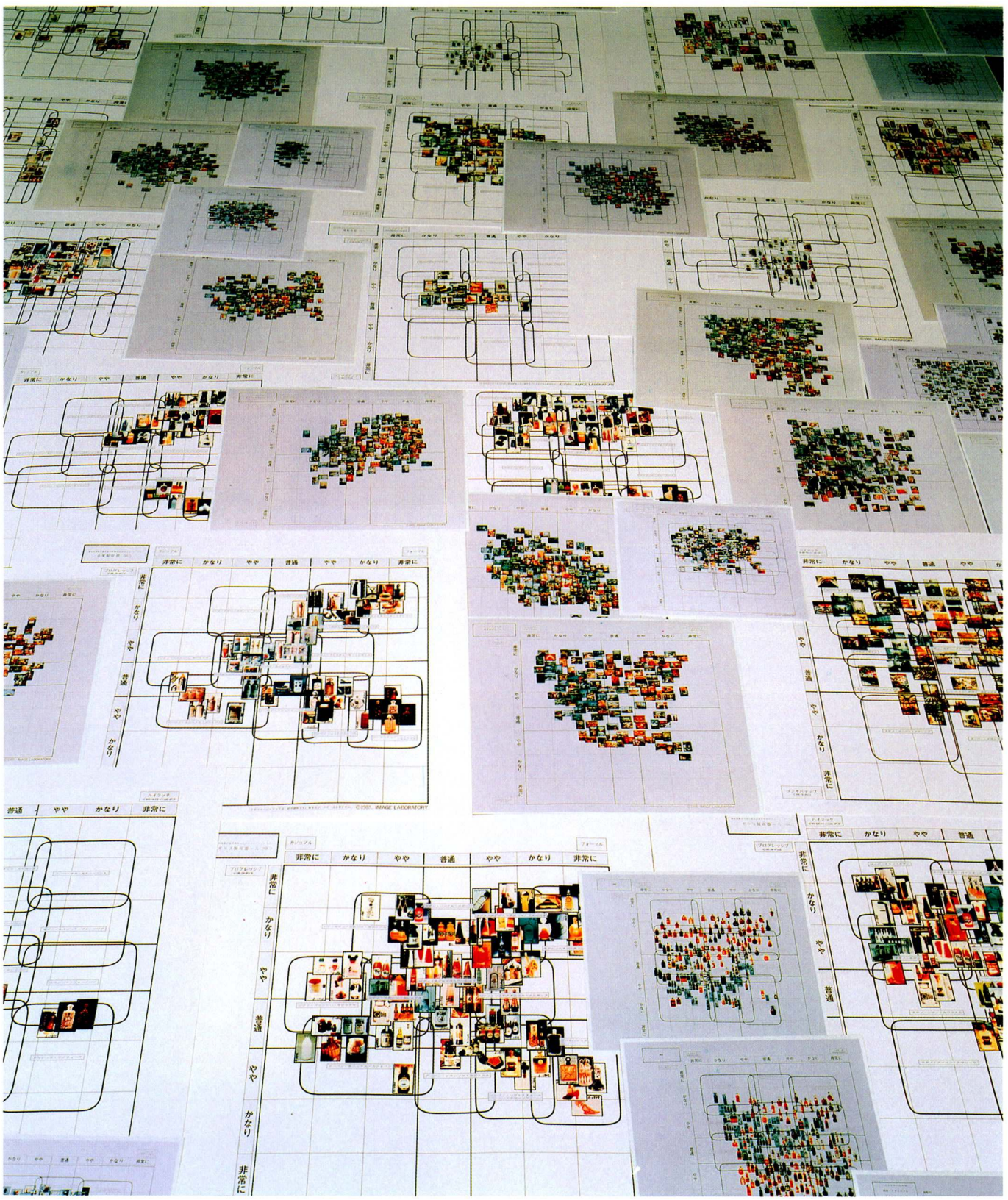
中山卓三（なかやま・たくぞう）

1953　大阪に生まれる
1976　京都大学工学部建築学科卒
1976～1978　京都大学工学部建築学科意匠学教室研究生
1978～1988　株式会社　馬庭建築設計事務所勤務
1988　株式会社　都市・建築設計事務所アイタック設立
奈良芸術短期大学非常勤講師

撮　　影　川元　斉
企画編集　作品作風小委員会　前川治彦

being 27
吉川　浩

イメージ図書館館長——時代を予見するデザインとトレンドアナリスト

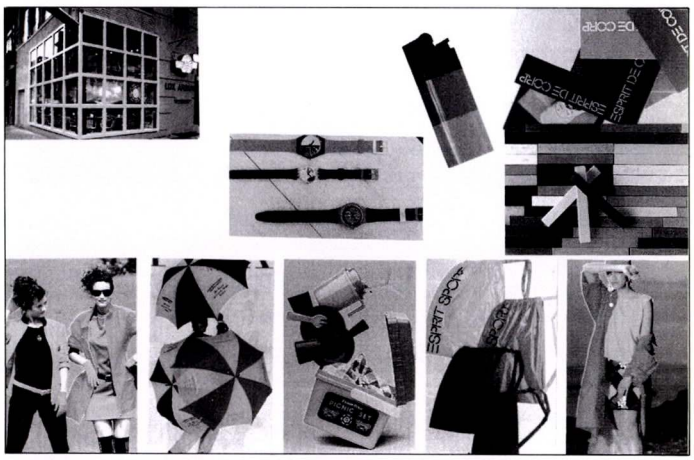


イメージマップのクラスター分析

「今の世の中、デザイナーと呼ばれる人の95%はアレンジャーだと思います。そして、巨大企業というのは最大多数の最大幸福を目指しますから、彼らの欲しいデザインはベストアレンジメントなのです。このアレンジメントのためのデザインマーケットトレンド&デザイン調査・マネジメント・商品企画に関する情報提供が仕事です。世界中のデザイン雑誌を集めています(収集中のデザイン誌が170種類程度……「イメージ図書館」として公開している……但し会員制)。情報は多い程確率が高くなります。つまりデザインの底上げができる訳です。集めた情報は主としてイメージマップ（左頁写真参照……クラスター分析を用いている）と名付けた判り易い形でビジュアルにプレゼンテーションします。クライアントは殆んどが大企業です。(大企業にしか有難味が判らないのでしょう)同業種では１社しか原則として契約しません。どんどん声がかかります。」

「今まで幾拾という職業に就きました。現在の職業もいつまでも存続できるとは思いません。常に無に帰することを覚悟しています。そう考えますから恐いものはありません。
快適主義を標榜しています。オーバーワークはしないようオフィスの全員で心がけています。自分の時間の中で色んな人に会います。境界領域に興味があります。自分を開拓することに興味がありますから、僕自身の境界域を拡大してくれるクリエーターに出会いたいと思います。」

「樹になりたいと思います。鳥がきて羽を休め、種が落ち、樹が増え、獣が棲み、森が出来る。森には文化が発祥すると想います。」



インタビューアー独白
偉いオッサンが大阪に居るもんです。情報をキリウリする商売が東京でなく大阪に存在するということは驚きですし、クリエイティブデザイナーが殆んど居ないと喝破されたことは耳の痛いことですし……。そんなことはオモテの話、商売上のコトだと思うのです。吉川さんが本当に考えているのはどうも逆のことのように思います。19世紀末、20世紀の先鞭をつけるアールヌーボーがパリの小さなギャラリーのネーミングに端を発したように、21世紀を支配する新しいムーブメントをこの20世紀末に創造したいと秘かに狙っていらっしゃるのではないでしょうか。

北村 恭一



（撮影：河合止揚）

吉川　浩（よしかわ・ひろし）

1952年４月９日生まれ。
IMAGE LABORATORY INC.（イメージ実験研究所）代表。
人間の五感をベースとした、これからの生活環境のあり方や商品のあり方を研究テーマに、芸術・科学・宗教・人類学などから類推した独自の方法でデザイン・トレンド・イメージを分析、マーケティング活動に展開。「イメージ・リーダー理論」「多重層トレンド・イメージ・マップ」「回遊魚社会論」など様々な理論、手法を生み出し続けている。
また、『イメージ図書館』館長として世界中のデザイン情報誌を収集するとともに、会員を中心とした月に一度の例会を開催し、〈トレンド・イメージ〉の交流をはかっている。

IMAGE LABORATORY INC.　『イメージ図書館』
〒542 大阪市中央区南船場4-43-8 エステート心斎橋203
TEL. 06-251-7475　　FAX. 06-251-0023

スケッチブック

■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



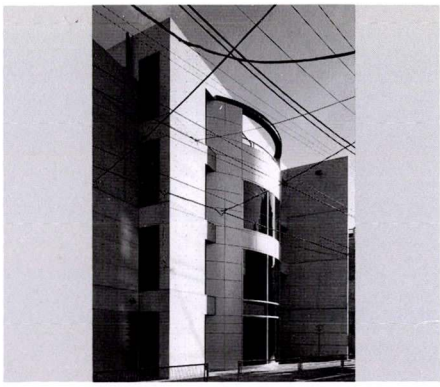
2321 奈良そごう

設　計：奥村組一級建築士事務所
施　工：奥村組・村本建設・浅川組・三和建設JV
a．奈良市二条大路南1-3-1
b．41,516.47㎡
c．15,160.86㎡
d．75,507.01㎡
e．RC、5F(1部7F)、P1
f．1988年８月～1989年９月
g．近鉄奈良線新大宮駅



2322 福山通運大阪支店共同住宅

設　計：東海興業大阪支店一級建築士事務所
施　工：東海興業大阪支店
a．大阪市福島区大開4-52-1他
b．45,722.91㎡
c．2,349.18㎡
d．23,439.73㎡
e．SRC、14F
f．1988年９月～1989年11月
g．野田阪神駅



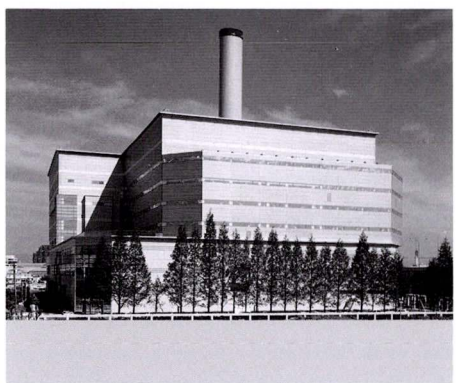
2323 プラザF3ビル

設　計：妹尾正治建築事務所　妹尾正治
施　工：大林組東京本社
a．東京都渋谷区神宮前2-21-23
b．186.62㎡
c．116.75㎡
d．551.70㎡
e．RC、B1F、4F
f．1988年10月～1989年11月
g．営団地下鉄銀座線外苑前駅、JR山手線原宿駅



2324 オリエント・リース高槻寮II

設　計：徳岡昌克建築設計事務所
施　工：不二建設・徳岡工務店JV
a．高槻市真上町1-64
b．597.06㎡
c．357.52㎡
d．983.66㎡
e．RC、3F
f．1989年６月～1990年２月
g．JR高槻駅



2325 大阪市環境事業局鶴見工場

設　計：昭和設計
施　工：大成・淺沼JV
a．大阪市鶴見区焼野2-11-5
b．30,528.27㎡
c．7,411.34㎡
d．20,327.71㎡
e．SRC、B1F、7F
f．1987年10月～1990年３月
g．地下鉄鶴見緑地線鶴見緑地駅



2326 草薙総合運動場陸上競技場

設　計：村田政真建築設計事務所
施　工：大林組　他８社
a．静岡市栗原232 他
b．87,258.67㎡
c．5,907.22㎡
d．19,434.23㎡
e．SRC、4F(一部RC、2F)
f．1988年７月～1990年３月
g．JR東海道本線草薙駅



2327 グラン・ドムール茨木

設　計：住鋼エンジニアリング
施　工：村本建設
a．大阪府茨木市穂積台3
b．5,316.94㎡
c．1,515.71㎡
d．10,631.91㎡
e．SRC、10F
f．1988年９月～1990年６月
g．大阪モノレール茨木駅



2328 メゾンフルール関目

設　計：ARI建築事務所　亀井晃治
施　工：大林組
a．大阪市城東区関目5-32-3
b．2,334.33㎡
c．1,240.48㎡
d．7,847.92㎡
e．RC、B1F、10F、P1
f．1989年４月～1990年８月
g．京阪・地下鉄谷町線関目駅



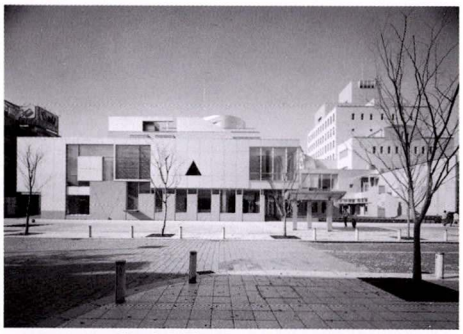
2329 クラウンハイム亀岡千代川

設　計：創美設計
施　工：富士工大阪支店
a．京都府亀岡市千代川町千原2-21-1 他
b．2,257.15㎡
c．685.60㎡
d．4,666.57㎡
e．RC、9F
f．1989年７月～1990年８月
g．JR山陰本線千代川駅

第22回中部建築賞

平成２年３月31日までに中部圏で竣工した一般建築物と住宅を対象とする中部建築賞に、82点の応募の中から入賞４点、入選13点が決定した。

審査員は鬼頭梓（建築家）、福知保長（日本建築学会）、塩野谷格（中部開発センター）、八木利喜彌（新日本建築家協会）、土屋敦夫（金沢工業大学）、藤田順吉朗（富山県建築士会）、今井正次（三重大学）、片木篤（名古屋大学）の各氏。



富山市民プラザ　富山市大手町



セイコーエプソン㈱塩尻事業所新事務棟　長野県塩尻市



野々市本町の家　石川県野々市町本町



若州一滴文庫　福井県大飯郡

中部建築賞入賞４点

■一般部門３点

・富山市民プラザ
設計／槇総合計画事務所　施工／佐藤工業北陸支店、鴻池組北陸支店、林建設工業、日本海建興、近藤建設

・セイコーエプソン㈱塩尻事業所新事務棟
設計／清水建設一級建築士事務所　施工／清水建設

・若州一滴文庫
設計／泊建築設計事務所　施工／熊谷組、若狭建設工業

■住宅部門１点

・野々市本町の家　設計／織田設計　施工／竹本建設

中部建築賞入選13点

・愛知県旭高原少年自然の家
設計／伊藤建築設計事務所　施工／西松建設中部支店、太啓建設、矢作建設工業、永楽開発

・地下鉄桜通線久屋大通駅
設計／河合松永建築事務所、日建設計名古屋事務所
施工／大林組名古屋支店

・ハートスタッフスポーツクラブ緑
設計／C＆C設計、中部電気製作所　施工／日本建設名古屋支店

・久屋大通公園・復興事業収束モニュメント
設計／日建設計名古屋事務所　施工／安藤建設名古屋支店、鈴中工業

・安田火災名古屋ビル
設計／黒川紀章建築都市設計事務所　施工／清水・大成・鴻池・西松・飛島建設工事共同企業体

・金沢工大学園工学基礎実技センター
設計／水野一郎・田中光、金沢計画研究所　施工／池田建設北陸支店

・十六銀行研修所
設計／日建設計名古屋事務所　施工／清水建設名古屋支店

・水明館臨川閣
設計施工／竹中工務店名古屋支店

・嶽之下宮御社殿
設計／竹中工務店名古屋支店　施工／竹中工務店名古屋支店、大成建設横浜支店

・三鳴大社社務所
設計／企業組合針谷建築事務所　施工／日本国土開発名古屋支店、山本建設、小野建設

・中仙道守山宿郷土人形館
設計／竹中工務店大阪本店　施工／竹中工務店京都支店

・北電ビル
設計／日建設計名古屋事務所　施工／鹿島建設、佐藤工業、前田建設工業、日本海建興、林建設工業

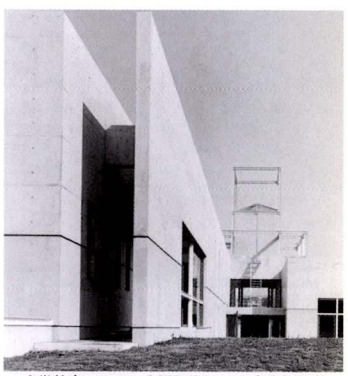
・大栄教育システム名張研修所
設計施工／竹中工務店大阪本店



地下鉄桜通線久屋大通駅　名古屋市中区



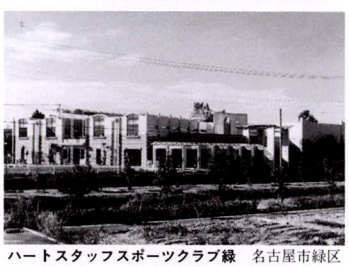
安田火災名古屋ビル　名古屋市中区



大栄教育システム名張研修所　三重県名張市



愛知県旭高原少年自然の家　愛知県東加茂郡



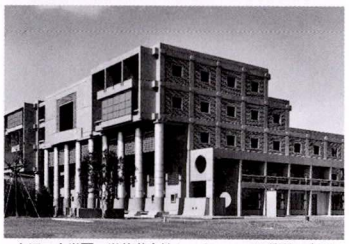
ハートスタッフスポーツクラブ緑　名古屋市緑区



久屋大通公園・復興事業収束モニュメント　名古屋市中区



水明館臨川閣　岐阜県下呂町



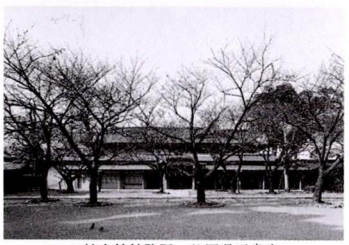
金沢工大学園工学基礎実技センター　石川県野々市町



十六銀行研修所　岐阜市栗野西



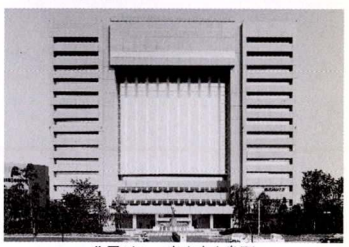
嶽之下宮御社殿　静岡県駿東郡



三鳴大社社務所　静岡県三島市



中仙道守山宿郷土人形館　滋賀県守山市



北電ビル　富山市牛島町

『建築企画論』—— 建築のソフトテクノロジー

増渕昌利

1月24日、大阪国際交流センターには本書をテキストにした「建築企画論」講習会に多数の参加者が出席していた。近年の建築企画ブームを物語る光景を垣間見たおもいであった。

本書は、日本建築学会の小委員会が10年らい進めてきた共同研究の成果である。建築企画論は、研究の歴史も浅いこれからの分野であり、マニュアルのたぐいは発行されているが、体系的に論じたものとしては1982年に刊行された「建築企画」(『新建築学体系』第22巻)を知るのみである。

＊

第Ⅰ編　建築企画の成り立ち　は総論編である。

第一章　**建築企画とはなにか**　は編者である京都大学巽教授の論文である。かって大工・棟梁によって建築活動の大部分が担われてきた、いわば「施工の時代」があった。その後「設計の時代」、「計画の時代」を経て、今や「企画の時代」であるという。歴史的な必然性が簡潔かつ論理的に解明される。読者は知らずしらずのうちに建築企画の魅力に引き込まれてしまうことになる。

著者によると、建築企画が重視されるようになっている動機は3つあるという。第一に、建築主に建築すべきもののイメージが失われてきており、建築目標自体を構築する仕事、すなわち「企画」が必要とされているということ。土地と金を持っているがどう利用していいのか分からないというような、かっては考えられない建築主も出現してきている。

第二に、受動的な体質から脱皮したいという建設側の事情である。施工会社も今までのように建築主からの依頼を待っていたのでは仕事に結びつかなくなってきている。これまで企画は建築主の仕事で、建築サイドはせいぜいお手伝いにとどまっていた。今も企画は依然として建築主の仕事であることに変わりはないが、プロフェッション側から提案していくことが求められている。事実、設計事務所や施工業者のなかに「企画」あるいは「調査」と称するセクションが増えている。

第三に、大規模化・高密度化している建築に対しての社会的な調整が必要不可欠になっていることである。京都仏教会は、1月28日「当寺院は京都の歴史的景観を破壊する京都ホテルなどの高層化には反対です」と書いた統一看板を清水寺、金閣寺など20カ所に設置し反対運動を強化している。これも社会的参加の一つの形態である。建築側からは何か邪魔なもののように見えるかもしれないが、こうした住民運動などの声をどういうふうにプロジェクトに参加させていくのかということも企画の大事な仕事であるという。

ひとことで言えば、建築企画業務とは、建築主、建築生産者サイドのいずれにもある弱みを衝いた新しい業務といえよう。

第二章　**民間部門の建築企画**　では基本的に「営利性」を持つ民間部門の建築企画が、競争的市場で鍛えられることにより「先進性」「柔軟性」をもつという指摘に始まり、アンケート調査を踏まえた組織論が展開される。



第三章　**公共部門における建築企画**　では、大阪市立東洋陶磁美術館を事例として、自治体の営繕部門の役割を「空間行政」として展望している。自治体の営繕部門の職員に対する熱いメッセージでもある。

第四章　**建築企画コンサルティング業務**　では、建築企画の専門家の組織に焦点をあて、その展開と業務内容を明らかにしている。実際に建てられた建築が成功したとしても、そのなかで果たされた企画の評価は難しい。そのために建築行為の全プロセスのなかで建築企画が果たす役割は明確ではなく、業務として確立するのが遅れてきたという。企画担当者は自ら携わっている建築企画の経験をまとめ、さらに他と交流することにより企画業務の確立に向うべきであろう。

第Ⅱ編　建築企画のプロセス　は各論編である。ここでは多様な事例が取り上げられている。第五章では建築企画プロセスを、第六章では建築企画の技法が概説されている。第七章ではインテリジェント化・複合化の著しい事務所ビルの企画を、第八章では新しい集客戦略を中心に商業施設を、第九章では都市施設としてのアーバンホテルの企画を、第十章では多様化ニーズに応える住宅団地の企画を、第十一章では住宅系都市再開発の企画が取り上げられている。また、第十二章ではウオーターフロント、リサーチパークなどの企画が展望されている。

第Ⅲ編　建築企画の諸問題　は展開編である。第十三章は企画の実現性に深くかかわっている法令の問題を、第十四章ではプレハブ住宅の普及を支えた住宅産業の建築企画が取り上げられている。第十五章ではストックの時代の建築の再生に関わる建築企画における意思決定と建築創造の問題が扱われている。第十六章では建築企画専門家のプロフェッションとしての展望について述べられている。「自治体などの社会的企画を担う規模の大きい組織では、法律や経済出身のゼネラリストと、それに加えて土木や建築出身のスペシャリストという構成になる。土木や建築出身の企画担当者はそれぞれの分野ではゼネラリストでありながら、組織の中では法律や経済出身の正真正銘のゼネラリストと互角に対抗していくために、特定分野における蓄積に基づいて発言せざるをえず、従ってまずスペシャリストになり、ついでゼネラリストになるというプロセスがベターだという考えがある」としているが、「技術屋は事務屋になれるが、事務屋は技術屋になれない」という神戸市の事務課長の意見もあり、土木や建築出身の企画担当者の可能性を予感できる場面も出てきていることを紹介したい。第十七章では東京都庁、神戸SVヴィレッジ、OBP、等の新しい建築企画事例に対する社会的評価について検討されている。

建築企画者としての能力を磨き、社会的な位置の確立をめざして日夜奮闘している建築企画実務者に是非、勧めたい一冊である。

(神戸市住宅供給公社)

建築企画論
——建築のソフトテクノロジー
日本建築学会編
技報堂出版　1990年10月5日刊　A5判　342頁　4,944円

建築の情報化戦略
——'90年代はこうなる

河盛良夫・石橋　守 編



建築の戦略として数年前に騒がれたインテリジェントビルもいまやすっかり当然の物となり、通信とコンピュータを中心とした情報化の波は急速に我々の生活の隅ずみにまで押し寄せている。情報システムが生活のあらゆる側面の機能を支え、さらには統合化されたネットワーク環境へと発展する日もそう遠い未来のことでは無い。本書はそんな情報化時代の建築技術について、個々の共通技術についての概観と、オフィスやマンション等の用途毎の現状と将来展望を紹介している。建築情報化の全体像を摑むために是非御一読を。(O)

彰国社　1990.8.20刊
B6判　214頁　1,880円

レヒネル・エデン　ハンガリーの世紀末建築

赤地経夫 撮影・文
伊藤大介・キッシュ・エーヴァ・ハディック・アンドラージュ・ピンテール・タマーシュ 著、太記祐一(訳)



執拗なまでの有機的曲線群によって構成される目くるめくような空間、ヨーロッパの伝統と民俗的要素・オリエンタルな色彩が渾然一体となった独自の世界。本書に収められた写書の一葉一葉を通して、豊饒な色彩と装飾とに型どられたレヒネル・エデンの建築が圧倒的な力をもって迫ってくる。スコットランドのマッキントッシュ、フィンランドのサーリネン、カタロニアのガウディとならんで、ヨーロッパ周縁の地にあって、民俗固有の問題に根ざした独自の建築様式を創造した彼の業績を日本で初めて体系的に紹介する貴重な一冊。(O)

INAX　1990.10.10刊
(発売：図書出版社)
A4W判　156頁　5,975円

住まいの使い方「学」
——長く上手につきあいたい

宍道恒信 著



優れた住宅をつくることよりそれを上手に使いこなす方がずっと重要で、かつ難しい。本書は住まいの上手な使い方について改めて見直すヒントを与えてくれる。住宅の中の収納・階段・椅子などについての考察から、まちなみや住環境の形成まで、多彩なテーマで議論が展開する。家の中で増え続ける物をどうするか、老人にとって住みよい家とは何かなど共感させられる点が多い。気軽に読める内容であり、建築の専門家以外の方にもお推めしたい。(Y)

彰国社　1990.10.30刊
B6判　214頁　1,880円

都市のアートスケープ

今井祝雄 著



普段は殺風景な仮設の工事塀がアートが描かれる事により都市への様々なメッセージを発する舞台となり、風景を〝異化し活性化させる〟装置となる。ビルの屋上に無造作に置かれた無数の窓によるインスタレーションが見慣れたはずの都市景観を切り取りみずみずしい息吹を与える。都市とアートのそんな緊張関係が創り出す芸術的景観を筆者は〝アートスケープ〟と名付ける。都市空間とアートをめぐる様々な場面の写真とエッセイから成る本書は、都市空間にとってもそしてアートにとっても極めて刺激的な一冊となっている。(O)

ブレーンセンター　1990.11.15刊
A5判　260頁　2,500円

今 和次郎 見聞野帖
絵葉書通信
欧州紳士淑女以外

荻原正三 編



考現学の祖、今和次郎が、10か月に及ぶ欧州見聞旅行で書き送った絵はがき類をまとめたものである。見事なスケッチや手紙を通して、昭和5年当時のヨーロッパの〝紳士淑女以外〟即ち一般庶民の生活が生き生きとよみがえる。著者が見たままの街の様子を詳細に綴っているのには驚かされる。また各国のお国柄や精神的土壌についての考察もあって興味深い。当時の風俗を示す資料であると共に、今和次郎の研究の軌跡を知る上でも貴重な一冊である。(Y)

柏書房　1990.12.10刊
B5判　164頁　2,900円

都市デザインの手法
——魅力あるまちづくりへの展開

鳴海邦碩・田端 修・榊原和彦 編



快適で魅力ある都市づくりのために、かつての機能中心の計画論に加えて、空間のイメージやコンセプトづくりといったソフトな「都市デザイン」が必要になっている。このような認識のもとに本書は、街路、広場といった都市の各要素のデザインや、住民参加やイベントによるまちづくりなど様々な手法について包括的に説明を加えている。都市デザインの入門書として役立つだけでなく、豊富な最新の事例を通して、都市計画がどの様な方向へ変わろうとしているかを教えてくれる。(Y)

学芸出版社　1990.12.10刊
B5W判　176頁　3,090円

担当　会員企画小委員会／大沢智弘・山嵜章子

直張り木質床の床衝撃音遮断性能の現状

財団法人 日本建築総合試験所
所在地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　話…(06)872－0391 FAX…(06)872－0784
業務時間…平日 9：00～17：00
土曜 9：00～12：00(第2、第4土曜休日)

1．はじめに

数年前から直張り木質床が集合住宅にも普及し始めるとともに、軽量床衝撃音が社会問題となった。これを背景に床衝撃音遮断性能を改善したタイプの直張り木質床の開発が、この3～4年で急速に進み、現在では畳の性能にも匹敵するL－45を売り物にする製品も市場に出回っている状況である。しかし、床衝撃音改善型直張り木質床の分野は、従来からの床板メーカーの他に、他分野からの新規参入メーカーが入り乱れての激しい開発・販売競争を繰りひろげており、その圧力もあって十分な品質チェックがなされないまま商品化されている製品もみうけられる。

2．床衝撃音遮断性能

当試験所では89年秋に各床板メーカーに対して、すでに商品化されている直張り木質床の提供をお願いし、それを試料として各種の測定法の検討をおこなってきた。

その一環として床衝撃音遮断性能の測定もおこない、この結果とこれらの床材が製品化される前に試作品（試作ロット）段階で当試験所でおこなった測定値（これが通常商品カタログなどに記載されている）と比較してみた（以下では前者を「流通品L数」後者を「成績書L数」と呼ぶ）。その結果を**図－1**に示す。流通品L数は成績書L数よりも一般に大きい（悪い）方向に分布しており、その差は成績数L数が小さい（良い）図の左側で大きくなる傾向が認められる。

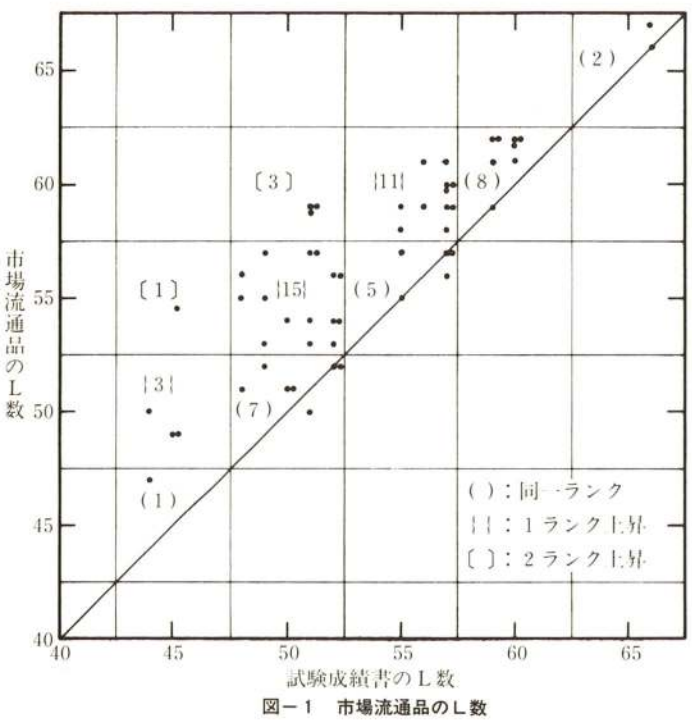
図－1のグリッドは各升目が成績書L値および流通品L値の区分を示している。図中の数字は各区分内のサンプル数であり、流通品L値と成績書L値との一致の度合によりカッコ記号を区別して表示している。

L－65および60のランクでは全試料で、成績書L値と流通品L値とは一致しているが、L－55ランクは16試料のうち、一致するものが5、1ランク上昇（悪化）が11となっている。L－50ランクでは25試料中、一致するもの7、1ランク上昇15、2ランク上昇3、L－45ランクでは5試料中、同一ランク1、1ランク上昇3、2ランク上昇1という結果となっている。

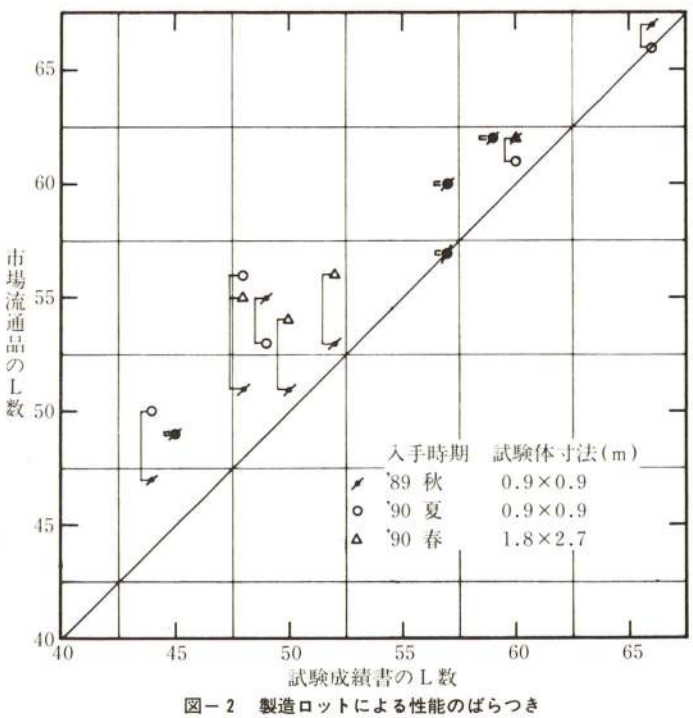
試作品段階での性能が市場流通品でも確保されているのかという点に付いてはこれまでも懸念があったが、2ランクも違う製品があることが確認された。また、多くのメーカーが試作品段階ではL－45を達成している現在の水準から考えて、技術的には十分余裕があると思われるL－55ランクでも、サンプル数の約3分の2は1ランク上昇している。

図－2は製造ロットによる性能の変動を示したものである。L－50および45ランクの製品ではロットによる違いが大きくなっているようである。一方、品質がロット間で安定しているものの内でも約半数は、成績書L数より高い(悪い)ところで安定していることを示している。床衝撃音遮断性能が良く（L数が小さく）なるほど、その性能を維持するための品質管理は難しいことを示唆している。L－50ランク以下の直張り木質床では、特に厳しい品質管理が期待される。

（翁長　博）



図－1　市場流通品のL数



図－2　製造ロットによる性能のばらつき

法令コーナー

編集委員会法令分科会

256

神戸市駐車場整備型総合設計制度の創設
—総合設計制度における駐車場整備に係る容積割増の特例—

近年のモータリゼーションの進展に伴い、都心部等の商業地あるいは一般住宅地における駐車場不足は、路上駐車の大幅な増加をもたらし、それが交通混雑、交通事故の原因や緊急自動車の通行障害になるなど、深刻な問題となりつつある。昨年の兵庫県警の実施調査によると、平日のピーク時の神戸市内路上駐車台数は約41,300台にものぼり、良好な都市環境の形成を図るためにも適正な駐車場の確保は緊急の課題となっている。

こうした背景から、神戸市では昨年11月に、公共・民間を通じた駐車場づくりの一層の促進を図るべく、①駐車場整備地区の拡大、②駐車場附置義務条例の強化、③公共駐車場の整備、④集合住宅駐車場整備基準の策定、⑤駐車場整備型総合設計制度の創設を主な内容とする「駐車場総合対策」を打ち出し、駐車場問題に取り組んでいる。この駐車場整備型総合設計制度はこうした総合的施策の中で、②や④のような駐車場の附置を義務づける施策に対し、民間活力を生かした駐車場整備の誘導促進策として位置づけている。

一方、建設省においても、昨年11月26日付けで自動車車庫に関する建築規制に係る一連の通達を出し、その中で自動車車庫の整備促進策の一つとして総合設計制度の許可準則を一部改正し、自動車車庫に対する容積割増の特例を加えている。

神戸市はこの通達を受けて、総合設計制度における駐車場整備の特例制度を全国に先駆けて創設し、平成3年1月からスタートさせた。

制度の趣旨

建築基準法では、ビルから発生する駐車場需要に対し適正な駐車場を確保しやすくするため、駐車場については容積率の算定にあたって床面積の合計の⅕を限度として延べ面積に算入しないという規定を設けている。しかし、実際に床面積の⅕以上の駐車場を設置している建築物は、神戸市の中心部である中央区内での建築件数（62年度～元年度で、敷地面積500㎡以上）でみるとおおむね件数比で1割程度しかなく、極めて少ない状況である。また、神戸市内の総合設計事例のうち非住宅用途の場合の駐車場整備率（駐車場床面積／延べ面積）をみても平均10%程度となっており、⅕には到底及ばない状況である。近く強化されることとなった附置義務条例が施行されても、駐車場の整備コストやビルの駐車需要等を考慮すると、⅕を超える駐車場を確保する建築物は極めて少ないと考えられる。

一方、不特定多数の駐車需要が高い都心部等を中心とする地域では、駐車場が不足し、路上駐車により道路交通に支障が生じている。こうした地域の現状を踏まえて、大規模な建築物を建設する場合に、当該建築物用の駐車場に加えて広く市民の利用に供される駐車場を建築物内に設置してもらい、路上駐車の解消等を通じて道路交通の改善を図ることをねらいとして、今般、駐車場整備型総合設計制度を創設した。

したがって、本制度は商業・業務施設が集積する地域で、自動車の路上駐車により交通上支障が生じている区域において、公開空地と併せて一般に公開される駐車場（公開駐車場）を設置する建築物の誘導を図り、市街地環境の整備改善と円滑な道路交通の確保に資することを目的としている。

制度の概要

総合設計制度は、一定規模以上の敷地で公開空地を確保する建築物について、市街地環境の整備改善に資すると認められる場合に、容積率の割増あるいは斜線制限の緩和を行うことができる建築基準法に基づく許可制度である。本制度は、この総合設計制度を活用して、公開空地と併せて公開駐車場を確保する建築物について、さらに容積率を割増すことができる特例制度である。

対象区域　本制度は商業・業務施設が集積し、駐車場を設置する建築物の誘導を図るべき区域に適用するもので、具体的には神戸市内中央4区の商業系地域のうち、指定容積率が400%以上の区域等を対象とする。

適用要件　対象建築物の基本的要件として、

① 総合設計制度における公開空地による容積割増の適用要件を満足していること

② 整備する駐車場の床面積が公開空地による割増後の延べ面積の⅕を超えていること

③ この⅕の面積を超える部分に相当する駐車場については、公開駐車場として時間貸し等により一般に公開すること

が必要であり、さらに敷地条件や一般に公開する駐車場の最小規模等について、**上表**のとおり要件を設けている。

神戸市駐車場整備型総合設計制度の適用要件

1） 基本要件

総合設計制度における公開空地による容積割増の適用要件を満足すること

2） 対象区域

①灘区、中央区、兵庫区および長田区内の近隣商業地域または商業地域で、指定容積率が400%以上の区域

②その他特定行政庁が特に必要と認める区域

3） 敷地要件

①敷地面積は1,000㎡以上

②前面道路の幅員は、原則として8m以上

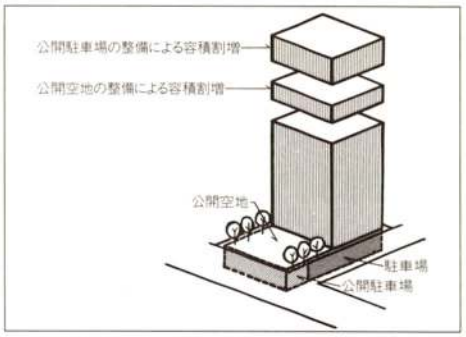
4） 整備すべき駐車場の要件

①整備する駐車場の床面積が公開空地による割増後の延べ面積の5分の1（すなわち容積対象延べ面積の4分の1）を超えていること

②上記5分の1の面積を超える部分に相当する駐車場（以下「公開駐車場」という）については、一般に公開し、不特定多数の利用（有料、無料は問わない）に供すること

③整備する駐車場（公開駐車場を含む）のうち10台以上の駐車場を一般に公開すること

④駐車場の構造、配置等について、周辺の環境に留意すること



容積割増　本制度では公開空地による容積割増に加え、さらに公開駐車場の整備量に応じた容積を加算することができる。公開空地による容積割増は従来どおりであるが、公開駐車場による容積割増は、下式のように、容積率算定上⅕不算入とならない駐車場部分の面積に駐車場割増係数を乗じて算定する。

また、駐車場割増係数は有効公開空地率の変数式となっており、有効公開空地率が20～40%の場合、割増係数は2～2.5となる。

〈割増の算定式〉

$$V = V_S + (P - 1/4 \times V_S) \times Ji$$

ただし $V_S = A \times v \times \{1 + (S/A - 0.1) \times Ki\}$

$$Ji = 2.5 \times S/A + 1.5$$

V ：割増後の容積対象延べ面積
V_S ：公開空地による割増後の容積対象延べ面積
A ：敷地面積
v ：基準容積率
S ：有効公開空地面積
P ：駐車場床面積
Ki ：公開空地割増係数
Ji ：駐車場割増係数

割増の限度　公開駐車場による割増の限度は、$v/4$ と100%のいずれか小さい容積率を上限とする。また、公開空地との容積割増の合計は、総合設計制度に規定する割増の限度内（すなわち一般の総合設計の場合は $v/2$ と200%のいずれか小さい容積率）とする。

総合設計制度の活用への期待

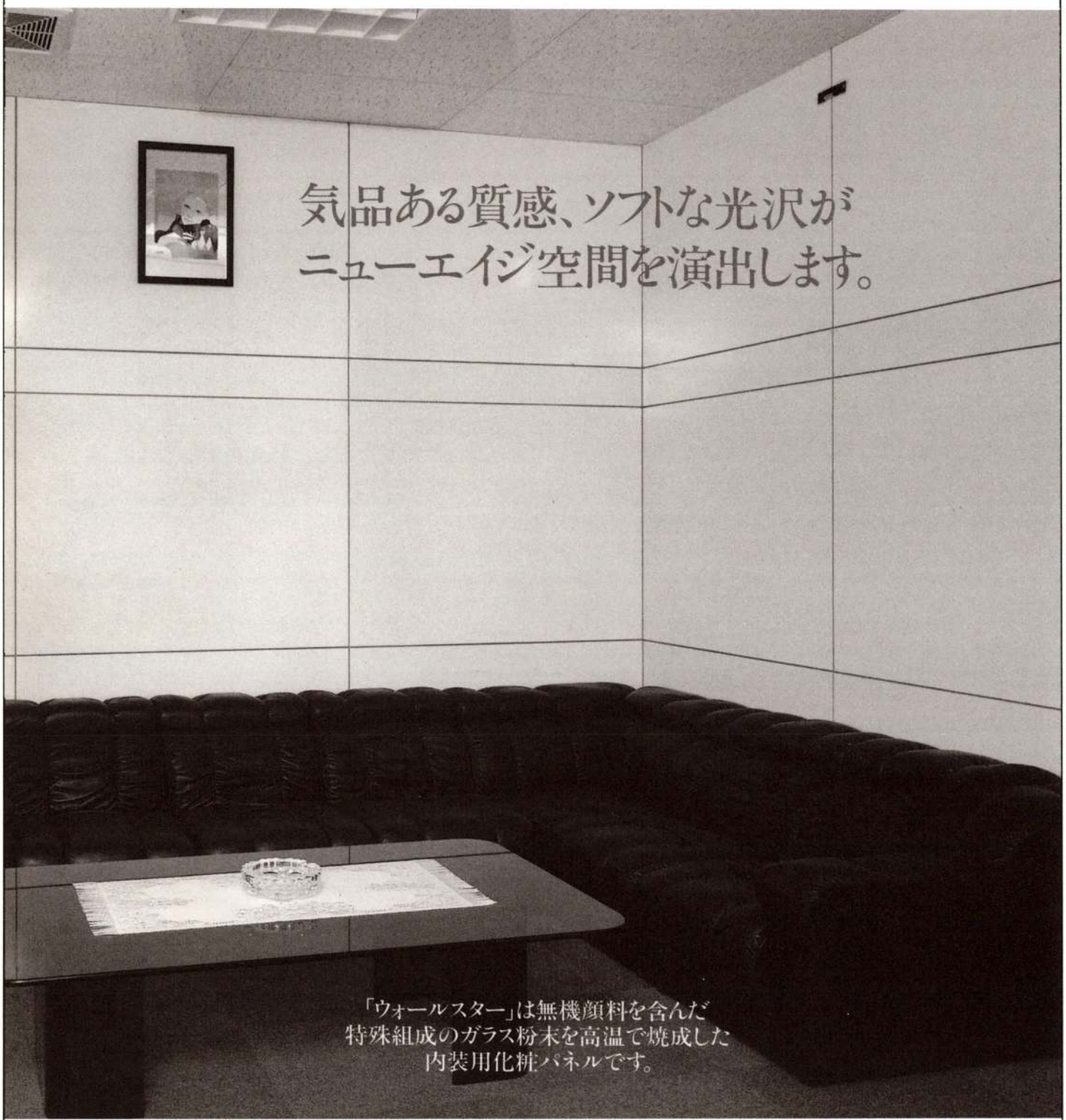
近年、経済社会の高度化、都市化の進展等を踏まえて質の高い都市環境づくりの観点から、良好な建築物の誘導に対する社会的な期待が高まりつつある。総合設計制度はその誘導的手法の一つであり、道路交通の改善に着目した今回の駐車場整備型総合設計制度を含め、今後より良いまちづくりを目指した誘導的建築手法として積極的な活用が期待されている。

駐車場に高い整備コストが要求される昨今、公開空地を確保しつつ延べ面積の⅕を超える駐車場を整備するにあたっては設計上あるいは事業採算上かなりの制約が予想されるが、建築企画、設計等に携わる方々には積極的にまちづくりに貢献する良好な建築ストックとなるよう事業主へも理解を求め、本制度を積極的に活用していただきたい。

（神戸市住宅局建築部指導課整備係長　茗荷　修）

磁器調ガラス建材

ウォールスター



◎日本板硝子

磁器調ガラス建材

ウォールスター

日本板硝子株式会社　本　社　〒541 大阪市中央区道修町3丁目5番11号
東京本社　〒105 東京都港区新橋5丁目11番3号(新橋住友ビル)

昨今の建築の高級化・多様化に伴い、その意匠性については、より高い感性が求められる時代となってきている。

このため、壁装材についても、従来の材料では満足できず、より新しいもの、オリジナリティのあるものが求められている。

磁器調ガラス建材（商品名：ウォールスター）はこのニーズに対応すべく開発された独特の質感を持つ、内装用の新建材である。

1．製法

ガラスを主原料とし、各種無機添加剤と無機顔料を添加し、高温焼成したものである。

この製法によりノングレアな表面質感をもつムクのガラス建材となる。

2．特長

(1) 従来の結晶化ガラスに見られるような、ガラス特有のグレアを抑えた、ソフトな質感の表面仕上げであるため、デザインに高級感が出せる。

(2) 素材そのものが無機質であるため、耐薬品性耐候性にすぐれ、変質・変色のおそれがない。

(3) 天然石に比べ曲げ強度が大きく、壁材として十分な強度を有している。

(4) 切断・面取り・曲げ加工など、板ガラスと同等の加工が可能である。

3．製品仕様

(1) カラー

ホワイト・グレー・ベージュ・ピンク

※オリジナルカラー製造可能

(2) 厚み　8㎜

(3) 寸法（規格寸法）

900㎜×900㎜　1200㎜×900㎜（最大寸法）

4．材料特性

物理特性

比　　重	約2.5（約20kg/m²）
曲げ破壊応力	約350kg/cm²（平均値）
ヤ ン グ 率	約765,000kg/cm²
ポアソン比	約0.2
硬　　度	モース硬度約6
比　　熱	約0.2cal/g℃
線膨張率	約8.5×10^{-6}/℃（常温～370℃）
熱伝導率	1.01kcal/m・h℃（常温）
吸　水　性	ほとんどなし
耐　候　性	変化なし

耐薬品性

	外　観	重量減
1％硫酸(H_2SO_4)水溶液 650時間浸漬後	変化なし	0.1％未満
1％苛性ソーダ(NaOH)水溶液 650時間浸漬後	変化なし	0.05％未満
溶剤(トルエン、アセトン) 24時間浸漬後	変化なし	重量減なし

注：物理特性、耐薬品性の数値は当社のテスト結果をもとに得られたものであり、製品の性能を保証するものではありません。

汚れ清掃性

物　　質	水	エタノール
油性マジック	×	◎
墨　　汁	○	◎
色えんぴつ(赤)	○	◎
ガラスクレヨン	○	◎
口　　紅	○	◎

検査方法：各物質を適量付着させ、24時間後に水及びエタノールで清掃し、外観を検査する。

判定内容：◎すぐに除去しにくいが汚れは残らない、×汚れが残る

5．施工方法

(1) 接着工法

①下地についてはボード類（耐水合板・フレキシブルボード・プラスターボード等)・モルタル・コンクリート下地などが適する。(但し、下地の不陸は3㎜以内に調整する必要がある。)

②接着は両面接着テープと接着剤（商品名：ハイミラーセメダインスーパー）を併用して行う。

※材料1枚当りの面積が0.36m²を超える場合は材料荷重を受けるため、下部に受け金物(下図参照)を必ず使用のこと。

③目地巾は3㎜以上とし、変成シリコンもしくはポリサルファイド系シーリング材を目地シーリング材として使用する。

(2) 専用金物工法Ⅰ（近日発売）

下地に取り付けたレール金物に、材料上部辺に予め工場接着したフック金物を引っ掛ける工法である。この工法では材料の一部後付け・一部取替が可能なためメンテナンス面で有利である。

(3) 専用金物工法Ⅱ

－不陸調整機能付き－（近日発売）

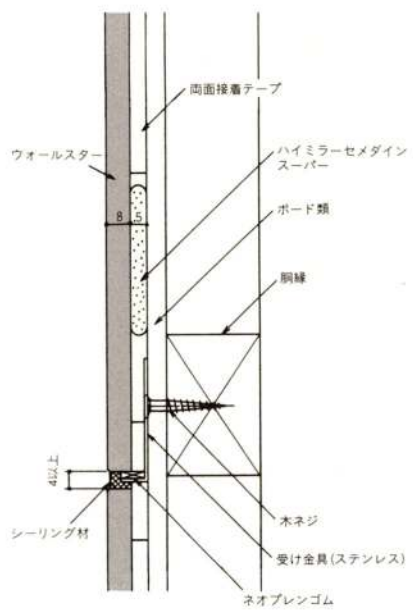
下地に不陸調整プレートを取り付け、不陸を調整後プレートにレール金物を取り付けて接着する工法である。RC壁のように不陸の大きい下地に適し、下地面から仕上げ面までは45㎜を標準に±12㎜の不陸調整が可能である。

6．今後の展開

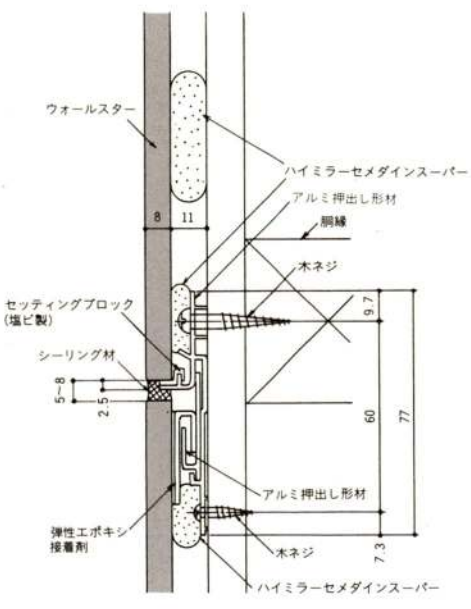
現在は内装用建材としての位置づけであるが、外装使用のニーズに対応すべく、外装仕様品を開発中である。

（猪野達雄／建材委員）

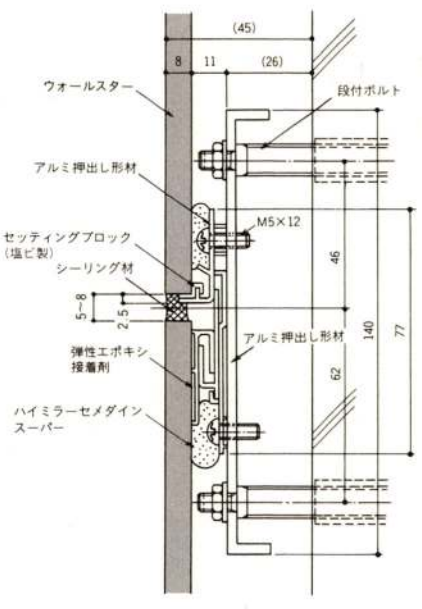
(1)接着工法



(2)専用金物工法Ⅰ



(3)専用金物工法Ⅱ－不陸調整機能付き－



出版委員会「プロのノウハウ」講座シリーズ（第4回）

「建築基準法を読みこなすコツ」研修会参加記

山　田　　修



自著「建築基準法を読みこなすコツ」を手に講義する高木任之氏

高木任之氏は、各所の建築行政畑を歩かれたのち（財）性能保証住宅登録機構専務理事・東洋大学建築学科講師をされながら、建築法規・消防法規関係の著書をたくさん出版してこられたユニークな方である。

始めに、GNP世界一の建築投資額400兆円の説明があった。百万円の厚さを1㎝として、札束を一列の高さに積むと富士山の高さどころではなく、4,000㎞となり、日本列島を縦断するとのこと。その莫大な経済の1割をコントロールしているのが建築基準法である、と話は経済論より基準法に導かれた。見事なプロローグだ。

建築以外の知識を話の途中に挿入され、ともすれば眠くなる参加者の目はさまされる。興にのってくると、ラブホテル・窓の定義（性能と機能に分ける）の話等が飛び出してきた。

2時間が、あっという間にすぎ、最後は3人の質問者に対して納得のいく回答があり、閉会が20分をこえる切れのいい江戸っ子語りだった。初心者から、年輩者の建築事務所長までと広範囲の参加者たちは、満足されたことと思う。そんな熱気が会場内に漂っていた。

法規は百科事典のように利用する

法規は始めから読むものではない。百科事典のようにその時々に出てくる必要なものから読む。（　）でくくってある目次にまず目を通し、それをうまく活用する。

法文の成り立ちは「条→項→号」と小さく分かれ、たとえば「法35の2の2」と枝番をつけたものは、あとからできた条文（追加）ゆえ、大切にして欲しい。法令用語の「以上、以下」、「及び、並びに」、「その他、その他の」の説明があり、「建築設備の定義の読み方」を使って実習があった。法律を作る人は頭が鋭い。法律は一つの技術法だから、接続言葉の位置に注意する必要がある。

建築士受験者は、法令集を自分用に加工すべきだ。解説書をまとめた本のように、法の中に令の具体的名を書きいれていく。たとえば「学校等（令126条の4第3号）」は、等の横に「学校、体育館、ボーリング場、スキー場、スケート場、水泳場、スポーツの練習場（令126条第1項第2号のもの）」を記入する。他も同じである（例示して説明）。

面積の測定法は、車庫の特例がある。1/5限度を床面積の合計より除くところで間違う（令2条3項が後で出てくるため。羊かんを図示して分割する説明あり）。

〔例〕100㎡（車庫面積X㎡を含む）の1/5限度は、$X=100\times1/5=20$㎡ではない。$(100+X)\times4/5=100$㎡から$X=25$㎡となる。

このように法独自の読み方は、法律の基礎知識がいる。そこから図表化・数表化を試みるのがよい。逆にいえば、図表化を一節の文でつづる法制局の役人の頭は「わたし達と違うんだ」と感心する。建ぺい率・容積率は「法規のどこにあるのか」と弁護士から聞かれる例は、「法律はやさしく表現する」と一転して「建築面積の敷地面積に対する割合（法53号）」、「延べ面積の敷地面積に対する割合（法52号）」になる。

集団規定について一言

都市計画区域内の規定は、全国の95%の地域が適用を受ける。用途地域は今まで建っていた建築物を主にしているから必ずしも法の主旨通りにはいっていない（川口市の例を図示して説明あり）。

これからは、各個の建築物規制よりも都市計画が重要だ。都市計画（都市再開発を含む）としての法的学問を学校の授業で教えないとだめである。法律を守る中で「どうすれば造形的にいい物を作っていくか」を考えてほしい。

敷地・道路・敷地と道路の関係などの説明が続く。建ぺい率は、図示しながら「建ぺい率は厳しいと錯覚している面がある」と参加者に問いかける。容積率の導入により日本の建築はよくなった。公開空地を確保すれば規制緩和ができる。

自分の敷地内で建物をセットバックした場合の「道路斜線制限の緩和」は、今回改正のヒット作である。ちょうど敷地前面道路の中心に鏡を垂直に立てて、斜線制限を適用すればよい。「自分の利益は自分で作れ（単体規定の精神が集団規定に入ってきた、ということだろう）」ということだ。

単体規定について二言

階段を安全に機能よく造るにはどうするか？け上げとふみ面をゆっくりとることだ。鉄道関係の階段は、全国16.5㎝と33㎝（1：2）に統一されている。これは30度未満の勾配で、小学校の階段よりもゆるやかである。人間は、歩くのに規則的（リズム的）な動きがいる。忍者落としの不規則階段の説明は面白かった。

1年間に600人が階段の事故で死亡している（厚生省発表）。実際はこの10倍の人が怪我をしているだろう。階段に手すり設置の規定がないから「作らない」ことが原因だ。回り階段も危険である。最近はじゅうたんを敷いたり、ノンスリップを角にとりつけているが、かえって危ない。スリッパで階段を降りるときは要注意である。そうかといって、住宅に「階段を設けよ」とは規定していない。はしご段でもよいことになる。

室内の不燃化は大切だ（フラッシュオーバー現象の説明あり。消防庁におられただけに、この辺りの説明はなめらかで活力がある）。まず、居室の天井を不燃化する。最近の窓は、形態・構造・性能・機能を分化しないと、解釈がむずかしくなってきた（例をあげて説明）。日本の窓は間戸（柱と柱の間に入れた戸）で大きいが、西洋の窓は石造で造った穴で小さい形となっている。その他……。

誌面に制約があり、ここでやめます。

（やまだ　おさむ／日本建築協会出版委員会副委員長）

日　時　平成2年12月14日（金）
　　開場17：30　開会18：00→閉会20：20
会　場　日本建築協会・会議室
　　（大阪駅前第3ビル・21階）
講　師　高木任之氏
　　（(財)性能保証住宅登録機構専務理事）
参加者　30名

建築デザイン会議'90KUROBE

——建築デザイン会議実行委員会

現代を象徴するテーマを次々にとりあげ、先進的なシンポジウムとして知られる建築デザイン会議も第4回を数えることとなった。今回のテーマは「時間」。建築デザインと「時間」の関係は、戦後日本だけでもメタボリズムや歴史主義的ポストモダニズムがそれぞれ違った形で扱われてきた。しかし、その間にも「時間」は変質し、加速度的にスピードを増し、もはや人間によってとらえることが難しいところまでになってしまったといって過言ではない。

一方、建築は時間を超越した存在であるという見方もあるが、我が国の歴史をみると、何世代にもわたって生きながらえた建築はむしろめずらしい。こうした歴史の中での永遠性とはどういうものなのか。5つの分科会を通して議論を斗わせた。

■第1分科会
「永遠性と瞬時性ーモニュメンタリティの行方」
ゲスト　坂本一成（建築家・東京工大助教授）

「時間」のテーマを「今」の問題として積極的に捉えた時にその「社会性」、「公共性」および「規範性」が議論された。「社会性」については、建築のもつ批評性と資本の論理を超えた建築家の姿勢に重点があてられた。「公共性」については、公共建築における公共性に対して、Commmercial is Social, or Publicの議論が展開し、「規範性」については、時代の流れの中での永続性を求める動きを象徴化している等々の活発な議論が展開された。

■第2分科会
「加速する時の中で—音・文字・空間—」
ゲスト　岡崎乾二郎（美術家）
　　立川直樹（プロデューサー）

経済の加速的状況の中で、建築はどのような形で残されていく事が可能かというテーマがゲストより出され議論された。

次に美術と建築との差異に関する議論がなされた。両者の違いは本来はクライアントの有無で成立したが、現在の状況の中では、建築デザインはより受け入れられやすくなって、美術の世界に近づきつつあるのではないかという意見が出された。

■第3分科会
「長生きする建築は可能か」
ゲスト　宮本隆司（建築写真家）
　　渡辺邦夫（構造家）

建築の長生きについては、オーナーがどう建築を考えるかも重要。25年たって一番美しくなる建築。自然と同じに美しく変化できる建築。死者同然の建築を生命維持装置をつけて長生きさせるのは間違い。建築家、ユーザー、施工の三者すべての愛着によって生きた建築ができる。

■第4分科会
「アヴァンギャルドの世紀末」
ゲスト　八束はじめ（建築家）
　　エリック・オーエン・モス（建築家）

討論は、モダニズムとモダニティの区別と、テーマの世紀末という用語の使い方の混乱の指摘があった。モダニズム初期のプロジェクトの中には、数十年の時間を経て、逆に現代の問題を有効に扱い得る可能性をもった企画が数多く残されているのではないか、というゲストからの発言があった。また八束氏からアヴァンギャルドの世紀末という命題に有効性があるとすれば、ポスト・アイデアリズムからモダニティを再検討することのほかにないという発言でしめくくられた。

■第5分科会「紡ぎだす時間ー演劇と建築」
ゲスト　太田省吾（演出家・劇作家）

時間と空間をその場で共有すること、こうして初めて表現行為が成立する。演劇と建築のこの点での共通性が、一連の議論の端緒となっている。討論は"地"の時間、空間の問題を軸に展開し、"図"との相互反転のテーマに向かう。"現在の意識化"の必要性が取り上げられ、人々がそれぞれの時間を取り戻せる建築（都市）空間はないのかという問題にたどりつく。

空間を模索する議論の中で、時間の堆積し人と関係なしに存続するPlace系の空間、人があって初めて現出する抽象的なSpace系の空間の考察に新たな構想の可能性が浮かんでくる。

以上、5つの分科会で各テーマをゲスト、委員、参加者等で討論され、最終日の全体会議で各分科会の報告がされた。



建築デザイン会議'90ＫＵＲＯＢＥ会場風景

建築の眼

ARCHITECTURAL EYE



西利本社ビル
設計 若林広幸建築研究所

岡崎甚幸
福井大学工学部環境設計工学科教授

國廣　勳
京都市住宅局建築指導部審査課長

西部明郎
綜合計画研究所代表取締役

大内　實
新井組建築設計部長

以上の4名の方々が1月号から6月号まで執筆。

精神病院見学記

幾つかの精神病院を見学する機会に恵まれた。長い廊下の両側に、６～７人の患者がいる大部屋がずらりと並んでいる。各部屋の隅ずみまで、廊下から見渡せる。畳部屋のこともあれば、ベッドのこともある。昼間から寝ている者、トランプをしている者、部屋の入口で我々を観察している者、どこから来たのとあとをついてくる者。

廊下の一端はだいたい大広間で、寝ころがってテレビを見たり、将棋をしたり、ソファーに仰向けになっている者などがいる。そしてこの大広間には看護婦詰所が面している。詰所の横には診察室等があり、その奥には興奮状態にある患者のための隔離室がある。

だいたい40～50人の集団がこの廊下を挟んで生活している。若い男だけ、若い女だけ、老人だけの集団のこともあれば、男女が混ざり合っていることもある。男女混合の方が患者に活気がある。回復も早いという。

開放病棟と言われて、廊下も雁行形に折れ曲り、その両側に個室を中心にした病室が並ぶホテルのようなものもある。そこでは患者は届さえ出せば自由に病院の外に出られる。そして若い男女の患者を中心に受入れている。廊下の折れ曲りにある小さなロビーでは若い患者のカップルが寄り添って座っている。ガラス越しに良く手入れのされた広い芝生が見える。　（Ｓ.Ｏ）

京都の景観と建築物の高さ（１）

京都の景観の原点は、周辺をとり囲む山並みと、市内を流れる河川、そして、平安京以来の碁盤目状の街割りである。これらを守るために、周辺部の保存、歴史的施設やその周辺部の保全・修景の努力が古都保存法、風致地区・美観地区等の制度を活用してなされている。

しかしながら、最近の増改築や不動産投機ブームで中高層建築の増加による景観の乱れが目立ってきたことから、京都の景観に関する多くの論議がなされるようになってきた。建築物の高さは、昭和25年の建築基準法制定以来、住居系20ｍ(後に住居専用10ｍとなった)、商業系31ｍに制限されてきたが、昭和46年に１種住専を除き最高の高さを制限する規定がなくなった。

京都では、景観の原点を守る必要性の認識にたって、高度地区制度による最高高さ制限を設けて今日に至っている。この最高高さは、市長が特別に許可することによって、制限をこえることがでるため、これまでに数十棟の公共的建物や、総合的に計画された建物が許可されている。(つづく)　（Ｉ.Ｋ）

普通の人

世界のため、国家のためとまで大げさでなくとも、せめて隣人のため或いは同業者のために奉仕したいと考える人と、他人に迷惑が掛かろうが、他人を犠牲にしようが、お構いなく自分のしたいことを押し通したり、自分の利益だけを求めようとする人との間には、これが同じ人間であろうかと思われるほどの差がある。前者が極端になると神のような人となり、後者が極端になると犯罪者となる。しかし大部分の凡人は基本的にエゴイスチックな行動を取りながら、それを恥じて懺悔をしたり、他人への奉仕をすることで良心を癒すのが普通であるが、我々日本人は宗教心に欠けるせいか、他人への奉仕を嫌ったり、偽善的行為として軽蔑する傾向がある。しかし、性善、性悪相半ばする凡人が奉仕活動をする時は性善の部分が働いているのであって、根っからの悪人が偽装のために善的行為を行うのと同一視するのは間違っている。人間として生れた以上、役に立ちたいし、役立っているのだという自覚は生きがいを感じさせてくれる。

ボランティア的色彩の濃い同業者団体の役員を引受けて精力的に活動している人が、人に迷惑をかけるダンピングのような行為した場合、そのことだけを取上げて全人格を性悪なりとして否定することは止めたいものである。　（Ａ.Ｎ）

感字から漢字に

これは先年中国を訪問した時の話である。中国本土では従来の複雑な字を我々日本人とは随分違う方法で簡略化しているので共通であった文字に大きな違いを生じている。西安の都市計画課の役人との交歓中に筆談になってしまった。躯体のプレハブ化という話題にこちらが躯体と書いても通じない。躯は解ったようであるが体は通じない。体は体と略されていると思いこんでいたのである。ようやく旧の字体を思い出した。又、道に迷ってその辺のオッサンに筆談したところ大変難しい字を我々がお習字で習った通りにはねるところははね、はらうところはきっちりはらって書いてくれ、亀らしいものを持っていたのでこれは何かと聞いてみたら旧字体のスッポンという字をきっちり書いてくれた。

我国は古来漢字を略した仮名文字を便利に使っているのに反し、この国の人たちは不便でも自分達の字を大切にしているのに感心させられた。我々は漢字の本来の意味も考えず、書くという作業さえしなくなり、感字から漢字にするための変換キーを押し続けるだけの時代になってしまった。中国にもパソコンやワープロが広く普及したとき、この国の人たちが小生と同じく漢字の書けなくなったことを嘆くのではないかと心配している。　（Ｍ.Ｏ）

OFFICE
PLEASURE

特集　オフィス・プレジャー
感性に訴えるオフィス・インテリア

空間の機能

ヴォリューム　武藤工業本社ビル
ブラウジング　リコー中央研究所
感覚空間　鹿島建設KIビル
情報管理　日本電気本社ビル
ハイクオリティ・エレメント　ダイナミックサポートチェア

空間の装備

コーポレートアート　福武書店本社ビル
緑被量　コクヨ東京、鹿島建設KIビル
ソフトサーフェス　セイコーエプソン塩尻事業所
カラーサーフェス　イトーキ銀座ニューオフィスギャラリー
タスク＆アンビエント　コクヨ東京

行動と心理

アイデンテティ　トマト銀行玉島支店
ステージ性　アサヒビール大阪支社
景観性　YKK50ビル
リフレッシュ性　クリスタルタワー
テリトリー　KOシステムテーブル、バイオテーブル

総論　これからのオフィスインテリア　内田　繁

解説　オフィスプレジャー15のキーワード　加藤　力

事例　オフィス空間における小さな仕掛け――オフィスワーカーの心のサポートシステム　福田由利・西川純一

本特集編集幹事会―インテリア・住宅計画分科会
石倉健彦、大森智子、大橋真由美、加藤力、神谷剛、
北浦かほる、駒田哲男、西川純一、福田由利、増地秀夫
レイアウト　神谷　剛

武藤工業本社ビル



アトリウム



レセプションルーム　　設計 竹中工務店　撮影 門馬金昭

都市が巨大化し、多様化する中、オフィスビルも他施設との複合機能化などで、オフィスアワーのみのものではなく、活気のある〝ファッショナブルな街づくりの拠点〟として注目をあびている。又、企業にとっても社屋の建設には自社の顔として、その企業のアイデンテティを強く表現する考え方が強まり、たんなるオフィススペースの確保だけにとどまらず、付加価値としてのビルデザインや、空間構成を求める傾向にある。

しかし、オフィスビルにＯＡ化が進む現在、機械との接触が拡大し、人間との対面情報が少なくなり、人間的な接触が減少している。これまでは、話し声と電話の音しかしなかったオフィスにＯＡ機器からの音や光や目に見えない熱までが発生し、オフィス環境の低下はもちろん新しい精神的・肉体的疲労をもたらしている。

働く人々が、この様なオフィスの中で、人間的な接触を深め、長期間にわたり創造性を持続させ能率を高めるためには、緊張とくつろぎをバランスさせる個性ある空間や、ゆとりのある空間を提供することが大きな効果を生むと考えられる。〝ゆとり〟を包人空間率であらわすと、住宅では非常に大きな数値となり、飛行機の中では非常に小さくなる。これは、永続性のあるものほど余裕あるスペースを持ち、小さいものほど一時的に利用する空間であるといえる。オフィスライフを、人生の最も大切な生活の一部と考えると、過去に指標化された均一なオフィス空間概念は崩壊を始め、永続性のある生活の場として、そこに精神的・文化的なつながりと、より快適に効率よく仕事をするのに不可欠な機能や空間を求めることになる。

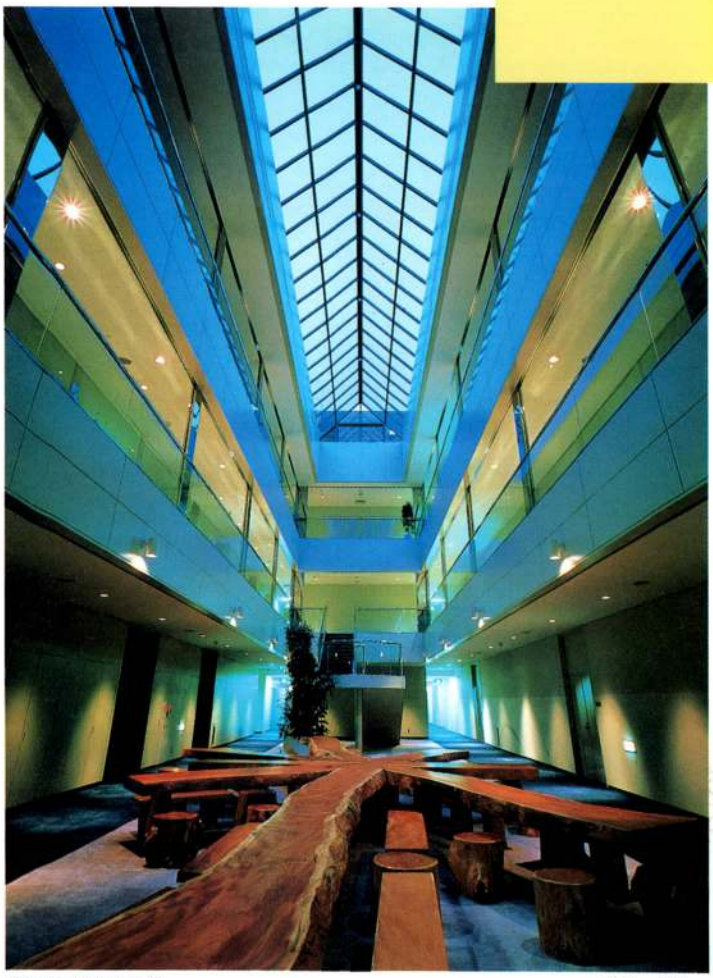
又、近年オフィスビルの複合機能化に伴い、新しい都市空間として登場したアトリウムは、室内の使われ方を限定しない魅力ある大空間である。この大きな吹抜空間は、透過性と開放性を持ち、一日の時々刻々の光の変化や、自然の姿を感じながら異種空間を結合させる中心となる。オフィスビルにこの様な空間を持つことは、快適なオフィス環境を目指す為の有効な手段である。

〝人が生活する。〟というのは単純な行為ではない。人が長期間快適に過せる条件とは一定のものではない。長期的に高能率化をはかり、より快適な生活の場としてのオフィス空間（ヴォリューム）を創造する為には、ＯＡ化によるオフィス機能の充実はもちろん〝リフレッシュ出来るゆとりある空間（ヴォリューム）〟・〝変化が可能なフレキシブルな空間（ヴォリューム）〟を考慮し〝積極的な自然（外部ヴォリューム）抱合〟をはかることが大切である。これらが、人と建物が相互にそれぞれの時を、極めて有効に生き続けることが出来るキーワードではないかと思う。

（宮下幹雄／大建設計）



食堂



コミュニティプラザ　　設計　リコー

一般にブラウジングルームが図書館などに設営される場合は、机を要しない程度の軽読書や、長時間の読書をしている利用者に息抜きの場を提供することを目的としている。位置的には通路に面した入口のそばや中庭に面した窓辺などであり、そこにゆったりとした椅子やソファなどを置き、くつろいだ雰囲気をつくっている。

〈ブラウジング(browsing)〉は、本にあちこちと気軽に目を通したり拾い読みをすることなどに比喩的に用いられているが、本来は蚕が桑の葉をあちこち食べたり家畜が新芽をかじるということを意味する言葉である。

近年のオフィスにおけるブラウジングの役割を、この本来の意味にかえって考えると、神経を集中させ緊張が連続する執務を一時的に中断して、くつろいだ姿勢で気分の赴くままに思いを巡らし適度な緩和の時間を持つことによって硬直・疲弊した感覚や頭脳の活性化や気分転換を図ることと言えよう。業務内容にますます高度な情報化・専門化が予測される現在、並行してブラウジングのための室やコーナー等をきめ細かにデザインしていくことが現在のオフィスインテリアのプランニングにおいて極めて重要なことは言うまでもない。

オフィスの居住性が論議される昨今ではあるが、ブラウジングスペースは幾つかの点で住宅における居間が備えるべき役割を共有しているようだ。ブラウジングスペースではヘッドフォンでの音楽を背景に窓からの景色を眺める、何気無く雑誌のページを繰る、数人で雑談しながら私的情報の交換をする、コーヒーを飲んだり場所によっては喫煙できたりする等、様々な行為が想定されると同時に、仕事上の成果を具体的に出すというような目的に対しては直接は“DOING NOTHING”であり、リラックスすることが前提である。従って、ワーキングスペースから遠過ぎず誰でも気軽に足を運べるような位置に配しながらも、通路やワーキングスペースから適度に独立・分節させた空間を作ることが必要であり、コーナーとして設ける場合でも視線をパーティション等で遮断することなどは最低条件と言える。

執務に対する緊張を速やかに解きブラウジングのための雰囲気を演出するための多様な試みはすでに国内外で見ることができる。空間のレベルでは、アトリウム内に設けることで吹き抜け空間を享受できるようにさせたり、建物内で最も良い風景が臨める位置や、部・課などの枠組を越えた出会いが期待できる位置に設けたりすることなどである。インテリアエレメントのレベルでは、くつろげる座りごこちのよいソファを始め美しいデザインのテーブル、アート作品やオブジェ、豊富なグリーンを置くことなどである。その他、音楽鑑賞や簡単な飲食ができるような設備の設置、色彩、照明、仕上げ材への配慮等があげられるが、いずれもワーキングスペースとの対比とバランスを十分に意識して構成することが重要であろう。

(大森智子／武庫川女子大学生活造形学科講師)

鹿島建設KIビル



コンクリートとガラスの空間に木の香りが漂っている。

設計　鹿島建設　撮影 新建築社

感覚空間の創造とは空間の快適性の追求であり、オフィスワーカーの行動や情緒、感覚までも考慮した、アメニティあふれる空間づくりを意味している。

質の高い感覚空間が造られている例として東京・赤坂の鹿島建設本社設計本部ＫＩビルのインテリアをあげることが出来る。ここでは設計の仕事の中で最も切り捨てられやすい打ち合せの意味が重視され、打ち合せスペースを主体にオフィスが計画されている。

そのハイライトが５階吹抜けのアトリウムである。熱帯系の植栽と池で構成された豊かな緑に、アトリウムのトップライトから降り注ぐ自然光を取り入れたリフレッシュ空間がコミュニケーションスペースに取られている。

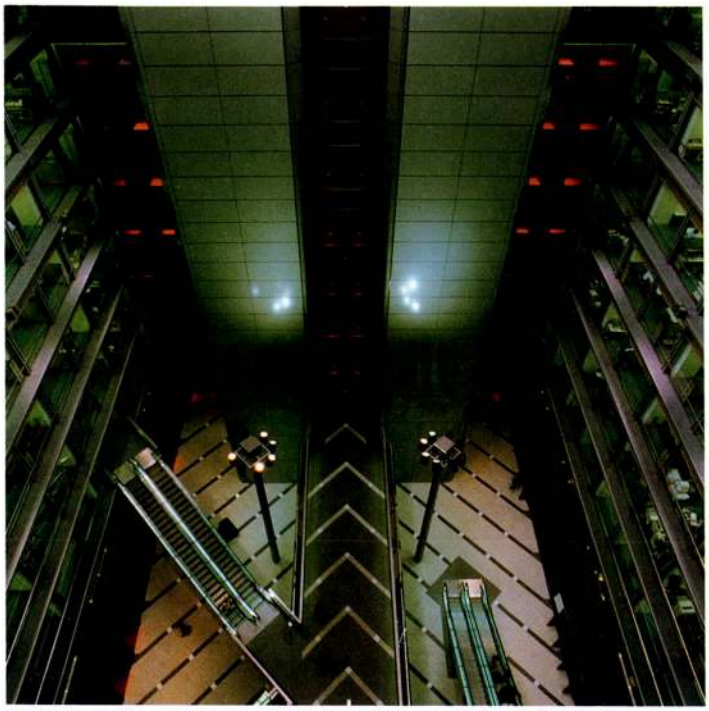
快適な音環境創造のために、アトリウムの壁面を特殊パンチングメタルとして吸音効果をあげたり騒音防止の設計がなされていた。また積極的な音の活用としてバイオミュージックによる環境音楽システムを導入し、噴水の音と共にアトリウムの植栽の間から流し、快い聴覚空間造りを目指していた。しかし、音環境の設計で特筆したいのは、アトリウムと周囲のワークエリアの間のガラス仕切りを撤去した効果である。アトリウムのかすかな人のざわめきがワークエリアに伝わり、それがかえってワークエリアとアトリウムのつながりを感じさせ、相互の空間に活気を生み出していた。人工的ないかなる設備よりもエコロジカルな聴覚空間が形成されていた。

さらにオフィスアメニティの一環として香り環境制御システムが導入されていた。香りがもつ人間の生理・心理に与える効果として、ストレスの解消とリフレッシュ効果があげられる。朝の出勤時には小鳥のさえずりのバイオミュージックと共に、空調機の香料ボンベから「ゆらぎ」のそよ風にのって、さわやかなシトラスの香りが供給されていた。

その他、アトリウム頂部の高温空気の排気やファンコイルユニットによるエアーカーテン効果など人間と植物の共存を基本構想とする温熱環境計画や、心地良い肌触り・快適な歩行感の得られる床材料、疲れにくい座作業など触覚や動作感覚も含めて人が快適に過ごせるための配慮がみられた。また、白を基調とする壁面にかけられた400枚以上の色彩豊かなリトグラフは、オフィスのどこに行っても人の目を楽しませてくれた。

要は、感覚空間の追求とは「人間らしさ」を求めることであった。現在、建築環境技術は従来の問題解決型から、より快適な環境を創造する新環境提案型へ移行しようとしている。しかし、高度な技術によって造られた人工的な自然環境が、本来の自然への願望をどこまで満たし人間らしい感覚空間となり得るのか、最も気になるところでもある。

（北浦かほる／大阪市立大学助教授）



アトリウム見おろし。1Fフロアーをエスカレータにより2FとB1Fが結んでいる。



アトリウム対面を見る。アトリウムを挟んでオフィスが向いあう。

設計 日建設計
撮影 新建築社

アトリウムが繰り広げる「有・無」の情報世界

高度情報化社会といわれる現代——生活に必要と思われる情報は、数限りなく私達の目の前を飛び交い、まさしく足元のそこここに転がっている——かのように思われる。しかし、本当にそうであろうか。今の私達の生活をより豊かに充実させてくれる本当に必要な情報が、この中にどれほど存在しているのであろう。

今、このことを、オフィスの“情報管理”という視点から考えてみる。こうしたテーマになると最近では、業務の効率化をはかるためのファイリングシステムの導入、光電子ファイルによるデータベース・マネジメント等のＯＡ化の推進、社内情報センターの整備などが、いきおい話題として取り上げられる。もちろん、こうしたオフィスのシステム化、機械化への対応は必要である。しかし、知的生産の場であるオフィスにおいては、入手された様々な情報に対し、その時々の必要性を的確にかつ迅速に判断できる環境づくりを心掛けることこそが最も重要かつ基本的な事柄であると言えるであろう。オフィスワーカーにとって「今欲しい情報が、今捜している情報群の中に有るのか無いのか」が一目でわかるよう、情報管理された状況は、一つの理想である。このテーマは、オフィスの内部空間の計画についても展開でき、そのような空間創出にプランナーが努力することは非常に大切なことである。つまり、オフィス内において自分の存在位置に対するアイデンティティーが感じられ、行きたい場所の方向が簡単に認知でき、捜しているものの有無が一目でわかる等々の基本的情報を的確に発信してくれる物理的環境をつくり出すことなどもその一つと言える。

写真は最近竣工した日本電気本社ビルである。この建物は、周辺への景観、風その他様々な点において、外部環境に対し配慮されたものであると共に、省エネにも寄与するよう計画されたアトリウムはその簡潔なデザインと非日常的な巨大さによって、質の高い内部環境を創り出している。可能な限り大きくガラス面を採用し、アトリウムに開放するよう工夫された執務空間は、その対面から眺めてみると、まるで“無声映画”を観ているかのような感じに落ち入る。整然としたオフィスの中を人のみが動き、全体が視覚情報のみで伝えられる光景は何となく哲学的である。ここに繰り広げられる「ある・ない」「いる・いない」の明確な情報世界は、オフィス空間における“情報管理”の基本原則を考えさせてくれるのに最もふさわしい一場面と言えるのかもしれない。

（西川純一／昭和設計情報サービス部主査）



動的メカニズムをもつ椅子

写真提供 コクヨ



動的メカニズム

たとえ、オフィス空間といっても、その基本となる空間要素は至極単純である。人間が居て、床がある。人間を支持する椅子があって、デスクがあれば作業は成り立つ。それにわずかながらのプライバシーを調整する間仕切りがあれば、それでオフィス空間の基本は成立をする。むろん、この他に良い空気や光、すなわち室内環境条件を整えて、情報に関する機器類を設置すれば、この他のエレメントはつけたしにすぎない。

要約すれば、オフィス空間のエレメントは椅子、デスク、間仕切りの３つにすぎない。

人間に最も身近なこれらのエレメントが、我が国では今までないがしろにされていた。オフィスワーカーにとっては最も重要な要素でありながら、建物である器をつくってしまえば後はおまかせで、安かろう悪かろうの物がまかり通っていた。ニューオフィス推進化が始まって、これらのエレメントにも、ようやく陽の光が当てられるようになった。

さて、エレメントの中でも特に事務用椅子の進展がめざましい。90年代はダイナミックサポートチェアーの時代だという。ダイナミックサポートチェアーは「無操作で背もたれ及び座面が随時、任意の位置で停止でき動的に体を支持することが可能な椅子」と定義できるものである。レバー操作なしで、椅子の背座が人体の動きについて回り、任意の位置でいつでも身体を支持することができるという、賢い椅子である。これによってオフィスの椅子は随分と快適性を増した。かって事務用椅子といえば４本脚、ビニール貼りでギコギコと音の出るような物を使用していた。それでも昭和43年の事務用家具のＪＩＳ改正で、一部カラフル、裂地貼りのものが出回るようになった。だが、相変わらず、安かろう悪かろうのものですごしてきた。

しかし、1980年に入って、椅子にかかわるメカニズムがずいぶんと進歩した。ＳＦロッキングやら、ダブルロッキングやらと様々な機構が取りつけられるようになった。また、安全性のため５本脚になった。やがて1980年代の後半に至って、ダイナミックサポートチェアーが開発された。デスクもこれと同様、きわめて高性能化し、様々なタイプのものが出まわり始めた。

さて、この様にしてオフィスのエレメントの快適性は増したが、オフィスプレジャーまではほど遠い。まだ椅子やデスクは押し付けであてがわれている。押し付けでなく、オフィスワーカー１人１人が、衣服を選ぶと同じように、みずからの作業、それに肉体と感性とに合ったものを、自分で選ぶ時代とならなければいけない。その時に始めてオフィスの快適性は、オフィスワーカー自身のものに帰属することになる。

（加藤　力／京都工芸繊維大学助教授）



エントランスホール　ステンレスモビール

撮影　西日本写房　設計 日建設計



エレベータホール

オフィスの中で「美に巡り合う」チャンスがあるとすれば、そこで働く人や訪ずれる人にどんなにか深い精神的な充足感を与えることだろうか。それは、日常性の中に潤いを与えるといった表面的な影響以上に、優れた美術品との対面において自我をとりもどすといった根源的な精神のリフレッシュを促すものである。こうしたアートに満ちた環境の中にオフィスがあれば、まさにオフィスプレジャーと形容するにふさわしい理想的な形である。その理想を「美術館の中にオフィスがある」というコンセプトですでに実現した企業がある。そこでは人間とその活動の所産である文化への愛情が基底となって、その企業の活力と将来へ向けての限りない創造性を感じさせるものとなっている。伝統的にインテリアの装備としてアートは必要不可欠のものであった。西洋の壁構造による大きな壁面を飾る油絵やフレスコ画やタペストリーをはじめ、日本では床の間に軸をかけ、置き物を飾った。オフィスにおいても応接室などには、絵は当然として用いられてきた。この従来は来客用に限られていたものを、ワーカーのためにも用いだしたところが大きな変化であり、さらにはこれに企業の姿勢といったメッセージを込める動きがでている。

応接室のように限られた比較的小さい空間に飾られるアートは、その取り扱いが容易だが、応接室からオフィス空間に出て、それも多数が用いられるようになってくるとまず、空間と合っているかが問題となる。

そこには絵の内容、色、形、大きさといったものが微妙に影響する。ことにオフィス空間の大きさに比して、絵が小さいというスケールのミスマッチ、アンバランスが頻繁に起こる。

次はコレクションとしてのテイストが問題となる。コレクションの数が少なければ好きなものを並べるといった対応でも問題は少ないが、数が多くなればそこにテイストがあらわとなる。目標を定めずコレクションしたものはバランスが悪く、費用をかければかけるほど成金趣味のみせびらかしに堕してしまう恐れが多分にある。空間にマッチしてはじめてアートは生きるというのがコーポレートアートの考え方で、従来の資産としてのアートとは一線を画するものである。そこでは空間の専門家である建築家、デザイナーのアートへの積極的な関与は不可欠であり、こうしてこそアートがCIからCA（コーポレートアート）へと言われるほどの役割をになう日が来ることが期待できる。

（駒田哲男／ＡＤ＆Ａ代表取締役）



緑が出迎えるロビー　設計 コクヨ



緑豊かなオフィス　設計 鹿島建設

オフィスに緑を

現在、我々の生きる世界は、スチール、ガラス、そしてコンクリート等の人工物に多く囲まれて構成されている。そこにおいて、我々は人工的な材質・色彩的、そして視覚的に多くの息苦しい対決の姿勢を強いられている。今日的オフィスの空間の状況では、まさしくそのような人工的・無機質的環境からのがれるため、将来に適合するオフィスのひとつの目標である、人間としての快適性の向上というファクターが、強く求められている。

緑被量とは、オフィス空間における快適性の心理的要素を、評価するためのひとつの指標であり、オフィス空間の床面積に対する緑の算定量を示す新しい概念である。これは、その量的拡大が環境向上を示す指標となるものである。

最近のオフィスビルにおいて、アトリウムの大空間に大きな樹木を植込んだ例が多い。これは、ビル内の人工的空間に、自然を持ち込むことによって視覚的やすらぎを与え、心をリフレッシュし、創造性、知的生産性を高める環境を生み出す試みである。そしてまた、その中での自然への回帰により、人間的やすらぎを求め、現代的ストレスの高まりの沈静効果が、期待されている。このように、オフィス空間に緑をとり入れる傾向が、憩とかやすらぎという人間の心理面において、重要な要素であるということが広く認められてきた。

緑の効用は、緑がもっているすがすがしさ、水々しさによって心理的やすらぎを与え、また緑に囲まれた空間や緑に覆いつくされた場に身を置いた時に感じられる心の落ちつきを与える効果である。心理衛生面では、植物を育てる作業療法は、心理安定効果があり、かなり古くから精神科の主要な治療法のひとつとして用いられている。またＯＡ機器のディスプレー画面を見つめ続けて、疲労した目を休めるためにも、緑の存在が求められている。

オフィスレイアウトにおいて、個人空間のプライバシーを確保するために、あるいはＯＡ機器等が並べられた機能空間を独立させるために、ローパーティションが多用されている。しかしそのままでは、区画整理されたオフィスの息苦しさからのがれることができないと思われる。緑のプランターが持つ、見え隠れする適度なプライバシーを作り出すパーティション機能を併用することにより、そこで働くオフィスワーカーのコミュニケーションを促進させる心理効果がある。

今後のオフィス空間の演出において、緑は、同時に光・音・香り等の環境要素の様々な新しい技術の導入によりますます魅力を増し、新しいアメニティの高い空間づくりの重要な構成要素として広く活用されることが考えられる。

（神谷　剛／竹中工務店設計部意匠課主任）



オフィススペース

設計　内田洋行・イトーキ　写真提供 内田洋行

「これからのインテリアは毛深くなる」と予言したのはサルヴァドール・ダリであった。が、実際は予言とは反対により硬くなってきている。家を一歩出ると道路のアスファルト舗装、駅のテラゾータイル床、ビルエントランスの石貼り床や壁、オフィスのプラスチックタイル床といった硬い材料に埋めつくされている。

都市においては、人工的な環境の中で生活が営まれ、その仕上材は快適環境を造るにあたって充分吟味される必要がある。しかしながらメンテナンスフリーや耐久性といった管理する側からの視点を重視し計画されるものは、人に対してやさしいものは極めて少ない。しかも生活の器としての環境を向上させるといった視点で総括的に計画をコントロールすることなどは誰れも出来ず、不毛の結果を招いている。環境改善の第1のファクターは床材にある。

床材は色とパターンで視覚に訴えるばかりでなく、歩行感で触覚に訴え、さらに歩行者の聴覚にも訴えるため非常に重要な役割を担っている。例えば、学校の廊下にカーペットを敷くことは、廊下で走り回らないようにという掲示を出すことの何倍もの効果を発揮するといわれる所以である。

オフィスの中を見回すと床のプラスチックタイルに加えてモルタルやボード下地に塗装仕上の壁、ガラス窓、スチールのキャビネット類、さらにはスチールデスクといったハードサーフェス（硬い表面）のものに囲まれてワーカーは働いている。こうしたインテリア環境の中ではアットホームなくつろぎや和らぎといった心理的な潤いを柔らかいもの――ソフトサーフェスの中に見出す。具体的には、カーペット・パーティションの張り布、家具の張り布などの繊維製品がソフトサーフェスを造り出す。これら繊維製品が居心地良さの感性に訴えるのは、私達が布の衣服を身につけていることや布製の寝具に身をまかせていることに関係する。身体に一番近い衣服環境同様、次に身体が接する床や家具といったインテリア環境には繊維製品が心地よく、ソフトサーフェスはインテリアの居住性・快適性を大いに高める。それゆえオフィスプレジャーを創り出すひとつの手段として、ソフトサーフェスを増加させる方法が考えられる。

まずオフィス空間では主要な仕上材である床材をフルカーペットとする。次にローパーティションを布貼りとし、適度なプライバシー調整に加え、静かな環境を造り出す。大きくて硬い壁面にはタペストリーが掛けられ目を休ませると同時に壁からの冷熱輻射を防ぎ、また空間の吸音の役割も果たす。家具はビニールレザーではなくより柔らかな布張りとし、机・テーブル等で身体に触れるところはソフトパッドが付いている。パソコンのキーボードまでもソフトクッション付きで指にやさしい。こうした光景がありふれたものになり、ダリの予言がやがて実現する日が待ち望まれる。

（駒田哲男／ＡＤ＆Ａ代表取締役）

イトーキ銀座ニューオフィスギャラリー



ミーティングスペース　　設計　イトーキ



ギャラリー

「オフィスに色気を」というのが最近のインテリアのキーワードである。オフィスにおいて適切に用いられた色彩は、快適性の向上に効果的であることは広く認められていても、実際にそれを有効に生かしている例は日本では甚だ少ない。ましてや「オフィスプレジャー」といわれる域には、ほど遠い現状である。その根本的な原因は「誰れも全体の色彩計画に責任をもっていない」ことにある。いわゆる専門家の関与する余地なしに決められてきたインテリア環境色、具体的には床・壁・天井・家具及びカーテン・ブラインド類の色は、つまるところ無難な色、グレー・アイボリー・木目が大半である。効果的な色彩すなわちカラーサーフェスの取り合わせを提案するには、計画を立てるエネルギーに加えて勇気がいり、また責任を伴う。専門家以外だれもそうしたリスクを請け負わないのは当然のことである。色には「好き嫌い」の判断がはげしく、嫌いな色の提案を行ったために、それまで営々と築いてきたクライアントとの信頼感がにわかに揺らいでしまうといった危険さえある。このため、色よりは材質感でインテリアを処理するといった、無難で伝統的な手法に頼りがちとなり、色の持つ役割を十分に発揮させるための探求が行われていない。その結果、責任者不在の快適性向上に寄与しないオフィス空間があふれている。これからのオフィスはこうした単調さ・無味乾燥さを打破し、心地良い色彩対比のある空間、いきいきとしたカラースキームのある空間で、働く人々に潤いを与え、愛着と同時にプライドを持てるような環境づくりが求められている。

従来、事務室の床はプラスチックタイルで派手な色は安っぽく見えて使用には耐えられず、グレーやアイボリー系統しか選択の余地はなかった。ところが、カーペットの場合は、こうした派手な色でも繊維製品特有の色に深みがあり、嫌味のない色づかいができる。

また、ローパーティションは、ともすれば雑然となりがちなオフィスの風景を調節する目かくしとなり、色彩効果を発揮する格好のカラーサーフェスとなる。

さらに、豊富な色柄が駆使できる壁装類と壁面塗装仕上の普遍化は、従来に比べてカラーサーフェス量を飛躍的に増大させ、その分だけインテリアにおける色彩利用の醍醐味を発揮できる下地は整ってきた。これからは、大担なカラーサーフェスの取り合わせでオフィスに「色気」を付ける専門家の出番が待たれている。

（駒田哲男／ＡＤ＆Ａ代表取締役）



タスク&アンビエントの執務スペース

写真提供 コクヨ

空間のメリハリ

タスク&アンビエント（ＴＡＬ）照明が、オフィスで使われ始めたのは20年以上もさかのぼる。

当初は、省エネが主たる目的であった。天井高のある欧米のオフィスでは、天井からの光は手元までとどかず必要な照度がでない。そこでタスク（仕事）をする箇所だけを照らし出す。残りの必要な光で周辺（アンビエント）を明るくする。当然、出るべくして出た照明方式の工夫であった。だがＴＡＬが本当に効果を発揮したのは、20年も経ってからの1980年代である。オフィス業務にＶＤＴ作業が取り入れられるようになってからのことである。

たとえ、カバーを付けたところで、天井照明ではＣＲＴディスプレーに光がうつり込みグレアが生じる。ＶＤＴ作業がとられる様になって、オフィスでは、視力低下や眼の疲労など労働障害が発生しだした。そこで、ＴＡＬ方式が注目されるようになった。天井面に照明を付けなければ、ＣＲＴディスプレー面での反射グレアは生じない。

しかも、ＴＡＬ方式は、手元のあかりによって水平面照度は上がっても、垂直面照度が低くなりＶＤＴ作業には好都合である。生理的効果の他にも心理的にも、柔らかな光で構成されて、目に優しい。それに、なによりも空間に陰影が出てメリハリが生じた。

もう一つ、欧米のオフィスでは、もともと個室が多かった。パネル方式でＴＡＬを用いれば、個室が無くなり省スペースにも役立つと、一石四鳥の効果が期待できる。

欧米では、こうした理由でパネル式ＴＡＬ方式が、瞬く間に普及した。

だが、案外日本人はこのＴＡＬ照明にはなじめない。作業の場では日本人は、均一照明が好みで、部屋の部分部分に影が宿ったり、うす暗い箇所があるのは嫌がられる。隅々まで一定に明るいことが好まれて、ＴＡＬが普及しない。オフィスでは、陰影礼讃とはなかなかいかない。障子の拡散光に慣れ親しんだためという説もあるが、本当のところは慣れによる。あるいは、日本人は欧米人に比べグレアに対し、２倍ほど感受性が鈍いともいわれてる。天井からふりそそぐ照明の光にも、生理的に強いのかもしれない。

だが、タスク&アンビエント照明の採用によって何にも増して空間に気持ちの良さを生じさせることがある。それは天井面がスッキリと何もなく納まることではなかろうか？オフィスでの人間の視野の中には、案外天井面の多くが占められる。この範囲をＴＡＬ方式はスッキリと処理して快適な空間を形づくってくれる。

（加藤　力／京都工芸繊維大学助教授）

トマト銀行玉島支店



ロビースペース　天井照明にもＣＩが表現されている。

設計　梅田正徳　写真提供 トマト銀行

トマト銀行のロゴマーク

このところ社名変更が多くなった。社風・社是といった会社の方針を強く出した時代から、分かり易く好感度をもつ社名が求められ、企業としてのアイデンテティが視覚的なロゴに求められている

テレビや新聞などで話題を呼んだ「トマト銀行」のＣＩがその良い例である。銀行は今まで特にデザインレベルの低い業種であり、権威や格調の高さなどに固執していた。しかし、最近やっとその殻を打ち破り他の商業空間と同じように生活者のニーズの多様化に対応するようになってきた。

親しみやすく、庶民的をＣＩの主旨としたトマト銀行では「にんげん大好き」のコーポレートスローガンを掲げて、シンボルマークデザイン（勝岡重夫）からキャラクター（沼田望）、ネーミング（かしわ哲）、女子行員のユニフォームデザイン（コシノヒロコ）、店舗内装デザイン（梅田正徳）、コーポレートソング（小椋桂）に至るまで各々一流のデザイナーを起用して総合的なＣＩの展開を図っている。従来からこの銀行では各店舗のデザインを重視し、街のランドマークと考えるなど、経営陣にデザインというソフトへの理解とそれを活用する姿勢がみられた。

インテリアにＣＩを導入したトマト銀行初の店舗は1990年４月に新築移転した岡山の玉島支店である。建築は日建設計によるもので、その後８店舗が続いて新装された。

このインテリアデザインの基本コンセプトは「親しみやすさ」で、時代にマッチしたやさしさや暖かさを感じさせる曲線が多用されていた。またロビースペースの商業空間としての機能と営業スペースの見せるオフィス空間としての機能が、半円形のカウンターをはさんでバランスよく演出されていた。色彩計画はグレーイッシュとトマトの赤で統一され、スマートな雰囲気の中にも親しみやすさが表現されており、トマト銀行のアイデンテティが見事に生かされていた。さらに将来の高度技術情報化社会に先駆けて、エレクトロニクスバンキングのイメージが24ドットのコミュニケーションボーダーで表現されていた。

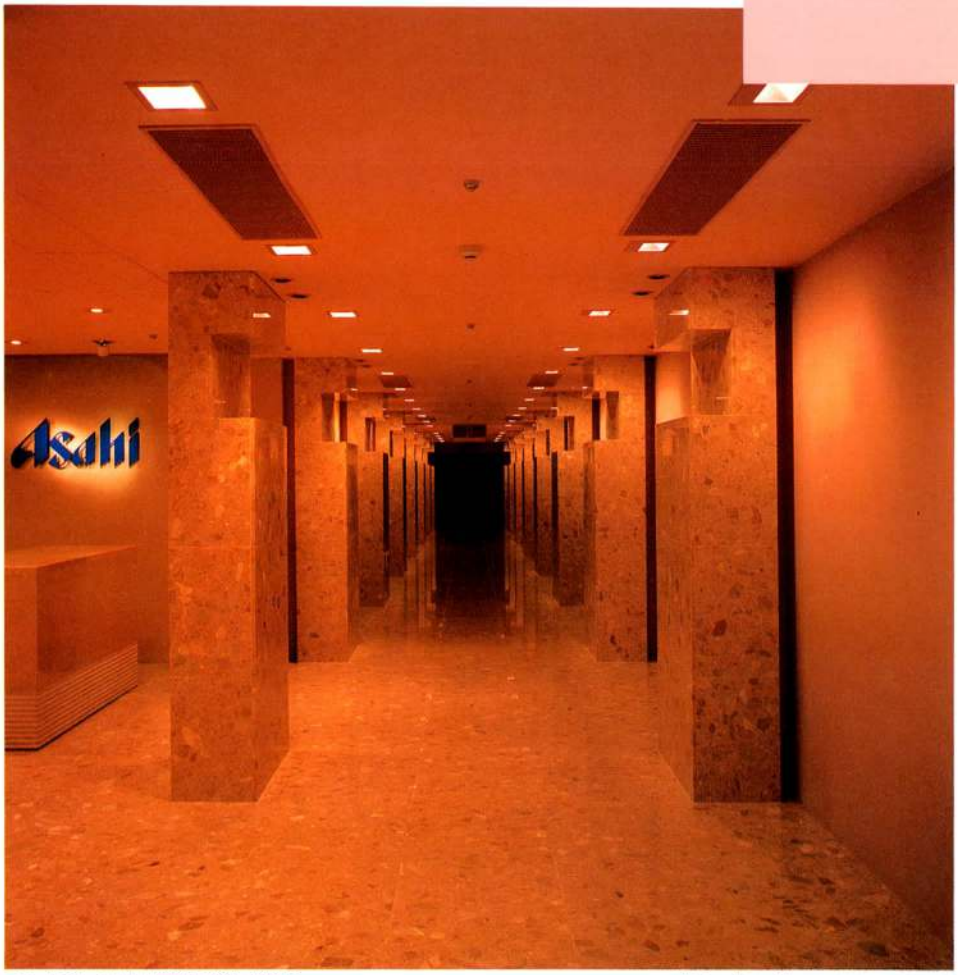
こういった一連のＣＩ効果は抜群で、知名度は全国はもとより国際的にも大きくアップした。客の反応は地元の岡山より東京など、都会の方が大きかったと言う。話題性だけでなくそれに伴った業務内容の伸びも大きく、顧客、資産内容とも３割程度上昇している。

インテリアデザインも自己主張の時代となった。今や、インテリアに求められているのは快適性や美しさだけではなく、そのアイデンテティである。とくにオフィスはオフィスワーカーにとってもそこを訪れる外来者にとっても、企業のアイデンテティがどう生かされているかが大きな意味をもつところである。

（北浦かほる／大阪市立大学助教授）



受付から上階に通じる自社専用階段



エントランスから執務室に通じる廊下

設計　内田　繁　写真提供 イトーキ

演者と演出者間のゆれがオフィスワーカーの心にはりをあたえる

「オフィスビルにおけるステージ性」というテーマは、極めて今日的課題である。50～60年代、映画・テレビの中のアメリカ文化に、人はカルチャーショックを受けた。映像の世界は、手に入れたい、味わいたい、行きたい、主人公の様になりたい、何々したいとＷＡＮＴの世界が広がっていた。人は直向きに幸福を目指し、海外からの「金持ち日本」という言葉で立ち止まる。禁欲的に青い鳥を探し求めていた人は、豊かさの実感もなく戸惑う。

その中でＯＬ達は、本を片手に海外旅行・ショッピング・ハイファッション・グルメ・カルチャーセンターと、チャレンジを試みる。暇人の時間潰しと嗤っていた徴候がいつしか幸福の尺度を根底から揺さぶる。物質的贅沢、そして今やそれが、一般的素養となりつつある。人々の意識がメタモルフォーズ。

人はゆとりある生活を希求するが、飛躍的経済発展は、心に描く牧歌的ゆとりは許さず、24時間都市・24時間オフィスワークと囁かれる時節となる。生活の中に遊びをと人は知恵を絞り、生活時間の大半を過ごすオフィスが関心を集める。折しも技術革新による合理性からインテリジェントビル、快適性からアメニティビルが建設され、空間の魅力に人々は気づく。

訪れたアサヒビールのオフィスは、今迄のテナントビルにおけるオフィスという通念を越えており、ＥＶを降りると、ビルの中のビルに対面した感がある。テナントビルでは一般に上下階の移動はビル共用のＥＶが使用される。その為、訪問者は入った社内から社外へ出されるように感じる。ここでは、受付から上階への通路として、デザイン化された自社専用階段がある。この階段は、上がるという行為に少しスリルが伴い、（見る・視られる）に対する心地よい緊張感を、案内者・訪問者に生む。その緊張感を共有することが両者に、親近感を抱かす。執務室に通じる廊下にもインテリア配慮が見られる。廊下は執務室との異空間性を生み、均質空間のもつしらじらさが消えていた。そこには無表情の圧迫感ではなく、一つの物語が生まれている。

昨今の映像と人との関係に、一つの傾向がある。虚構の世界であろうと、ニュースのような現実の世界であろうと、人々は、“私”として参加している。現実と映像の中の世界を自由に出入りしその場を演じている。俳優であり、観客であることを（見る・看られる）という現象の自らのシナリオで遊び、単調でストレスの溜る日常へのカンフル剤となす。

人は空間のもつ演劇性というステージの中に、自らの役を見つけることにより、単調な行動も遊びと変え、心の糧としている。

（福田由利／アトリエ・ドウ代表取締役）



インテリアのランドスケープ　　設計　YKK50ビルプロジェクトチーム

オフィスインテリアは都市だ！

オフィスビルの基準階計画は、幾層にもわたっての天井付「人工土地」を生みだすことに他ならない。コアを設定し、あとはできるだけフレキシビリティーのある執務スペースという人工土地を創り出す。
それぞれの企業や組織、業務や職種の特性に応じてどのようにも使いこなせる空間を計画するのかオフィスビルの基準階づくりの技である。

だが、現実的にどのようにも使えるフレキシビリティー溢れるオフィスの基準階は、そうなかなか生みだされるものではない。
モジュールで規定され、当然、敷地条件等で執務スペースの巾や奥行寸法は、限定される。

したがって、この規定された人工土地としての執務スペースを、どのように無駄なく効果的に利用するかが、インテリア計画であろう。オフィスインテリア計画のポイントは、実はそこに在る。

オフィスのインテリアは、執務スペースにあって、まず通路スペースをどのように確保するかで始まる。街と同じで執務スペースの通路は、大通りもあれば小道も必要である。

次いで、打合せコーナーやＯＡ機器などが設置されるヘビーデューティゾーン。

或いは役員ゾーンや、更衣室などが含まれる厚生ゾーン。会議室やコンピューター室のように、天井までの間仕切り壁が必要とされるゾーンもある。

さらには、一般執務と管理職のスペースのゾーン分けも、考えなければならない。これがゾーニングの作業である。

ゾーニングは都市計画で言えば、用途地域を定めることに似ている。ゾーニングされた箇所にどのようなタイプの間仕切りを設けるか、人口密度をどのようにするかなどの計画は、容積率や建ペイ率を定めることに似る。
オフィスワーカー１人１人のワークステーションは、さしずめ１戸１戸の住戸にあたる。
つまりオフィスインテリアは、都市計画そのものである。快適なインテリア環境を維持する為に、ある場合には建築協定や緑化協定に似た、ルールづくりも必要である。

さて、オフィスインテリアが街づくり、都市づくりと同じであれば、都市景観という言葉があるように室内景観を考えなくてはいけない。

日本のオフィスインテリアはまだ、景観性という観念にはきわめて乏しい。どこも、皆同じ室内景観で個性がない。個性がない以前に平坦で均質的である。起伏や凹凸に欠け、いずこも同じ漠然とした印象しか与えない。

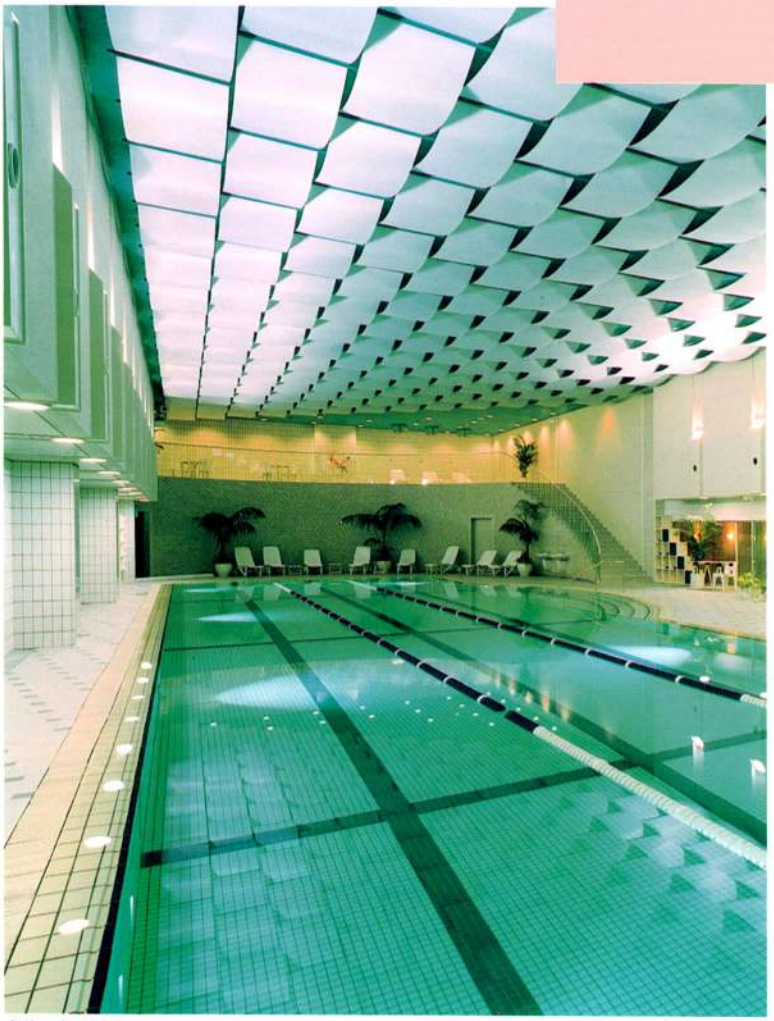
オフィスインテリアの中にも、ケビン・リンチのいうランドマーク（目印）に相当する要素があり、パス（道）、エッヂ（縁）、ディストリクト（地区）、ノード（節点）などがあるべきであろう。

オフィスインテリアがもっと個性を持つためには、こうした空間のイメージを形成する装置を取り入れる手法が必要である。

（加藤　力／京都工芸繊維大学助教授）



クリスタルビルの社員食堂



クリスタルビルのアスレチッククラブ　　設計　竹中工務店

波リズムがつくる開放的安らぎ

あるＴＶ番組で、“肩凝り”をテーマに、日本とオランダとの比較していた。その中でＯＡ機器に向かうオランダのオフィスワーカーは「肩凝りはありますか？」との質問に、「いいえ」と笑顔で答えていた。取材に同行した日本人指圧師の検診でも肩凝りの兆候さえない。この国では肩凝りという言葉はなく、ましてやほぐす道具もないとの話。日本でワーカーに、同じ質問を向けると、大半が、肩凝りを訴えるだろう。肩凝りは身体的・心理的ストレスに因ることが多い。オランダでは、一人当たりの執務面積が広く、その上に時々ドクターが派遣され、椅子の正しい座り方を指導している。道具の正しい使い方の指導を通して、ストレスを生む原因の排除を心掛けている。

高湿度の日本的風土を考慮しても、積極的なストレス解決策が必要である。創造性を必要とされるオフィスワークでは、ワーカーの心身の健康が問われる。

写真は、クリスタルビル内にある、アスレチッククラブと社員食堂である。従来なら床面積の賃貸率重視の設計となるテナントオフィスビルにおいて、アメニティの積極策としてこの施設は試みられている。38階建のビルの地下にあるアスレチッククラブは、基本的にはビルのテナント対象の会員制である。水の美しさを強調するブルー主体のデザインは、執務室のインテリアと異なり解放感が漂よい、また、布を用いた天井の波と水面の波は、互いに綾をなし、リズムを奏でる。浮遊的空間でのプレイは、ワーカーのリフレッシュ効果大であり、米国では、水泳がオフィスワーカーの一つのスティタスである。

21階にある広い社員食堂は、大きい窓越しに大阪城公園の眺望を捉える。従来、天井は、設備機器の数が広さに比例する。広大化したオフィスビルでも、一般に吹き抜け以外は天井への拡がりはなく、圧迫を感じることさえある。陰陽のリズムを持つ天井は、水平的広がりと呼応し、浮遊的開放感をもつ食空間を演出する。

現代的疲労は、睡眠でとれる肉体的ストレスではなく、精神的ストレスによる。内山氏（筑波大学名誉教授）の説によると、その対策として三つの方法がある。①受容法。感情・思考のコントロールによる心の安定を図る。（座禅・ヨーガ・瞑想等）　②カタルシス法。ストレスの発散。気の合う友人との談笑。③プレー法。スポーツ・ゲーム・リクレーション・ホビー等の遊びによる気晴らし。アスレチッククラブはプレー法、社員食堂はカタルシス法である。受容法としての心の安定に、思わぬ効果を発揮しているのが、一定の波リズムを持つ天井のデザインであろう。

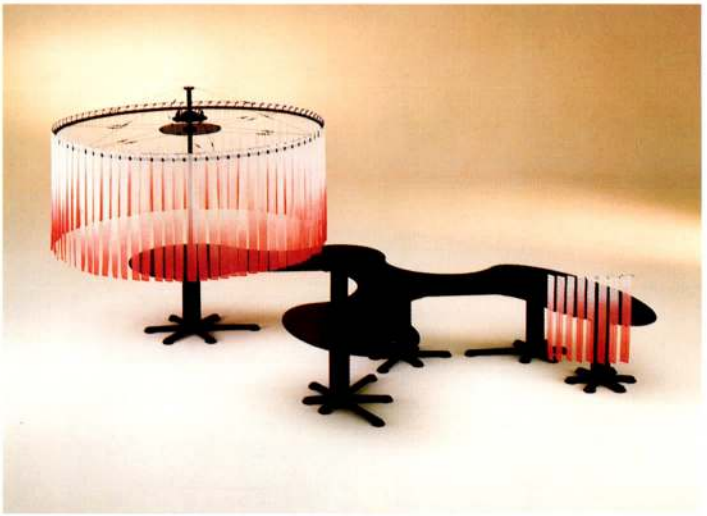
天井の繰返しによる陰・陽のリズムは限界を感じさせない空間を演出し、その空間での漂いの中でオフィスワーカーはリフレッシュしている。

（福田由利／アトリエ・ドウ代表取締役）

KOシステムテーブル、バイオテーブル



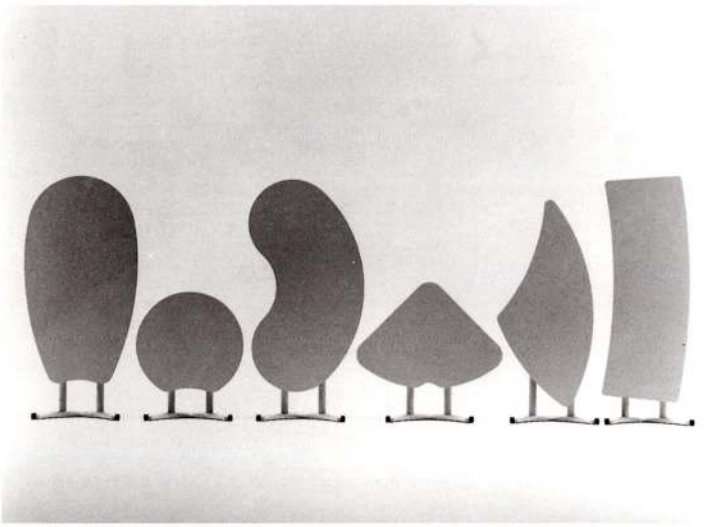
KOシステムテーブル



バイオテーブル



KOシステムテーブル　写真提供 コクヨ



バイオテーブル　写真提供 イトーキ

グリッド状のプランニングの上に柱が連続するという均質空間の中に可動性を持つインテリアエレメントを用いて執務にふさわしいテリトリーを機能と表現の両側面から創出することは、今日のオフィスインテリアのプランニングにおける基本的課題の一つである。

＊　　＊

このテリトリーについての課題に関わる議論が登場したのは、1960年代の初頭、欧米のオフィスランドスケープの分野においてであり、適切なコミュニケーションの実現やワーカー自身のプライバシーやアイデンティティの確保等の点から検討され、様々な具体案が実現された。ドイツのクイックボーナーチームの提案は特に著名である。

しかし、これらの試みは何よりも徹底した直接的効率追求を目標に情報のフローを空間化することが主題であり、当初はテリトリーに関する事項について使用者側からの十分な満足を得ることはできなかったようである。以来、オフィスプランニングにおいては多様なレベルでのスムーズなコミュニケーションと自己をオリエンテイトする上で欠かせないアイデンテティの創出のための方法が、高度に情報化・専門化された組織の大規模化が進行する時代の方向性に対応して必然的に求められてきた。

このことに対する解答として、過去の成果と反省を踏まえ、ケビン・リンチが提示した都市空間の知覚認識についての論理の応用やヨーロッパの幾何学庭園や風景式庭園のデザイン手法の参照によるプランニングが試みられている。両者とも、量産のインテリアエレメントと共に特定プロジェクトのためにデザインされた記号的な装置を組み合わせてテリトリーが自然に認知できるような空間構成を目指している点が共通である。

＊　　＊

さて、ＯＡ化を契機に国内においてテリトリー性を考慮したインテリアエレメントが企業における生産のベースに乗るまでにはかなりの時間を要したと言ってよい。この点でも欧米に遥かに立ち遅れた日本のオフィスインテリア事情が顕在化するのであるが、ここにあげた〈ＫＯシステムテーブル〉及び〈バイオテーブル〉は着実なコンセプトに基づいてデザインされたものである。前者は、多様な連結・配置に際し個人のワークステーションに必要なプライバシーのためのスペースとグループコミュニケーションに適切なスペースの重なりのバランスが調査・実験によって検証されている点で評価される。後者は、曲線によるユーモラスな形態に加え、日本的発想によるノレン・カキネのオプションを用いた独特のテリトリー表現に特筆すべきものがある。

（大森智子／武庫川女子大学生活造形学科講師）

総論 これからのオフィスインテリア

内田　繁

オフィスを取りまく状況

東欧を含む共産圏の崩壊や世界の地域格差は、消費経済市場の問題であり、情報流通の問題であった。もちろんそれほど単純な話ではないが、情報の不足が国家的存亡の危機を招いたことにかわりはない。現代社会がそれほど高速化しているということだろうし、さらに同時化しているということでもある。

ひとつには経済環境の不可視的状況がさらに進行し、複雑化し、農耕時代ならまだしも、現代先進国にあっては、行動判断のための情報そのものの価値が飛躍的に上昇したことがあげられる。もうひとつには自由競争に支えられる集団の自己調整機能が軽快なフットワークを必要としたことがあげられるであろう。結局、人間社会はそれほどギリギリのところまで、計画あるいは予測された状況の中で活動しきれるものではないということだろうか。ひとりひとり、ひとつひとつの団体が取り巻かれる環境を、危機的状況を、それぞれに補足しあって、ホロニックな総体として日々再生しているわけである。すでに大きいことが安定を保証する要因ではない。

文明論的パラダイムの転換といってしまえばそれらしいが、結局のところ、考え方や認識、意識が変わったのであって、それにともなった行動基準が転換したわけで、判断基準がターニングポイントを迎えたのである。言い換えると、集団活動から個人の生活にいたるまで、工業化社会で慣れ過ぎた物質信望型の価値基準が崩壊し始め、もう少し無形的で、人間が介在しなければ成り立たないようなコトにこそ価値評価が高まっているといえるだろう。それを一言で「情報」といってしまえば、わかるようでわかりにくい話になってしまうが、あながち、情報に関するハード産業ばかりが発展しているわけではないだろう。

現代は、昨日売れてたものが、今日も売れるとは限らないし、同じものがいつまでもあるとは限らない時代である。選択肢の数こそ多くなったが、選ぶことが強制される時代にもなった。過剰な多様性はかえってそれぞれのアイデンテティを表層的な事象にすり替えてしまっている。多少ネガティヴな言い方ではあるが、不確定な明日と本当の味方を判断するだけのデータはいつもあるとは限らないということだろう。そこでは国家にしても企業にしても「見えない未来」に向かって、グローバルな情報のネットワークを構築しなければならないのは必須である。

オフィスはその重要性を代表する拠点であり、現代的生産の現場である。かくしてオフィス空間は企業の表舞台になった。世はオフィスの時代である。

オフィスにおける生産性の向上

では、企業の経営者側にとってオフィスに対する見解はどうなっているであろう。現在、企業にとってオフィス論議の中心は、知的生産性あるいは情報創造性をどのように向上させるかであり、企業の関心は非工場生産における生産性の問題に集中している。

これは、今後の企業の生存は、知的資源を最大限に活用できるか否かにかかっているという認識であり、機械化によってではなく、テクノロジーと人的資源によって生産性の向上をはからねばならないという見方である。そして必要となるのは、肉体的労働力ではなく、個人や組織の情報ネットワークであり、データを正しく解釈する知識や行動であり、そのためのマン＝マシン・インターフェイス、組織体制や空間などの労働環境を整えねばならないという論理である。

簡単にいえば、いままでＯＡ機器の導入などハードウェア先行型で進んできたオフィス改善が、それを使用する人間との一体化の思考の中で模索するべきという思考に変化してきたわけである。しかし実際には、全体の投資額に見るほどの効果が獲得されているとはいえないのが現状であろう。本来、

オフィス生産性の向上は、個人の資質をいかに発揮できるかということと、企業理念をいかに具体化できるかということの両方にかかっている。人間と機械(道具)というテーマもさることながら、組織と環境とインテリジェント化を、経営と個人の両方から本格的に検討されなければならない。

オフィスの変革

ともあれ、最近ではオフィスの空間や時間の制約状態が改善される動きが目立ってきている。もちろん、これにはオフィススペースも労働力も不足しているという日本的問題による、人材確保やスペースの有効活用などの意味合いも含めた必然的要因、または労働者側からの細かな欲求の実現もあるが、主に先にあげたような経営者側の認識が変化してきていることに基づいているといえる。

本来の意味でＣＩがそうであったように、むしろオフィス改革はそのまま企業改革であり、オフィス空間がそのまま企業姿勢であると考える方が解かりやすいのかもしれない。人間にしても、けっしてＯＡ化やカラーリングだけで自由に働けるものではない。いずれ、人間や組織にとってオフィスは、もっと多様で自由な空間と機能をもつことになるのである。そしてそこには多様性だけでなく、高い質も同時に要求されてくるのである。

欧米との比較のみならず、まだまだ日本固有の課題が山積みされている現在、やみくもに技術やハードウェアの革新に進むのではなく、デザインや組織運営に関わるソフトウェアの深い理解を推進するべきである。これは純粋に戦略的視野の重要な範疇であり、企業や労働者個別の問題なのである。そして、人間の行為と心理が、空間の表情と機能の設定と、どういうバランスでコントロールされるのかが問題なのである。働きやすいオフィスとは、結局、気分に還元されるのである。

インテリアデザインに求められるもの

では、インテリアデザインに何が可能であろうか。まず、前提として問題なのは、「デザインという概念」がまだまだオフィスには浸透していないということである。デザインということを理解し、判断するだけの情報や素地がなされていないのである。必要なのは、オフィスデザインの専門化ではなく、インテリアデザインのオフィス化である。

オフィスにおいて、デザインとは総合的な行為であり、部分であって全体である。各分野の開発と企業個別の問題、人間心理や特性、現代的状況を結び付け、オフィス空間を特徴づけることができる行為である。そのことがもっと意志決定の機会において理解されなければならない。現代はデザインの力を正確に認知する基本的認識に立って始めて、時代に適合する健全で生き生きとした企業を表明することができるのである。オフィスにとっても社会にとっても、デザインとの関係がもっと深いところで密接になってきた。そんな時代ではないだろうか。

事実、空間計画への姿勢が曖昧な場合、新しくはなったが、結局、画一的オフィス空間になりかねない。デザインを単に部分的・表面的行為ととらえがちな傾向もあるが、現実的にオフィスの付加価値は、デザインへの考え方に左右されるといっても過言ではない。むしろ建築も含めて空間デザインは一種の資産と考えるべきである。

空間ということと、デザインということの現代的真価を、いま、改めて考え直すことが必要である。実は、そのことには、いまが一番いい季節なのかもしれない。オフィスのインテリアデザインはまだまだ始まったばかりなのである。

また、次に理解すべきことは、「オフィス・デザインはひとつではない」ということである。オフィスの典型はありえない、ということであり、デザイナーにとってもけっして一般論では成り立たない、ということである。つまり、常に同じ出発点に立つことは不可能であり、常に物件単位のスタンスをもたねばならないのである。どの企業のオフィスをデザインするのか、あるいは戦略上、どんな目的をもってデザインするのか、あるいはそこにどんな機能を働かせるのかなど、それぞれ企業独自の個別な問題から出発しなければならないのである。

住宅や商業施設がそうであったように、いまやオフィスは、それぞれのスタイルを最良の方法で空間化する時代に入ってきたといえる。もっともっと個性的なアイデアの出現があってよい。世に同じオフィスなどはない。

さらに、デザインの大きな役割として、「企業個性の表出」がある。

先述したように、現在のオフィス改革は、一方では組織・経営改革とファシリティマネージメントの確立の方へ進展し、もう一方ではエルゴノミクスとインテリジェント化の方へ進んだ感がある。つまり、体制改革と効率化である。確かにそれも重要で、必要なノウハウも多くある。しかしそのことによって、企業理念や個人の個性、ワーキング・スタイル、地域性、現代性を代表しているオフィス空間がいったい幾つあるだろうか。企業姿勢や独自性を表現しきっているオフィス空間が幾つあるだろうか。

現代の理想とされるオフィスは、空間が企業を表現し、印象づける場所として、企業の自己表現を達成しながら、「見える企業」としてあらゆるネットワークをつくっていこうとするような場所である。結果的に、企業理念と組織が柔軟なフットワークを持つような、時代に適合した状態を維持し、オフィスもまたそれらを代表する場所として存在しなければならない。デザインがそのための有力な手法であることを忘れてはならない。

オフィスワーカーの生活観の反映

もうひとつの役割として、「オフィスワーカーの生活意識の具現化」があげられる。

そもそもオフィス空間に付加価値が求められてきたこと自体、オフィスが労働ということを通して、生活観の裏方的見られ方から脱却しつつあることを示している。これまで日本のインテリアデザイン自体、住宅→商業施設→オフィスと領域を拡張してきたし、常に時代の要請を空間に背負わせてきた。時代の生活観が反映する分野と関連をもってきた。その意味で、オフィスは時代精神の表舞台として認識され始めたことを象徴しているのかもしれない。もっと時代の体験的指向や、デザイナーの個性がオフィスの中に入り込んでもよいといえる。

つまりそれは、働く場所だからといって、時代の生活観とかけ離れた空間では、成立しないということである。たとえばオフィスにおこる状況として、考える、会議する、会話する、休息する、食べる、といった行為そのものが、オフィス・ワーカーにとっては実態として現実の生活である。一日におこる出来事の一部である。けっして架空の時間などではない。その意味で、生活観の反映はインテリアデザインの最も重要な課題の一部である。

そのためには、「空間ゾーニングの明確化」が必要である。

実際、それはゾーニングの段階で機能に反映できるし、最終的にデザインにも表現できる。また、一寸した身近なことから発想される場合が多い。たとえば、いま一番不足しているとおもわれるのが、付加施設の充実である。エントランスから、会議室、執務室、役員室、食堂にいたるまで、ただ既成概念によりゾーニングされている印象がある。少々極端にいえば、エントランスにショールームがあってもよいし、会議室にバーがあってもよい。または、食堂がカフェや社員サロンに別れていてもよいし、図書室やゲームルームが付随していてもよいではないか、ということである。逆にいえば、新鮮で明快な施設設定の欠如が独自性や現代性を曖昧にさせているともいえる。それらは、すべての施設に対して、一回、既成概念を外して、現代の日常生活観をもとに再考察してみるということである。必ずしも新しいことを考える必要はない。また、一年で色あせてしまうような突飛なことをすべきでもない。現代にあって、その施設はどんな場所であるのか、どんな意味をもっているのか、その可能性をもう一度考え直してみるということである。

おわりに

最後に、今後、オフィスとインテリアデザインの関係がさらに進展していくためには、現実的に、いまよりもっと企業とデザイナーが一体になって計画していく努力が必要である。時には、外部者からの視点として必要に応じた提案をもっとしなければならないこともある。マニュアル化された均質なオフィスではなく、地域や業種・戦略に根ざしながらも、人と人の個性的で柔らかい緊張感とコミュニケーションが存在するような「場所」を目指していきたいものである。

何より、生き生きとした活気のあることが、オフィスには一番大切であるのだから。

今後のオフィスの活況に、ぜひ、期待する。本当の意味で、新しいオフィスはこれから誕生するのだ。

（うちだ　しげる／インテリアデザイナー）

解説 オフィスプレジャー15のキーワード

加藤 力

1．ヴォリューム

空間は3次元で立体的なものであるにもかかわらず、計画時では平面的にとらえられ処理されがちである。オフィスワーカー一人当たり面積、あるいは単位面積当たりの人数などが基準となって空間量は算出される。

だが、生活者である人間は、空間を平面ではとらえない。奥行や高さをもったヴォリュームとして常に感じ行動する。このため本来、スペーススタンダードは平面でなくて、ヴォリュームとして提示されねばならない性質のものであるが、まだそうした習慣はできてはいない。ヴォリュームでの概念が、空間をダイナミックでメリハリのきいたものに造り変えていく。

M^2からM^3への発想転換が空間に豊かさを生む。

2．ブラウジング

新しい発想や創造の契機は、フットした間隙をついた瞬間や、一見無駄とも思える状態の中から生まれることが多い。

長い緊張からとき放たれた息ぬきの時間や、あるいはブラブラと目的もなしに歩き回っている最中に、ヒラメキの光は走る。これからのオフィス業務に創造性や発想力が求められるならば、オフィスはむしろ人間行動にとって無駄な仕掛けや方法も用意しておかなければならない。動線は短いより、長い方が良いかも知れない。オープンで見渡せるよりも、視線によどみがあるほうが良いかも知れない。

オフィスの計画概念はこの意味で今後大きく変わっていくだろう。創造性はブラウジングの中から発する。

3．感覚空間

人間は、視覚、聴覚、臭覚、触覚など、5感をフル稼働して空間を知覚する。居心地よい空間であるためには、環境とはそうした人間の5感をふるわせ、生理に訴える仕組みを持たなければならない。

目に触れる部分だけが個性的で美しいばかりでなく、耳に語りかけ、芳香をうながし、そして肌に馴じむ環境づくりこそが、空間のプレジャー(快楽)に近づく唯一の道である。今、技術は音への生理とにおいや香りの科学の分野にまで入り込み始めた。空間は今後もっともっと感覚に訴えるものになるであろう。

そして、空間は人間にとって何よりも「気持ちのいい」ことが一番な時代となる。

4．情報管理

情報は次第に人間の手のひらの実感から離れ、自在に走り回り、姿や形のとらえどころのない抽象的存在に変じてきている。

必要、不必要、意義、無意義、価値、無価値にかかわりなく無数に人間の周辺を飛び交わし、ひしめき合っている。

だが、情報とは、ある人間にとって必要な時に、意義のあるものだけが価値を帯びて、浮かびあがってくる。そうした情報に対してのみ、人間はズッシリとした手ごたえを感じ実在のものとして一体感を感じる。

逆に、情報管理とは、必要なものを適確に人間の目の前に見せ、耳で聴かせ、手に触れさせて、存在の有無を実感させることにその本質がある。

5．ハイクオリティ・エレメント

オフィスインテリアを構成するエレメントはさまざまである。だが、人間を中心にみれば、エレメントは床、椅子、デスク、間仕切り、それに情報機器とに要約される。これらのエレメントは日々、目まぐるしく名を変え、形を変えて進展しているかに見える。

椅子はエルゴ(人間工学的)チェアーからダイナミックサポート(動的支持)チェアーへ。デスクはシステムデスクからからバイオ(生態)テーブルへ。VDTデスクからワークステーション等へ。

だが、変化しているのは機構や形式など機能の周辺部だけである。椅子は椅子としての本質があるように、エレメントの人間に関わる機能の本質はそうそう変わるものではない。

6．コーポレートアート

無駄をなくし、合理的で、整然と処するだけがオフィスではない。オフィスはもっと美しく、変化と楽しみに満ちたものでなくてはならない。

例えば、ロビーの一隅に彫刻を置き、通路の壁に一枚の絵画をかけ、デスクの上を小さなオブジェで飾れば、たちどころに空間の質が変化する。周辺の空気はなごみ、膨らんで豊かな気分がただよいはじめるのは確実である。

真の空間のゆとりは、こうしたオブジェやアートによって造り出される。むろん、それらが空間にマッチした時により一層の効果が上がることはいうまでもない。

その技術が今、必要とされている。

7．緑被量

「みどり」(植物)が人間の目や心をなごませる作用のあることは、誰もが体験的に感じとっている。無味乾燥なインテリアの片隅に、ただ一鉢の観葉植物を置いただけで、空間の表情は生き生きと、いきずいて来る。

生命あるみどりの存在に触れることで、その空間が人間自身のものであることを感じ、自然の一部に組込まれていることを了承する。

人工的で都市的な空間であればあるほど、人間は「みどり」を日常の生活の中で活用し、安らぎの糧とする。

緑被量とは、都市の中の公園の面積比のように、インテリア空間の床面積に対する緑の算定量である。量的拡大が環境向上の指標をあらわすものとなる。

8．ソフトサーフェス

身体のごく身近な部分を、柔らかなもので仕上げようとするのは、生物としての人間の基本的欲求であろう。特に、居住性が重視される空間にあっては、なおさらソフトなものへの要望が強い。機能性の名のもとでオフィス空間のインテリアは、今まであまりにも固く、冷めたく、ハードな環境にあった。

だが、次第にオフィスは柔らかさを増してきた。Pタイルの床は、カーペットへ。スチールやビニールの家具は、木や布貼りへ。間仕切りさえもクロスが張られるようになった。オフィスのプレジャー性を示す指標の一つがソフトサーフェス量である。

視覚的にも、触覚的にも空間の中での柔らかなものの面積比率を、算出することで求められる数値である。

9．カラーサーフェス

インテリアの中で色彩が人間に与える影響が大きいことは誰もが感じとっている。だが実際上、効果的にインテリアに色が用いられることは稀である。特に、オフィスインテリアにこの傾向は強い。無難、控えめ、微量、あるいは、アイボリーやグレーなど「色なき色」でオフィスの表層は占められる。

確かにインテリアでの色づかいは難しい。チョットした色の質、量のバランス、光の具合などによって、空間は生き生きと生気をみなぎらせることもあれば、生彩を欠くこともある。難しいといってばかりいたのでは色彩は使いこなせない。色は空間に個性や楽しみを与える最初の要素である。

もっとオフィスに色彩を！

10．タスク&アンビエント

ひかりは実体のない存在である。照らし出された部分とその影とによって始めてひかりの存在は知られる。したがって照明計画とは、本来、照らし出された部分と影の部分を予測し、その関係を調整することに他ならない。

だが、現実のオフィスの照明計画は、必要な照度とそれを確保するための照明器具の設置だけで終わって、肝心なところが抜けている。必要な照度の確保やグレア(まぶしさ)防止の処理は当たり前のことで、光によっていかに空間にメリハリや濃淡をつけて演出するかが照明計画の技術となる。タスク(局所)とアンビエント(周辺)の光のコントロールこそがひかりの計画である。

11．アイデンテティー

今日ほどアイデンテティー(自己同一性)なる言葉が氾濫している時代はない。

ＣＩをはじめとしてＰＩ、ＶＩ、ＢＩ、ＩＩ、などさまざまな場面でアイデンテティーが用いられている。個性化、多様化と叫ばれている時節の中で、どこかしら個人の寄り所となる場所を求めている明証でもあろう。他者からの区別と同時に、その区別された範ちゅうの中に自らを帰属させる。そうした現代人の不安と安心、自負と自責、空虚と充溢などが交錯した気持ちのあらわれであろう。

オフィス空間はこの意味で、そこで働くオフィスワーカーにとってアイデンテティーあるものでなくてはならない。帰属の意識を高める工夫のあるものでなくてはならない。

12．ステージ性

人は集まって仕事をする。集まって作業をすればコミニケーションは良く、能率もあがる。だが、そうした合理性だけで「集まって働くこと」は説明できない。

人間の社会的行動には常に他者からのまなざしがつきまとう。相手を意識しつつ、自分も意識する。つまり見る、見られる関係図式の中で集合行動は行われる。オフィス空間では、オフィスワーカー全員が、演者であると同時に観客という役割を負っている。空間はこの意味で舞台である。この舞台の上で通常の自分とは異なったもう一人の自分が演じられる。

オフィス空間には、そうしたステージ性の要素が存在する。

13．景観性

ニューオフィス推進化の中で、オフィスインテリアもみちがえるほど美しく整えられるようになった。美しくなったものの、特に基準階の執務スペースは皆、いずこも同じ均質的で見分けもつかぬ風景となった。同じような器の中に同じような中身がつまって、それぞれの固有の顔がみえてこない。

一つ一つのインテリアに個性がないと同時に、無表情である。オフィスはもっとダイナミックに跳びはねて、個性を打ち出して良いはずだ。もっとメリハリをつけて、豊かな表情で人を楽しませても良いはずだ。

オフィスプレジャーのために、オフィスインテリアに景観計画という概念が必要である。

14．リフレッシュ性

緊張と弛緩、この２つの背反する要素をうまく空間の中でコントロールすることが、これからのオフィスの計画、管理の技術となる。生産性向上は、ある種の緊張感を造り出すことで、促進、増幅される。

だが、緊張感のみを強いたのでは能率向上は長続きせずに、逆に、ストレスを呼ぶ。業務から一時的に開放、離脱するなどして、適度に弛緩の状態を造り、肉体と精神とを解き放つ。このようにして次なる生の力を回復する。

必要以上のストレッサーにさらされて、都市の病理をかかえた現代オフィスワーカーにとっては、場面、場面に応じたリラクゼーションのシーンが必要不可欠となる。

15．テリトリー性

オフィスインテリアの使用実態の観察は、人間の領域行動の良きテキストでもある。自からの居場所の快適性を得んがために、一人一人のオフィスワーカーは限られた空間の中でささやかではあるけれど、涙ぐましい努力をして個人の空間領域を確保しようとする。職階、職制によっても微妙に、スペースの広さ、位置、所有物のグレーディングを求め、自己を主張する。

オフィスの空間は、オフィスワーカーにとっては、こうした意味で単なる物理的空間でなく心理的、社会的空間となる。

オフィスは個人と集団のプライバシーとコミュニケーションの調節を含め人間関係の領域調節の場でもある。

(かとう　つとむ／京都工芸繊維大学助教授)

事例 オフィス空間における小さな仕掛け

——オフィスワーカーの心のサポートシステム——

福田由利・西川純一

オフィスのメタモルフォーゼ

利潤追求が至上命令の産業社会は、合理主義精神であるモダン思想の基、利益生産の場を工場からオフィスへと移行する。それが高度情報化社会の幕開けである。莫大なエネルギーと経費の掛る情報処理において、“効率良く”と技術革新を追求したのがインテリジェントビルである。施設・設備・労務の数字的効率を求める論理により、オフィスビルが、人間のポジション認知範囲を越えてしまう。

一方、経済の飛躍的発展は経済領域の空間的・時間的拡大をも意味し、オフィスは徐々に24時間体制を強いられるようになる。オフィスはワーカーにとり、仕事の戦場であると共に、人生の大半を過ごす生活の場でもある。この視点に立つ時、経済効率一辺倒のインテリジェントビルの軋み音に対して、一つのデザインキーワードが誕生する。情報化社会のエッセンスである付加価値を生み出すのは、人間であり、そこでワーカーを取り巻く環境の問題が表面化してきた。そして考えられたのがオフィスビルのアメニティ化である。着想は、モダン思想が不条理なものとして、切り捨てた物への自省から始まり、その自省は変化を生み、色々な意味において、オフィスビルの付加価値を高めつつある。

ここに来て、建築の本性であるシンボリズムがアメニティビルを覆い、それが労働力不足という社会的要因と目的を一つにし、建築の目新しさのみが強調されるようになる。アメニティデザインは快適環境を目指している。しかし生活の表舞台のみをシンボリックに一方向にデザインしているのが、昨今の一般的アメニティビルである。アメニティは差異・変化を生み出す要素として生まれたものの、時の経緯の中で、一方向ゆえに生彩を失っていく恐れがある。

今迄オフィスワークという集団生活において、ワーカーの（個）の面が意識の世界で取り沙汰されたことはない。多様な個の面を援助することが出来ずに、潜在的ストレスを誘引していた諸々の要因に対して、ささやかな欲求が今芽を吹きつつある。巨大で広大な空間において、ワーカーは四六時中管理という視線に晒されている。（個）としてのポジションに時折戻る事により心理的・生理的調整を図ろうとする。それを助けるシステムがここで言う《小さな仕掛け》である。現状では芽を出したばかりであるが、今後その芽の生育により、人間中心としたオフィスへのメタモルフォーゼに繋がることを期待したい。

▼アットホームな冷蔵庫

オフィスビル近代化の過程の中、生身の人間であるオフィスワーカーを影ながらサポートしていた主役に、冷蔵庫の存在がある。ＭＢＳでは、ニューオフィス造りに際して今迄は仕事場にとって必要悪の様に思われていた冷蔵庫に、一般事務器と同じ市民権の付与を試みていた。ポジション確認の困難な広いオフィスの中、無表情でありながら、人々の所属意識向上の要として効果を生んでいる。

オフィス空間のランドマーク

▼コピーコーナーが取り持つ縁

コピー事務機は使用頻度が多い割りに、オフィス空間において、隅のほうに押しやられていた。それは、3Ｋの中に入りそうな仕事であった。今では機器の改良が進み、中央に設置可能となる。MBSでは、積極的にコピーコーナーを均質執務空間のランドマークにまでデザインしている。コピーを取る業務が陰から陽に変わり、各自が気軽に出入りし、楽しいコミュニケーションとともに仕事が弾む。



MBS毎日放送のオフィス



MBS毎日放送のコピーコーナー



アサヒビール社員クラブのプライベートBOX



キャノン販売の更衣室

▲プライベートBOX

広い室内における集団作業であるオフィスワーク。人は人の視線をカンフル剤として、仕事に励む。その緊張の糸が切れる寸前、ワーカーは〔私探し〕に行く。アサヒビールでは私物を入れる小箱を社員全員に用意してある。社員クラブに設けられたこのプライベートＢＯＸの中には、〔私〕である品々が一杯入れてある。ひとときの休憩の友として好みのコーヒー・アルコール・お菓子・歯磨きセット・化粧品etc。

▼小物用ハンガー

KIビルのオフィスで見つけたアイデア。個人単位のパーティションによるブースのパネルに取り付ける付属品として開発されたのが、この幾つかの小物用金具。〈パネルの目地に配線をはめ込み好みの高さに取り付けられる手元照明〉〈洋服のハンガーを掛けるバー〉〈鉛筆や消しゴム・スケールなどの小物を載せられるコの字型の金属板のバー〉等々、パネルの目地を利用して高さ・位置とも自由に調節出来る。

集の中の私探し

▲更衣室＋α

更衣室は私からオフィスワーカーに変身する関所。キャノン販売では、この更衣室にベッド付小部屋を設けている。この小部屋は、緊張伴うオフィスワークにおける心理的・生理的・プライベートな更衣(意)室として確実な効果を上げている。オフィスでのストレスに対し、ひとつの解決方法になっている。また、化粧コーナーの充実によりグルーミングを通じて心身のリフレッシュを試みている会社もある。

▼銀行機能の一部がオフィスの中に

オフィスビルが巨大化する中で、ワーカーの日常生活の大半は、ビル内で営まれることになる。オフィスが都市を呑み込み、都市が持っていた生活援助システムが、オフィスワーカーの日常生活に欠かせないものになってきた。ちょっと銀行まで、といったことが休憩時間内では難しくなった。そこで、遂にキャッシング機器のお出ましとなった。オフィスワーカーには、結構、重宝している。



鹿島建設KIビルのオフィス



キャノン販売の談話室　左前方にCD機がある



肥後橋シミズビルの食堂



日本アイ・ビー・エム大和研究所のカフェテリア

▲ゆったりした社員食堂で昼食を

肥後橋シミズビル地下1階にある“CAFE&RESTAURANT Win キク”はカフェテリア形式の明るい社員食堂である。インテリアは爽やかな今風で、ビル外からの往来もしやすいよう計画されているためか、外部からの顧客もかなり多い。店内色彩はパステル調で、テーブル配置もレストラン風にゆったり。客席数は約100、壁際のソファはゆとりある空間を演出すると共に、多少の収容人員増を可能にしている。

ポジションセレクト

▲キャッチアイの取り方でリラックス

日本アイ・ビー・エム大和研究所のカフェテリアは、ルーフガーデンの眺めも、広々と広がり、デザイン的にも水やグリーンを重視した環境づくりがされている。同じ食事をするにも、キャッチアイになにをとらえるかで、時々の異なった空間を味わえる。テーブルの高さも色々あり、椅子もゆったりしたものからハイチェアーまである。テーブルポジションの取り方で、会話の内容が変わりそうな、カフェテリアである。

▼エントランスホールは憩いの場

肥後橋シミズビル1階の花屋さんに併設されたケーキ屋さんは、オフィスレディの気楽なおしゃべりスペース。エントランスホールの大きなガラス張りの吹き抜け空間へは光が心地よく射し込み、昼休みともなれば設置された数脚のハイバックチェアの中で、サラリーマンが気持ちよさそうに居眠りをする光景も見うけられ、さながらポケットパークといえる。

▼ポジションを変えるだけで気晴らし

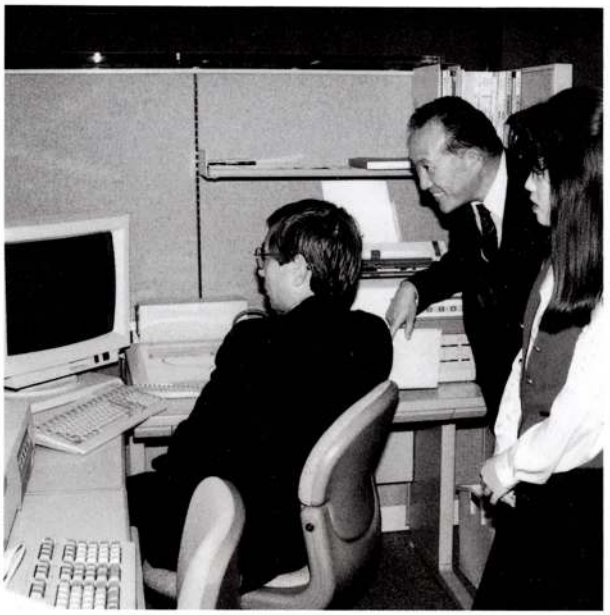
オフィスワークの中には、気の滅入る細かな仕事もあれば、資料を多く広げる大きなテーブルが必要な仕事もある。プライベートデスクから変形のテーブルに移動するだけで、気分転換がはかられ、仕事がスムーズに進む。禁煙ムードの世の中、アサヒビールでは喫煙コーナーで仕事をする人もいる。ポジションを変えるだけで、物を見る視点が変わり、新たな創造性や活力が生まれる。



肥後橋シミズビルのエントランスホール



アサヒビールのオフィス



岡村製作所大阪オフィスデザインセンター



日本アイ・ビー・エム大和研究所のイベントホール

ふれあいトーク

▲コンピュータがとりなす社員の輪

岡村製作所大阪オフィスデザインセンターでは、昼休みや業務時間外であればCAD業務用パソコンをゲーム機に利用することもOK!最近では"テトリス"に人気が集中している。こうしたコンピュータの利用は、社内コミュニケーションの活性化に大いに役立っている。普段黙々とパソコンに向かっている人にとって、コンピュータゲームを介し、職場の人達と楽しい会話に興ずることは、何よりもリフレッシュ効果が生まれている。

▲カフェテリアがイベントホールに早変わり

日本アイ・ビー・エム大和研究所は最先端のハイテク性とインテリジェント性を包み込んだ建物。"快適で効率的な作業環境は、社員の志気と生産性に貢献する"と言うオフィス空間づくりのコンセプトは、カフェテリアを簡単なボタン操作ひとつでイベントホールに早変わりさせるシステムなども実現している。

▼コミュニケーションの名脇役

キャノン販売の執務空間のすぐ横脇にあるリラックスコーナー。変形テーブルを囲んでの会話は楽しそう。そのテーブルの横に、デンと並んだ清涼飲料水の自動販売機は、オフィスワーカーの一服のリラクゼーションには欠せないものである。嗜好が多様化する中で、ますます自動販売機の数は増えていくであろう。片手に紙コップ、片手にタバコで会話がはずむ。

▼娯楽情報も会話のあて

仕事の合間に垣間見るテレビ。野球・相撲・マラソン・ラグビー・ニュース等の放映を、仲間と共に見てワイワイ言い合うのは、今も昔も同じストレス解消法。何かを挟んでの人との会話はさりげなく楽しい。KIビルリフレッシュコーナーの変形S形ソファーは、人に会話参入を自由にさせ、また少数のコミュニケーションを可能としている。テレビとソファーと人間の楽しい関係がある。



キャノン販売の談話室



鹿島建設KIビルのリフレッシュコーナー

（ふくだ　ゆり／アトリエ・ドウ代表取締役
にしかわ　じゅんいち／昭和設計情報サービス部主査）



本社6F



本社6Fリフレッシュゾーン

体温感響
ライブオフィス。

ワーカー視点と企業視点の調和を考えた未来型のニューオフィス。
それがコクヨのライブオフィスです。

コンピューターに次世代の付加機能が求められている現在、
ビジネスにおける仕事の効率や機器の機能性について根本的な見直しが行われ、
それにともなうオフィスの在り方にも新しいコンセプトが求められるようになってきました。
コクヨは、いまのオフィスの現状や動向を研究分析した具体的ビジョンから、人を中心に発想され、
人の能力を最大限に引き出す快適性、人の温かさ、感じ、響きのあるオフィスを提案。
創造性あふれるライブオフィスづくりを推進してまいります。

コクヨ株式会社

● 本社・大阪統括本部・ショールーム/〒537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号☎(06)976-1221
● 東京統括本部・ショールーム/〒108 東京都港区港南1丁目8番35号 FAX 0120-201594
● 支店/北海道☎(011)832-7631 ● 東北☎(022)266-0594 ● 横浜☎(045)323-2641 ● 名古屋☎(052)951-6711 ● 中・四国☎(06)976-1221 ● 九州☎(092)715-2041

美しいフォルムとハイグレードに実現



ワークステーション

オカムラ

株式会社 岡村製作所　関西支社 営業推進部 〒541 大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エス・ジービル ☎(06)282-4061代

新刊　全国書店で好評発売中！

木による空間構造へのアプローチ
TIMBER COMPANION

構造家としての空間認識の１手法を木造空間への適用の試みとトータルデザインの展開を描く。
今川憲英・岡田　章　共著　B5判　220頁　税込定価4,800円

建築技術12月増刊号
実践建築工事検査 III

外装工事・内外装工事・内装工事・建具工事など編
シリーズ第３弾。「実践建築工事検査Ⅰ・Ⅱ」同様、ぜひ座右に備えてご活用下さい。
上村克郎・亀田泰弘　監修　A4判　372頁　税込定価3,500円

別冊「建築技術」Vol.2　夏涼しく冬暖かい住まい
快適な住まいづくりのすべて

温熱環境に関するノウハウを、設計者や居住者、メーカーの方々に向けて詳細に解説する〝実用保存版シリーズ第２号〟。
建設省建築研究所 監修　A4判　260頁　定価3,300円

株式会社　建築技術
〒151　東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2　福西ビル
TEL. 03-5371-3811　FAX. 03-5371-8282

建築技術者必携の専門誌
建築技術 3
２月18日
全国書店一斉発売
税込定価 1,240円

特集
防水工法を選ぶとき
トーチ工法は防水の主流になり得るか

熱工法アスファルトに替わる工法として、期待が大きくなっているトーチ工法。日本建築学会の施工指針の刊行に続き、JASS8への組み入れやJIS化も予定されるなど、同工法への期待の大きさがわかります。今回の特集では既存の競合工法との比較も交えながら、今後が注目されるトーチ工法のすべてを紹介します。

1．昨今の防水工法事情
　座談会
2．トーチ工法の現況を考える
3．トーチ工法とは何か
　▶材料と工法▶設計・施工上の留意点▶メーカーからのメッセージ
4．実施例拝見
　そのときこの工法が使われた理由

連載記事
◉新・固定モーメント法
壁式フレーム
◉高齢化社会の住宅
高齢化対応の住宅の計画
◉CIB
建設技術開発の世界的動向

場所打ち杭の設計と施工

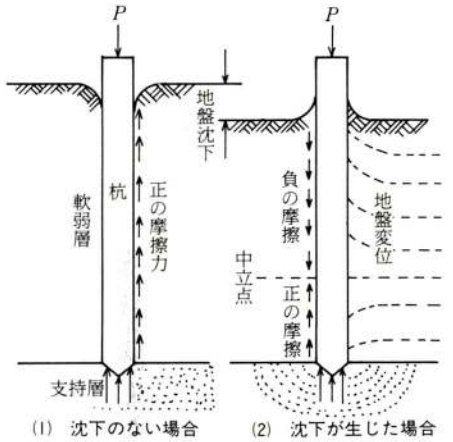
杭基礎の重要性を再認識させる書

阪口理著　B5判・168頁・定価3296円（本体3200円）

建築技術選書〈特装版〉

〈目　次〉
１章　杭の種類と特徴／２章　地盤調査
３章　場所打ち杭の施工／４章　場所打ち杭の設計

建設工事に伴う騒音・振動の比較的小さい場所打ち杭の採用が増加してきた．しかし，地盤を緩める場所打ち杭は支持力の面で不安があり，施工・工法の選定には注意が必要である．本書では，地盤調査に重点をおき，杭基礎の必要性と場所打ち杭を生かした使用法を詳しく解説．



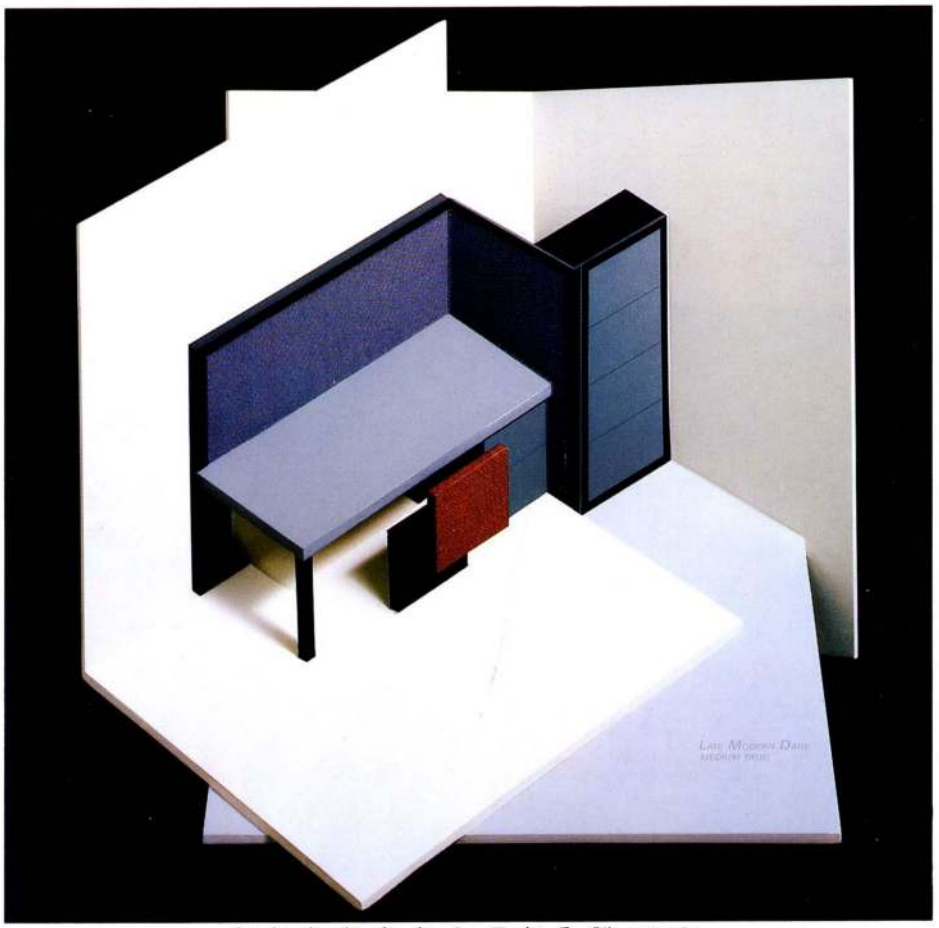
企画／日本建築協会
〒600　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
☎075-343-0811　振替／京都 0-26789
㈱学芸出版社

オフィスの未来を
デザインする

ITOKI

色彩新次元。

オフィスはいま、色彩がデザインを決める。

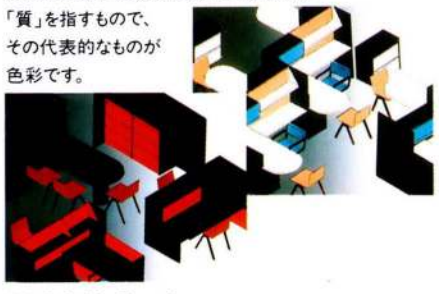


色彩がオフィスのデザインを決定する重要なファクターになった。

製品の最終仕上げと考えられていた「色彩」が、単なるカラーリングの機能を超え、オフィスデザインの重要な要素として体系化されたシステム、それが「イトーキ・ニューカラー・プログラム」です。人と人、人とマシン、人と環境がいつも快適な関係であるには、どのようなデザインがふさわしいのか。イトーキはそれを色彩という観点からとらえ、イタリアのデザイナー、クリーノ・カステッリ氏とともに「よい色、よい素材で、オフィスを素晴らしく仕上げる」システムをつくりあげました。カラーシステムというよりデザインシステムと呼びたいこの新システムが今、オフィスを大きく変えます。

ITOKI NEW COLOR PROGRAM

イトーキはいま、「クオリスティック」という
新しい質を基準に製品づくりをすすめています。
クオリスティックとは、
光、音、匂い、つや、肌ざわりなど、
人間の五感に訴える、数字では表せない
「質」を指すもので、
その代表的なものが
色彩です。



株式会社イトーキ
東京都中央区銀座1-8-19 〒104 Telephone 03 3566-5211お客様係（ダイヤルイン） 大阪市中央区道修町1-5-18 〒541 Telephone 06 223-3050（ダイヤルイン）
●資料請求は上記の住所。K係まで。

ゲートタワービルは260mへ

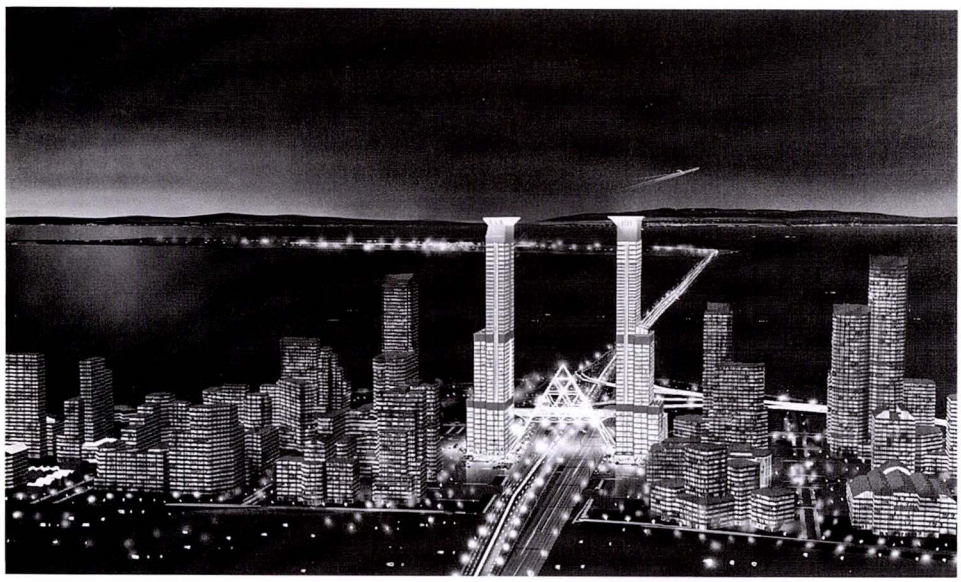
大阪府泉佐野市の、関西新空港対岸部に建設中のりんくうタウンに建つ超高層ツインビル「りんくうゲートタワービル」（仮称）は、昨年2月に大阪府が発表した同ビルの建設構想より10m高い260mとなり、大阪南港に建設する大阪ワールドトレードセンター（252m）を抜き、平成6年末の完成時点では西日本一のノッポビルになる。

りんくうゲートタワービルの基本設計は、昨年11月29日にまとまり、大阪府、金融機関などが出資する第三セクター、りんくうゲートタワービル会社（社長：西村壮一大阪府副知事）が総事業費約1060億円で平成3年8月に着工する。

空港連絡鉄道駅を挟んで同じ高さの北棟と南棟が点対称に並び、両棟の9階部分には、連絡鉄道、道路をまたぐブリッジ（長さ120m、幅14m）が架かる。これは、一昨年の道路法、建築基準法の改正で新設された「立体道路制度」の適用第一号で、デザインも当初計画ではつり橋型だったものを四角錐に鉄柱を組み合わせたピラミッド型に変更している。

■りんくうゲートタワービル（仮称）概要

所在地	大阪府泉佐野市りんくう往来北・南
地域地区	商業地域、防火地域
設計	ゲートタワービル日建・安井設計共同企業体
敷地面積	37,750㎡（北棟16,800㎡、南棟20,950㎡）
建築面積	9,200㎡（北棟1,800㎡、南棟1,400㎡）
延床面積	195,480㎡（北棟99,800㎡、南棟94,000㎡、ブリッジ1,680㎡）
構造規模	S造（一部SRC造）、B2、57F
主要用途	国際会議施設、オフィス、ワールドショーケース、ホテル、レジデンシャルオフィス、多目的ホール、展望台、展望レストラン
特徴	防災上、屋上にヘリポートを設置。南棟には1階から10階まで吹抜けの面積約350㎡のアトリウムを設ける。展望台・展望レストランへは到達時間約1分の高速シースルーエレベータが稼動。



ライト財団の世界巡回展、大阪で開催

昨年の東京展に引き続き、大阪展が梅田センタービルで開かれる。この展覧会は、F.L.ライト財団が開催する世界巡回展のひとつで、ライトの今なお新鮮な発想とアイデアに焦点を当て構成する。

名称　**「生きている建築ーフランク・ロイド・ライトの世界」**

会期　1991年**3**月**23**日(土)～**4**月**14**日(日)
11：00～19：00（入場は18：30まで）

会場　大阪、梅田センタービル・エントランスホール（大阪市北区中崎西）

入場　一般900円、学生600円

構成　PART 1
ライトの代表約60作品を、彼が重視した4つのテーマ（箱の解放、敷地の性質、材料と工法、民主主義の建築）に分類し、写真、ドローイング、模型、家具、オーナメント、ビデオ、映像などあわせて約120点を紹介。



フランク・ロイド・ライト　—イラスト—

PART 2
ライトが生涯を通じて提案した「有機的建築」の実例として、「ユーソニアン・ハウス」をインテリアも含めてフルスケールで再現。

「地下室」をテーマにコンペ
—第5回BL国際デザインコンペティション—

㈶ベターリビングは、海外にも呼びかけて隔年に国際コンペを実施してきたが、このたび第5回のBL国際デザインコンペティションを開催する。1983年の第1回のテーマは「自転車置き場」、以後「窓」「ドア」「バスルーム」で、今回の課題は「地下室」。新しいゆとりある住まい方にふさわしい地下室および地下室における生活の提案で、実現のための構法、部品、施工法等を含んだ提案を公募する。審査結果の発表は8月中旬予定。

提案条件　・地下室本体を建設するために工業化された構法、部品、材料等
・快適な地下室の環境を形成するための採光・換気、排水等に関する部品
・地盤の掘削、排水等の地下室の施工上の制約を克服する施工法
・地下室は、日本国内における戸建ての住宅の1階の下に日常的に利用される部屋で、敷地の規模、形状、形態、地下水位の位置および地下室のからぼりの有無については自由とする。床は地盤面よりも下にあり、床面から平均地盤面までの高さが天井の平均高さの½以上あるものとする。

応募資格　個人応募、法人応募および共同応募とし、資格は限定しない。

公用語　日本語と英語

応募方法　・登録期間1991年2月1日～5月17日
・応募は、A1判・2枚以内・縦使いで紙質は自由。パネル化は不可。
・表現方法は自由。提案の根底にあるゆとりある住まい方の説明を要する。

作品提出　受付期間1991年5月20日～6月14日

審査委員　委員長／山下和正氏（建築家）
石山修武氏ほか8名

賞金　BL大賞1点100万円、優秀賞4点以内50万円、佳作と奨励大賞数点

問合先　㈶ベターリビング研究企画部国際課
〒107 東京都港区赤坂1—6—19
TEL 03-3586-4901 FAX03-3582-2013

「建築の彩時記展—港町・函館こすり出し—」INAXギャラリー大阪

ハイカラな港町、函館に明治末期から昭和初期にかけて建てられた洋風あるいは和洋折衷の木造下見板張りのペンキ塗装された建物のペンキ層をサンド・ペーパーでこすってみた、函館は元町倶楽部の活動のドキュメントである。

会期　1991年**2**月**8**日(金)～**4**月**30**日(火)
10：00～18：00　会期中無休

会場　INAX大阪ショールーム2F
大阪市西区新町1-7-1 TEL06-532-1956

協力　元町倶楽部・函館の色彩文化を考える会

なお、3月8日(金)6：00～19：30に同所で、元町倶楽部研究スタッフ2人による講演会が催される。

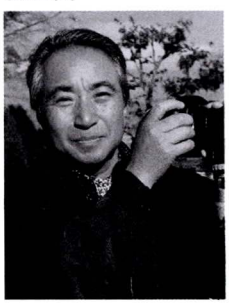
日建設計
創立40周年
記念特集

アマチュアカメラマン
写真コンテスト

建築の風景

日建設計は、1990年（昨年）に創業90年、日建設計としての創立40周年を迎えました。
創業以来、私たちは、クライアント（建築主）やユーザー（使用者）の求める魅力的で性能の高い建築をつくることを目指してまいりましたが、建築というものは、同時に都市の景観や風景をかたちづくるという大きな社会的責任を負うものであるということもよく認識しております。
都市で生活する多くの人々の目に、建築や都市環境がどのように映っているかは設計者にとって大きな関心のあることであり、また、非常に大切な視点であると考えています。
今回、この「建築と社会」誌が、日建設計創立40周年記念特集を発行されるにあたり、通常の建築写真は、つくる側からの建築紹介写真か記録写真であることが多いことから、それに掲載する写真を一般のアマチュアカメラマンより公募する“写真コンテスト—建築の風景”を通して求めることにいたしました。
この催しは、日本建築協会編集委員会と日建設計の共催で実施されましたが、2,000点におよぶ力作が寄せられ、審査員の両先生方には大変ご苦労の末、厳選をしていただきました。ここに、その結果を40周年記念特集として発表するにあたり、ご応募下さいました方々、ご協力を頂きました各方面の方方に心からお礼を申し上げます。
今後とも、私たちは、よりよい街づくり、よりよい建築づくりに、さらに一層の努力を続けます。

審査員



高田　誠三

大阪芸術大学教授
日本写真家協会会員
全日本写真連盟理事

1928年　大阪生れ
大阪府立大学卒、会社研究室を経て写真家になる
日本の風景をライフワークに撮り続けている。
世界五大陸五作家に選ばれ、フランス・ベルギーなどで展覧会
写真集〝彩々流転〟、技術書〝暗室の特殊技法〟など

総　評

外国を旅してつくづく思う。建物が風景と調和しているなあ！
昔の日本は風景中に建物がとけこんでいたなあ！
今は！
その無秩序ぶりを嘆いていたが、今回の応募作をみて日建設計の努力で除々に改善されている事を知った。撮影者もそれを表現のポイントにされ、選もまたこれが主となった。
被写体、建物に愛情をもつことが良い写真を生む基本で、入賞作品にその片鱗をみることができる。建物は今や、人の住む空間を越え、現代社会で彫刻化し、視覚を楽しませてくれる。今回の写真はそのことも示唆している。

審査員



津田　洋甫

日本写真家協会会員

1923　奈良県に生まれる　1945　日本大学芸術学部卒
1952　はなや光画荘創立　1966　この頃から樹木・水などをテーマに日本の自然を撮り始める　以後「樹木讃歌展」「水を讃う展」を東京・大阪で6回開催。1980　N.Yで個展　その中から5作品が日本人として初めてメトロポリタン美術館に収蔵
1985～「四季百樹の詩展」産経新聞主催、「水の詩展」朝日新聞主催を大丸ミュージアム、東京西武百貨店など8店で開催。
1990　EXPO '90　花博写真美術館に出展。他、地下鉄4駅に展示中。著書「木の色風の音」、「四季百樹の詩・水の詩・水色の風」

総　評

このコンテストが特撮であり乍ら、応募期間が短かくて多数の作品が期待できないのではと心配したが、結果は予想を超えた応募が全国各地から寄せられたことに感謝したい。通常の建築写真でなくアマチュアが見たその建築物が、都市で景観として又、人間生活の中で生きているかを問にかけた作品を求めたので、選考もそれに基づいて行った。結果は上位に入選した作品に見られるように、通常の建築写真とは一味異ったものが得られた。然し全般的には主旨の理解が不消化の作品も多数あったが、期間も短いことであったし、又プロの写真家でもむずかしい要求だから止むを得ない。不幸にして選外になられた方々にもご協力を感謝する次第である。

入選者・選評

一席　長　吉秀（福岡）　福岡タワーの印象

タワーが自然と調和し、助演し、素晴らしい演技をしている。単調な風景に変化をつけ、附近に住む人の眼を楽しませている。撮影者は4つの最高の姿を写しとめた。（高田）

この作者の表現力の確かさ素晴らしさと、撮影に対しての熱意が伝わってくる作品である。一枚を除いて主役のタワーの画面に於ける面積は小さいにかかわらず、一番美しい刻を狙って写しているので力強い作品となった。（津田）

二席　杉谷和子（奈良）　飛鳥路の蝶　Part 1　朝霞

昆虫館、もやった飛鳥路の中に静かなたたずまい、自然に溶けこんでいる。良い雰囲気である。止まっている蝶の心象風景か。（高田）

大和路の風景とマッチした建物を朝もやの日を選んで、周囲を大きくとり入れたことが日本画の世界のような世界を表現して素晴らしい。（津田）

二席　桜井文雄（京都）　TWIN 21

建物の一面を巨大なカンバスに見立て、モザイク調の画を書いた。反映の見事な一瞬！建物の中にこんな世界があるのか、冷たい建物、暖かい、童話のような画、この対比がよい。（高田）

実像を写すのでなく、ガラスに反映したTWINが多少デフォルメされた線や色調となって抽象画のような作品に仕上っている。（津田）

三席　坂本正勝（大阪）　高速道路と全日空ホテル・シェラトン

川の上に道路がのびる。その間にビルが建つ、自動車が空中を走っているよう。おもちゃのような世界を都会で見ることができる。（高田）

画面に占めるホテルそのものは強くないが、中之島の中心部にあるシティホテルとしての存在が生かされて、トレラーの車との対比がユーモラスである。（津田）

三席　布施規夫（兵庫）　LOFTと子供

字が積木細工のようである。放りあげているような子供の姿を配することで、一層その感じが誇張された。街にこんなのがあるのか、楽しい！（高田）

現在のビルはともすれば機能本位の形象になりやすくて、人間との対話に欠けやすい感じの中で、この作品では暖味を感じさせる。（津田）

三席　大谷恒子（大阪）　ミラクルタワー

ツリーの電飾、タワーとはためく旗、ビルの灯がうまく調和し、光の競演である。夜のビル、幾何学模様の灯となり新しい風景をつくる。（高田）

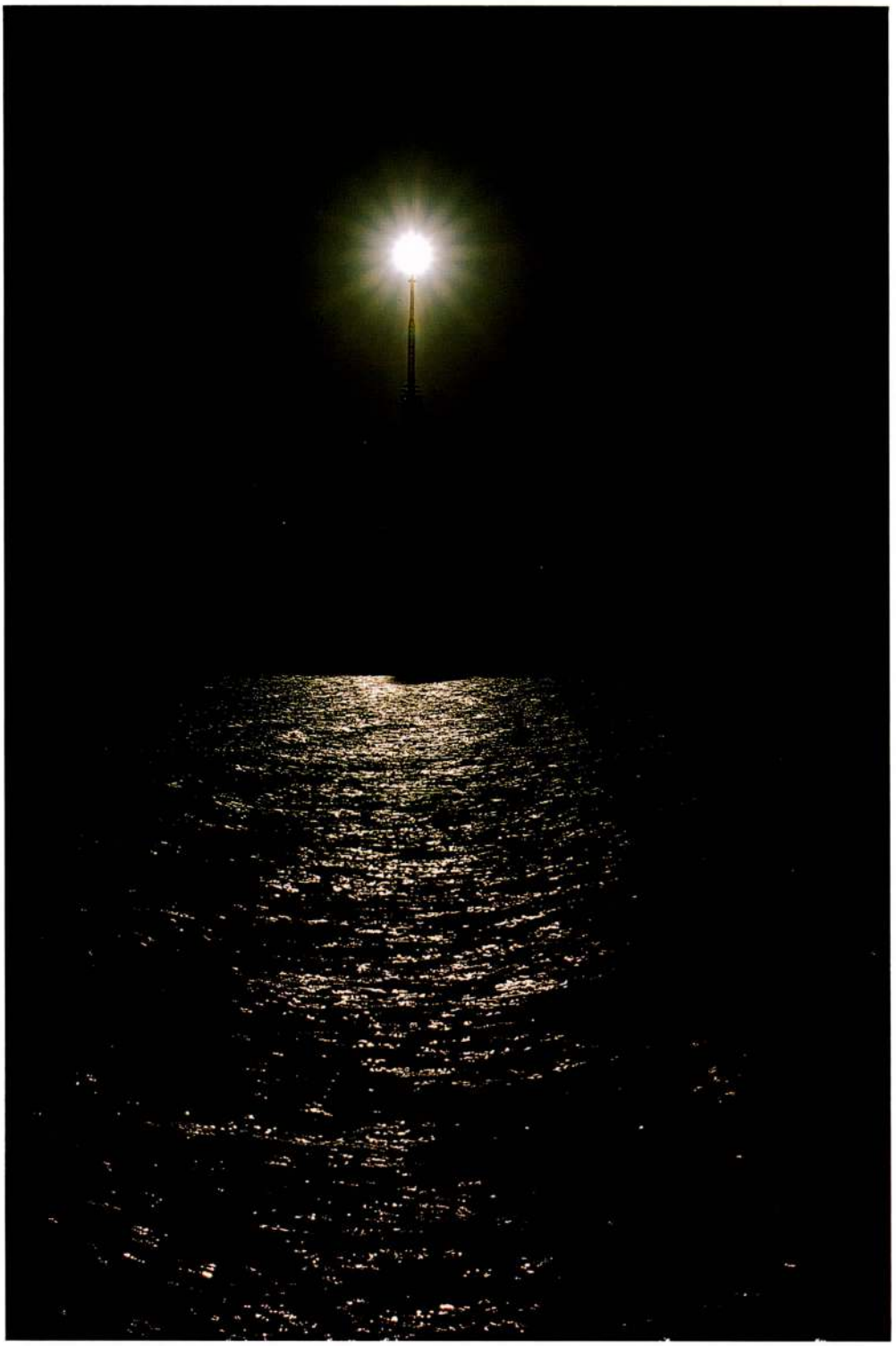
クリスマスツリーの黄色の灯が、暖味と華やかさを感じさせ、画面を二分した構成と旗も夜のTWINの美しさを表現出来た。（津田）

佳　作　（50音順）

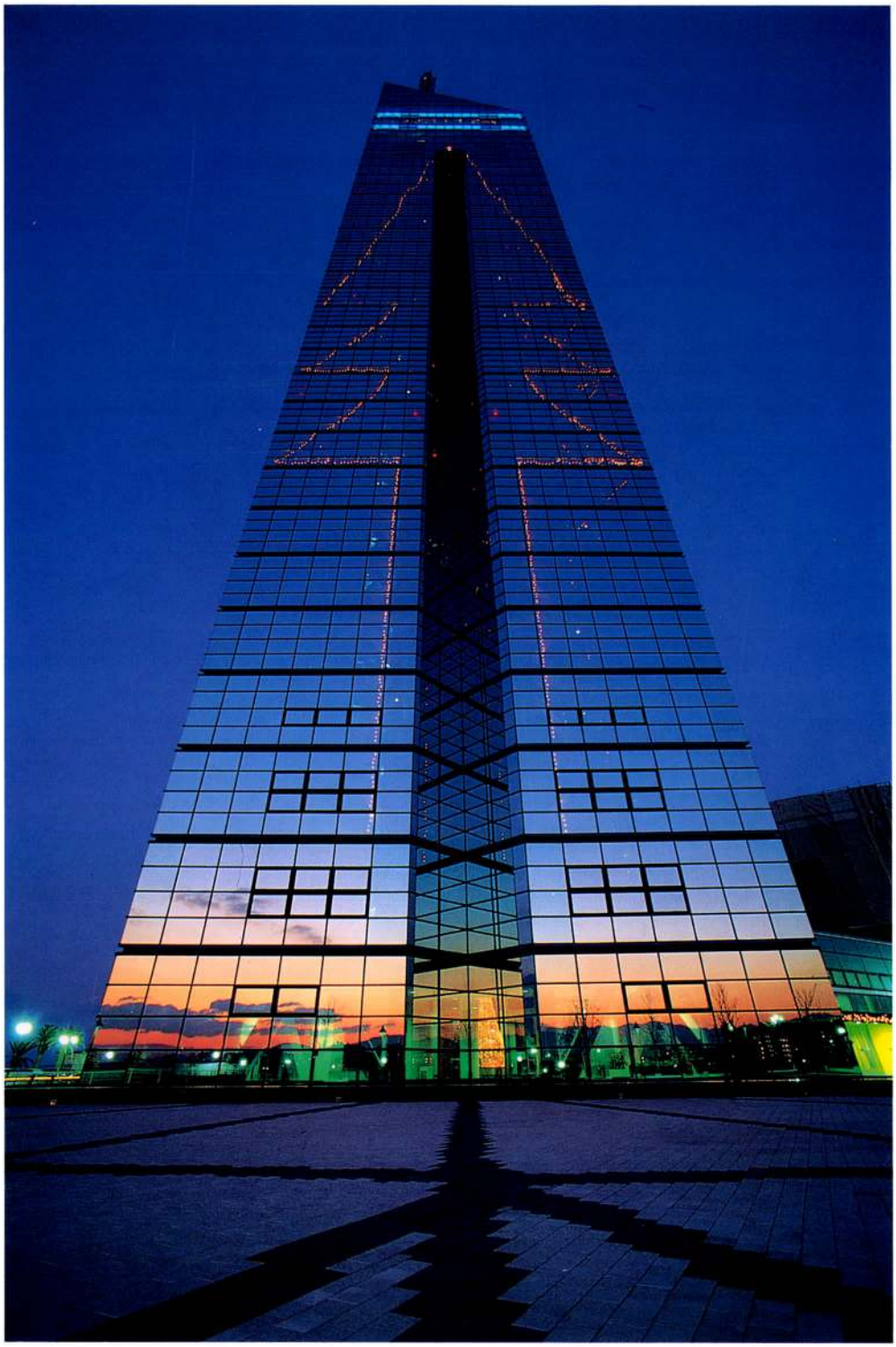
有元　洋剛（愛知）	加藤　俊吾（埼玉）	関矢　一夫（東京）	藤江　美代子（神奈川）
粟竹　孝之（東京）	金田　和徳（大阪）	高木　繁（東京）	堀川　光彦（兵庫）
伊藤　征子（京都）	川村　明雄（北海道）	高木　利雄（大阪）	松本　光惟（大阪）
井上　光雄（徳島）	北村　輝雄（兵庫）	高野　勝也（東京）	宮澤　玲子（大阪）
市川　富雄（千葉）	串田　宏好（兵庫）	戸澤　稔夫（東京）	山口　和江（神奈川）
宇野　勉（福井）	斉藤　清（東京）	直江　和夫（奈良）	山崎　彬輝（大阪）
榎本　定行（愛知）	澤谷　福造（高知）	中里　二郎（神奈川）	山崎　ひろ子（大阪）
尾谷　道子（兵庫）	塩谷　眞則（大阪）	中村　正義（福岡）	山田　武男（埼玉）
小野　淳一郎（兵庫）	新宅　道夫（埼玉）	丹羽　明仁（愛知）	山中　千代子（大阪）
小野里　仲勝（東京）	関口　晴子（秋田）	東　潔（三重）	和田　伊豆男（東京）



一　席　　長　　吉 秀（福岡市）　福岡タワーの印象（４枚組）　　（福岡タワー㉑）

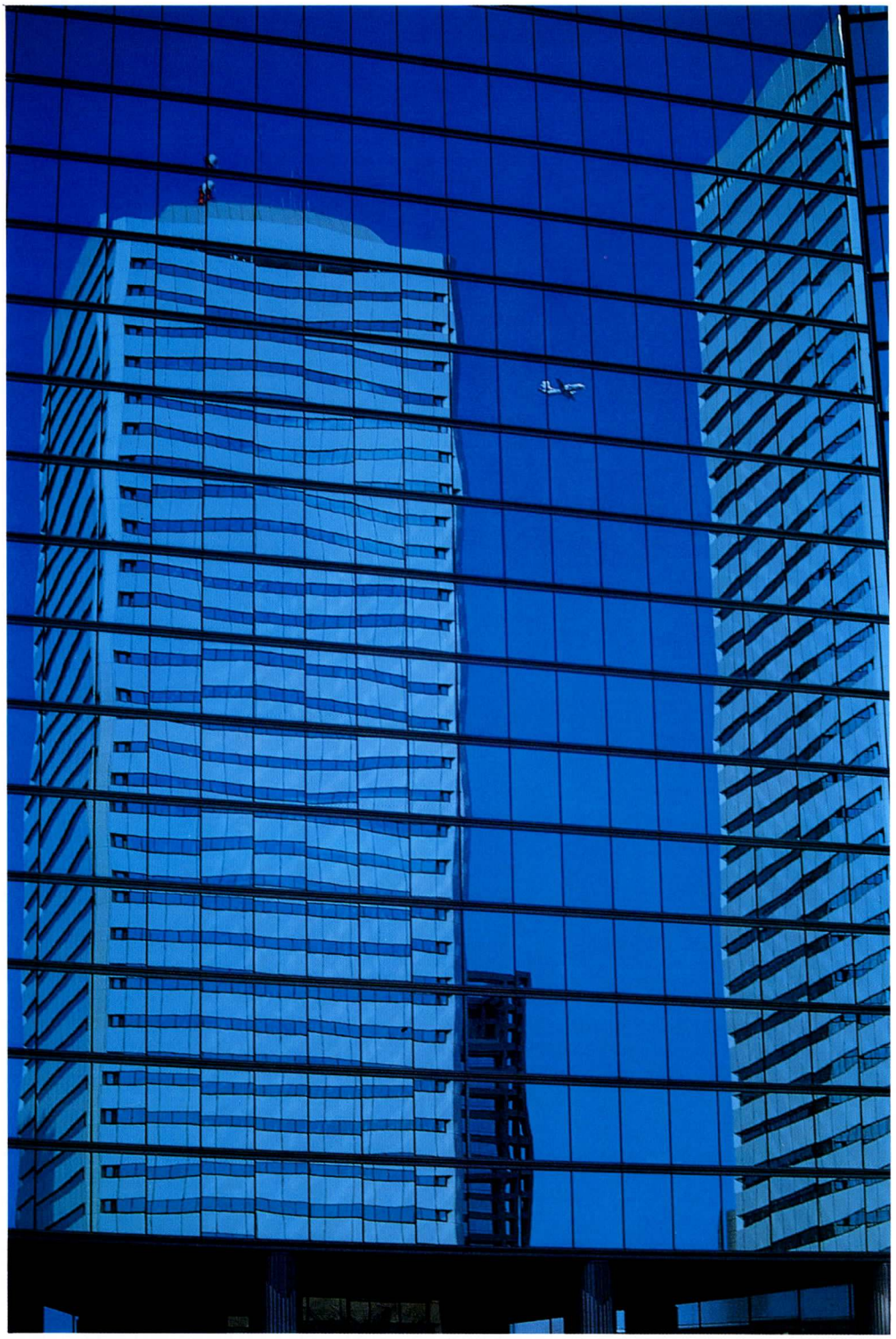








二　席　　杉 谷　和 子（奈良県）　飛鳥路の蝶 Part 1　朝霞　　（橿原市昆虫館㉓）



二　席　　桜 井　文 雄（京都府）　　TWIN 21　　（ツィン21⑬）



三　席　　坂 本　正 勝（大阪府）　高速道路と全日空ホテル・シェラトン　（大阪全日空ホテル・シェラトン❽）



三　席　　布 施　規 夫（兵庫県）　　LOFTと子供　　（クラレ・ニッセイビル㉝）



三　席　　大 谷　恒 子（大阪府）　　ミラクルタワー　　（ツィン21⑬）





▲佳　作　加藤　俊吾（埼玉県）　日ざし　（ソニックシティ⑱）
▼佳　作　山崎　ひろ子（大阪市）　水　都　（O.B.P.⑱ ⑳ ㉟）



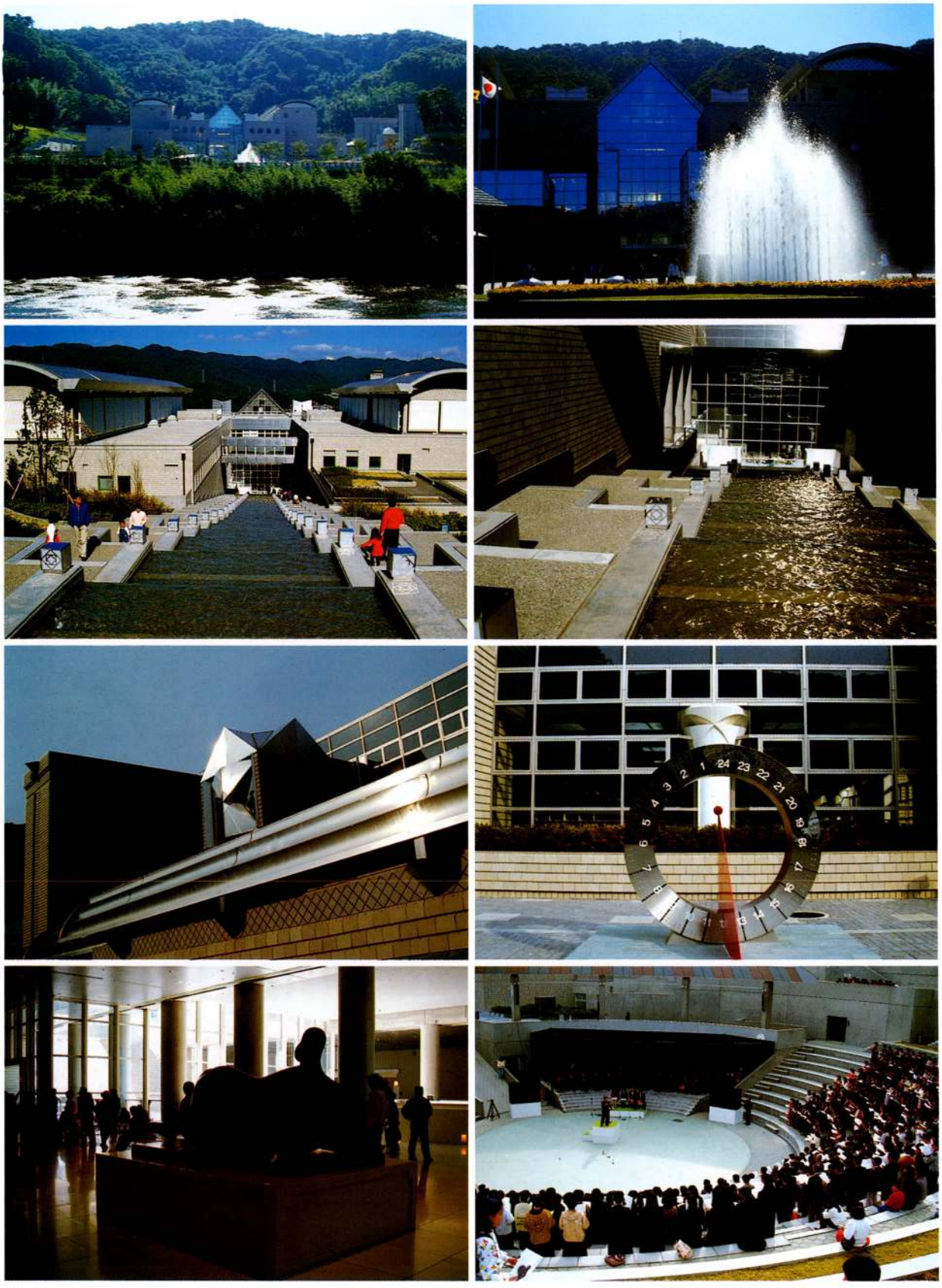


▲佳　作　中村　正義（福岡市）　ミラーセイルと夏雲と　（福岡タワー㉑）
▼佳　作　斉藤　　清（東京都）　海上に浮かぶ　（青森県観光物産館⓫）



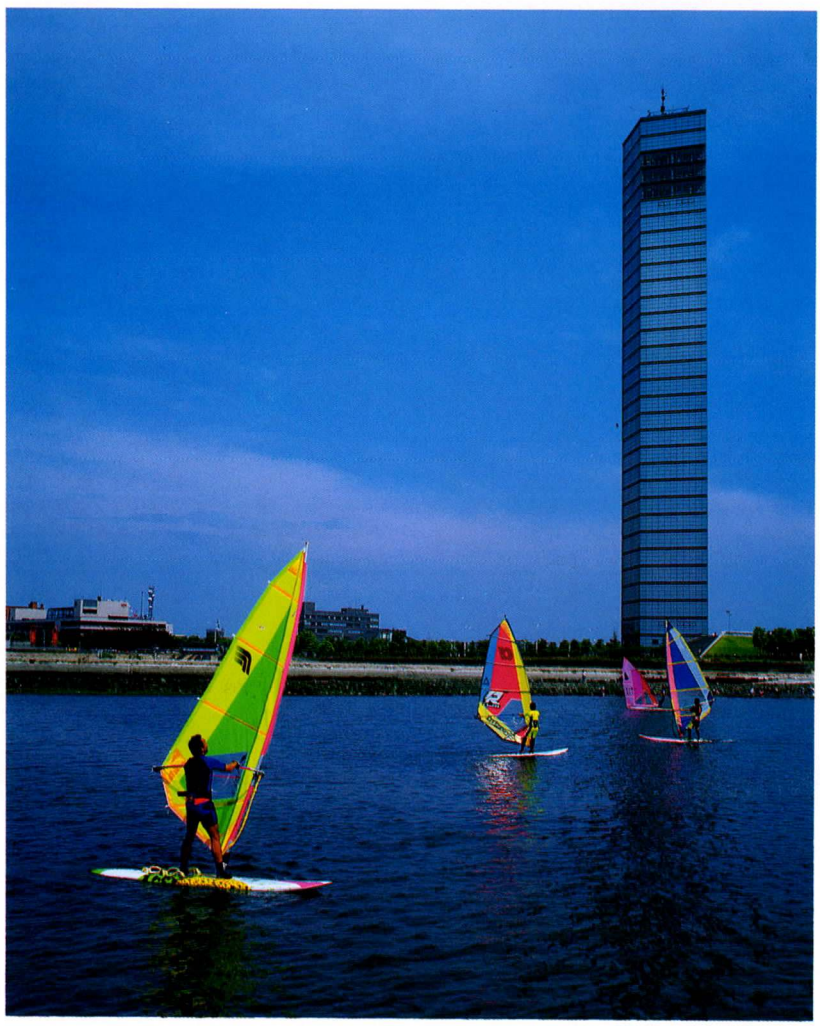


▲佳　作　塩谷　眞則（大阪市）　サザンクロス　（南海サウスタワーホテル大阪㉛）
▼佳　作　小野　淳一郎（神戸市）　船形ホテルにスクリュー　（神戸ポートピアホテル⑯）



佳　作　井 上　光 雄（徳島県）　徳島県文化の森総合公園より（８枚組）（徳島県立近代美術館㊫）

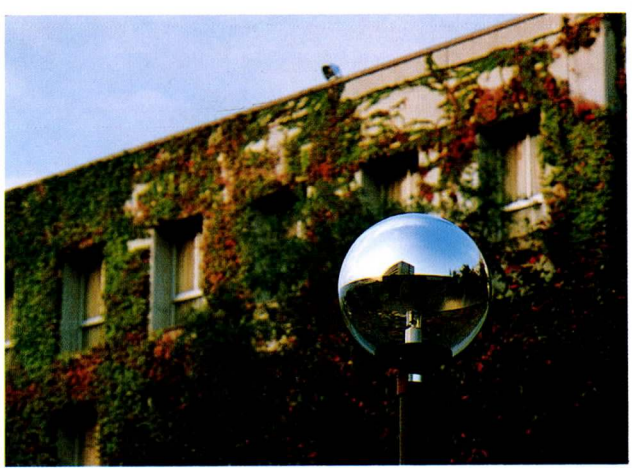




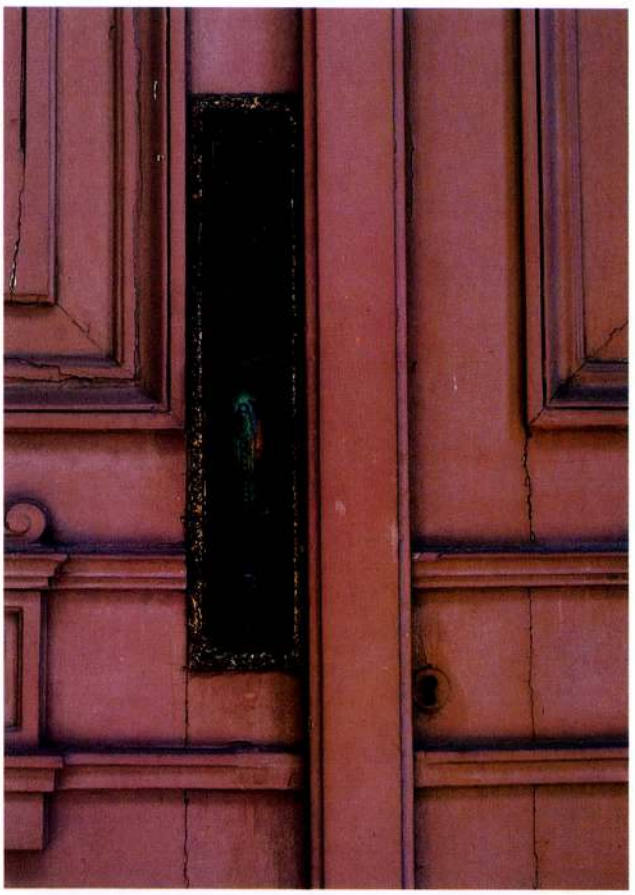
▲佳　作　栗竹　孝之（東京都）　お台場とスーパータワー　（日本電気本社ビル㉚）
▼佳　作　戸澤　稔夫（東京都）　涼風を浴びて　（千葉ポートタワー⑫）







佳　作　　藤江　美代子（神奈川県）　緑の青山学院（３枚組）（青山学院大学厚木キャンパス❹）



佳　作　伊 藤　征 子（京都市）　風雪に耐えて（４枚組）　　（大阪府立図書館❶）





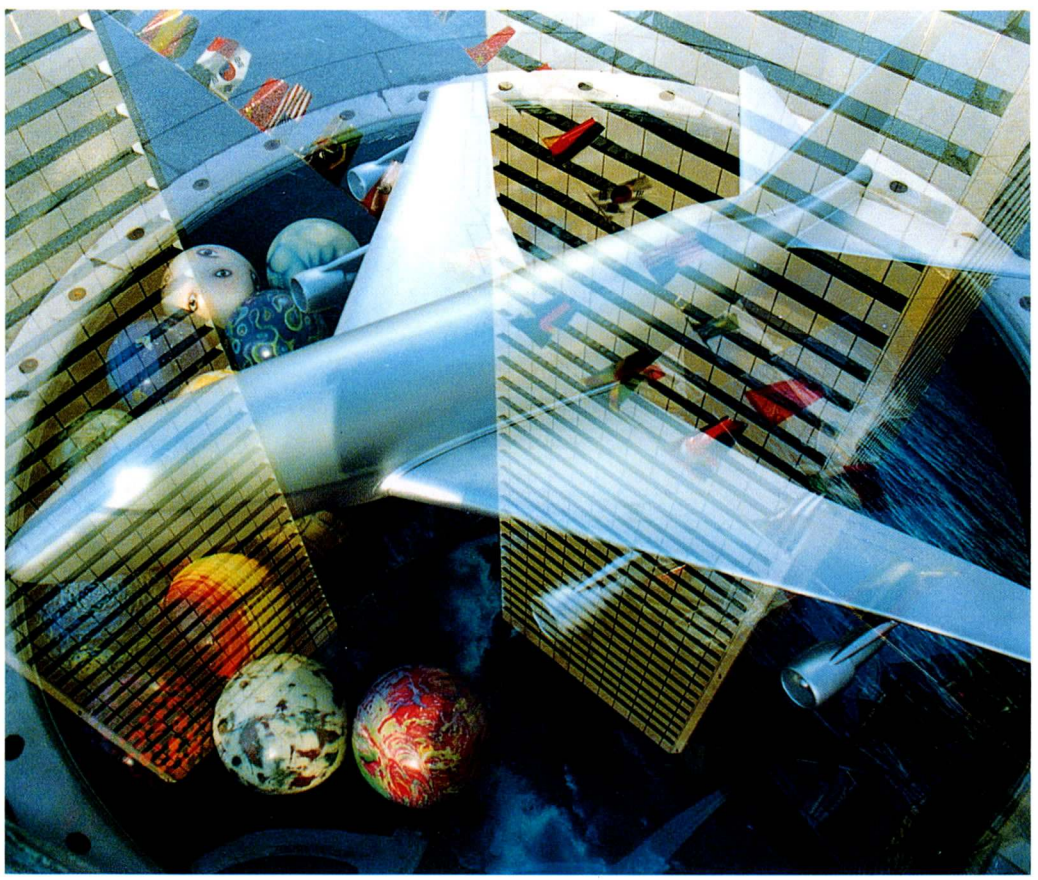
▲**佳　作**　澤谷　福造（高知県）　維新号走ル　（自由民権記念館㉜）
▼**佳　作**　宇野　勉（福井県）　実る大地と武道館1（大根畑）（福井県立武道館㉔）





▲佳　作　市川　富雄（千葉県）　スナップショット　（日本プレスセンタービル❷）
▼佳　作　宮澤　玲子（大阪府）　銀行側より眺めた市役所　（大阪市庁舎❾）





▲**佳　作**　関口　晴子（秋田県）　憩　う　（秋田総合生活文化会館・美術館㉗）
▼**佳　作**　直江　和夫（奈良県）　建　映　（ツィン21⑬）





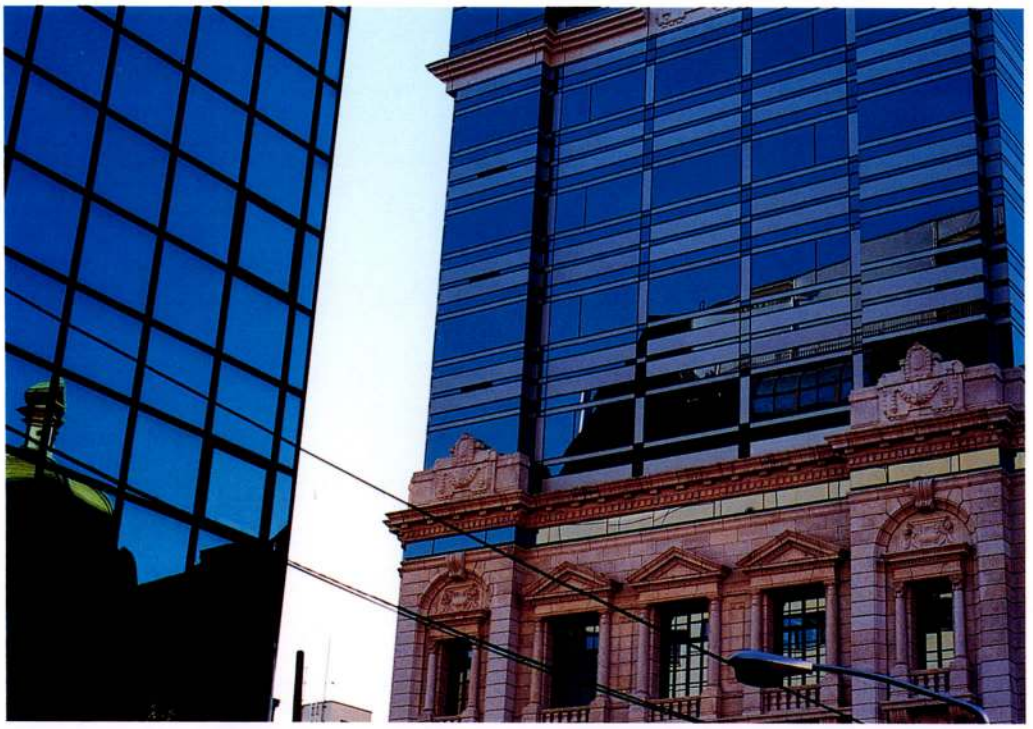


佳　作　高木　繁（東京都）　ふれあいの街（３枚組）　（ソニックシティ⑱）





▲佳　作　新宅　道夫（埼玉県）　スペースに挑戦　（日本電気本社ビル㉚）
▼佳　作　東　　潔（三重県）　雪景ツィン　（O.B.P. ❼ ⓭ ⓯ ⓳ ⓴ ㉞ ㉟）

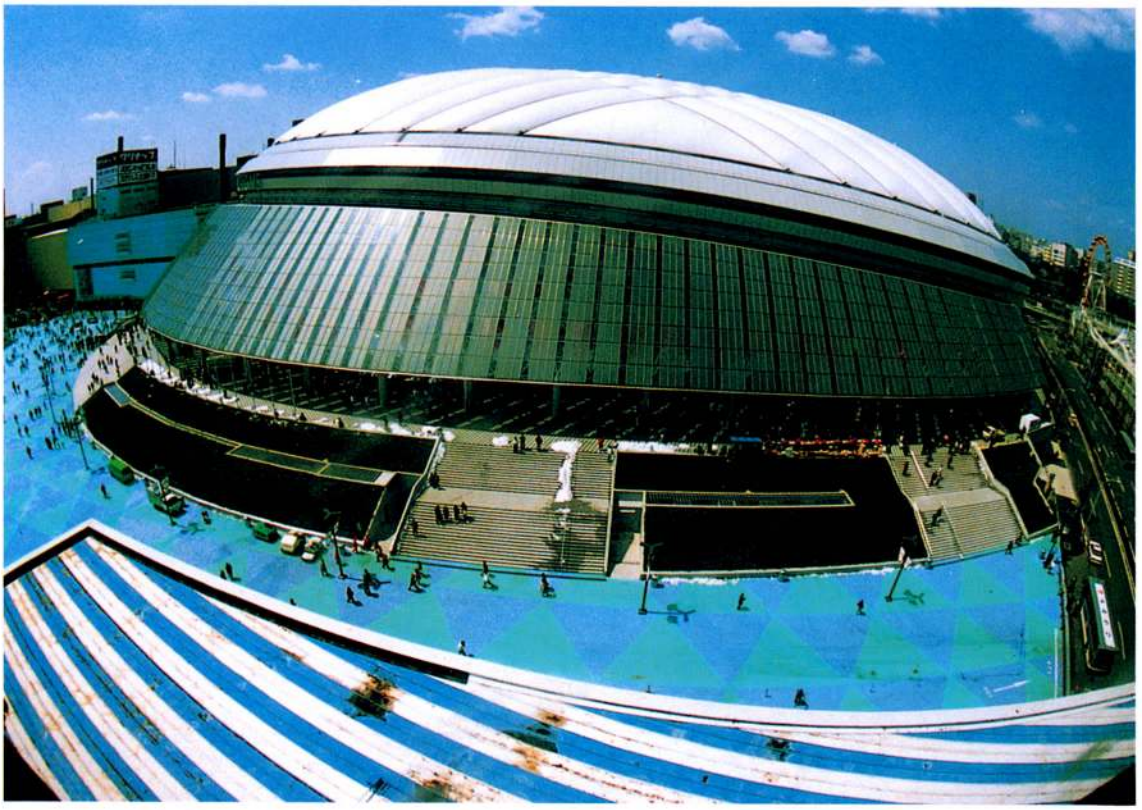




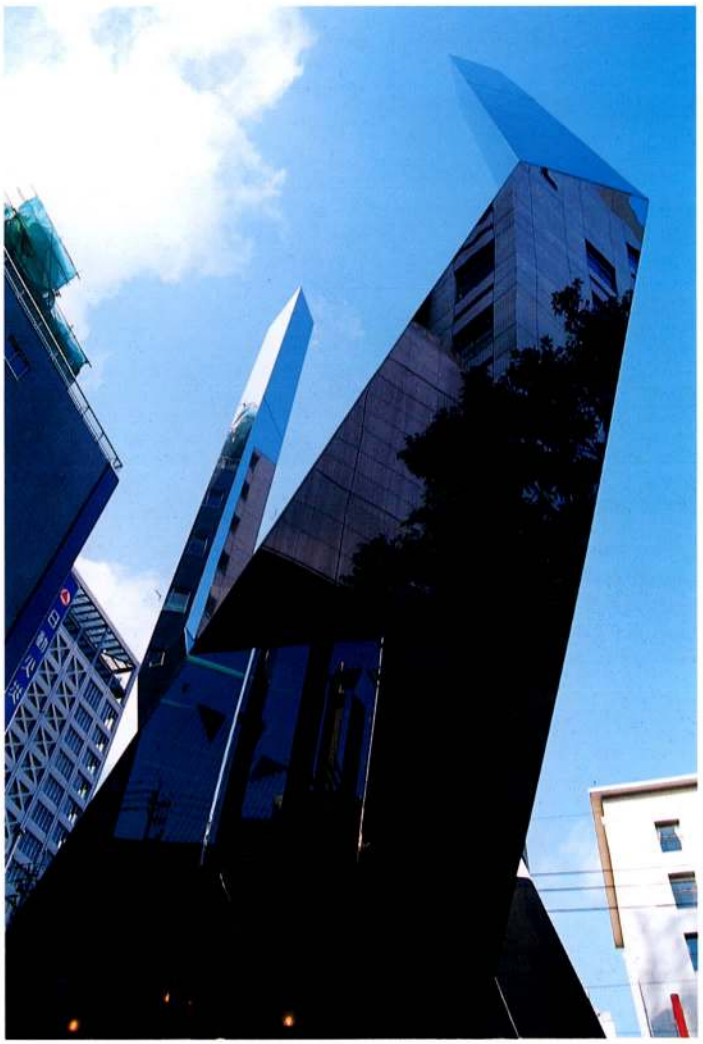
▲佳　作　山口　和江（神奈川県）　日本火災横浜ビル　（日本火災横浜ビル㉒）
▼佳　作　高木　利雄（大阪市）　ホテルとアクアライナー　（ホテルニューオータニ大阪⑮）



佳　作　　中 里　二 郎（神奈川県）　大きなタマゴ（３枚組）　　（東京ドーム⑰）







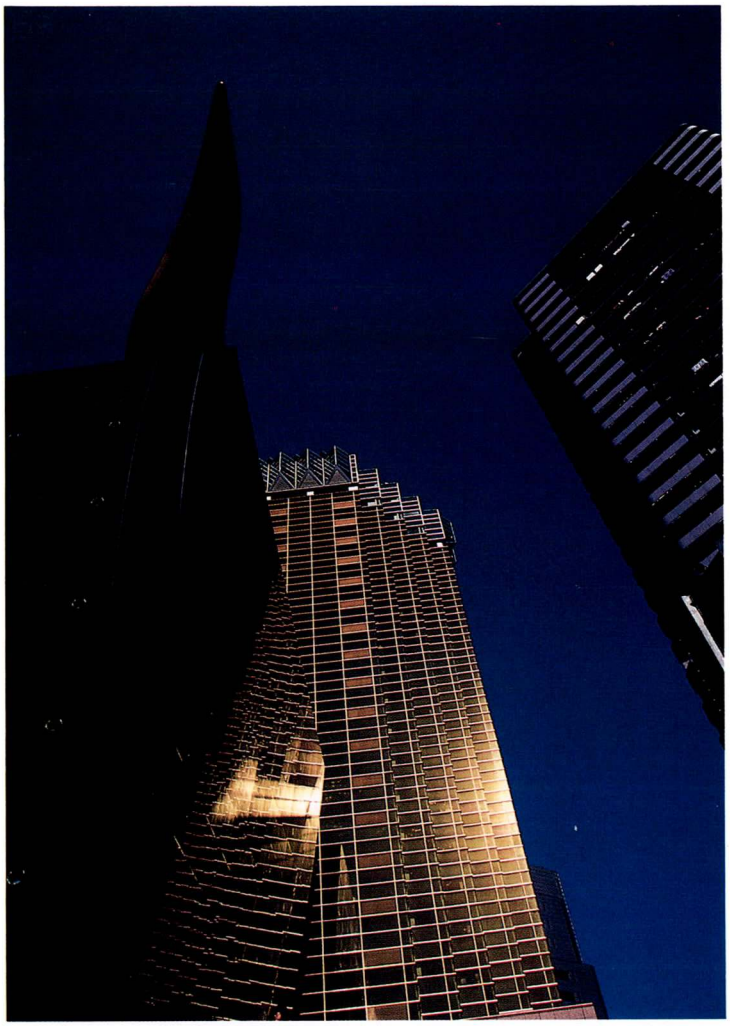


▲佳　作　有元　洋剛（愛知県）　青空へ切り込む　（電気文化会館⑭）
▼佳　作　和田　伊豆男（東京都）　造形的なビル群　（アサヒビール吾妻橋ビル㉘）





▲佳　作　尾 谷　道 子（兵庫県）　パターン　（富士通関西システムラボラトリ⑩）
▼佳　作　小野里　仲勝（東京都）　ＮＳビル　（新宿ＮＳビル⑤）





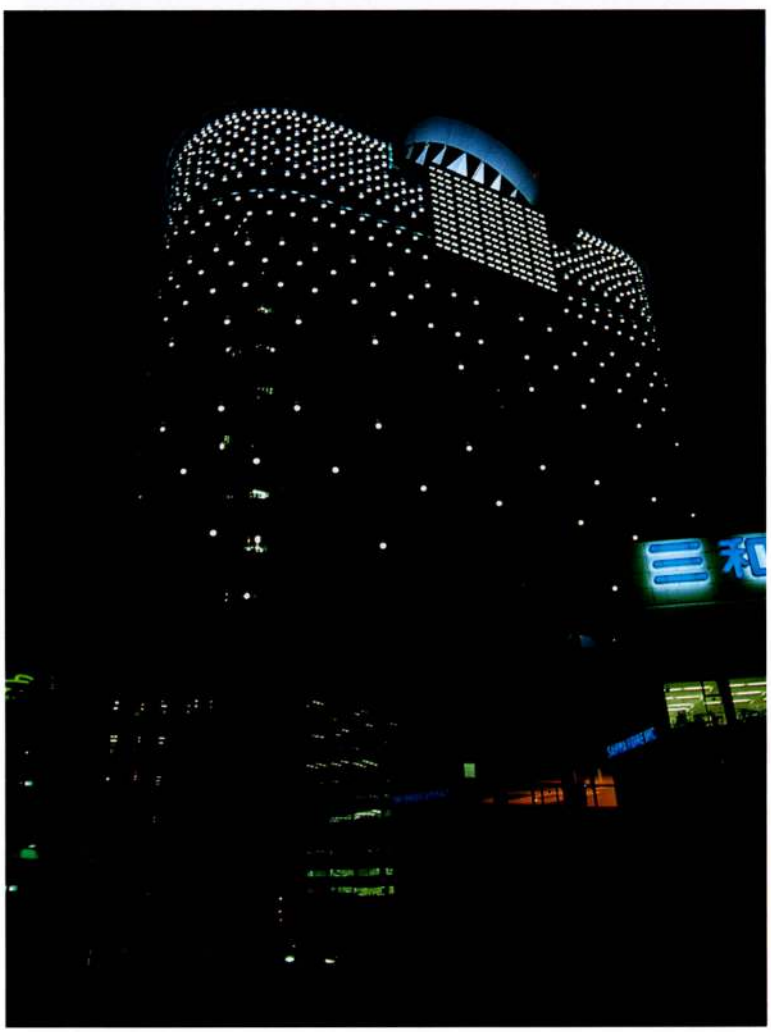
▲佳　作　関 矢　一 夫（東京都）　アサヒビール吾妻橋ビル（アサヒビール吾妻橋ビル㉘）
▼佳　作　山中　千代子（大阪府）　たそがれ　（O.B.P. ⑬ ⑮ ⑲ ⑳ ㉟）



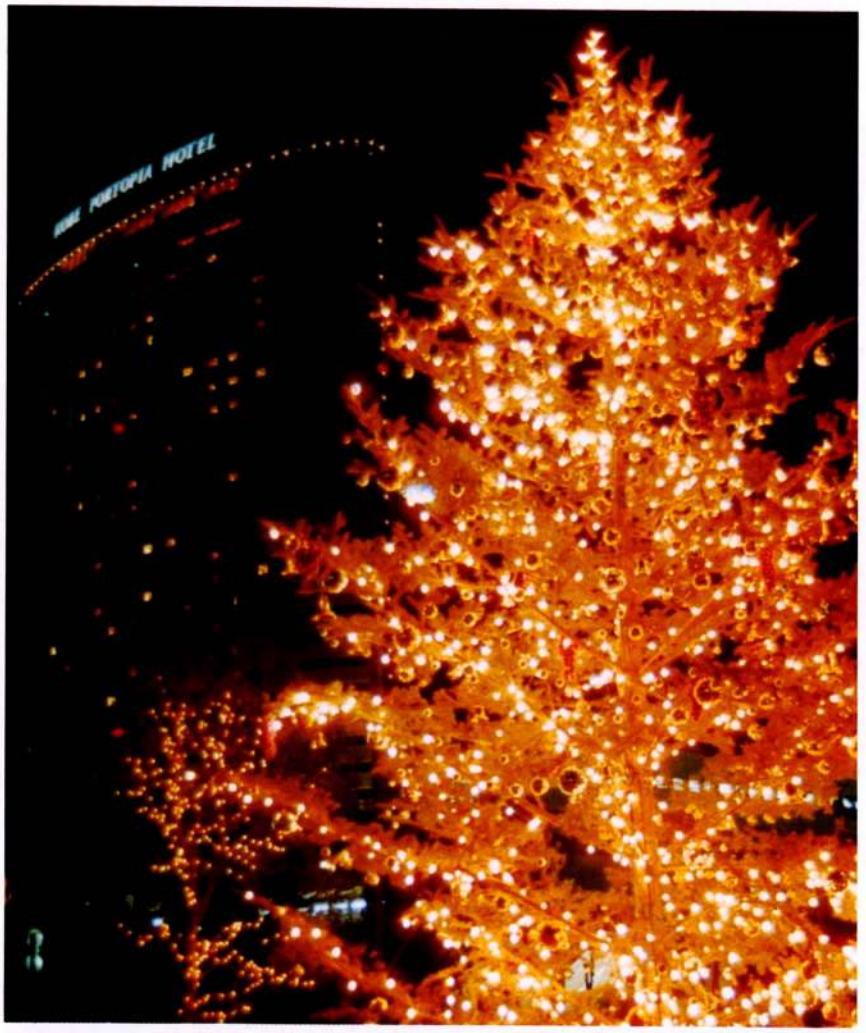


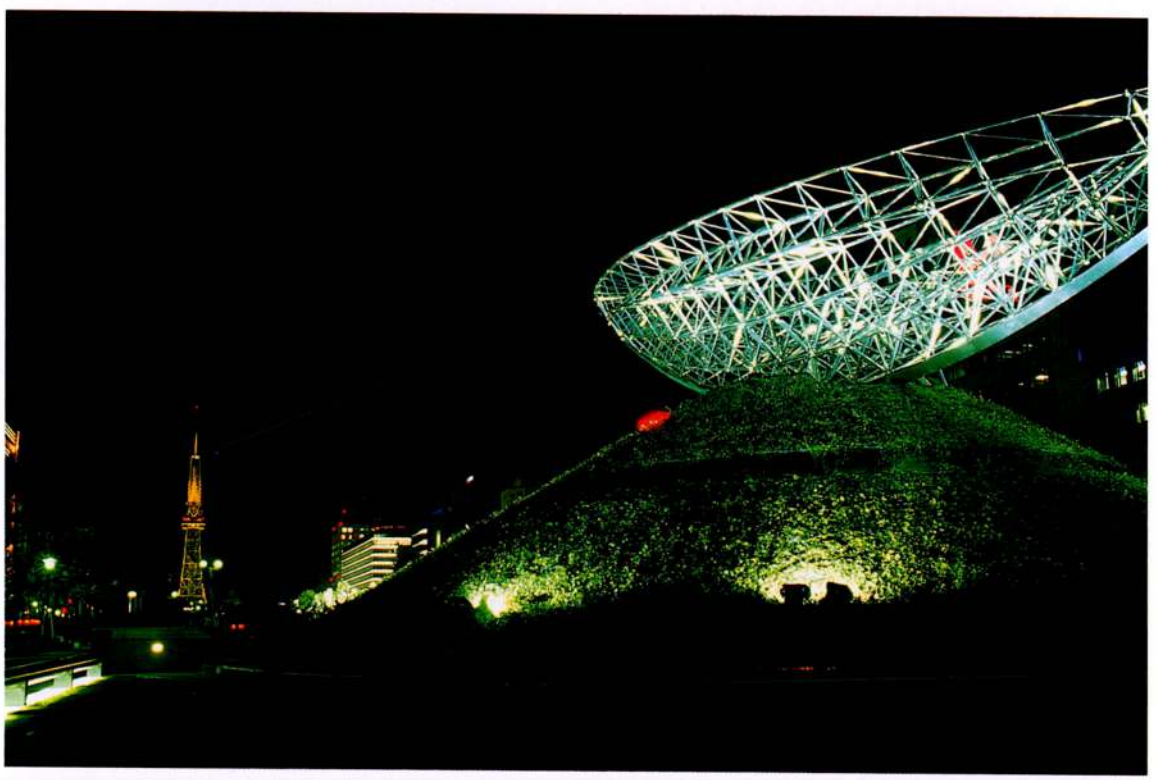
▲佳　作　山崎　彬輝（大阪市）　M　食　（毎日放送本社ビル㊱）
▼佳　作　川村　明雄（北海道）　夕焼けの映えるころ　（函館市庁舎❻）





▲佳　作　松本　光惟（大阪市）　窓　（松下電器貿易本社ビル❸）
▼佳　作　高野　勝也（東京都）　きらめき　（トヨタ自動車池袋ビル㊲）





▲佳　作　串田　宏好（神戸市）　クリスマスの夜　（神戸ポートピアホテル⑯）
▼佳　作　丹羽　明仁（愛知県）　幻想空間　（久屋大通公園モニュメント㉕）





▲佳　作　金田　和徳（大阪市）　O.B.P. IN THE NIGHT　（O.B.P.⑬ ⑮ ⑳ ㉟）
▼佳　作　榎本　定行（愛知県）　夜の公園　（久屋大通公園モニュメント㉕）





▲佳　作　北 村　輝 雄（神戸市）　帆船ランデブーの夜　（神戸市新庁舎㉖）
▼佳　作　山 田　武 男（埼玉県）　隅田川の夜　（アサヒビール吾妻橋ビル㉘）



佳　作　堀 川　光 彦（兵庫県）　夜のシェラトン　（大阪全日空ホテル・シェラトン❽）

建築概要

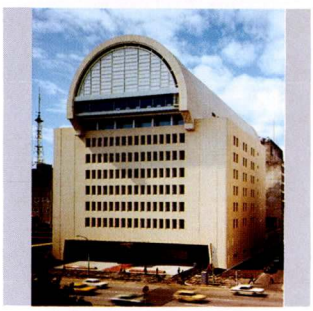
※右下の数字は写真頁の建物番号に該当



大阪府立図書館

所 在 地　大阪市北区
用　　途　図書館
構造規模　煉瓦造、石造　2F
延床面積　7,626.79㎡
設 計 者　野口孫市、日高　胖
　　(住友本店臨時建築部)
施 工 者　久保田小三郎
竣工年月　1904年

①



日本プレスセンタービル

所 在 地　東京都千代田区
用　　途　事務所
構造規模　SRC、S　B3、11F
延床面積　25,737㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　清水建設・竹中工務店JV
竣工年月　1976年7月

②



松下電器貿易本社ビル

所 在 地　大阪市中央区
用　　途　本社ビル
構造規模　SRC　B2、12F
延床面積　16,550.97㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　竹中工務店・鹿島建設・
　　熊谷組・鴻池組JV
竣工年月　1980年10月

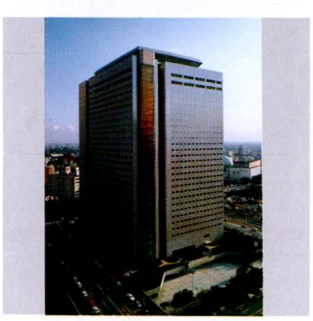
③



青山学院大学厚木キャンパス

所 在 地　神奈川県厚木市
用　　途　大学
構造規模　RC、S
延床面積　59,591㎡
設 計 者　日建設計
　　礼拝堂:竹内建築事務所・竹内重雄
施 工 者　清水建設、池田建設、鹿島建設、
　　大成建設、竹中工務店、フジタ工業、
　　三井建設、日本国土開発
　　(建物別・写真左の建物のみ、旧建物を除く。)
竣工年月　1982年3月

④



新宿NSビル

所 在 地　東京都新宿区
用　　途　事務所、店舗
構造規模　S、SRC　B3、30F
延床面積　166,767.80㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　大成建設
竣工年月　1982年9月

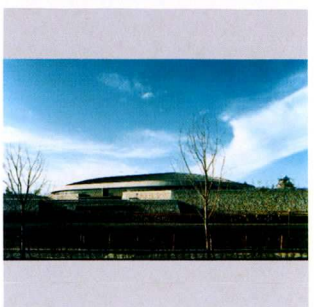
⑤



函館市庁舎

所 在 地　函館市
用　　途　市庁舎
構造規模　SRC、S　B1、8F
延床面積　27,964.3㎡
計 計 者　日建設計
施 工 者　鹿島建設・大林組・高木組JV
竣工年月　1982年11月

⑥



大阪城ホール

所 在 地　大阪市中央区
用　　途　多目的ホール
構造規模　S、SRC、RC一部PC
　　B1、3F
延床面積　31,064㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　大成建設・松村組JV
竣工年月　1983年8月

⑦



大阪全日空ホテル・シェラトン

所 在 地　大阪市北区
用　　途　ホテル
構造規模　S、SRC　B3、23F
延床面積　44,770.16㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　大林組・大成建設・鴻池組JV
竣工年月　1984年9月

⑧



大阪市庁舎

所 在 地　大阪市北区
用　　途　市庁舎
構造規模　SRC、S　B4、8F
延床面積　78,349㎡
設 計 者　大阪市都市整備局・日建設計
施 工 者　(1期)大林組・鴻池組JV
　　(2期)竹中工務店・錢高組JV
竣工年月　1985年12月(1期：1982年1月)

⑨



富士通関西システムラボラトリ

所 在 地　大阪市中央区
用　　途　事務所・研究所
構造規模　SRC、S　B1、9F
延床面積　32,486.16㎡
設 計 者　日建設計、熊谷組
施 工 者　熊谷組
竣工年月　1986年1月

⑩



青森県観光物産館“アスパム”

所在地　青森市
用　途　観光施設
構造規模　S、SRC、RC　15F
延床面積　14,302㎡
設計者　日建設計
施工者　清水建設・西松建設・
　　阿部重建設工事JV
竣工年月　1986年3月

⑪



千葉ポートタワー

所在地　千葉市
用　途　タワー
構造規模　S、SRC、RC　GL＋132.90m
延床面積　2,307㎡
設計者　日建設計
施工者　竹中工務店
竣工年月　1986年3月

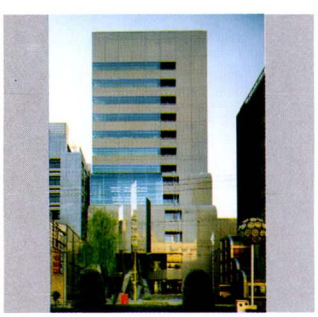
⑫



ツイン21

所在地　大阪市中央区
用　途　事務所、店舗
構造規模　S、SRC　B1、38F
延床面積　172,454.10㎡
設計者　日建設計
施工者　(ナショナルタワー)鹿島建設・
　　竹中工務店・熊谷組JV
　　(MIDタワー)大成建設・奥村組・
　　鴻池組・清水建設JV
　　(駐車場棟)西松建設
竣工年月　1986年3月

⑬



電気文化会館

所在地　名古屋市中区
用　途　科学館
構造規模　SRC、S　B3、13F
延床面積　23,810.11㎡
設計者　日建設計
施工者　鹿島建設・大成建設JV
竣工年月　1986年6月

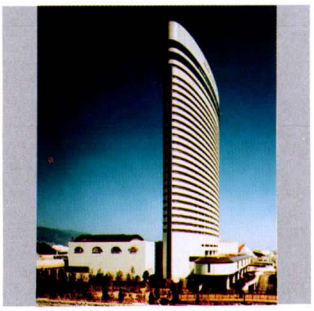
⑭



ホテルニューオータニ大阪
(住友生命ホテルニューオータニ大阪ビル)

所在地　大阪市中央区
用　途　ホテル
構造規模　S、SRC　B2、18F
延床面積　74,810.00㎡
設計者　日建設計
施工者　竹中工務店
竣工年月　1986年7月

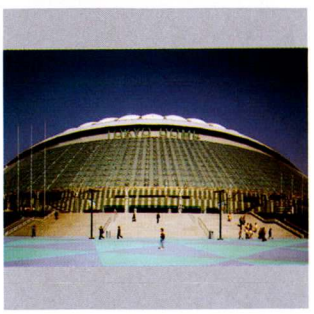
⑮



神戸ポートピアホテル

所在地　神戸市中央区
用　途　ホテル
構造規模　(本館)S、SRC　B2、31F
　　(南館)SRC　B1、15F
延床面積　(本館)62,355.08㎡　(南館)38,938.67㎡
設計者　日建設計
施工者　竹中工務店
竣工年月　1988年2月(本館：1981年2月)

⑯



東京ドーム“BIG EGG”

所在地　東京都文京区
用　途　屋内野球場(多目的ホール)
構造規模　低ライズケーブル補強空気膜構造
　　SRC　B2、6F
延床面積　116,463.24㎡
設計者　日建設計、竹中工務店、
　　後楽園不動産
施工者　竹中工務店
竣工年月　1988年3月

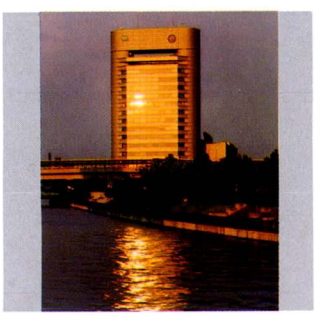
⑰



ソニックシティ

所在地　埼玉県大宮市
用　途　事務所ビル、ホール、ホテル
構造規模　S、SRC
延床面積　131,256.55㎡
設計者　日建設計
施工者　フジタ工業
竣工年月　1988年3月

⑱



讀賣テレビ放送本社ビル

所在地　大阪市中央区
用　途　放送局
構造規模　S、SRC　B2、14F
延床面積　29,674.45㎡
設計者　日建設計、鹿島建設
施工者　鹿島建設
竣工年月　1988年4月

⑲



OBPキャッスルタワービル

所在地　大阪市中央区
用　途　事務所、銀行本店、ショールーム
構造規模　S、SRC　B3、38F
延床面積　123,685.14㎡
設計者　日建設計
施工者　竹中工務店・鹿島建設・
　　熊谷組・住友建設JV
竣工年月　1988年11月

⑳



福岡タワー

所在地　福岡市早良区
用　途　タワー
構造規模　S、RC　GL＋234.00m
延床面積　6,080.87㎡
設計者　日建設計
施工者　大成建設・竹中工務店・
鹿島建設・清水建設・大林組JV
竣工年月　1989年2月

㉑



日本火災横浜ビル

所在地　横浜市中区
用　途　事務所
構造規模　SRC　B2、9F
延床面積　6,086.53㎡
設計者　日建設計
施工者　熊谷組・東急建設・間組・
鉄建建設JV
竣工年月　1989年3月

㉒



橿原市昆虫館

所在地　奈良県橿原市
用　途　昆虫館
構造規模　RC、S　B1、2F
延床面積　2,907.8㎡
設計者　日建設計
施工者　竹中工務店
竣工年月　1989年3月

㉓



福井県立武道館

所在地　福井市
用　途　武道館
構造規模　SRC、S　B1、3F
延床面積　14,670.58㎡
設計者　日建設計
施工者　(本館)熊谷組・飛島建設・
前田建設工業JV
(弓道場)前川組・西田建設JV
(合宿所)鷹巣建設工業
竣工年月　1989年5月

㉔



久屋大通公園・
復興事業収束モニュメント

所在地　名古屋市中区
用　途　モニュメント
構造規模　ステンレス立体トラス、B2
延床面積　555.43㎡
設計者　日建設計
施工者　安藤建設・鈴中工業JV
竣工年月　1989年6月

㉕



神戸市新庁舎

所在地　神戸市中央区
用　途　市庁舎
構造規模　S、SRC　B3、30F
延床面積　54,398.07㎡
設計者　神戸市住宅局営繕部
日建設計
施工者　竹中工務店・大成建設・
熊谷組・西松建設JV
竣工年月　1989年8月

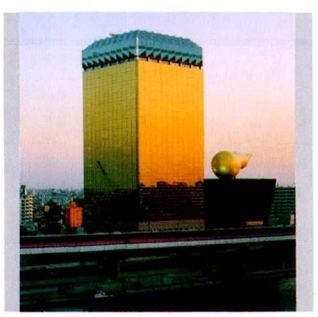
㉖



秋田総合生活文化会館・美術館"アトリオン"

所在地　秋田市
用　途　ホール、美術館
構造規模　SRC、S、RC　B3、12F
延床面積　36,024.07㎡
設計者　日建設計・佐藤総合計画
施工者　フジタ工業・鹿島建設・
栗原組・中田建設・伊藤組・
秋田土建・長谷駒組JV
竣工年月　1989年9月

㉗



アサヒビール吾妻橋ビル

所在地　東京都墨田区
用　途　本社ビル
構造規模　S、SRC　B2、22F
延床面積　34,650.12㎡
設計者　住宅・都市整備公団、日建設計
写真の彫刻:フィリップ・スタルク
施工者　(外装・躯体)熊谷組・大林組・
前田建設工業・鴻池組・新井組JV
(内装・設備)大林組・熊谷組・
前田建設工業・鴻池組・新井組JV
竣工年月　1989年10月

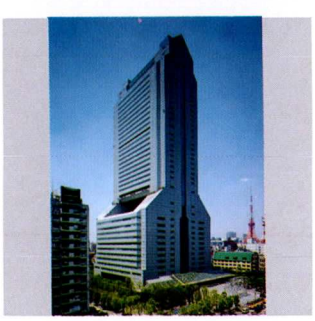
㉘



徳島県立近代美術館

所在地　徳島市
用　途　美術館
構造規模　SRC　B1、4F
延床面積　22,382㎡
(博物館・21世紀館を含む)
設計者　環境建築設計事務所(21世紀館)、
佐藤総合計画(博物館)、
日建設計(美術館)
施工者　大成建設・フジタ工業・不動建設・
熊谷組・間組JV
竣工年月　1989年12月

㉙



日本電気本社ビル〝NECスーパータワー〟

所在地　東京都港区
用　途　本社ビル
構造規模　S、SRC　B4、43F
延床面積　145,020.57㎡
設計者　日建設計
施工者　鹿島建設・大林組JV
竣工年月　1990年1月

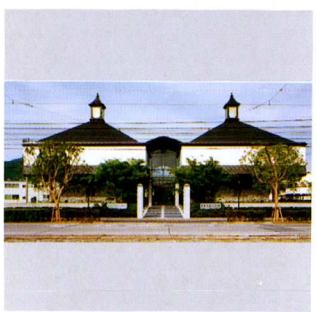
㉚



南海サウスタワーホテル大阪

所 在 地　大阪市中央区
用　　途　ホテル
構造規模　S、SRC　B3、36F
延床面積　67,778.37㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　大林組・竹中工務店・
　　南海建設JV
竣工年月　1990年1月

㉛



自由民権記念館

所 在 地　高知市
用　　途　博物館
構造規模　RC、S　2F
延床面積　2,790.51㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　鴻池組・新進建設JV
竣工年月　1990年1月

㉜



クラレ・ニッセイビル“梅田ロフト”

所 在 地　大阪市北区
用　　途　百貨店
構造規模　SRC　B1、8F
延床面積　18,438.89㎡
設 計 者　日建設計
　　（写真の壁装飾）乃村工藝社
施 工 者　大林組・藤木工務店JV
竣工年月　1990年3月

㉝



★住友生命OBPプラザビル

所 在 地　大阪市中央区
用　　途　ホール、事務所
構造規模　SRC、S　B2、17F
延床面積　38,294.47㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　竹中工務店・鹿島建設・
　　熊谷組・住友建設JV
竣工年月　1990年3月

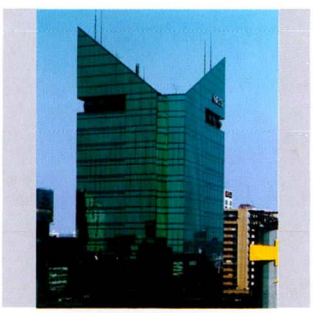
㉞



松下IMPビル

所 在 地　大阪市中央区
用　　途　事務所、商業施設、
　　イベントホール、スポーツ施設
構造規模　S、SRC　B2、26F
延床面積　84,496.50㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　鹿島建設・大林組・熊谷組・
　　戸田建設・錢高組・前田建設工業・
　　松村組JV
竣工年月　1990年3月

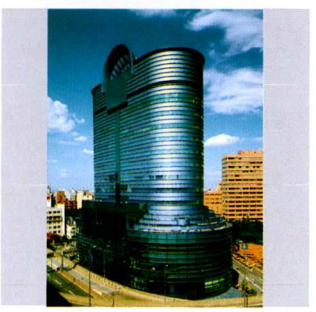
㉟



毎日放送本社ビル

所 在 地　大阪市北区
用　　途　放送局
構造規模　S、SRC、RC　B3、14F
延床面積　30,958㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　大林組・竹中工務店JV
竣工年月　1990年5月

㊱



トヨタ自動車池袋ビル“AMLUX”

所 在 地　東京都豊島区
用　　途　事務所、ショールーム
構造規模　S　B3、14F
延床面積　28,691.73㎡
設 計 者　日建設計
施 工 者　竹中工務店
竣工年月　1990年8月

㊲

■分離発注の施工者は建築のみを記載

撮影者

SS東北　SS東京　SS北陸
SS名古屋　SS大阪　キクヤ商会
クリエイティブスタジオカワカミ
KOKYU MIWA ARCHITECTURAL PHTOGRAPH LABORATORY
誠光写真企画　センターフォト
竹中工務店　新津写真　西日本写房福岡
マキフォトグラフィック　マツダプロカラー
わたなべスタジオ
大島　勝寛　川元　斉　黒田　青巌
東出　清彦　樋口　尚俊　門馬　金昭

日建設計創立40周年記念特集

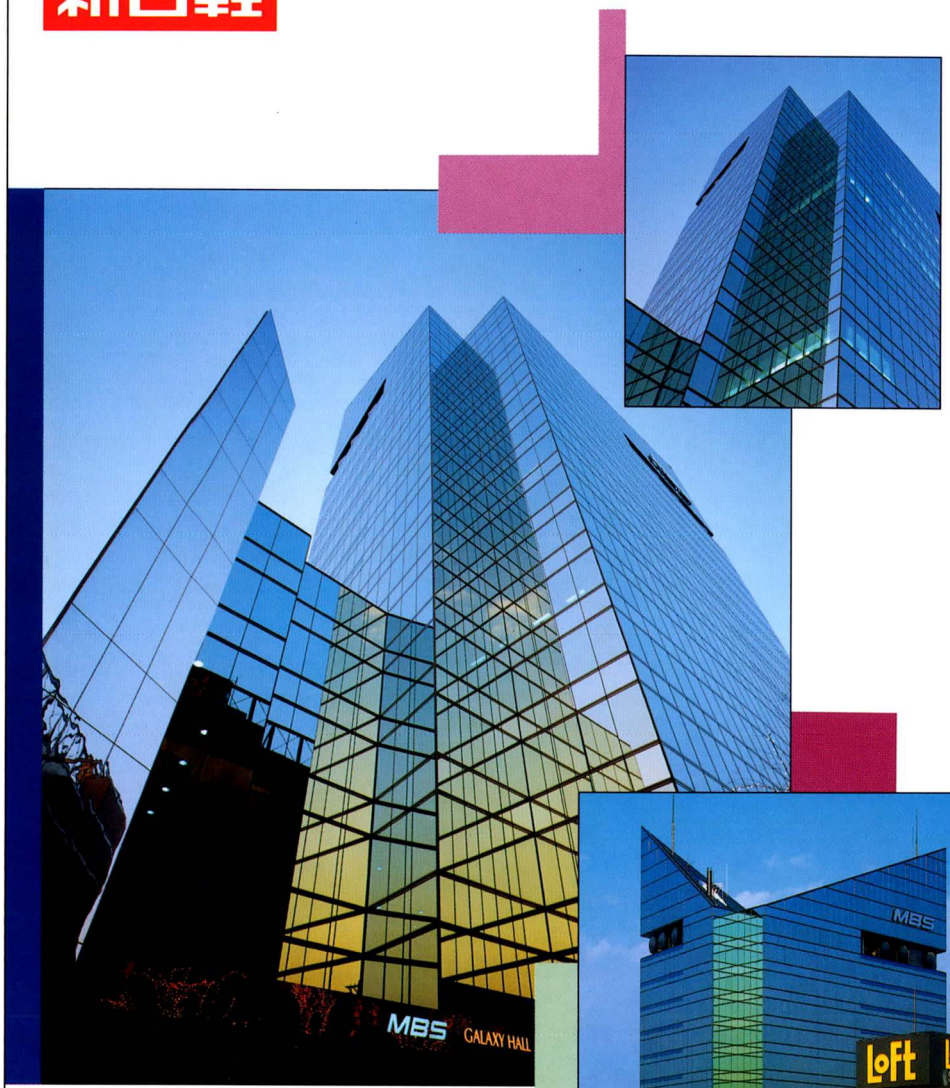
関連広告目次

小松ウォール工業……表2
大阪ニチマン商事……表3
タジマ……表4
新日軽……98
日東電工……99
東洋リノリューム……100
アイカ工業……101
旭化成建材……102
旭硝子関西建材……103
INAX……104
オクジュー……105
関西ペイント……106
きんでん……107
菊川工業……108
共同電気……109
サンゲツ……110
志野陶石……111
昭和電線電纜……112
新菱冷熱工業……113
住友電設……114
住江織物……115
大気社……116
田島ルーフィング……117
立川ブラインド工業……118
大建工業……119
大和建材店……120
東芝シリコーン……121
ナブコドアーエンジン……122
ニチベイ……123
日精……124
日本エルミンサッシ……125
日本電気……126
日本ペイント……127
日立造船……128
不二サッシ……129
マスプロ電工……130
松下精工……131
三菱電機……132
筒中シート防水……133
ロンシール工業……134
アトラス……135
朝日工業社……135
旭ファイバーグラス……136
旭硝子……136
立売堀製作所……137
岩谷産業……137
エービーシー商会……138
SS大阪……138
大阪城口研究所……139
大島応用化学工業……139
小野田エーエルシー……140
小俣シャッター工業……140
川鉄建材工業……141
川島織物……141
関城化学工業所……142
元旦ビューティー工業……142
クリヤマ……143
空研工業……143
栗原工業……144
神戸コルク……144
神戸不燃板工業……145
サトーセン……145
三機工業……146
三協アルミニウム工業……146
三建設備工業……147
三晃金属工業……147
三晃空調……148
写真化学……148
昭電……149
新晃工業……149
神東塗料……150
新日本空調……150
須賀工業……151
鈴木シャッター工業……151
住友ゴム工業……152
タニヤマ……152
ダイダン……153
ダウ化工……153
髙尾鉄工所……154
高島屋……154
龍村美術織物……155
朝陽電気……155
大丸……156
浅海電気……156
東光電気工事……157
東陶機器……157
東洋ゴム工業……158
東洋シヤッター……158
東洋熱工業……159
ナカ工業……159
内外電機製作所……160
内外木材工業……160
ニューウォールシステム……161
西原衛生工業所……161
日新工業……162
日本アルミニウム建材……162
日本板硝子……163
日本スピンドル製造……163
日本建鐵……164
日本BAC……164
能美防災……165
バーナーエコノベント……165
フドウ建研……166
富士精工……166
文化シヤッター……167
丸五基礎工業……167
三星産業……168
宮崎木材工業……168
ヤマギワ照明システム……169
山武ハネウエル……169
横河ジョンソンコントロールズ……170
吉野石膏……170
リリカラ……171
YKKアーキテクチュラルプロダクツ……171

新日軽

創造は無限

そこで過ごす人々の夢、プランナーの夢、そして、クリエーターの創造性に、柔軟に応える新日軽のカーテンウォール。素材であるアルミのクオリティから異なり、それは、工作精度、カラーテクノロジー、カーテンウォールに対する哲学でも一線を画して存在します。『自由合金』たるアルミの製造からてがけ、アルミを知り尽くした新日軽。無限の創造にお応えできるのは、これからも新日軽です。





毎日放送 新社屋
設 計:㈱日建設計
施 工:㈱大林組、㈱竹中工務店 共同企業体

新日軽カーテンウォール

CURTAIN WALL

新日軽株式会社 本社/〒135 東京都江東区木場2-7-23(第一ビル) ☎03(3820)2245



強いといえば、鉄。強度や加工のしやすさで、建築、自動車をはじめ、あらゆる分野でひっぱりだこ。
暮らしや産業になくてはならないものです。ところが、さしもの鉄もサビには勝てません。
海水、潮風にはからきし弱く、土の中や空気中でもサビはじわじわと進み、気がつかないうちに鉄を痛めています。
おまけに最近は酸性雨や酸性霧という大敵も登場。鉄塔の支柱がいつの間にかサビて、
ある日突然ポキリということにもなりかねません。それを事前に防ぐのが「化学絶縁」防食技術です。



鉄をやさしくカバーし、塩分、水、空気、化学物質、迷走電流など、サビの原因をシャットアウト。
サビ知らずの鉄にメイクアップします。防食塗料から防食テープ・シート・チューブ、
樹脂成形品まで、用途や目的に合わせて多種多才。
いつまでも、達者でいてほしいものです。

日東電工 日東電工株式会社 防食防水材事業ユニット
〒102 東京都千代田区麹町5丁目7番地2(第31森ビル) TEL.03(3222)4437

末ながく、はじめまして。

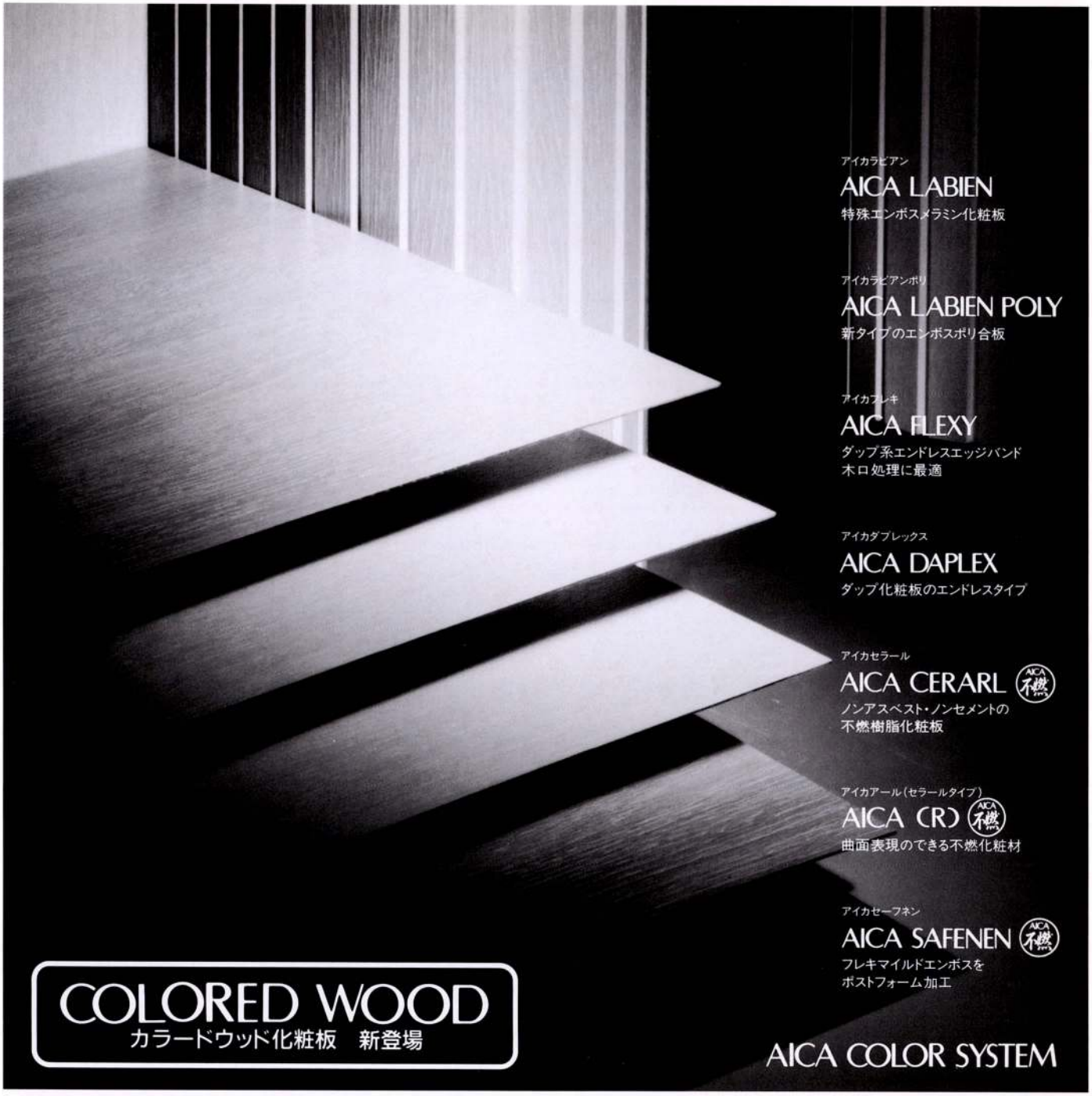


もっと快適なスペースで仕事のできるオフィスにしたい。もっと楽しいスペースでショッピングや食事のできる街にしたい。もっとここちよいスペースで集い、憩える住まいにしたい。そのために、いつもシャープな感性とあたたかなハートを持ち続けていたい。人とスペースを結ぶもの――インテリアにかかわるすべての領域を、もっと豊かに、もっと素敵に。東リは、熱い思いを新しいマークにこめて、スタートします。あらためて、はじめまして。そして、これからもどうぞよろしく。顔もハートも新しくなりました――東リです。

東リ

本社
〒664兵庫県伊丹市東有岡5-125 電話(06)492-1331
東京本部
〒105東京都港区東新橋2-10-4 電話(03)3434-4191

〈主な取扱商品〉
塩ビタイル・長尺シート・クッションフロア・カーペット・
カーテン・壁装材・OA用フロア



共通表情でLINKする、7素材・12カラー

定評あるアイカカラーシステムをベースに12色をチョイス。
表情豊かなエンボス加工で仕上げた
カラードウッドシリーズ。
ジャストオーク6色、アーバンオーク6色を7素材に展開。
複合素材による新しい空間創造にお役立ていただけます。

ΣE ΣTEPEO
セ・ステレオ
アイカカラーシステムがつくる、インテリア空間は、
単に面の集合ではなく、立体空間の複合調和で構成される。

●専用カタログ、施工資料、カラーサンプルなどを用意しています。お気軽にご請求ください。

アイカ工業株式会社
本社　☎(052)202-6911(代表)
名古屋市中区丸の内二丁目20番19号(名古屋東京海上ビル20F)
営業本部 化粧板営業部 ☎(052)202-6962(直通)

支　店：S…常設ショールーム
札幌支店S☎(011)811-9201
仙台支店S☎(022)232-3251
高崎支店S☎(0273)22-8771
東京支店S☎(03)3343-2353
新潟支店S☎(025)283-8420
静岡支店S☎(054)237-7251
名古屋支店S☎(052)331-4132
金沢支店☎(0762)49-3681
大阪支店S☎(06) 267-8721
岡山支店S☎(0862)43-1327
広島支店S☎(082)254-1311
高松支店S☎(0878)51-9588
福岡支店S☎(092)475-6333
佐賀支店S☎(0952)47-3111
営業所
大宮営業所☎(048)647-7271
千葉西営業所☎(0473)22-3311
横浜営業所☎(045)651-9790
浜松営業所☎(0534)55-2022
松本営業所☎(0263)33-1321
京都営業所☎(075)344-2011
神戸営業所☎(078)222-6341
松山営業所☎(0899)47-6589
山口営業所☎(08397)3-4436
鹿児島営業所☎(0992)26-7511

創。——ニュースペース
AICA

都市空間にダイナミックな建築フェイスを創造

公立春日井小牧看護学校(タイルパネル)



坂井電気工業(ミラーコートパネル)



たまプラーザ放送センター(スタンダードパネル)



ALCの特性をさらにワイドにアップ!

グランデ

超軽量コンクリートパネル(幅900〜1,800ミリ)

旭化成の(グランデ)は、世界に先駆けて開発したパネル幅900〜1,800ミリのワイドな超軽量コンクリートパネルで、建物の壁面フェースを重厚でダイナミックに創出いたします。
数多くの実績を誇るヘーベル(ALC)の優れた特性をそのまま活かし、軽量・耐火・断熱・施工性・経済性などに加え、グランデのパネル内に一体化されたアンカーと特殊ファスナーを用いたカーテンウォール構法により高い免震性を発揮。また、建物の軽量化による基礎や構造躯体のコストの節減も計れ、インテリジェントビル、ハイテク工場など、先進の建築で次々と高い評価を頂いています。グランデにはスタンダードパネルの他に各種コーナーパネルと、予め工場で表面加工仕上を施し、よりファッション性と施工性を高めたミラーコート、タイルパネルなどのバリエーションパネルも用意しています。

北海道・東日本・中日本・西日本

旭化成建材

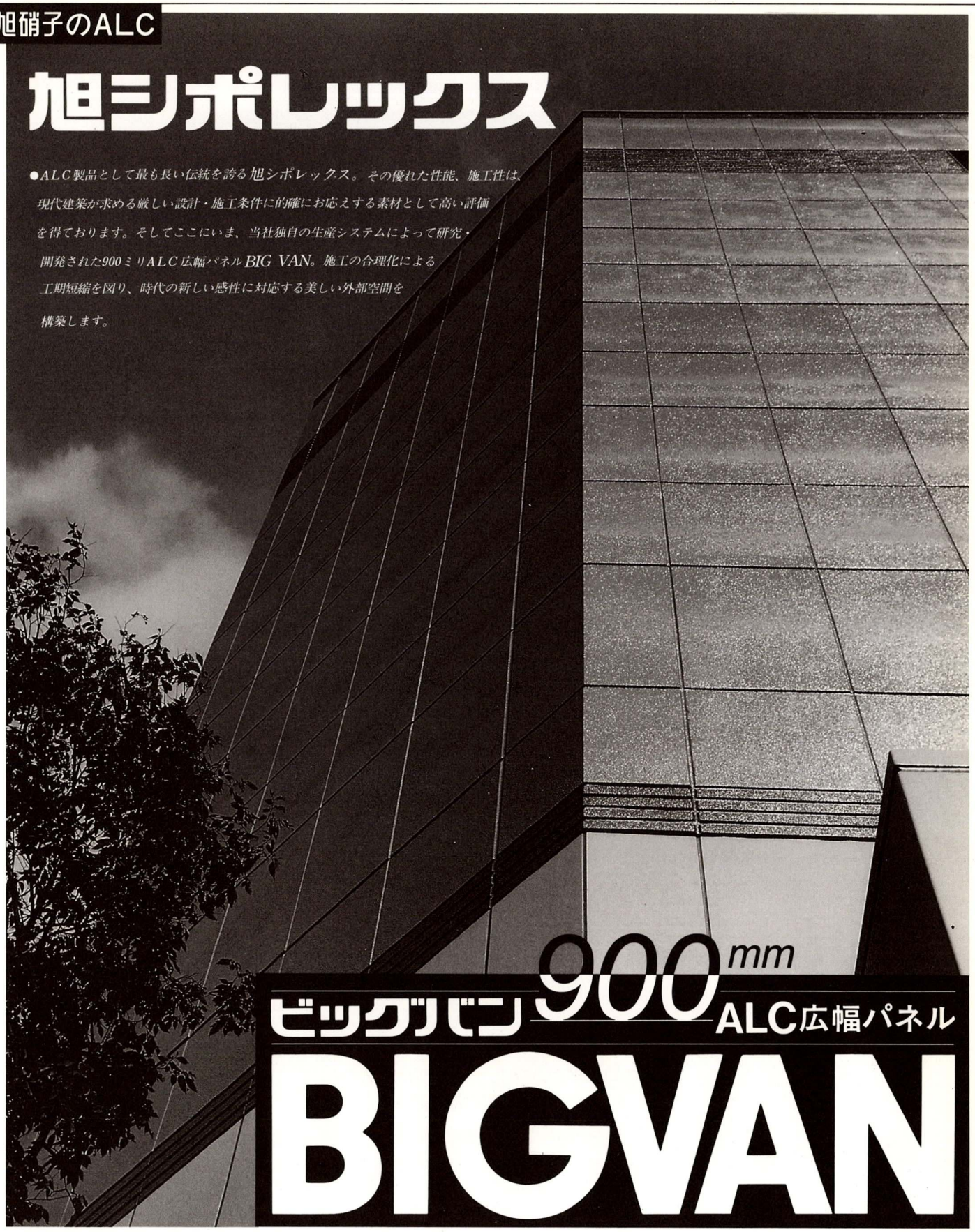
●東　京03(3507)7855	●大　阪 06(347)3847
●札　幌011(261)5443	●名古屋052(212)2233
●仙　台022(223)5155	●広　島082(247)6131
●金　沢0762(31)7188	●福　岡092(752)3974
●高　松0878(22)0305	

●**グランデの新しいカタログを配布中。**最新のグランデによる豊富な実例作品を美しいカラー写真で紹介。多彩なデザイン性と優れた特性・物性のデータと構法を詳しく解説しています。(A4判変形・56頁)

旭硝子のALC

旭シポレックス

●ALC製品として最も長い伝統を誇る旭シポレックス。その優れた性能、施工性は、現代建築が求める厳しい設計・施工条件に的確にお応えする素材として高い評価を得ております。そしてここにいま、当社独自の生産システムによって研究・開発された900ミリALC広幅パネルBIG VAN。施工の合理化による工期短縮を図り、時代の新しい感性に対応する美しい外部空間を構築します。



900mm
ビッグバン
ALC広幅パネル
BIGVAN

旭硝子関西建材株式会社

●本　社　〒550 大阪市西区立売堀1-3-13（第三富士ビル）☎(06)538-0521
●京　都　(075)343-1992　●広　島　(082)294-1722
●福　岡　(092)771-7271　●高　松　(0878)36-0275

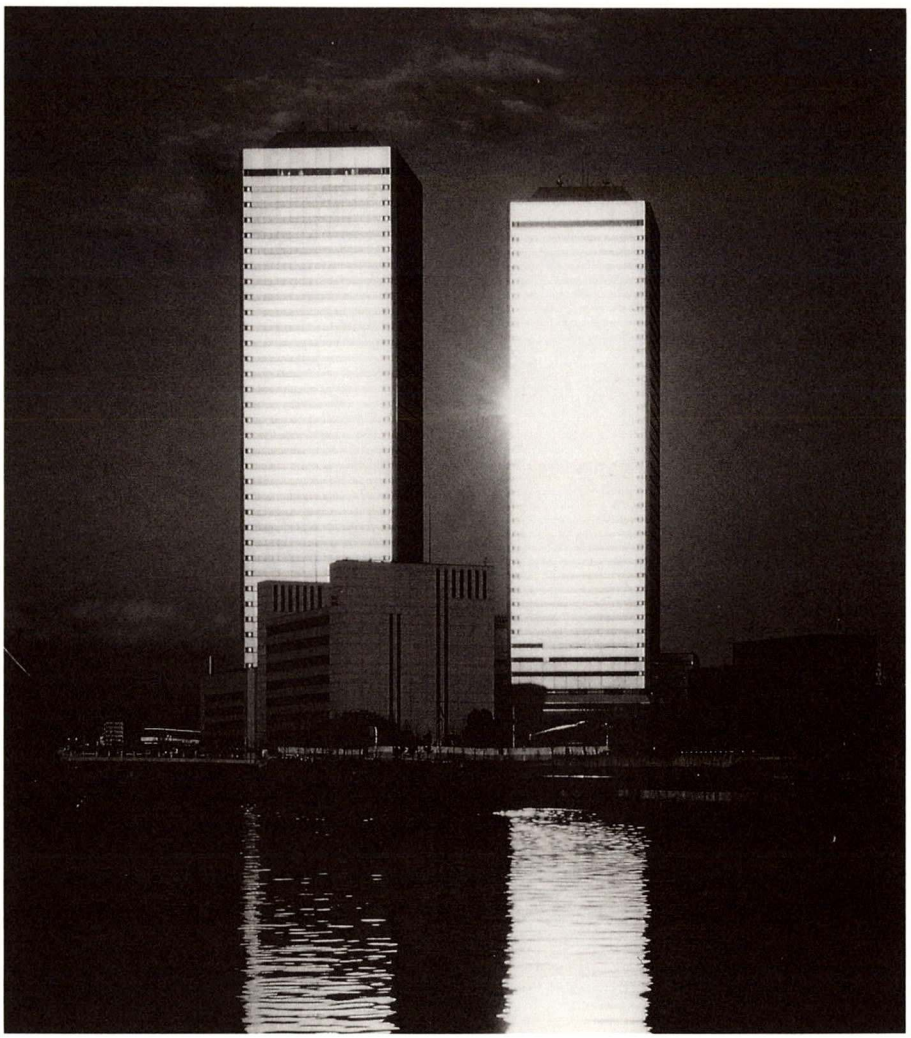
旭硝子関東建材株式会社

●東　京　(03)3254-7100
●仙　台　(022)264-3020

旭硝子中部建材株式会社

●名古屋　(052)581-7421
●富　山　(0764)41-5175

INAX

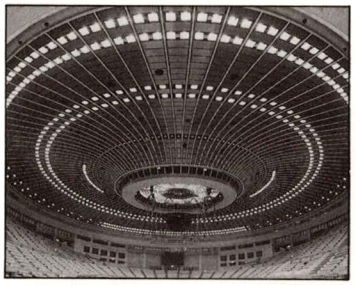


人・間・空・間 たいせつに

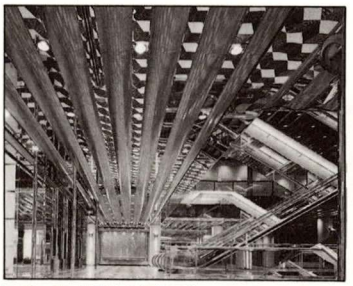
INAXが提唱する「環境美」は、都市空間を再構成する都市美、
高質の住まいづくりを推進する生活美、
そして企業イメージを建築物で高める企業美——
この3つが柱となっています。
そしてここに共通する基盤は、「セラミック技術」です。
台所、浴室、トイレなど水まわりはもとより、門、庭園、玄関まわりなどの
エクステリアをカバーし、さらに建築の内外装から街の広場づくりへと、
INAX商品の世界は大きく未来をひろげつつあります。

株式会社INAX

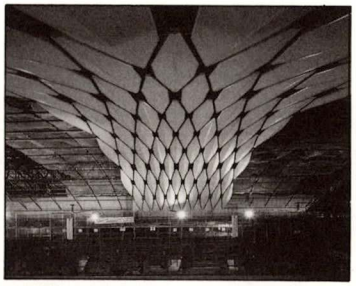
東京本部　〒163　東京都新宿区西新宿二丁目3番1号　新宿モノリス　☎ 03-3343-1700
大阪支店　〒550　大阪市西区新町一丁目7番1号　☎ 06-532-6081



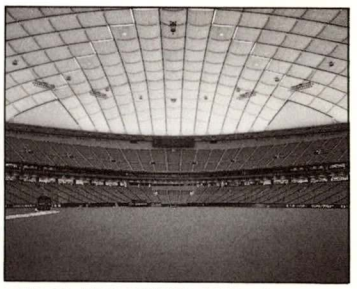
■大空間創作円形天井：名古屋市総合体育館
スポーツ・文化イベントと多目的に利用される国内最大級のメインアリーナ。巨大な円形天井が構成され独創的なスペースを創り出しています。



■パンチングパネル創作天井：ソラリアプラザ
超多機能複合施設イベントプラザ。アルミ鏡面パンチングパネル&ステンレス鏡面パネル天井がファンタジックスペースを創り出しています。



■大規模天井無足場工法：大阪府立体育会館
関西のスポーツの殿堂ともいえる多目的スポーツ空間。メインの第一アリーナは日本最大級のスケールをもち、夢の技術が夢の空間を創り出しました。



■パンチングパネル創作壁：東京ドーム
ビッグエッグの名で親しまれている国内初の全天候型エア・ドームスタジアム。多目的利用に適した快適空間を創り出しています。

■新社名のお知らせ

株式会社 オクジュー

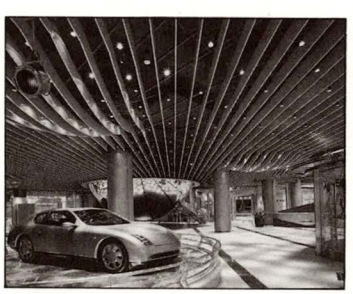
Smile & Dream

創業70周年を迎え、1991年1月1日より、
「奥村重兵衛株式会社」が「株式会社 **オクジュー**」に、優しく生まれ変わりました。
Smile & Dream を経営理念に
インテリジェント スペース & アミューズメント スペースの
未知の空間創出にチャレンジします。

●トヨタ自動車池袋ビル



■創作照明ボックスユニット
カー・ショールームの夢の空間。光と影のコーディネートがスピード感あふれるスケールの大きな曲面と未来空間へのアプローチを果たしています。



■特殊型押ルーバー天井
近未来空間の漂うムードのなかで特殊押出し型材による変形ルーバー天井がドリームカーの機能美と芸術美をみごとに演出しています。



■装飾化粧ビーム
シンプルな機能美を表現したテクニカル空間。ハンドメイドによる十字、T字、L字の最適なジョインティングがオリジナル空間を創り出しました。

OKUJU
スペース クリエイター

本 社
大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530
TEL(06)312-4131 FAX(06)316-1205
東京・九州・横浜・名古屋・仙台・宮崎

株式会社 オクジュー

21世紀の都市に映えるSuper Paints



CURTAIN WALL PAINT
外装建材塗料シリーズ

■超耐候性フッ素樹脂塗料
フッカロン

■高耐候性フッ素樹脂塗料
カンペフロン160

■高耐候性フッ素樹脂塗料
カンペフロンCW

■速乾形ポリウレタン樹脂塗料
レタンPA

■速乾形ポリウレタン樹脂塗料
レタンPAQ

■建材用熱硬化型アクリル樹脂塗料
マジクロン

21世紀を目前に控えた今、地球をとりまく環境は決して安心できるものではなく、今後ますますその状態は進むと思われます。オゾンホールの破壊や酸性雨、地球全体の温暖化などがもたらす影響は大きく、私たちの生活に無関係ではありません。無論、それは建築物ついても同じです。これから建設される建物はもちろん、塗り替えなどを行なう際には、それによって建物の寿命が大きく変わってくるため、塗膜も厳しい自然環境に耐えられるものが必要とされてきます。私たちは今日のような高度の耐候性が要求される時代を予期し、時代のニーズに応えるべく塗料の研究・開発にいち早く着手して参りました。関西ペイントの外装建材シリーズは厳しい品質検査、耐候性試験を繰り返し、実績においてもその性能が証明されているものばかり、さまざまなTPO、設計者・施工のニーズにお応えするスーパーペイントです。

ALESCO
関西ペイント株式会社

●お問い合わせ、資料のご請求は…
本社／〒541 大阪市中央区伏見町4-3-6
TEL:06-203-5012
東京／〒140 東京都品川区東大井5-24-15
TEL:03-3472-3111

Kinden
CORPORATION

設備総合エンジニアリングで世の中を支えます。

あなたの暮らしと「きんでん」は、じつはいろんなところで結びついています。アークヒルズのインテリジェントビル群で、大阪ビジネスパークの超高層ビル群で。さらにはマンションのホームオートメーションにも「きんでん」の技術がいきづいているのです。膨大な経験の蓄積とひたむきな冒険心で、いつも『世の中の底力』でありたい。もっといろんなところであなたと出会いたい。そう考えている「きんでん」です。

世の中の底力

株式会社 きんでん



陽気でも強気でも。

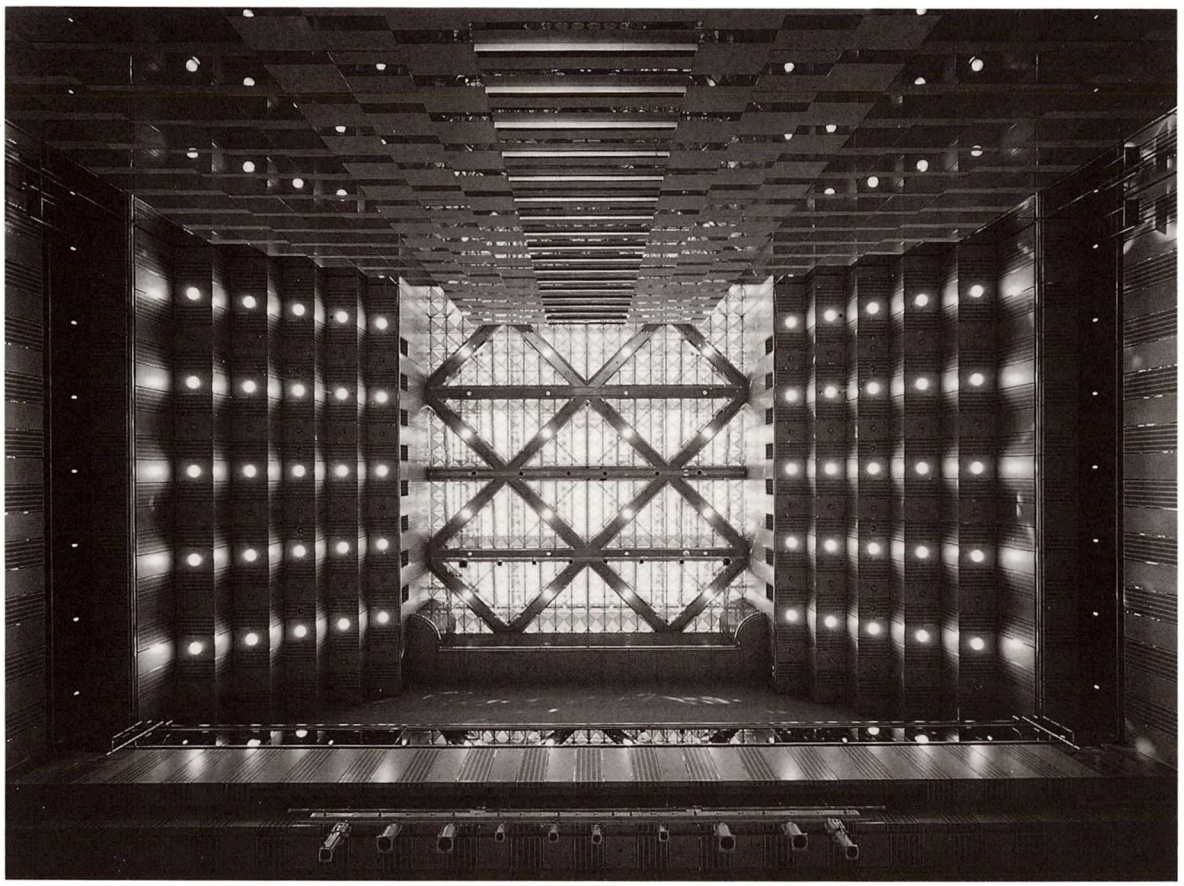
本　店 〒531 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 ☎06(375)6000　東京本社 〒141 東京都品川区東五反田5丁目25番12号 ☎03(3447)3151

メタル・アーキテクト　KIKUKAWA

キクカワは、メタルで21世紀の都市空間に美を創造します

OBPキャッスルタワー
アトリウム　パンチング壁パネル・トップライト

設計／日建設計



私たちの仕事は、
ビル、ホテル、記念館、社寺といった建築物の
金属製内外装工事を主体としており
メタル（金属）に関わる
あらゆる技術をここに投入し
お客さまのニーズにお応えしてきました。

私たちは、
これをメタルエンジニアリングと呼び
キクカワの事業運営の中核に置き
さらにきめ細かくお客さまのご要望に
お応えしていこうとしています。

菊川工業株式会社

●キクカワグループ●

菊川工業㈱●東京都墨田区菊川２－18－10　☎03-3634-3231　〒130
キクカワテクノプラザ●千葉県印旛郡白井町白井工業団地７　☎0474-92-0141　〒270-14
菊川金属工業㈱●千葉県印旛郡白井町白井工業団地７　☎0474-92-1141　〒270-14
キクカワM＆E㈱●大阪市西区北堀江２－９－20－102　☎06-535-4381　〒550
キクカワ技術サービス㈱●東京都墨田区菊川２－18－10　☎03-3634-3275　〒130
㈱九州キクカワ●福岡県大野城市仲畑２－96　☎092-574-1733　〒816
海外●香港・シンガポール・台湾

インテリジェントビル対応のフレキシブル床配線システム

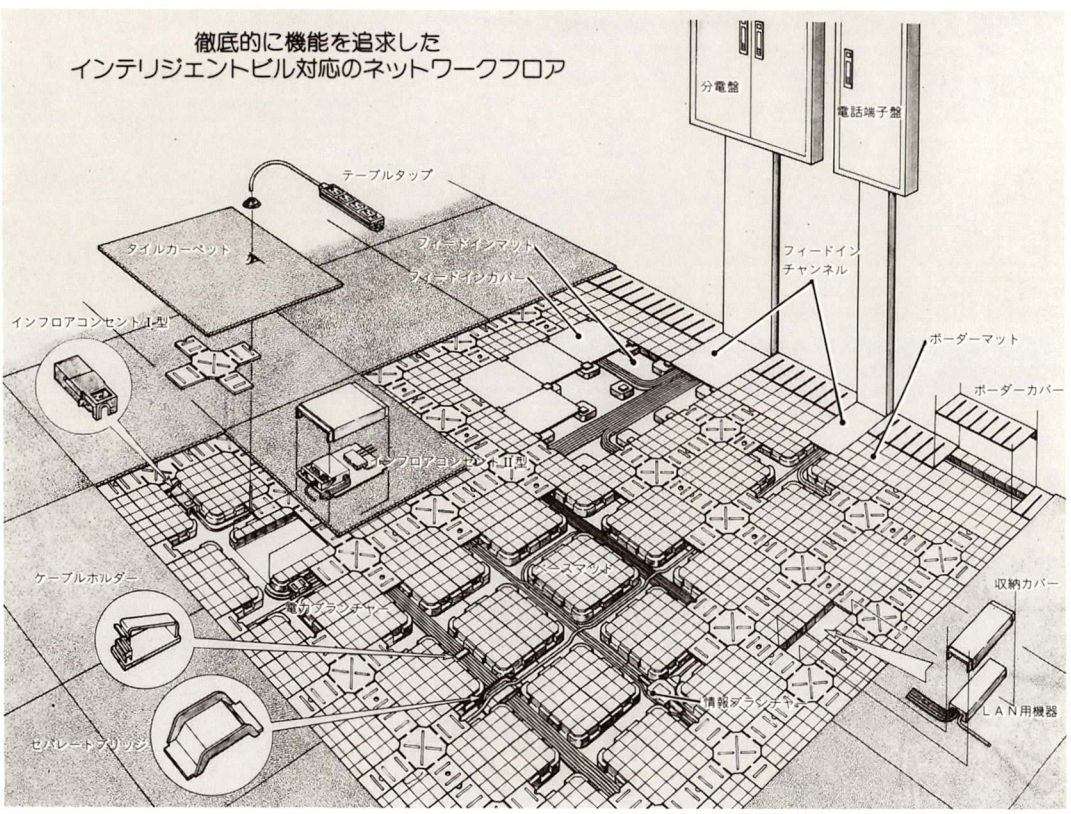
ネットワークフロア



通商産業省選定
グッドデザイン商品

足下の美学

ナイフで切れる新素材、フレキシブル・コンクリートマットを基材とした置敷式の床配線システムフロアーです。レイアウト変更に伴う配線もオフィスワーカ自身でできますから、費用はほとんどかかりません。仕上がり高さわずか4㎝です。新設はもちろん、既設ビルのリフォームにも適しています。



配電システムメーカー

共同電気株式会社

フロアシステム事業部
西日本 〒530 大阪市北区東天満1-11-13 廣垣ビル ☎06 (358)3995
東日本 〒150 東京都渋谷区東3-24-12 ☎03(3409)2335
中　部 〒450 名古屋市中村区名駅南1-18-19原ビル☎052(581)0204

SANGETSU

インテリアの新しい1ページを創る。

いつの時代にも、ひとにとっていちばん心地よい住空間づくりを。
サンゲツは、多様に変化するニーズにお応えするために、常にインテリアをトータルな目で見つめ、カタチにしています。
ショールームで、見本帖で、インテリアの新しい風を感じてください。



東京ショールーム・クレリア

●壁装材●カーテン●カーペット●カーペットタイル●クッションフロア●フロアタイル

インテリアのすべてをおとどけする

株式会社
サンゲツ

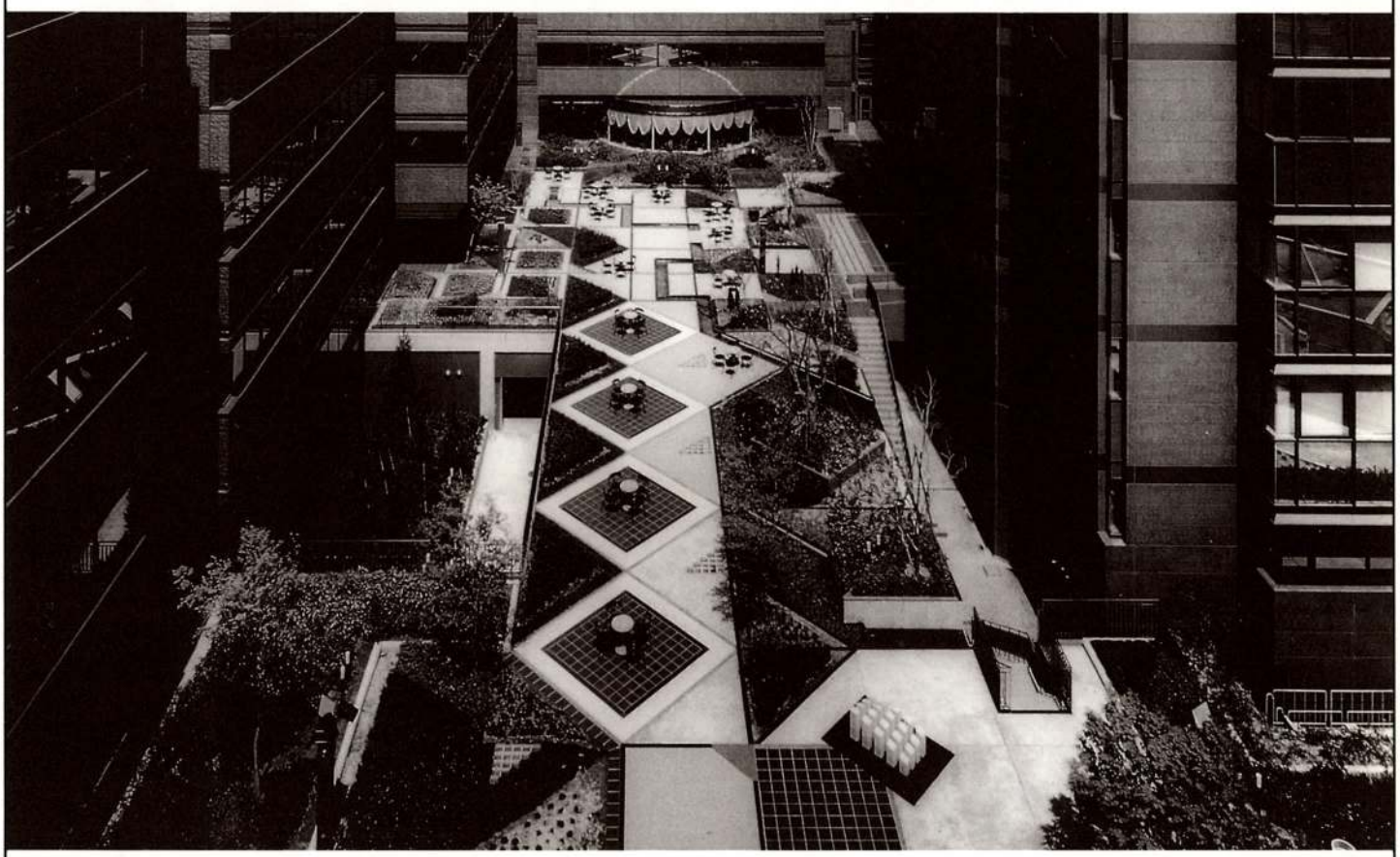
本　社／名古屋市西区幅下1-4-1　☎052(564)3111
ショールーム
名古屋／名古屋市西区幅下1-4-1　☎052(564)3225
東　京／東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル3階　☎03(3505)3300
福　岡／福岡市博多区板付1-10-3　☎092(441)5181
広　島／広島市中区船入中町2-28　☎082(233)3551

支店
札　幌　☎011(832)3111　仙　台　☎022(287)3765
東　京　☎03(3474)1181　名古屋　☎052(564)3111
大　阪　☎0720(74)1711　福　岡　☎092(441)5181

Architectural Ceramics & Tiles by Sino Toseki

建築は都市におけるシンボルである

日々進歩する建築技術
そして絶え間まく
求められる新しい素材
志野陶石は
建築用セラミクスと
窯業の分野から
それに無限に対応して
美しい都市づくりに
貢献したいと考えます。



現代建築に「日本の土」「日本の色」を提供する
本格派せっ器質タイル…法楽塼
磁器質床タイル…四方磚

■外装用「せっ器質タイル」
■イタリア製各種「最高級インテリア・タイル」
■ドイツ製「スイミングプール用タイル」
プールアクセサリー各種・水処理設備・オゾン発生装置
■建築用装飾大理石・テラコッタ・石彫オーナメント
建築用装飾ガラス・美術陶器
■新複合製品
■オフィス用セラミックグッズ

株式会社 志野陶石

本社：〒604 京都市中京区御池御幸町西・北側　TEL.(075)222-2311(代)

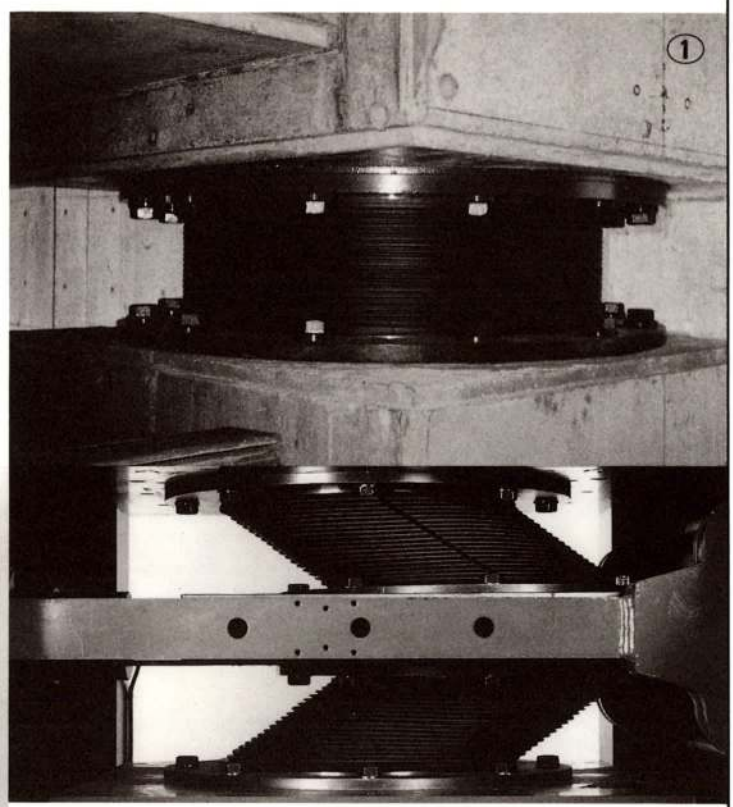
東北営業所〈ショールーム〉 TEL(022)263-2818(代)
東京営業所〈ショールーム〉 TEL(03)3797-0501(代)
横浜営業所 TEL(045)664-6961(代)
名古屋営業所〈ショールーム〉 TEL(052)211-3731(代)
米原営業所 TEL(0749)52-0899
京都営業所〈ショールーム〉 TEL(075)255-3020(代)
大阪営業所〈ショールーム〉 TEL(06)943-1536(代)
高松営業所 TEL(0878)21-1030(代)
広島営業所 TEL(082)261-4010(代)
九州営業所 TEL(092)475-8980(代)
浅井工場 TEL(0749)74-2571(代)
中央物流管理センター TEL(0572)55-5105(代)

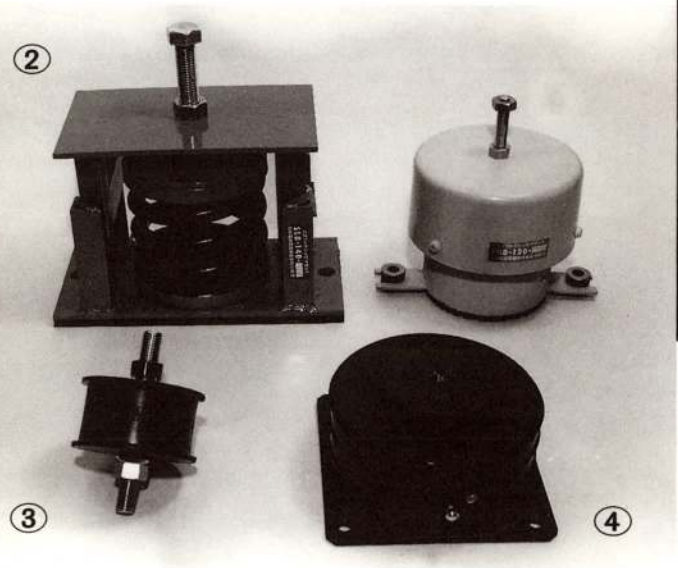
Access Tomorrow

無振動の世界へ

貢献する昭和電線

昭和電線は、
地震から建物・人命を守る免震アイソレータ、建物内空調機器、配管等より発生する振動を防止する防振材と、あらゆる面から振動障害の無いオフィスの快適空間を作るべく挑戦し、かつ貢献しています。





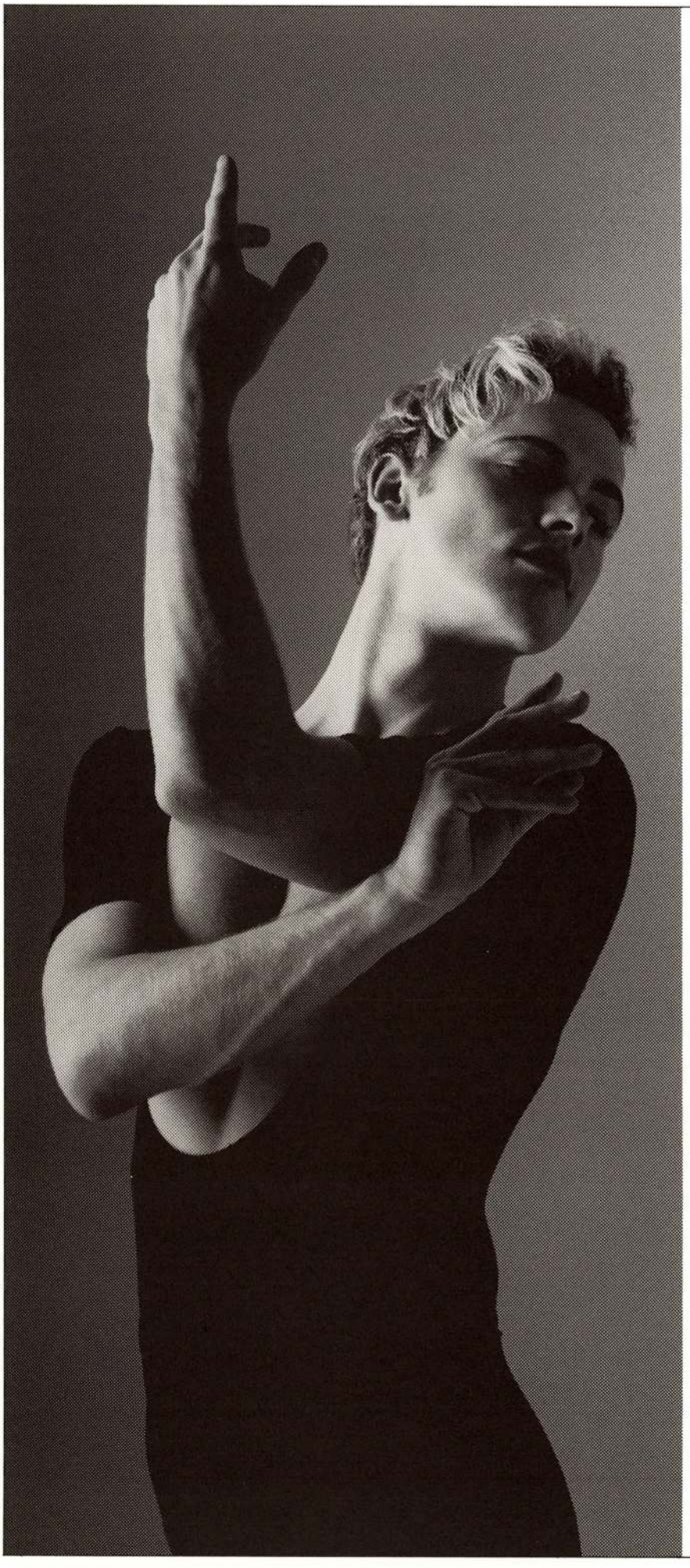
防振・免震材の種類

①免震アイソレータ
②スプリングショウマウント
③防振ゴム
④ニューマクッション（密封式空気ばね）

SWCC 昭和電線電纜株式会社

お問い合わせは下記営業部へ

電子機器営業部　〒105 東京都港区虎ノ門1-2-20(第19森ビル)　☎(03) 3597−7171
支店　関西 ☎(06)345-1151・中部 ☎(052)583-1351・東北 ☎(022)222-3322
九州 ☎(092)712-8641・北海道 ☎(011)241-7631・中国 ☎(082)248-3773
営業所　富山 ☎(0764)32-6364・高松 ☎(0878)21-8857・沖縄 ☎(0988)62-8381



空・調・和。

街を人間のために。

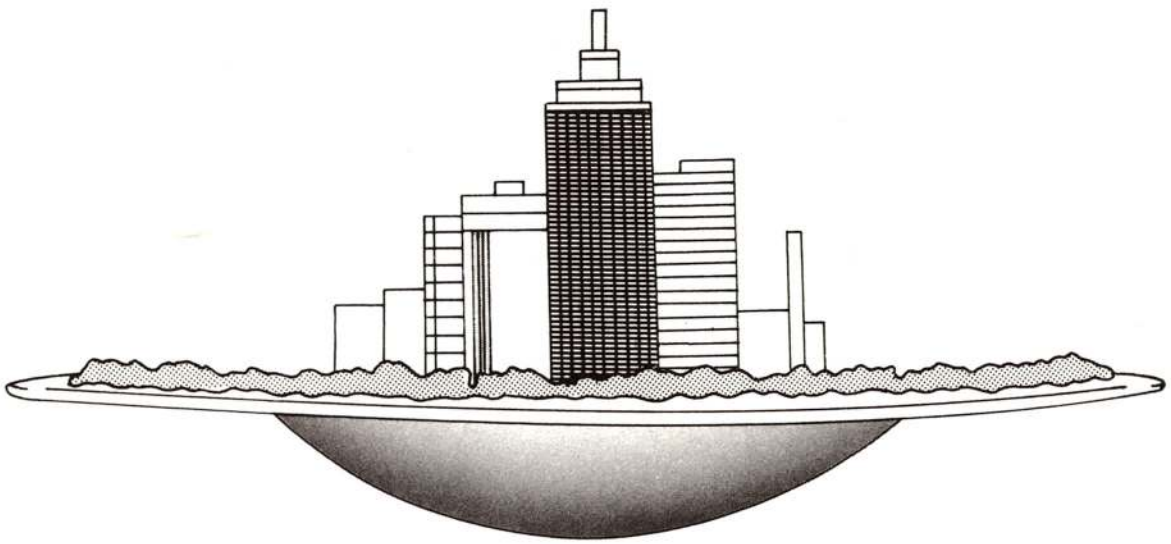
インテリジェントビルや高層ビルをはじめ、都市には大小さまざまなビルが建ち並んでいます。この中の主役は、もちろん人間。どんなに美しく、便利なビルでも、人間にとって快適な環境がそこになければ、ビルは機能しているといえません。そこで、ますます大切になってきたのがビルを人間に調和させるエンジニアリングです。いま新菱冷熱では空調技術を出発点に、ビルを中心とする都市の環境づくりを人間の視点で考えています。

快適への夢は、無限に拡がります。

人間が活動しやすい空気をつくるのが空気調和設備。また快適な生活環境のためには給排水衛生設備や電気設備、水処理設備、そしてこれらをコントロールする制御設備なども欠かせません。新菱冷熱ではエレクトロニクスやメカトロニクス、バイオテクノロジーなど広範囲におよぶ技術を結集して、各設備の研究開発にあたっています。この成果は地域冷暖房システムをはじめとして、あらゆる人間環境へ拡がってきました。技術と技術の出会いが、より快適なスペースを創りだしているのです。トータル技術がかなえる快適への夢。総合設備エンジニアリング企業として、新菱冷熱は人間と環境の調和をめざしています。

新菱冷熱工業株式會社
SHINRYO CORPORATION
本　社 〒160 東京都新宿区四谷2-4 ☎(03) 3357-2151㈹
大阪支社 〒530 大阪市北区堂島1-1-5(梅田新道ビル)
☎(06) 344-7102㈹

——誠実と技術でお応えする——



活力と魅力にあふれるクリエイティブカンパニーをめざす。

住友電設株式会社

本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)

東京／〒105 東京都港区芝2丁目2-17 ☎(03)3454-7311(大代)

営業種目
設計・施工・監理

●電力工事
配変電設備工事
架空送電線工事
地中送電線工事
土木工事

●設備工事
ビル電気設備工事
工場電気設備工事
防爆電気設備工事
計装工事
空調工事
給排水衛生工事
特殊配管工事
消防施設設備工事

●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事
CATVシステム工事
各種アンテナ装置工事

新時代のホテルを快適に演出する、スミノエのトータル・インテリア。

ゆとりに満ちたコミュニティ・ステージから、個性を生かしたパーソナル・スペースまで、優雅なくつろぎシーンをトータルにコーディネイト。
スミノエは、時代のトレンドを促えた豊かな商品群で、クオリティの高い快適空間づくりをサポートします。



営業品目/カーテン・カーペット・壁装・車両内装材・椅子張・緞帳・美術織物・ウッドフロア・天然石タイル・硬質床材

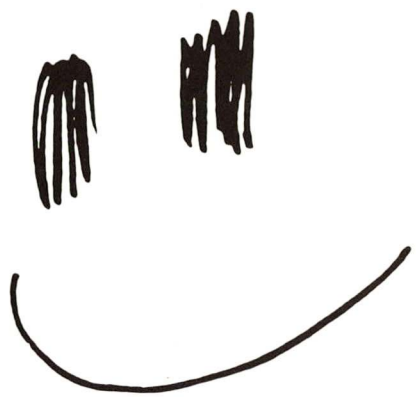
SUMINOE

ゆたかなインテリアライフをお届けする信頼のブランド
住江織物株式会社

■大阪支店/大阪市中央区南船場3-11-20 TEL.06(251)7944 ■本社/大阪市中央区南船場3-11-20 TEL.06(251)0698 ■東京支店/東京都港区三田3-13-16第43森ビル8F TEL.03(3456)3011
■営業所/札幌/仙台/新潟/大宮/千葉/横浜/静岡/金沢/名古屋/京都/神戸/岡山/広島/福岡 ■連絡所/盛岡/多摩/松山

商品は空気です。

新鮮でクリーンな空気です。
この精気あふれる空気を、人びとが働き憩う場所
シビアな環境整備を必要とする空間にお届けすること、
これが大気社の仕事です。



熱と空気のエンジニア

株式会社 大気社

● 営業種目

空気調和設備/給排水衛生設備/塗装設備
/公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル ☎03-3344-1851（代）
大阪本社 ―― ☎06-448－3603（代）
大阪支社 ―― ☎06-448－5851（代）
北海道支店 ―― ☎011-222-3371（代）
東北支店 ―― ☎0222-21-7800（代）
名古屋支店 ―― ☎052-211-1535（代）
中国支店 ―― ☎082-247-5541（代）
九州支店 ―― ☎092-431-2147（代）

防水をトータルに考える。

防水の田島ルーフィングは ビルにグリーンを咲かせてみました。

トータルシステムで、屋上・バルコニースペースにグリーンを演出するGウェイブ。



田島ルーフィングから 新登場

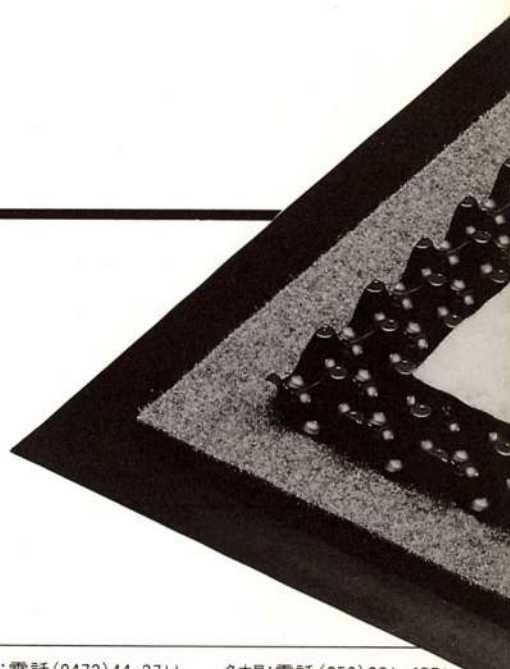
三星グリーンルーフシステム

G-WAVE

Gウェイブ。それは、田島ルーフィングの防水のノウハウと ヨーロッパの伝統の技術がつくり上げた、画期的なグリーンルーフシステムです。

ルーフガーデンに長い歴史を持つ、ヨーロッパから今、グリーンの波。その波は、都市空間に新しい美しさと潤いをもたらします。Gウェイブは、田島ルーフィングならではの、**防水層から植栽までのトータルシステム。建物に優しい低荷重、優れた遮音・断熱効果**など数々の特長を合わせ持つグリーンルーフシステムです。屋上庭園や家庭菜園に。花壇や砂場など子供の遊び場に。また芝生や木を植えて、ゴルフの練習や屋上パーティにと、さまざまな利用が可能。屋上・バルコニースペースをより有効に演出し、暮らしに楽しさとアメニティをお届けします。





田島ルーフィング株式会社
東西アスファルト事業協同組合

東京：電話 (03) 3862-8531
電話 (03) 3863-5631
大阪：電話 (06) 443-0431

札幌：電話 (011) 221-4014
仙台：電話 (022) 261-3628
大宮：電話 (048) 653-1885

千葉：電話 (0472) 44-3711
横浜：電話 (045) 651-5245
金沢：電話 (0762) 33-1030

名古屋：電話 (052) 961-4571
広島：電話 (082) 246-8625
福岡：電話 (092) 521-3133

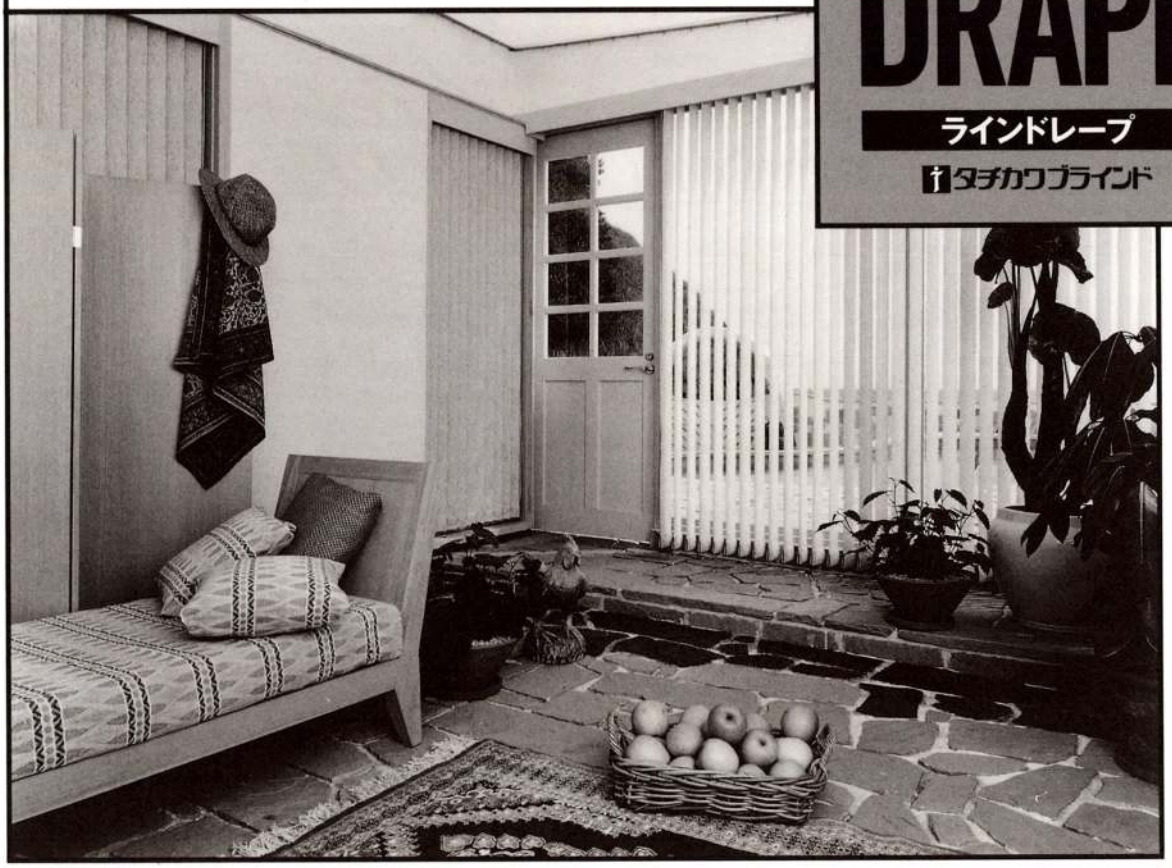
TACHIKAWA CORPORATION

LINE DRAPE

ラインドレープ

タチカワブラインド

室内の明るさは仕事の能率だけでなく、そのイメージまでも大きく左右します。タチカワラインドレープは、ブラインドの機能性にカーテンの優しさをプラスした新しい窓辺のスタイル。時と共に移りゆく陽ざしを快適にコントロールします。素材にこだわり、贅沢に織りあげたクロスは37シリーズ、150アイテム。どんなインテリアにも調和する上品な色・柄を揃えました。オーダーシステムですので、開口部の大きな窓をはじめ、あらゆるサイズのご注文が可能です。流れるような縦のラインが室内はもちろん、外観もすっきり美しく整えます。

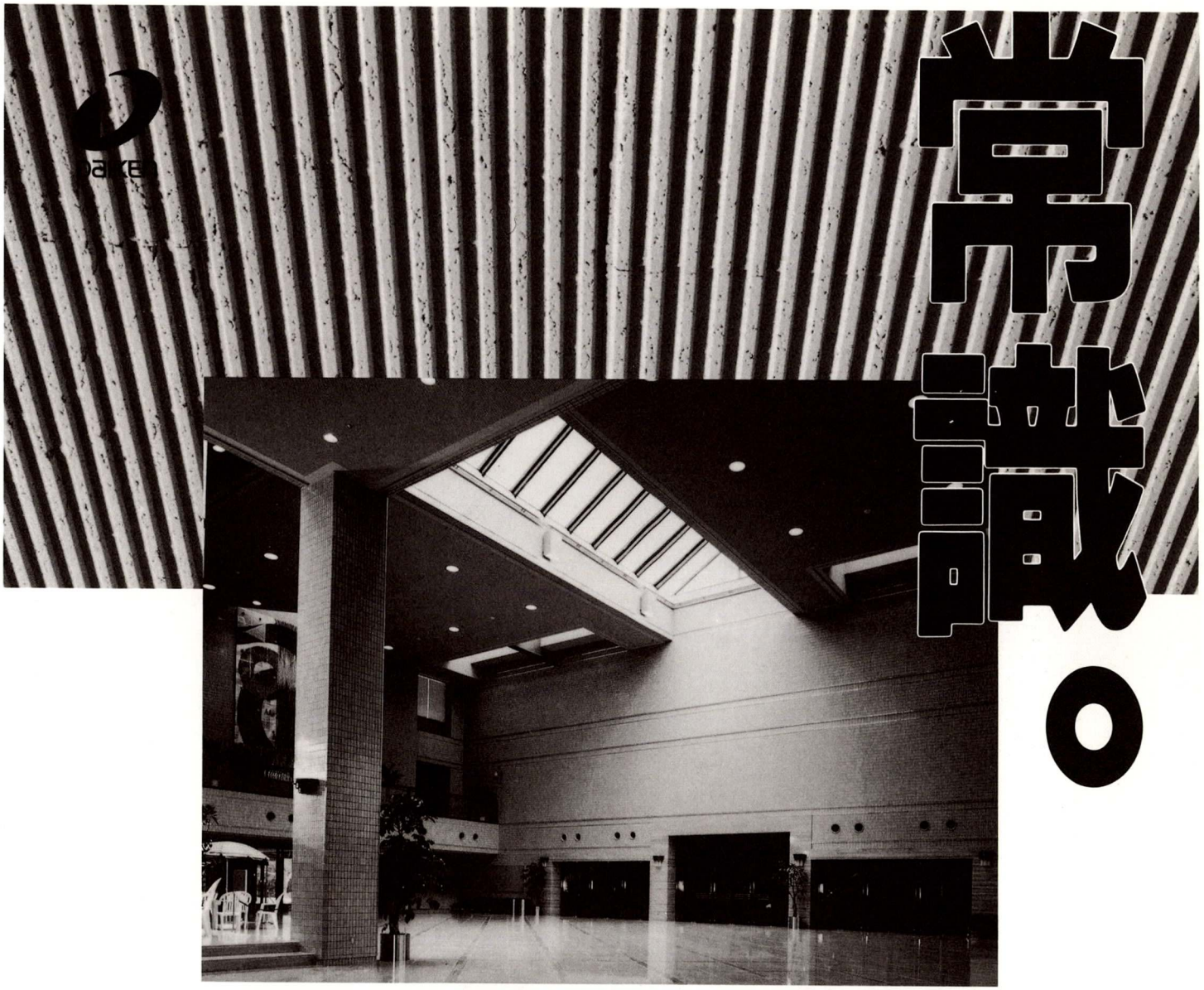


陽ざしの表情おもいのまま。
大きな窓も縦のラインが優美に装う
窓辺の新スタイル、ラインドレープ。

立川ブラインド工業株式会社 〒151 東京都渋谷区代々木4-30-7 ☎03(3375)1111　　大阪支店 〒542 大阪市中央区南船場4-6-17 ☎06(243)1131

住まいを美しく彩る光のスクリーン ●ロールスクリーン
15ミリ幅スラットが生むスリムな光 ●シルキーカーテン
オールアルミ製で優れた耐水性と機能性 ●ニューシルキー
スペースを生かす便利な間仕切り ●アコーデオンカーテン
二重サッシにブラインド機能をプラス ●ブラインドサッシ

資料請求券 建築と社会



都市を美しくする天井材、ダイロートン。いまや現代建築の常識です。

ダイロートンは、現代の建築物に欠かせない、理想的な天井材。不燃性はもちろん、断熱・防音・防湿性に優れ、人体に有害なアスベストも含んでおりません。多彩な機能とデザイン性が、都市環境に個性を与えます。

〈主要取扱品目〉
●**ダイケンラックス**（石綿けい酸カルシウム板）●**軽量鉄骨下地**（天井用、間仕切り用）●**ダイロートンハッチ**（天井用点検口）

ダイロートン®

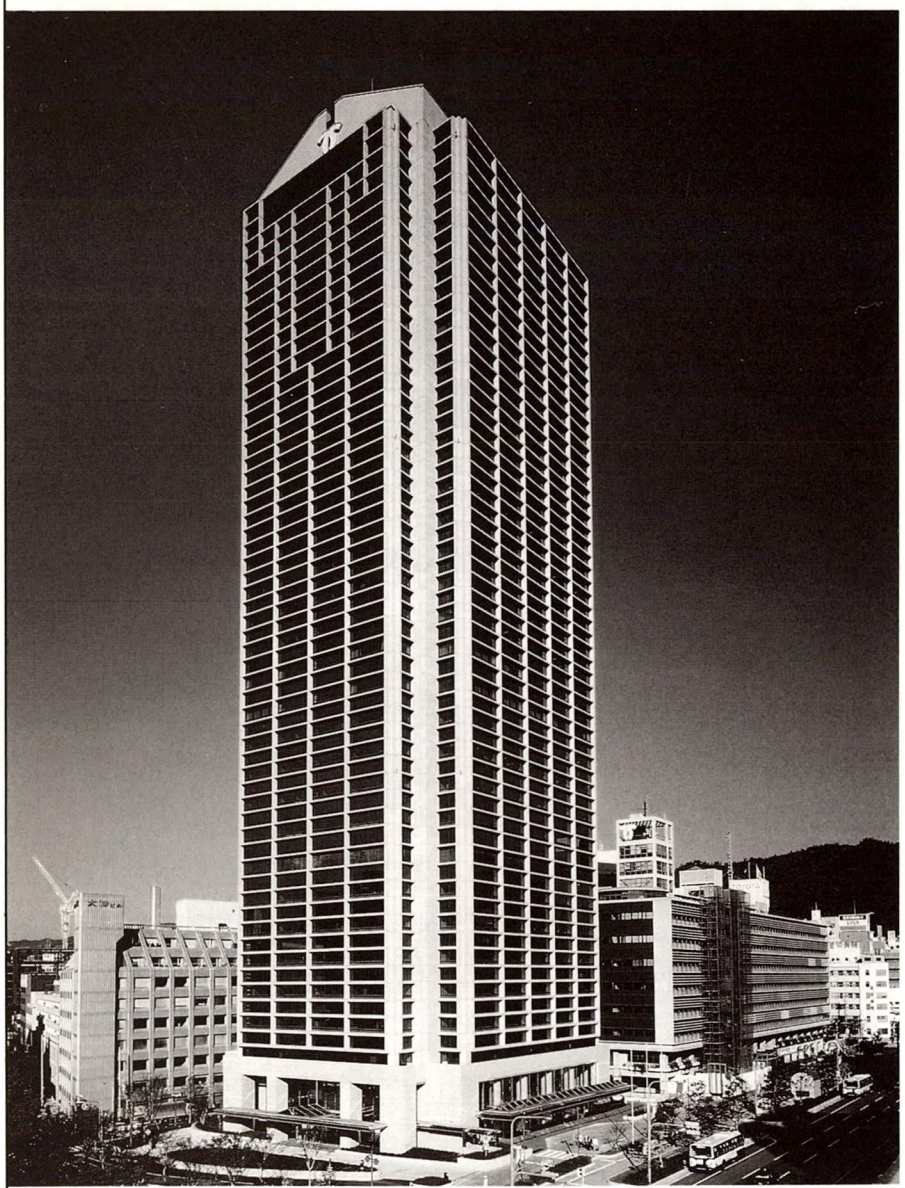
建設省認定防火材料 不燃1021号ロックウール吸音板 JIS A-6307 ロックウール吸音板

大建工業株式会社

西部建築部 〒530 大阪市北区中之島2-3-18 新朝日ビル TEL.06-228-3471

東部建築部 〒103 東京都中央区日本橋1-9 第10中央ビル TEL.03-3231-5771

西部建築部名古屋 〒460 名古屋市中区錦2-15-22 協銀ビル TEL.052-221-8535



神戸市新庁舎(神戸市)

カーテンウォール・石先付仕上げ

- 2,180×6,000×900……スパンドレル版　1,496枚
- 4,180×1,550×350……P.H.壁版　153枚
- 2,056×2,980×150……屋根版　120枚(打放し)

石仕上げ　18.065㎡

- 石材加工:イタリア 70%、国内 30%

営　業　種　目

プレキャスト・コンクリート・カーテンウォール
設　計・製　造・施　工

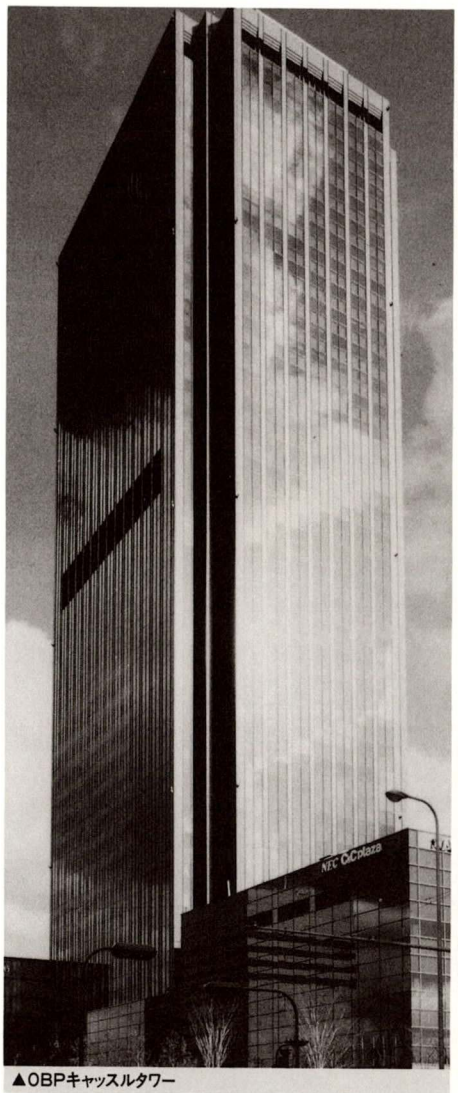
(コンクリートカーテンウォール工業会一種会員)

株式会社 大和建材店

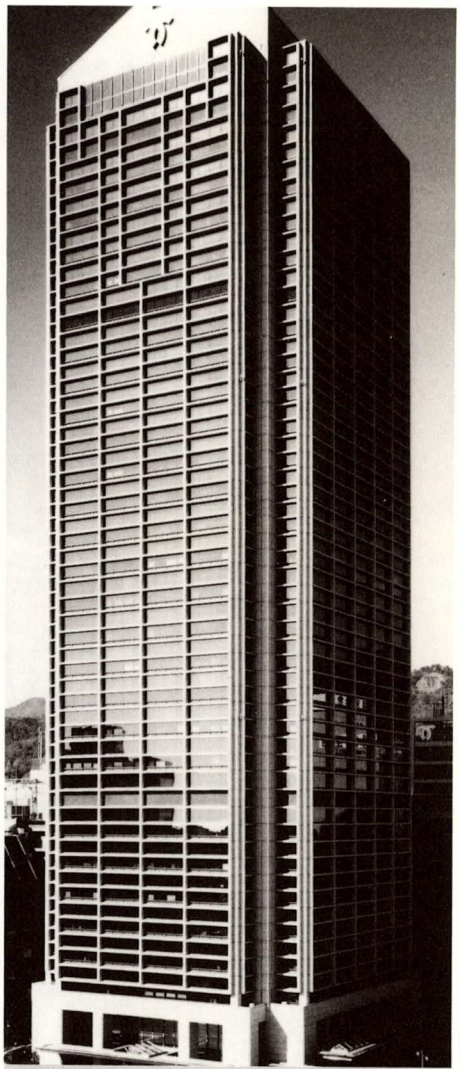
本社・工場　三重県員弁郡大安町大字梅戸字笹谷1316　〒511-02　TEL 0594-77-0821
名古屋事務所　名古屋市中区栄3丁目19番16号　〒460　TEL 052-261-0531
大阪事務所　大阪市西区西本町1丁目15番8号　〒550　TEL 06-532-1175
東京事務所　東京都港区新橋5丁目27番6号　〒105　TEL 03-3432-5607

Toshiba SILICONE
東芝シリコーン

トスシール 新しい構法を支える



▲OBPキャッスルタワー

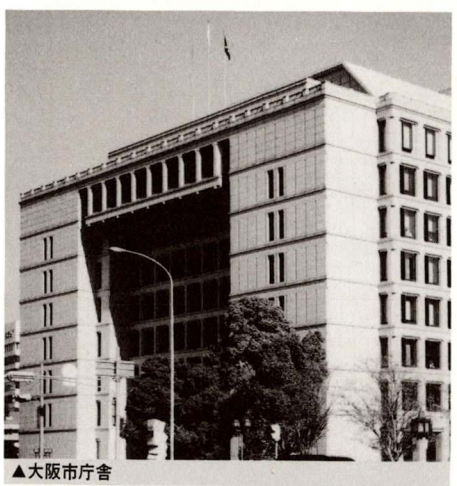

▲神戸市庁舎

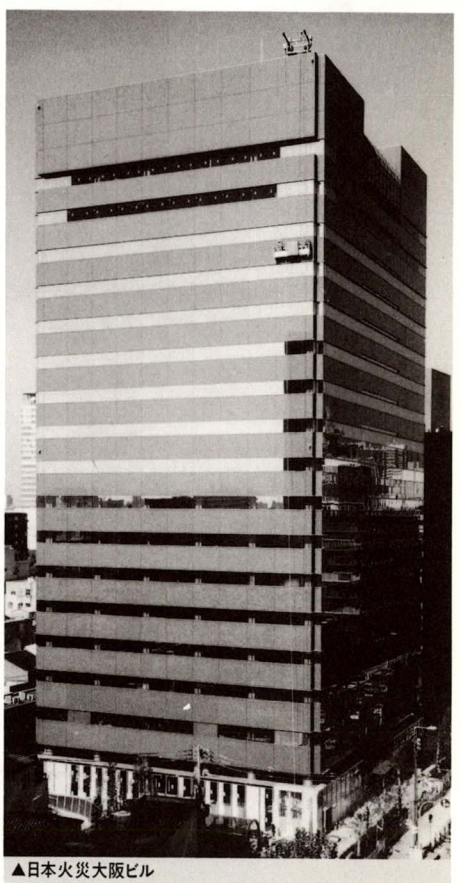
SAG構法の構造シーラント
トスシール1200

SAG(Structural Adhesive Gasket)構法とは、株式会社日建設計、イワキ化成株式会社の考案による新しい構法で、構造用シリコーンシーラントを用い、成形シリコーンゴムガスケットを工場でガラスに接着養生し、これをカーテンウォール側のアルミサッシホルダーに嵌合することによりガラスを支持する方法です。接着性、耐久性に優れたトスシール1200が構造用シーラントとして採用されました。

石貼接着工法用
1成分形シリコーンコーティング材
バッファーボンドST

バッファーボンドSTは石貼接着工法用として開発された1成分溶剤型のシリコーンコーティング材です。
バッファーボンドSTは空気中の湿気により常温で硬化し、柔軟性に富んだゴム状弾性体になります。したがって衝撃を吸収し、石やコンクリートのクラック防止に有効です。石打込み用コンクリートの石裏面に適用することにより、両者の緩衝材的効果および、コンクリートからのアルカリ分の移行を防止する効果が期待できます。


▲大阪市庁舎


▲日本火災大阪ビル



▲トスシール製品シリーズ

東芝シリコーン株式会社

建材営業部 TEL.03-3479-3501㈹ 東京都港区六本木6-2-31(東京日産ビル)〒106

大阪支店	TEL. 06-251-6272㈹	熊谷営業所	TEL.0485-23-3611㈹
名古屋支店	TEL.052-962-5731㈹	厚木営業所	TEL.0462-23-6707㈹
静岡支店	TEL.054-272-5101㈹	松本営業所	TEL.0263-32-7307㈹
札幌営業所	TEL.011-222-8861㈹	金沢営業所	TEL.0762-61-3053㈹
仙台営業所	TEL.022-261-4861㈹	広島営業所	TEL.082-247-0951㈹
宇都宮営業所	TEL.0286-38-1891㈹	福岡営業所	TEL.092-781-8071㈹

すべてに斬新！ サークル Cirkel-Line ライン

ナブコ ロータリーエントランスシステム



特許・実用新案11件申請中

先進・洗練——サークルライン

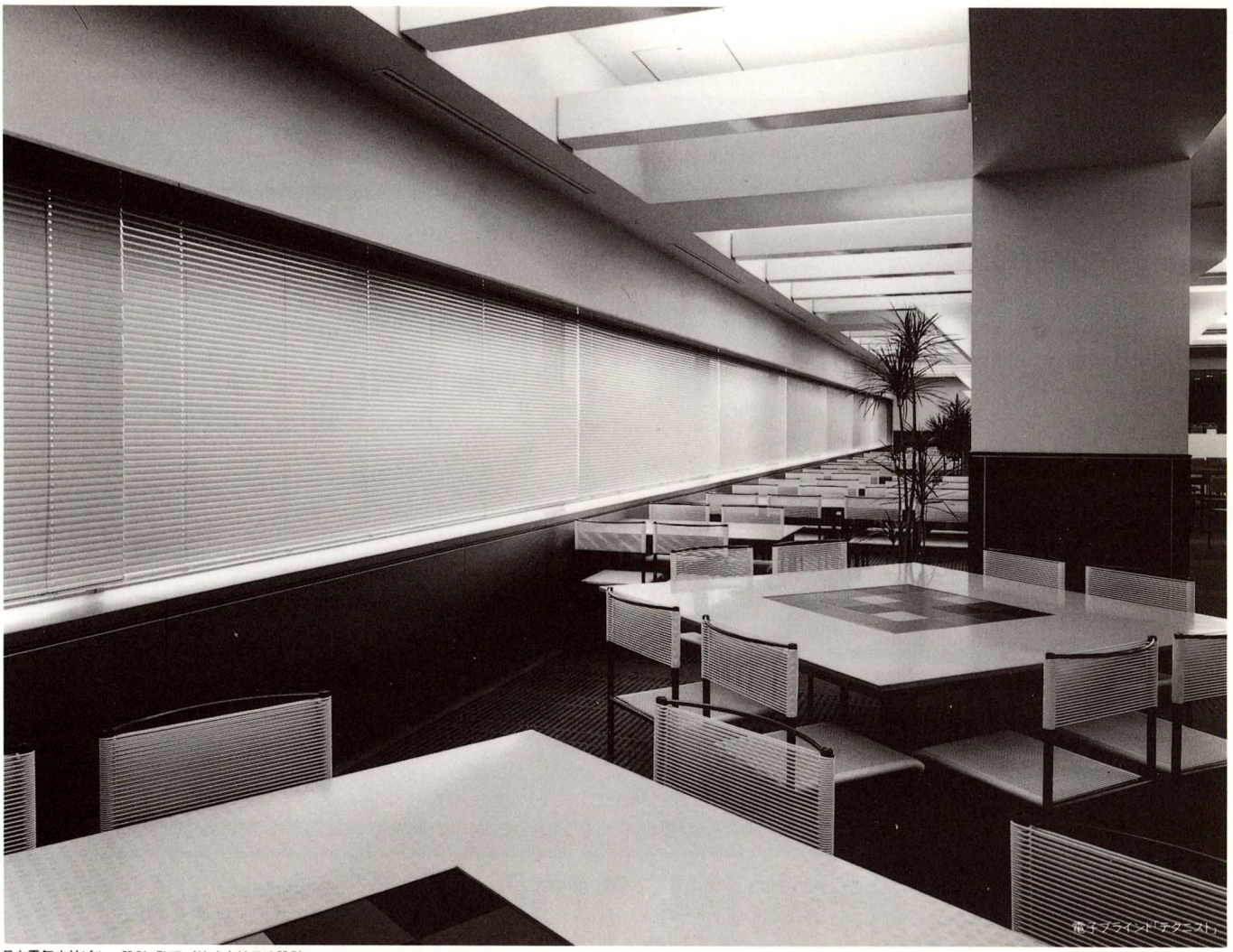
ロータリーアクセスシステムとスイングアクションドアを一体化した画期的なエントランスユニット、サークルライン。洗練された美しい外観、安全性を含めた数かずの優れた機能性は、デパート、ホテル、空港、劇場など人の出入りの多い場所・スペースに最適です。

——お問い合わせ先：販売会社——

東日本地区 ナブコシステム（株）☎(03)3593-0181
西日本地区 ナブコドアーエンジン（株）☎(06)532-5841
九州地区 オリエント産業（株）☎(092)781-7563

未来建築の夢をひろげる NABCO

日本エヤーブレーキ株式会社 建築事業部
本社 TEL.(078)251-8072／東京支社 TEL.(03)5470-2415



日本電気本社ビル　設計・監理／株式会社日建設計

未来を見つめる、技術です。

確かな技術と豊かな経験を活かして快適な光と空間を創造する、ブラインドとパーティションの専門メーカー〝ニチベイ〟。マルチプルな製品ラインナップと、時代を先取りした提案で、新しいインテリアの可能性を追求しています。

営業品目●よこ型・たて型ブラインド●電動・暗幕ブラインド●天窓・傾斜窓用ブラインド●エクステリアブラインド●ロールスクリーン●ローマンシェード●プリーツスクリーン●アコーディオンドア●スライディングウォール●パーティション　他

Creation of Human Space

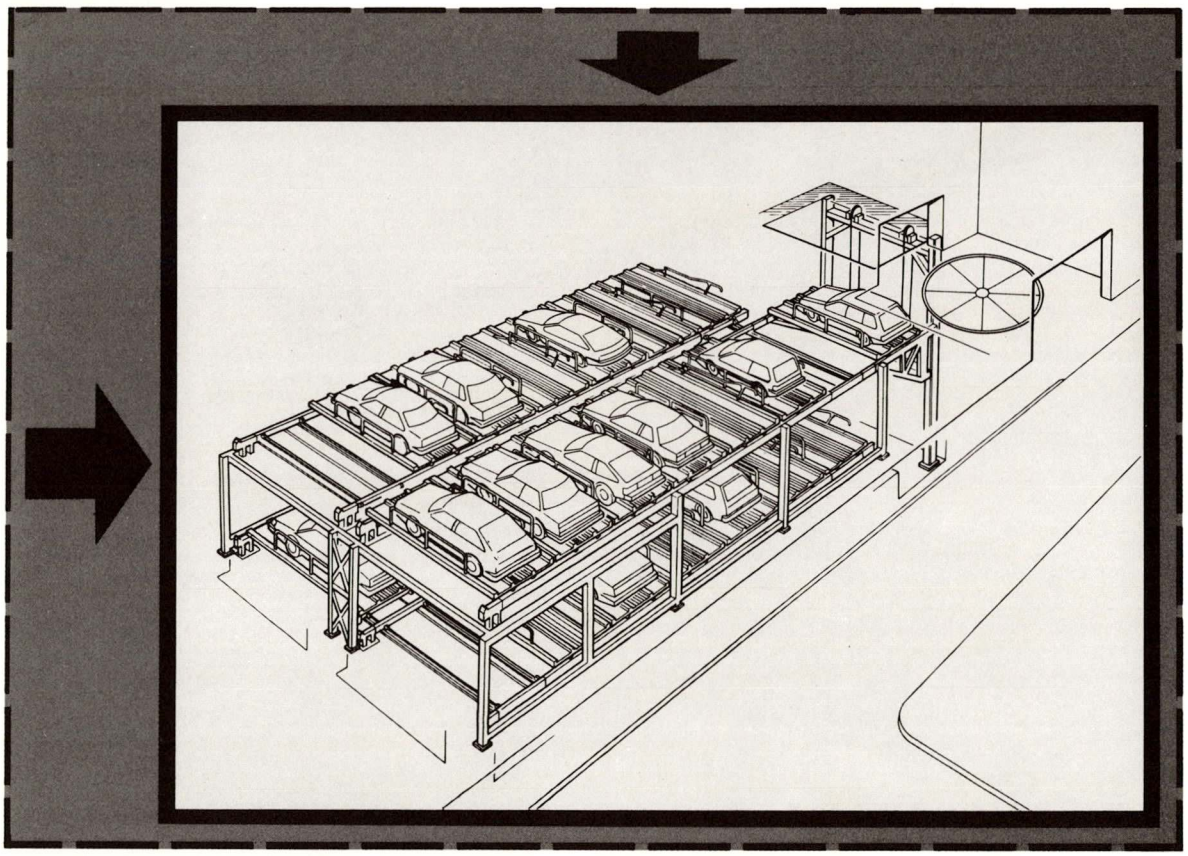
株式会社ニチベイ

本社／〒103 東京都中央区日本橋3-15-4　TEL. 03(3272)2011(代)

〈営業所〉

大阪営業所／〒550 大阪市西区靱本町1-6-10本町西井ビル　TEL.06(448)5586
奈良出張所／〒630 奈良市大宮町2-4-29オフィス新大宮　TEL.0742(35)2631
和歌山出張所／〒640 和歌山市本町4-37藤井ビル　TEL.0734(23)2763
北大阪出張所／〒564 吹田市広芝町9-12米澤ビル第二江坂　TEL.06(384)7631
南大阪出張所／〒558 大阪市住吉区苅田6-18-12 ピーバーハイツビル　TEL.06(699)0561
東大阪出張所／〒577 東大阪市荒本新町25ヨシダビル　TEL.06(781)5761

NISSEI



地下式駐車場、10%ダイエット。

——ニュー レベル・パーク——

稀少な土地を最大限に活かすために、占有容積10%減を実現。

都市の過密化、さらに地価高騰の影響も加わって、よりハイレベル、ハイクオリティな地下式駐車場が求められてきています。日精のニューレベルパークは、私たちが追い続けた3つのテーマ“COMPACT”“SPEEDY”“LOW NOISE”を実現した最新鋭機。これからビル建設、そして地下式駐車場をお考えの皆様に、自信をもっておすすめいたします。

[**占有容積※10%減**]日精のコンパクト化へのあくなき追求で実現。設計組込みが今まで以上に容易になり、土地の有効利用に貢献します。

[**高さ※60㎜減**]必要有効高さが1層で60㎜、2層で120㎜減を実現。ムダがないのもニューレベルパークの特長です。

[**車取出時間**]従来の装置より※20%スピードアップ。これで待ち時間のイライラも解消。

[**低騒音・低振動**]新開発の駆動機構により実現。機械式の不変的テーマに一歩近づきました。

実績30年。日精は、日本の機械式駐車場の歴史を築いてきました。

昭和35年、日精は機械式駐車場の必要性にいち早く着目し、地下式駐車場の自社生産をスタートしました。当時はまだ需要の少なかったこの分野に、やがてくる都市過密化時代を見越しての参入でした。以来30年間、独自の技術で開発した地下式駐車場は、常にトップシェアを維持。さらに数多くの地上式も手掛け、機械式駐車場の大手メーカーとして多大なご支持をいただくまでに成長しました。地域開発・都市の再開発化に伴い、ますます広がるビル建設。日精は、これからも皆様のご期待にお応えしてまいります。

※は、当社比によるものです。

機械式駐車場の総合メーカー

日精株式会社

大阪営業所　〒541 大阪市中央区本町4－4－24
（住友生命本町第2ビル）☎06－244－9401
本　　社　〒105 東京都港区西新橋1－18－17
（明産ビル）☎03－3502－9555
営業所／名古屋・福岡・日立・広島・札幌・仙台

自然とふれあう

現代建築のクオリティを高める
エルミン窓
ブラインド内蔵二重硝子回転断熱窓



さわやかな風と光を採り入れ、雨や騒音をシャットアウトする窓

飛栄九段北ビル
設　計／㈱幸建築設計事務所
施　工／飛鳥建設㈱
窓仕様
窓寸法／2786(W)×1260(H)他
仕　上／電解着色
硝　子／外：レフシャイン6㎜
内：フロート6・8・10㎜　強化6㎜　他

現代建築に要求される窓開口部は、自然の光と風を豊かに採り入れた快適な住空間を創ることにあります。また同時に建物全体の美観にも大きな役割をもっています。しかも、省エネルギーの立場からは、高い断熱性が、快適空間としての光のコントロールや防音、更にはメインテナンスに手間がかからない点など、実に様々なファクターがあります。

エルミン窓はこれらファクターの全てに自信をもってお応えできます。空気汚染や騒音のひどい地域や、酷暑や極寒の地域でも建物の中には快適さをお約束します。

製品はガラスやブラインドの組込みまで全て工場生産、しかも施工も当社の責任施工ですので、安心してお任せいただけます。建物のグレードアップにエルミン窓をお役立てください。

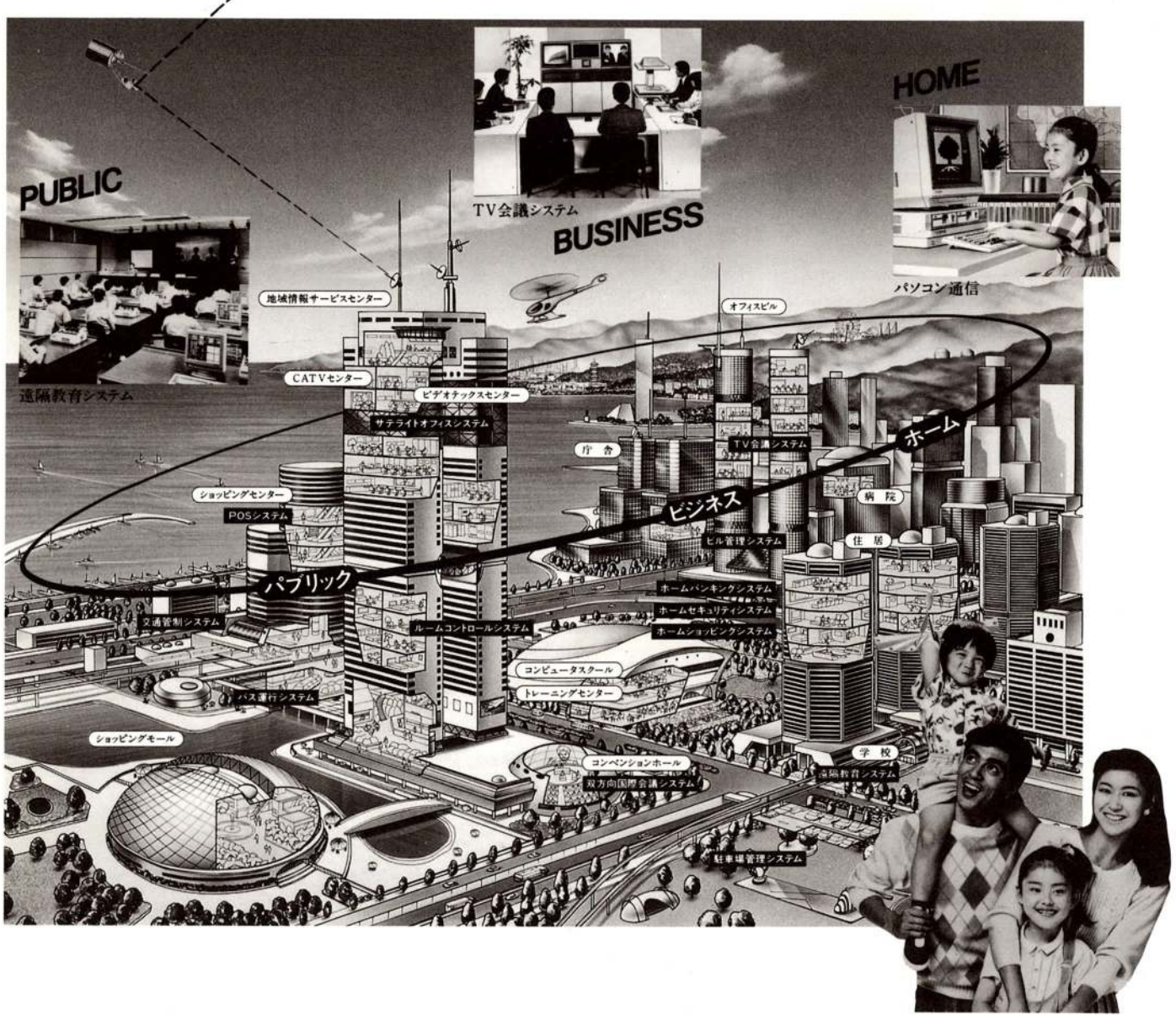
二重硝子の間にベネシアンブラインドを内蔵させた回転断熱窓のエルミン窓は、スエーデンで開発され、全世界で圧倒的信頼を得ている国際品です。わが国では、当社が昭和39年に技術導入し、日本の気候風土に合うように改良した画期的な窓として、全国4,200件以上の建物に採用されています。

日本エルミンサッシ株式会社

本　　社	〒101	東京都千代田区岩本町1-11-2	TEL03-3861-1891
大阪支店	〒550	大阪市西区京町堀1-7-9	TEL06-441-1978
北海道営業所	〒060	札幌市中央区大通西8-2	TEL011-222-3575
東北営業所	〒980	仙台市青葉区一番町1-14-23	TEL022-221-1369
九州営業所	〒812	福岡市博多区博多駅東2-4-30	TEL092-475-4820

C&C Computers and Communications

NEC



豊かな暮らしを育むNECのC&Cテクノロジー

高度情報都市づくりに貢献する NECのC&C技術

東京テレポートや横浜のみなとみらい21、千葉の幕張メッセ、大阪テレポート、ニューヨークのバッテリーパーク・シティやサンフランシスコのハーバーベイ・ビジネスパーク、そして、ロンドンのドックランズなど、いま世界各地で新しい国際情報都市が誕生しようとしています。NECでは、このような新しい都市機能づくりに貢献するC&C(コンピュータと通信の融合)技術を蓄積してきました。

コンピュータと通信の融合が 地域の個性を育みます

C&C技術を使えばあなたの町の文化、伝統、産業などの情報を、たとえば衛星通信という手段で、日本全国へ、そして世界中へ発信することができます。そのとき"中央と地域"という考え方は、きっとなくなっているでしょう。町と町の個性や、人と人のつながりを大切にしたい。それが「C&C CITY」の思想。NECならあなたの町の新しい都市機能づくりを、ハード、ソフト、サービスの分野でトータルにお手伝いできます。

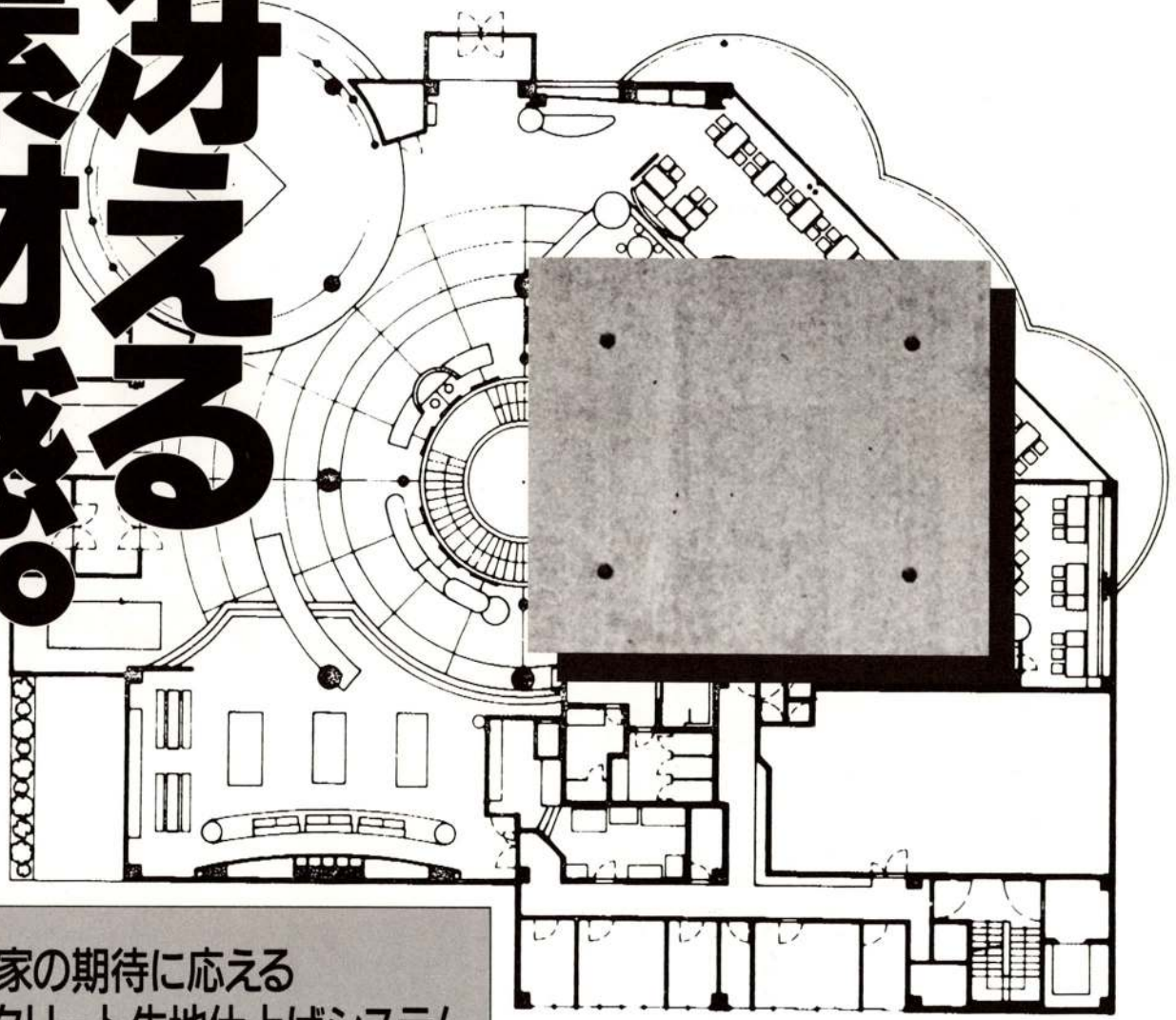
●NECのニューメディアは、ホーム、パブリック、ビジネスとあらゆる分野にわたっています。

C&C CITY

日本電気株式会社

関西支社
〒540 大阪市中央区城見1-4-24(日本電気関西ビル)
☎(06)945-1111

冴える素材感。



建築家（プロ）の期待に応える
コンクリート生地仕上げシステム

フッソ樹脂の上塗りと特殊下塗りを組み合わせた、世界で初めてのコンクリート生地仕上げシステムが完成しました。これにより、濡れ肌、艶ムラを防止し、建築物の耐久性を大幅にアップ。打放しばかりでなく、化粧、プレキャストなど、あらゆるコンクリート面の仕上げに対応します。
「デュフロンプーレシステム」は、コンクリートの素材感を生かし、しかもいつまでも美しくという建築家の方々の長年の期待に応えます。

デュフロン コンクリート打放し濡れ防止仕上げ（特許出願中）

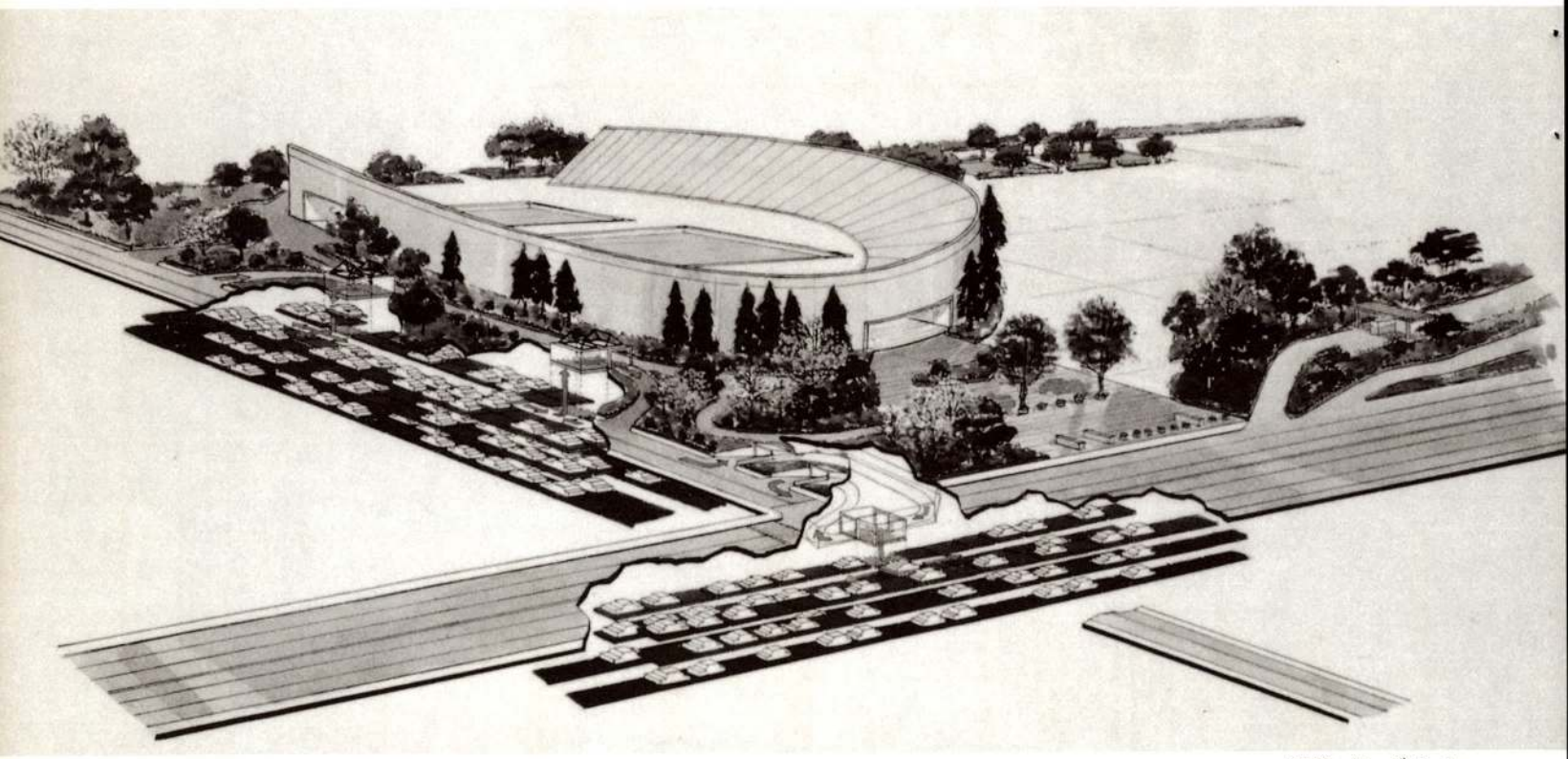
プーレシステム

特長
- 素材の濡れ肌、艶ムラのない美しい仕上がり。
- フッ素樹脂塗料ならではの優れた耐久性能。

※詳しくはパンフレットをご覧ください。

日本ペイント
Basic & New
〒553 大阪市福島区福島6-8-10 ☎06-458-1111
〒140 東京都品川区南品川4-1-15 ☎03-3474-1111

あなたの設計図が、都市を変える。

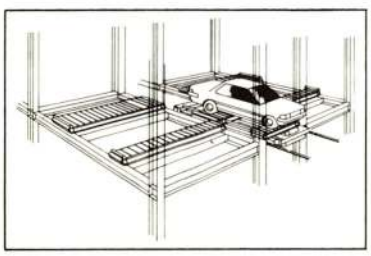


HEX イメージパース

超高速・超フレキシブル駐車システム

HEX誕生

連続入庫、連続出庫の所要時間は従来機種の3分の1。



HEXは、コンベアによるクルマの移動をはじめて可能にしたパレットレス駐車システムです。パレットを使用しませんので、台車は軽量化され、移動スピードは300m/minを実現。しかも、台車上で人がクルマに乗り降りするのでなく、コンベアで乗り降り専用スペースにクルマを移動する方式を採用することにより、従来機種の致命的デメリットであった乗り降り時のロスタイムを大幅に解消。連続入庫、連続出庫とも、1台当たりの所要時間は30秒強と、従来機種の3分の1になりました。

7.4×5.5×2.3mの基本ユニットを組合せる完全自由設計。

HEXは、2台駐車ユニット(上記モジュール)、4台駐車ユニット(12.0×5.5×2.3m)をタテ、ヨコ、上下に組合せて設計する超フレキシブルタイプ。変形した土地にも、高速道路の細長いスペースにも、縦横無尽に対応します。しかも、連結は無制限に可能で、一ケ所の出入り口で、150台までの駐車がOK。出入口を増やせば、超大型駐車場も実現します。また、台車の位置、数も自由で、駐車場から離れた場所からクルマを送りこむことも可能です。

クルマ1台当たりの必要面積は自走式の約60%の省スペース

HEXは、貴重な土地をムダにしません。自走式の場合は、クルマの通路、クルマとクルマの間のドアを開けるスペース、利用者の通路、階段室などのスペースが必要になってきますが、HEXは不要。自走式なら1台当たり30m²が必要ですが、HEXはその60%の20m²でOKです。

人車完全分離により高い安全性を確保。

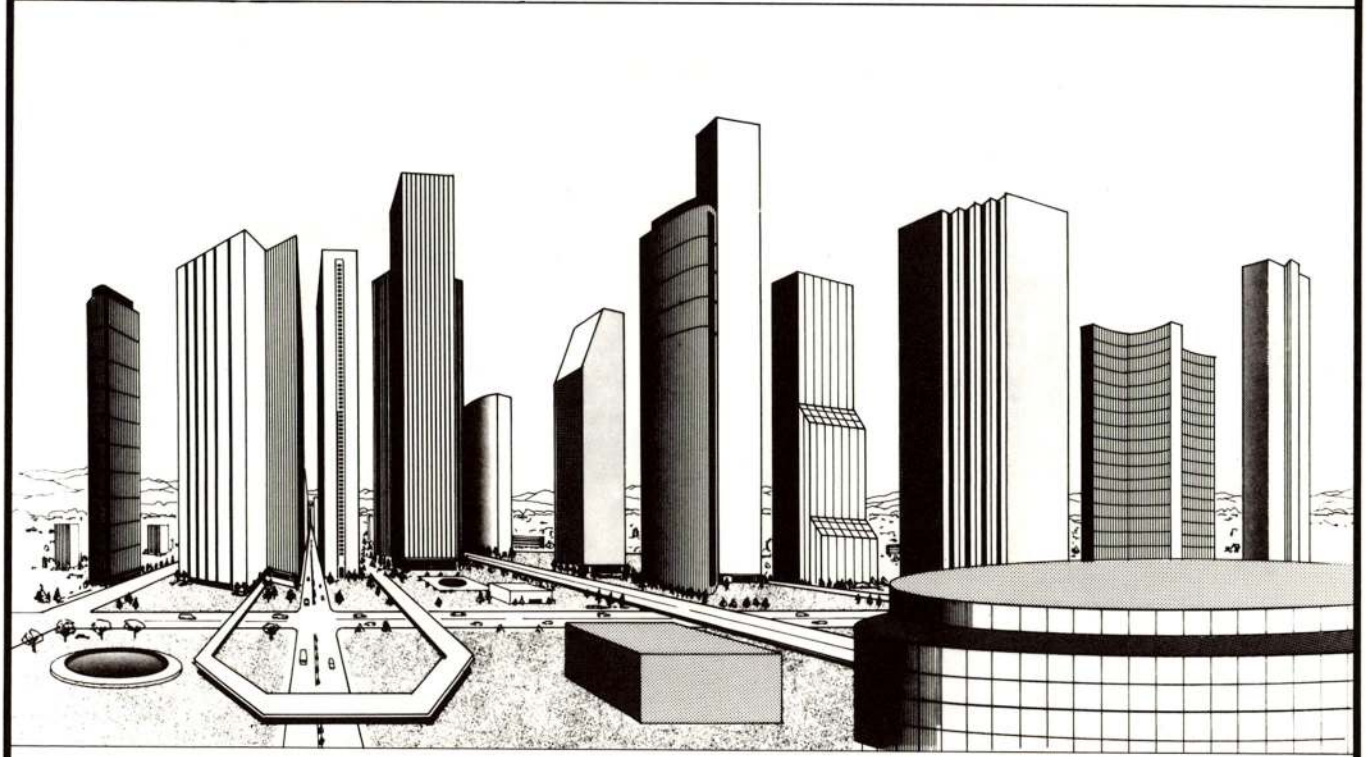
乗り降り時を除いて、人がクルマと接触する機会はありません。しかも、乗り降りは装置の中に入らないため、乗り降り時の足元は常に一定。安全性も群を抜いています。また、排気ガスが設備内に入りませんので、いつまでも美しく、優れた保全性を発揮します。しかも、騒音が気になりませんので、マンションの地下駐車場にも最適です。

お問合せは

日立造船株式會社

東京/東京都千代田区一ツ橋1-1-1 〒100 ☎03(3217)8518代表
大阪/大阪市此花区西九条5-3-28 〒554 ☎06(466)7557代表

サッシ、それは
建物と環境のインターフェイス。



窓は、人の暮らしと自然環境の接点。
そのインターフェイスに求められるあらゆるニーズ、
気密性、水密性、採光、換気、耐久性、美観、使い勝手……。
これらにお応えすべく、不二サッシは技術力を結集し、
製品をお届けしてまいりました。
私たちはまた、設計され、施工される皆様と、
多様なニーズをお持ちの施主の方々との接点として、
今後とも愛される製品づくりに努力してまいります。

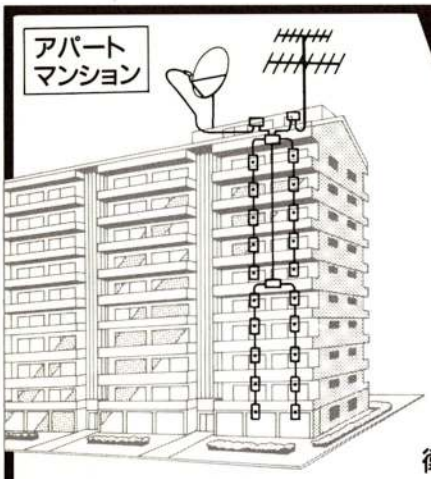
不二のビル用サッシ

不二サッシ

東京本部　〒150 東京都渋谷区渋谷３―26―18
☎(03)3797-1134(代表)
大阪支店　〒541 大阪市中央区本町３―４―10(本町野村ビル)
☎(06)262-2541(代表)

多様なニーズにお応えする、ビル用サッシのラインアップ。

- **●一般製品**　FRS-70、ビル用出窓、ガラスルーバー
- **●防音製品**　FRS-AT70、FB70-Ⅰ型・Ⅱ型、AEシリーズ、FDBシリーズ、高性能竪軸70-100
- **●省エネ製品**　FRS-AT70P、AE-100PN、高性能竪軸70・100、FT-160、フーク70・100、断熱・防音二重窓、断熱竪軸、高性能竪軸サンエックス、横軸サンエックス
- **●多機能製品**　ホールディングウィンドウ、リバーシブルウィンドウ、欧風窓シリーズ(FEドレーキップ、FEヘーベシーベ、FEシーベキップ)
- **●カーテンウォール**　サンライズ、ニューサンライズ
- **●改装シリーズ**　FRS-70、FB70-Ⅰ型、FR-60B、FR-70、カーテンウォール、上げ下げ窓
- **●エクステリア**　手すり(スペースエコー、ニューエコーⅡ型、ニューエコーⅠ型、トップエコー)
- **●インテリア**　学校型間仕切Ⅱ型、インテリア建具、アルミサウナ



MASPRO 衛星共同受信機器

テレビ受信障害対策・共同受信のことなら，
なんでもお気軽にご相談ください。

衛星放送のあらゆるシステムに対応する豊富な品揃え。

衛星ヘッドエンド装置



BHE300（屋内用）
BHE30C（屋外用）

衛星アンテナ

papabo

BSK75 (0.75m)
BSK100 (1 m)
BSK120 (1.2 m)
BSA-120(1.2 m)



衛星受信機



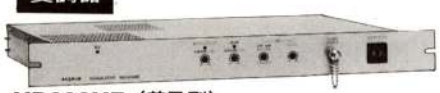
SR300E（普及型）
SR300（高級型）

CS・BS・VU ブースター



WSA45

変調器



MD300ME（普及型）
MD530UME（普及型）

衛星分配器



4SPFCS

衛星分岐器



2DC10FCS

衛星ブースター



BSA30
BSA40

衛星ミキサー



MX2SN
MX2SD

衛星直列ユニット



DCC7FN DCC77FN

電気通信工事
電 気 工 事 建設大臣許可(般-63)第3261号
消防施設工事
BL優良住宅部品指定
全日本電気工事業工業組合連合会推奨
建設省等各省庁指定
住宅・都市整備公団工事指定
日本道路公団工事指定

本社470-01 名古屋市外・愛知郡・日進町・浅田 営業 TEL名古屋(052)802-2244

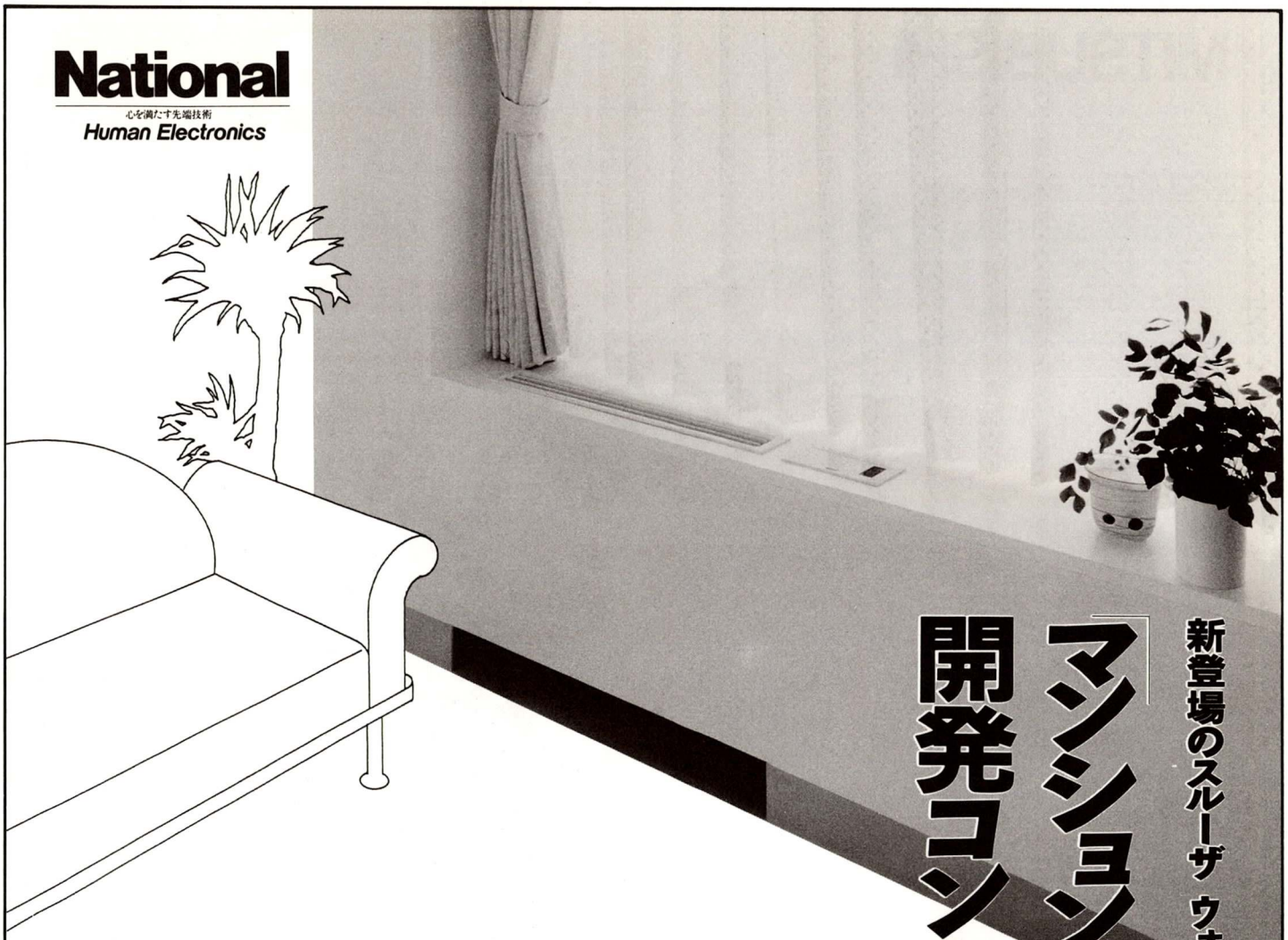
沖縄・鹿児島・宮崎・熊本・長崎・福岡・北九州・下関・徳山・広島・松江・岡山・松山・高知・高松
姫路・神戸・大阪・京都・津・岐阜・名古屋・豊橋・静岡・松本・福井・金沢・新潟・横浜・渋谷・秋葉原
八王子・千葉・大宮・前橋・水戸・宇都宮・郡山・仙台・盛岡・秋田・青森・函館・札幌・釧路・旭川・北見

親切・技術・ニューメディアの
マスプロ電工

National

心を満たす先端技術

Human Electronics



新登場のスルーザ ウォール エアコンは、

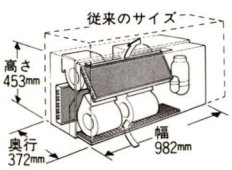
「マンション仕様」が、開発コンセプトです。

(そこで…)

※30%小さくしました。

設置場所が少なくてすむため、和室でも趣をこわしません。ガラリやスリットにも対応でき、横幅一、〇〇〇㎜のサッシにもすっきりと収ります。

※本体体積従来品比



32dBの静かさ。

ツインローラコンプレッサの採用で、運転音は32dB(冷房微風運転時)と音楽ホールなみの静かさを実現。また、単体振動を従来に比べ、1/3~1/10(当社比)に抑えました。人にやさしい静音設計で寝室に設置しても安眠をさまたげません。

新インバータを採用しました。

「カチッ、ブーン」の不快な音を抑え、わずかなパワーで効率的運転をします。また、高性能の新インバーターが、一般のエアコンに比べ約30%(当社比)の省エネを可能にしました。

ナショナル コンパクト型スルーザウォールエアコン

●お問い合わせは……松下電器産業株式会社・松下精工株式会社〈住宅空調事業部〉

〒486 愛知県春日井市鷹来町4017 ☎(0568)81-1511

MITSUBISHI

技術が「つくる」高度なふれあい SOCIO-TECH



時には回り道。

新しいエスカレーターの世界がはじまる三菱スパイラルエスカレーター。美しいカーブが、スムーズな乗りごこちが、ひろがる視界が、まったく新しい建築空間をつくりあげました。この曲線エスカレーターを現実のものにしたのが、三菱独自の技術"求心移動方式"。弧の中心を連続的に移動させるというものです。必ずしも最短距離で行くことばかりを考えているのではないという発想から生まれた、このユニークな三菱スパイラルエスカレーター。
これからも三菱は、いつも新しい技術で、エスカレーターをはじめとして、エレベーター、インテリジェントビルシステムといったビル事業に、積極的にとりくんでいきます。

三菱スパイラル
エスカレーター

三菱電機株式会社

本社ビル事業部　〒107 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)
☎(03)5562-4701
関西支社　〒530 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)
☎(06)347-2271
神戸営業所　〒650 神戸市中央区明石町48(神戸ダイヤモンドビル)
☎(078)392-8561

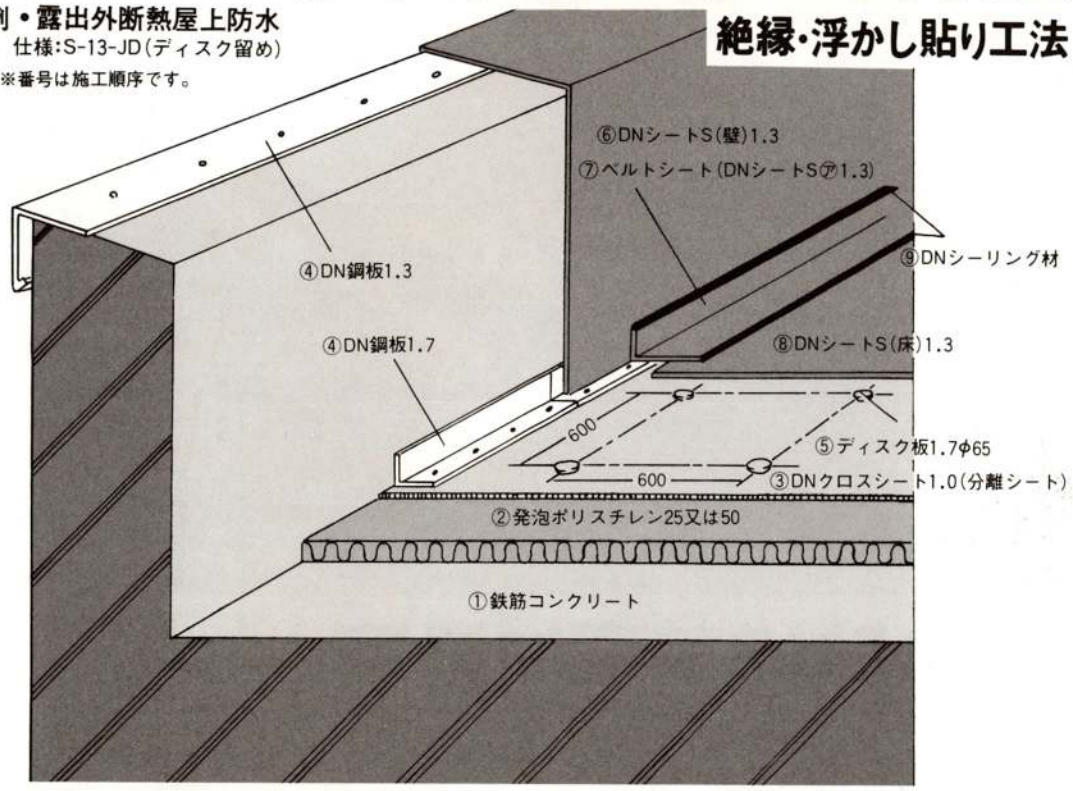
●屋上・プール・蓄熱槽etc
〈新設、改修共〉

サンロイドDN防水システム

「信頼の技術。」

例・露出外断熱屋上防水
仕様:S-13-JD(ディスク留め)
※番号は施工順序です。

絶縁・浮かし貼り工法



サンロイドDN防水システムは、西独ディナミット・ノーベル社の技術導入(昭和48年)で製造している特殊軟質ビニルシート〈サンロイドDNシート〉を用い、コーナー部に耐蝕性に優れたDN鋼板を固定し、それにDNシートを溶着一体化して、躯体には密着しない独特の絶縁・浮かし貼り工法で完全な防水性能を発揮します。意匠性、安全性、施工性、経済性等に優れたトータルシステムの防水工法です。この工法は、わが国では当社が初めて採用したもので、すでに1,200万㎡の施工実績によりその信頼性が証明されています。

サンロイド DN 防水システム®

〈特 長〉

- **各種用途に対応したトータル防水システム。**
  防水用途に応じて優れたサンロイドDNシートを用途別(屋上用、プール用、蓄熱槽用、受水槽用など)に品揃えしています。
- **躯体の亀裂・振動などに影響を受けない独特の絶縁・浮かし貼り工法。**
- **気象条件にかかわらず常に安定した接合が可能。**
  DN溶着剤または熱風により短時間で接合部を溶着し、完全一体化します。
- **DNシーリング材の使用による完璧化。**
  シーリング材の固化によりシーリング材はシートと一体化して、防水効果を高めます。
- **短時間の工期。**
  降雨、降雪後の湿潤な下地への施工が可能であり、工期の短縮がはかれます。
- **改修に最適。**
  旧防水層の撤去が不要で施工能率のアップとコストダウンがはかれます。

筒中シート防水株式会社

東　京／東京都墨田区江東橋5丁目3番13号(写測ビル)　〒130 TEL(03)3635-0541㈹
大　阪／大阪市中央区瓦町4丁目2番14号(瓦町ビル)　〒541 TEL(06)222-0646㈹
名古屋／名古屋市名東区一社1丁目7番地(打越南ビル)　〒465 TEL(052)704-5291㈹
札　幌／札幌市中央区南2条東1丁目1番14号(中央ビル)　〒060 TEL(011)221-7541㈹



京都女子大学E号館（ベストプルーフHG絶縁工法）

防水の改修工事に最適な ベストプルーフ US工法。

塩化ビニル系シート防水

ベストプルーフHG®
断熱防水用・歩行用

ベストプルーフHGは最高品質のハイグレード塩化ビニルを主成分にガラスクロスを中間に積層した断熱防水に最適の防水シート。

塩化ビニル系シート防水材

歩行用 ロンプルーフ®

絶縁工法用 ベストプルーフ®

近年とみに増加している建物の改修工事。それに最適な防水工法がベストプルーフUS工法。下地処理が簡易で既存防水層の上から施工でき、工期の短縮ができます。しかも接着剤を使わず特殊な脱気工法の採用によって湿潤状態でも施工できます。絶縁工法は下地のムーブメントを緩衝し美しい仕上りを保証します。

西日本ロンプルーフ防水事業協同組合
大阪市淀川区西中島3-9-13 大北ビル ☎06(304)5155

ロンシール工業株式会社
大阪支店/大阪市淀川区西中島3−9−13 大北ビル7階
☎06(304)2700

※詳しいカタログをご希望の方は、
本社、支店、各営業所までご請求下さい。

●本　社
〒130 東京都墨田区緑4-15-3 ☎03(5600)1821
■営業所/●札　幌☎011-531-2602●青　森☎0177-77-1155
●仙　台☎022-265-4771●新　潟☎025-243-3791
●金　沢☎0762-92-1161●大　宮☎048-664-1511
●千　葉☎0472-46-5851●横　浜☎045-662-7370
●静　岡☎0542-51-3712●名古屋☎052-935-7063
●岡　山☎0869-26-4321●高　松☎0878-31-4177
●広　島☎082-211-2700●福　岡☎092-472-5857
●鹿児島☎0992-58-6571

ATLAS

信頼に應えて！

お役にたちますアトラス製品

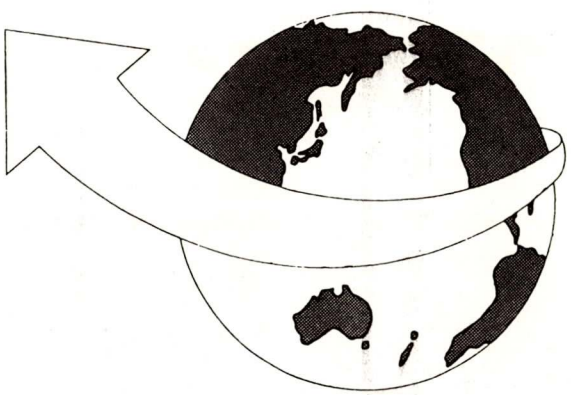
眠りを知らない24時間都市のなかで、快適で安全な
街づくりが欠かせません。
アトラスは「信頼と安全」を合言葉に
高度な製品開発に努力を惜しみません。

ATLAS®

株式会社 アトラス
取締役社長 足立一行
●本社 TEL.06-765-2360
●東京 TEL.03-3802-4591
東京・大阪・福岡・横浜・札幌・仙台・名古屋・北陸・高松・広島・高崎・静岡・京都
八尾工場・細田工場・茨城工場

未来に向って…

限りある資源
限りある空間の中で
より快適な環境づくりの
ために努力しています。



●営業種目
空気調和・冷暖房・給排水・衛生設備・設計施工

C.C 株式会社 朝日工業社

本社・本店 〒105 東京都港区浜松町1－25－7 電話03(3434)6171(代)
大阪支社 〒532 大阪市淀川区加島1－58－59 電話06(302)2273(代)
支店 北海道／東北／北関東／名古屋／中国／九州

用途に応じてさまざまに。
グラスウールは成長し続ける素材です。



夏は暑さをさえぎり、冬は暖かさを逃さない住宅用断熱材。騒音を防ぎ、静かな環境をつくる建築・設備用吸音材。熱のロスを低減し、省エネルギーに貢献する保温保冷材。グラスウールは、あらゆる分野に浸透し、豊かで快適な暮らしづくりに役立っています。

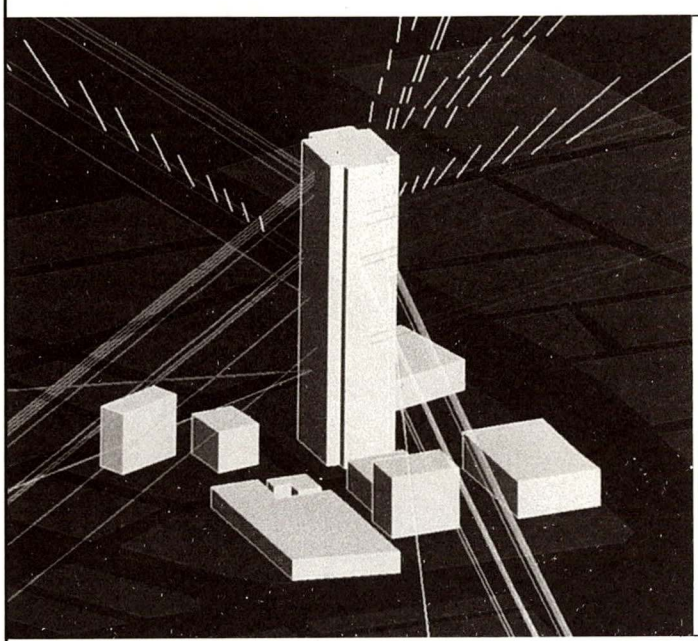
FIBER • GLASS

旭ファイバーグラス株式会社

本社／〒163 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル
東　京(03)3348-0541　札　幌(011)241-4351　南関東(0467)74-4012
大　阪(06)364-3491　仙　台(022)264-2255　静　岡(0542)54-2811
名古屋(052)561-2471　広　島(082)293-5041　長　野(0262)28-3072
福　岡(092)431-8221　北関東(0280)92-0872　新　潟(025)241-5276
四　国(0878)34-6511

AGC
ASAHI GLASS COMPANY

EMC建材システム
電磁遮蔽ガラス
デンジカット



電磁シールドの新技術

電磁シールドと透視性にすぐれたインテリジェントガラス

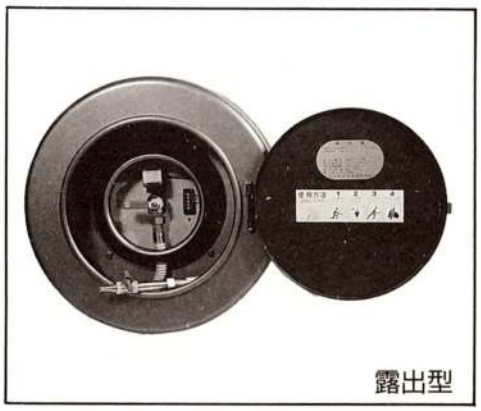
電磁遮蔽性能と透視性を合わせもつ『デンジカット』はいままでにない、画期的な電磁遮蔽ガラスです。外部からの不要な電磁波をシャットアウトし、内部からの電磁波漏洩を未然に防ぎます。さらに、従来の電磁シールド素材では難しかったビル開口部の透視性の問題もクリアしました。まさにOA化時代にふさわしいインテリジェントガラスといえましょう。『デンジカット』は、確かな性能と快適感をお約束します。

DENJI-CUT PA30 PA50

旭硝子株式会社　本社：〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2(千代田ビル)　支店：札幌☎011(212)3886・仙台☎022(225)7305・東京☎03(3283)9426
関東☎03(3283)9354・名古屋☎052(583)2854・大阪☎06(373)5870・広島☎082(248)3737・福岡☎092(441)4123

今屋内消火栓は、防災設備の中で注目されています。

2号消火栓・補助散水栓



露出型

消火栓から
格納箱が消えた!

既成概念を撃ち破った
斬新なスタイル



自立型

IS 株式会社 立売堀製作所

本社営業部　〒550 大阪市西区立売堀1丁目10番10号
TEL(06)538-1231㈹ FAX(06)533-6708

東京支社　〒110 東京都台東区台東4丁目14番8号
TEL(03)5688-3121㈹ FAX(03)5688-3110

支社・営業所　福岡、札幌、仙台、名古屋、滋賀、松山、高松、広島、宇都宮、沖縄



南海サウスタワーホテル大阪　撮影：SS大阪

常識を打ち破った間仕切工法

耐火遮音間仕切壁
ナイスタッド

特許・実用新案出願中(一部登録済)



〈特長〉

1.施工性 工期短縮	鋼製下地(スタッド)が不要!! 同一職種により容易に施工が可能で 工期短縮が計れます。 また片追い施工も容易です。
2.経済性	ナイスタッドボード12㎜(15㎜)を使う事により 材料コストの低減、省力化 作業スピードのアップ等々経済的です。
3.耐火性 遮音性	無機質の材料で構成され 壁内の千鳥状に配置される空気層と中空層に より耐火性、遮音性が高められます。
4.軽量化	壁厚がうすく構成材料が少く 大幅な軽量化を計る事が出来ました。
5.仕上精度 補強	ナイスタッド・ボンドにより壁厚の調整、 各種取合部のスキマ、欠損部の音洩れ防止 及び開口部切込み個所の補強も別途可能です。

Iwatani
岩谷産業株式会社
建設本部

大阪本社　〒541 大阪市中央区本町3丁目4番8号　TEL(06)267-3011
東京本社　〒104 東京都中央区八丁堀2-7-1　TEL(03)3555-5808
札幌支店　〒001 札幌市北区北七条西2　TEL(011)726-1701
仙台支店　〒980 仙台市中央3-3-3　TEL(022)262-2030
名古屋支店　〒460 名古屋市中区大須4-11-39　TEL(052)242-1256
広島支店　〒730 広島市中区銀山町2-21　TEL(082)245-3161
福岡支店　〒812 福岡市博多区博多駅中央街8-36　TEL(092)472-2220
那覇支店　〒900 那覇市久茂地2-15-10　TEL(0988)68-1522



素材で決まる生活環境

環境素材

Environment

さまざまなモノがあふれ、主張する現代。
ともすれば見失いがちになる本物の価値……。
素材で決まる生活環境。
'90年代に向けABC商会が提唱します。

●

ABC商会のショールームにいらっしゃいませんか。

世界中から選りすぐった一流品をそろえて
お待ちいたしております。ぜひ一度
ショールームへお立寄りください。

SHOWROOM

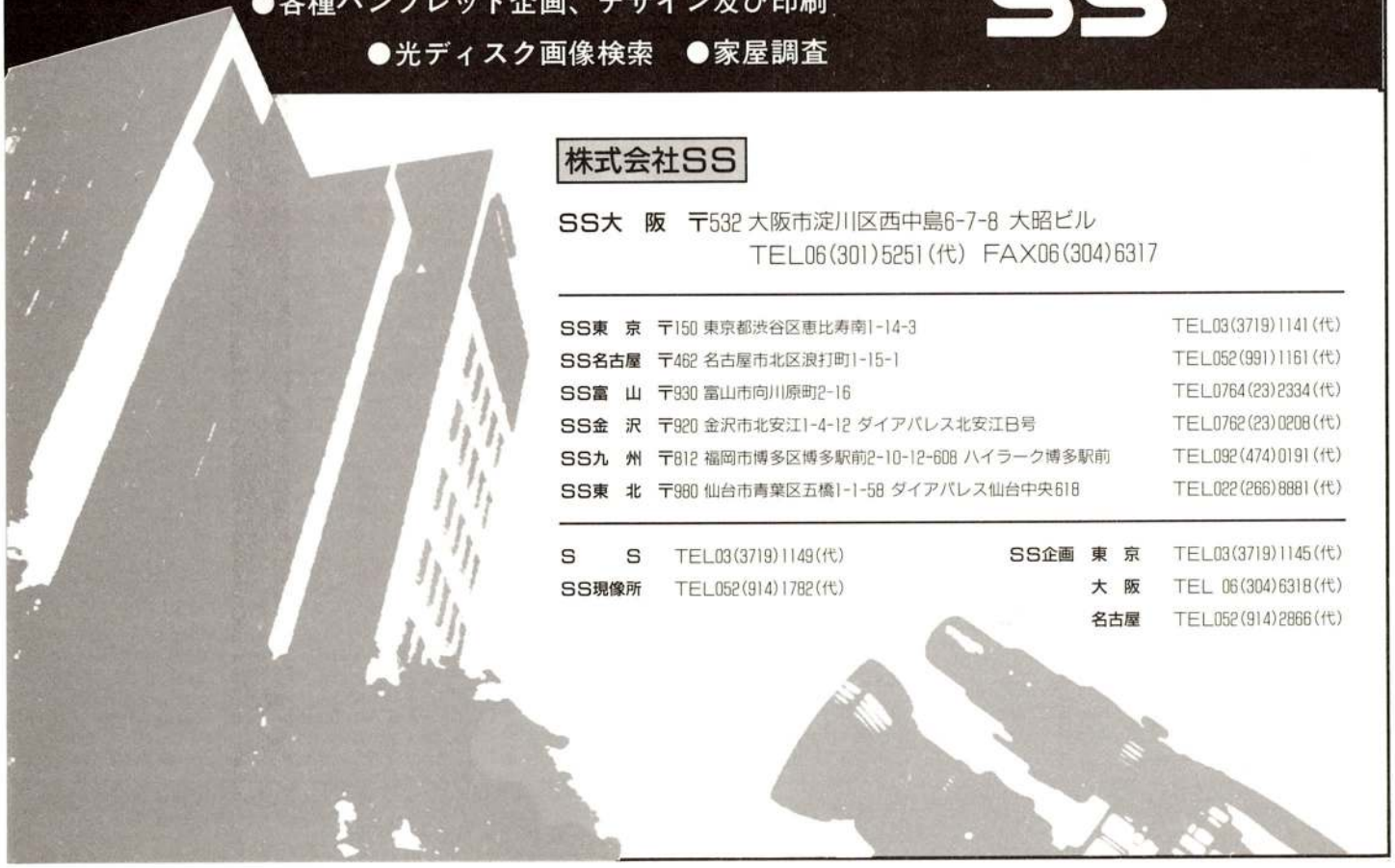
札 幌011(231)7060 ｜仙 台022(263)9966 ｜東 京03(3507)7117 ｜名古屋052(263)1455 ｜大 阪06(943)2839 ｜広 島082(243)8228 ｜福 岡092(272)3122

カタログをご請求ください/〒100 東京都千代田区永田町2-12-14 株エービーシー商会 営業開発部 TEL. 03(3507)7111(代)

ABC shokai

●建築／土木／航空写真 ●建築ビデオ撮影及びPRビデオ
●各種パンフレット企画、デザイン及び印刷
●光ディスク画像検索 ●家屋調査

SS グループ



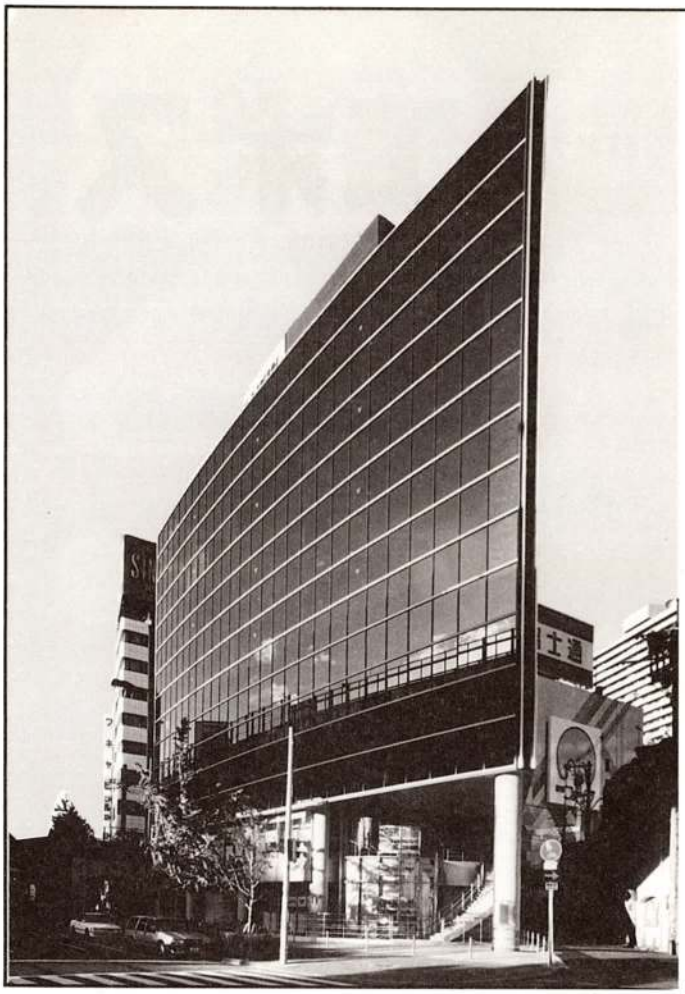
株式会社SS

SS大 阪 〒532 大阪市淀川区西中島6-7-8 大昭ビル
TEL06(301)5251(代) FAX06(304)6317

SS東 京	〒150 東京都渋谷区恵比寿南1-14-3	TEL03(3719)1141(代)
SS名古屋	〒462 名古屋市北区浪打町1-15-1	TEL052(991)1161(代)
SS富 山	〒930 富山市向川原町2-16	TEL0764(23)2334(代)
SS金 沢	〒920 金沢市北安江1-4-12 ダイアパレス北安江日号	TEL0762(23)0208(代)
SS九 州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-10-12-608 ハイラーク博多駅前	TEL092(474)0191(代)
SS東 北	〒980 仙台市青葉区五橋1-1-58 ダイアパレス仙台中央618	TEL022(266)8881(代)

S S TEL03(3719)1149(代)
SS現像所 TEL052(914)1782(代)

SS企画 東 京 TEL03(3719)1145(代)
大 阪 TEL 06(304)6318(代)
名古屋 TEL052(914)2866(代)



SHIROGUCHI

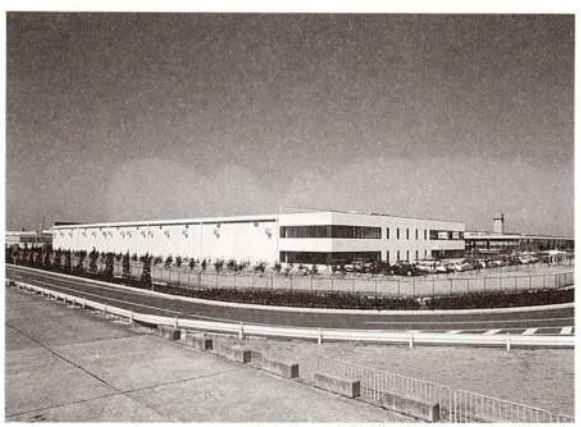
- 空調・衛生・防災
  設計施工
- 不動産賃貸

株式会社 大阪城口研究所

本　社　〒530 大阪市北区角田町２番15号　TEL:06-372-7151
FAX:06-372-7974

支　店　〒605 京都市東山区大和大路正面上ル　TEL:075-561-4944
FAX:075-551-3096

出張所　〒650 神戸市中央区下山手通6-2-8　TEL:078-341-5892
FAX:078-382-0400



アサヒビール明石物流センター屋根工事

■耐酸被覆鋼板

ＣＯＭ（ケミカラーオーシマメタル）

ＥＢＭ（エバーブライトメタル）

■粉体樹脂被覆金属板

ＯＲＰＭ（オーシマポリメタル）

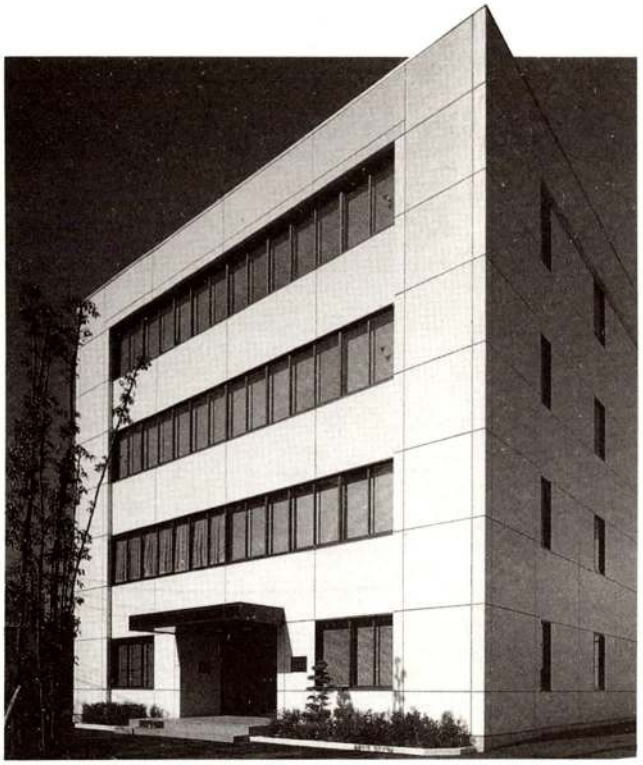
屋根・外装材・製造販売及び責任施工

大島応用化学工業株式会社

本　　社　〒535 大阪市旭区太子橋１－15－22　TEL 06(954)6521
東京支店　〒105 東京都港区虎の門１－１－12(虎の門ビル)　TEL 03(3580)6061
名古屋支店　〒460 名古屋市中区大須４－１－71(時計ビル)　TEL 052(241)8588
新居浜支店　〒792 新居浜市多喜浜６５０－２　TEL 0897(46)2300
営業所　四日市／岡山／広島／宇部／福岡
工　　場　新居浜／寝屋川

軽量・大型パネルALCの特性を活す

エポス



●大型化と軽量化の両立
●ダイナミックさの創造
●ALCと同等の性能
●意匠性豊かな製品
●軽量性が生むメリット

小野田エー・エル・シー株式会社
大阪支店　TEL (06)345-0051
〒530 大阪市北区曽根崎新地1-3-16(京富ビル)

小俣シャッター

シャッター全般・可動式防煙たれ壁

複軸防煙・防火シャッター

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

●大阪支店
〒530 大阪市北区天神橋2-5-3(第5新興ビル6F)
TEL(06)353—7377㈹　FAX(06)353—7381

●本社(東京支店・東京工場)
〒114 東京都北区東田端1-4-1
TEL(03)3893—5211㈹　FAX(03)3893—6220

●支店・営業所
札幌、仙台、千葉、横浜、名古屋、松江

KAWAKEN

進化するオフィスに応える
進化する床システム

QLデッキセルラー電路システム

川建QLXセルラーシステム



オフィスレイアウトに
フレキシブルに対応します。

セルボックスが一定間隔で多量にフロア内に埋めこんであり、取り出し口が必要なだけアクティベイションでき、オフィスのレイアウト変更や、OA機器の増設等にフレシキブルに対応します。また、トレンチダクトを底なしにしたQLトレンチの採用により、大容量への対応や、LANなど新技術への対応も可能です。

システム化によるシンプル施工
を実現しています。

電力・通信・コンピュータの3つの取出口を一体化した、セルボックスにより、シンプル施工を実現しました。また、デッキの配線用開口はすべてコンピュータ制御による工場加工のため、現場での加工が不要です。

現在をみつめ、明日をひらく

川鉄建材工業株式会社

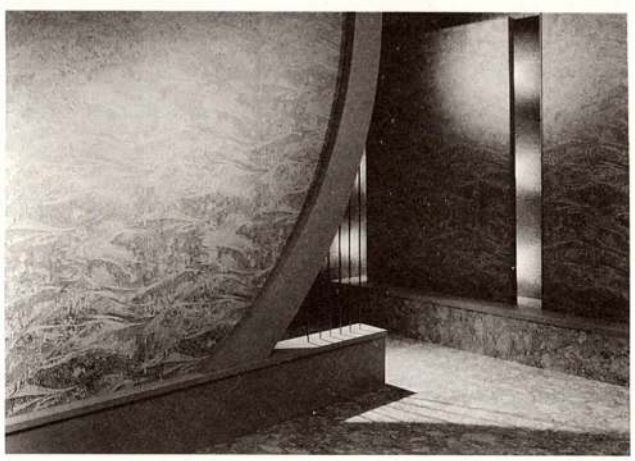
〒651
神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号
(日本生命三宮駅前ビル)
☎(078)232-8885

Refined Tech
Kawashima

快適 ファブリックス 空間

新鮮で生き生きした空間を個性的に演出するファブリックス。
川島織物はカーテン・カーペット・クロスとインテリアファブリックスのトータルなお手つだいができるメーカーです。

Kawashima
Interior Fabrics



織物壁装は
これで決まり!

カワシマオリモノ 壁装
エース・ウォール 特許出願中
Ace·wall

エース・ウォールの特徴
1. オープンタイムを長くとれます/
2. ビニルクロスと同等の施工が可能/
3. 快適空間を創り出します/
4. ジョイント部分の処理が美しい/
5. 下地のアク等を表面に出しません/

川島織物

営業品目/カーテン・カーペット・椅子張
壁装・美術工芸織物・緞帳

株式会社 川島織物 中央技術文化センター ☎(075)741-3111 本社事務所 京都市上京区東堀川通一条上ル堅富田町432 ☎(075)414-9700㈹ 東京営業本部 ☎(03)3506-0800 大阪営業本部 ☎(06)347-0451
東京営業所 ☎(03)3506-0805 東関東営業所 ☎(0472)25-9250 宇都宮営業所 ☎(0286)33-3473 北関東営業所 ☎(048)645-9411 横浜営業所 ☎(045)662-4634 静岡営業所 ☎(0542)47-2852
新潟営業所 ☎(025)247-8831 名古屋営業所 ☎(052)932-7661 京都営業所 ☎(075)612-3020 金沢営業所 ☎(0762)91-0090 大阪営業所 ☎(06) 347-0431 南大阪営業所 ☎(0722)23-1981
神戸営業所 ☎(078)332-5625 岡山営業所 ☎(0862)26-2677 高松営業所 ☎(0878)35-3518 松山出張所 ☎(0899)25-7170 広島営業所 ☎(082)232-4009 福岡営業所 ☎(092)573-2474
鹿児島出張所 ☎(0992)55-9107 株北海道川島織物 ☎(011)261-2131 旭川営業所 ☎(0166)48-6731 帯広営業所 ☎(0155)22-6806 株東北川島織物 ☎(022)235-5341 郡山営業所 ☎(0249)22-9931

ショールーム:札幌 ☎(011)261-2131 東京 ☎(03)3355-0575 名古屋 ☎(052)932-8681 京都 ☎(075)621-0292 大阪 ☎(06)347-0423 広島 ☎(082)292-1681 ル・モンドショールーム:東京 ☎(03)3498-8595 パリ・ニューヨーク・ミラノ

セメント防水剤

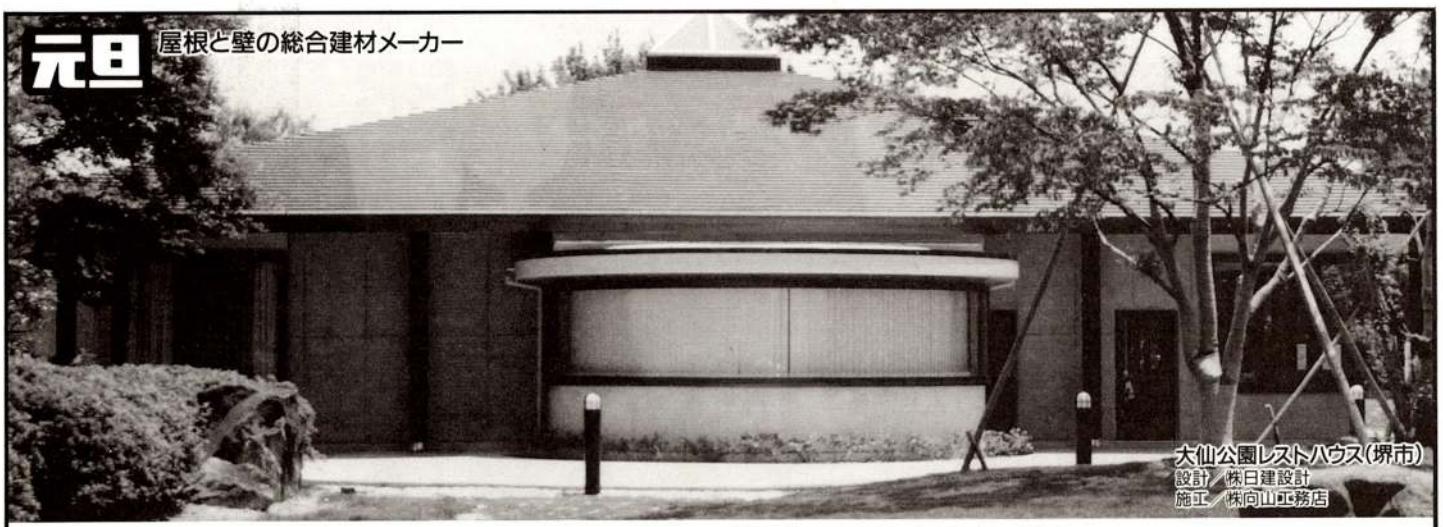
ロータス

ロータス防水工法責任施工

株式会社　関城（カンジョウ）化学工業所

（〒530）　大阪市北区芝田1丁目15番7号　TEL(06)372-2179・2170
（〒115）　東京都北区赤羽2丁目28番7号　TEL(03)3902-3181(代表)

元旦　屋根と壁の総合建材メーカー



大仙公園レストハウス(堺市)
設計／㈱日建設計
施工／㈱向山工務店

15年保証のシステム屋根　PASTEM（パーフェクト・オールマイティ・システム）

機能を極めたシステム屋根　ダンカワルーフ260

丸桟・角桟2タイプの元旦瓦棒　スコィンクスルーフ2型

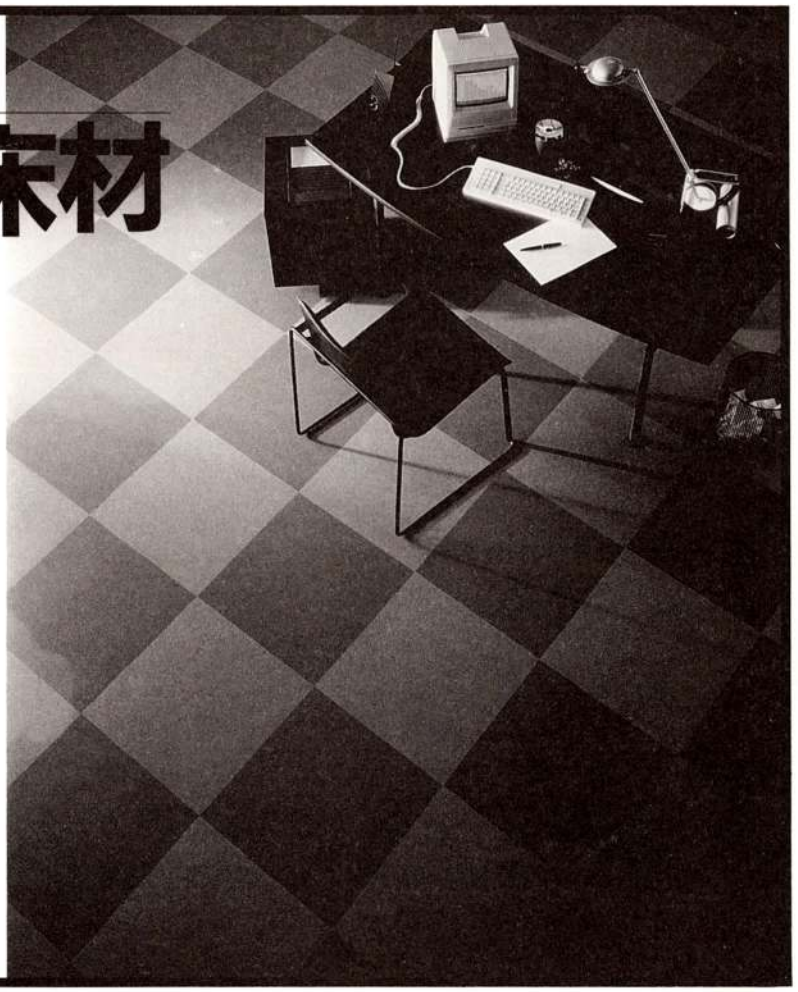
雨音がしない一般住宅用金属屋根　音なしルーフ

壁も外断熱・乾式工法タイル　セラミックバリヤ

製造発売元
元旦ビューティ工業株式会社
本　社　神奈川県藤沢市湘南台5－36－5　〒252 ☎(0466)45-8771
大阪支店　大阪府大阪市中央区北浜4－1－1 石原ビル 〒541 ☎(06) 223-1841
京都営業所　京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10 三条加藤ビル 〒604 ☎(075)255-7731
神戸営業所　兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-15 御幸ビル 〒651 ☎(078)222-1841
（全国5支店・25営業所）

ヨーロッパの感性

ファッション床材



●タラフロア
●タラダールタイル
●サガ
●タラセーフ/グリップ
●フォーラム
●ラバータイル
●セラミフレックス
●フソーラ/ウラーニヤ

輸入総発売元
クリヤマ株式会社

本　　社／大阪市淀川区西中島1丁目12番4号 〒532　TEL. 06-305-1812
FAX. 06-305-5615
東京支店／東京都渋谷区南平台町15番13号 〒150　TEL. 03-3463-1841
帝都渋谷ビル　FAX. 03-3463-1557
支店・営業所／名古屋、福岡、金沢、加古川、岡山、広島、三原、高松、大分、長崎、鹿児島

空研クーリングタワー

冷却塔をつくって36年

●白煙防止冷却塔
●省エネ型超低騒音型
●密閉式冷却塔

空研吹出口・吸込口・ダンパー

3 大 特 長

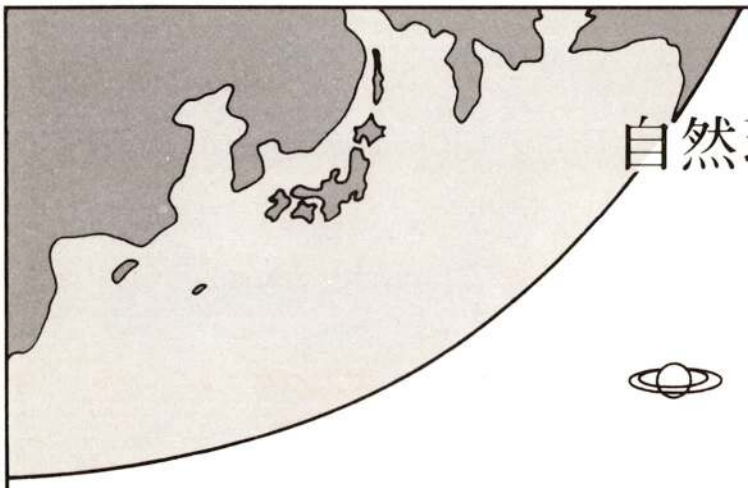
耐久性・取り付け易さ・優美なデザイン

KUKEN

ニーズに応えて空調業界に貢献

空研工業株式会社

本　社　福岡市中央区大濠公園2番39号　TEL(092)741－5031
大阪支店　大阪市淀川区西中島3丁目9番12号　TEL(06) 302－5541
東京支店　東京都渋谷区宇田川町36番1号　TEL(03)3464－0161
支　店　名古屋・広島　工場　福岡・宮田



自然環境を大切に
夢ある未来を
くりエイト！

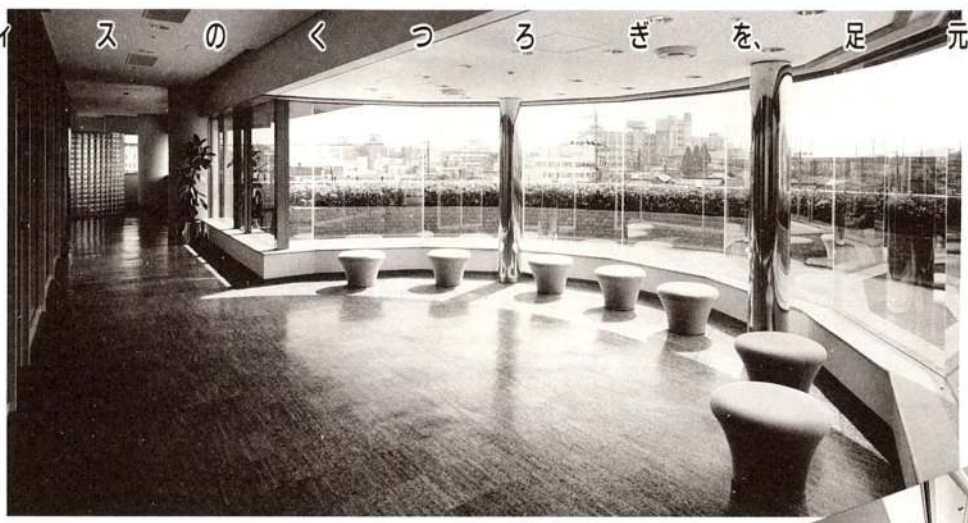
生あるものが住みやすい地球……
未来を想うのが楽しくなる地球……
栗原工業は地球を考え自然を大切にします。



電気・計装・空調・土木
K栗原工業株式会社

本　　社／〒530 大阪市北区角田町1番1号(東阪急ビル)
TEL. 06(313)1101 FAX. 06(315)0050
東京本店／〒105 東京都港区芝大門1-4-8(浜松町清和ビル)
TEL. 03(3432)1901 FAX. 03(3432)1909
支店／東関東・横浜・名古屋・大阪南・神戸・広島・四国・九州・シンガポール

オフィスのくつろぎを、足元から。





ビジネスの場を自然の力でやわらげるコルクの優しさ。

「人に優しい」が、オフィス環境のテーマになってきました。
OA化が進めば進むほど、逆にその分グリーンを
取り入れようとするなど、科学と自然に対する人間のバランス感覚のあらわれなのかもしれません。
コルクは、おおらかな自然が育んだ、さまざまな才能にあふれた素材。
オフィスに敷き詰めるとそのぬくもりが伝わってきて、ビジネスマンのストレスをやわらげてくれるのでしょう。
思わず仕事を忘れて、裸足になって歩いてみたくなる。
そんなオフィスも、コルクの持つ自然の力なら実現しそうです。

ipocork
イポコルク日本総代理店
神戸コルク株式会社 〒650 神戸市中央区東町123番地 TEL.078(331)9015㈹ FAX.078(331)5868

高性能木質系セメント板

木毛セメント板に比べて断熱3倍、防火・吸音で1.5倍
結露防止に活躍する吸放湿断熱材

文化庁御推奨

防火
防音
モクセン板
防腐
防虫

◆**ストロングボード**(普通モクセン板)**準不燃(個)2696**
◆**ストロングボードK**(型枠兼用モクセン板)**準不燃(個)2696**
◆**STスーパー**(スレート瓦・伸銅品・一般瓦専用耐火野地)**R0166**
◆**ストロングボード耐火30**(一般不燃屋根材用耐火野地)**R0170**
(厚さ25ミリ・30ミリ・40ミリ・50ミリ　タルキ91センチ間隔で耐火被覆なし)
◆**パワーボード**(二層性モクセン板)**準不燃(個)2695**

KFK **神戸不燃板工業株式会社**
〒673-05 兵庫県三木市志染町三津田　TEL.(07948)7-3121㈹

Rainbow Glass·Opal

装飾合わせガラス



●ホテルニューオータニ大阪／㈱日建設計　使用個所：光天井

〈サトーセンの合わせガラス〉
レインボーグラス

特徴

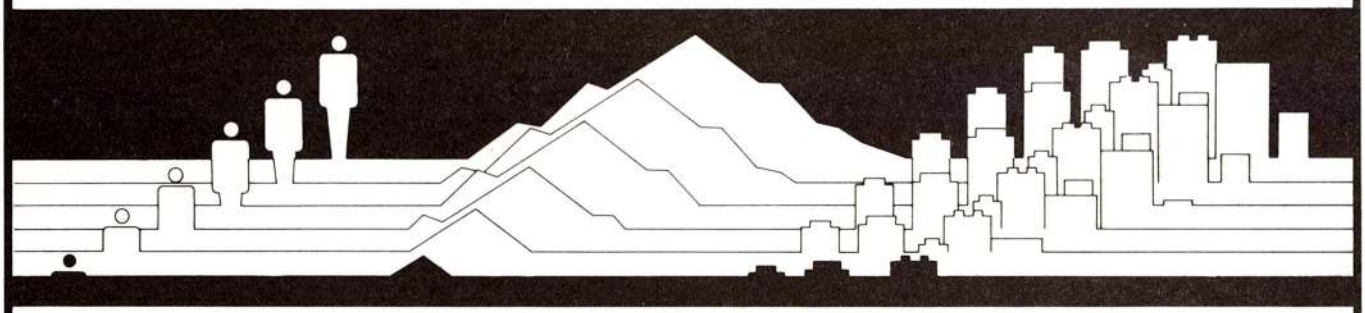
●**安全性が高い**
衝撃に強く、万一割れても破片が飛び散らない。
●**防犯性に優れる**
耐貫通性が高く、通常の合わせガラスの倍以上。
●**耐候性に富む**
紫外線を遮断するので、変色や色あせがない。
●**不燃性でソリやくもり、キズがつかない**
●**オリジナルデザインの製作もフリー**

製造元　UL規格認承工場／JIS表示許可工場
STS SATOSEN **株式会社サトーセン**

合わせガラス事業部／〒557 大阪市西成区玉出西2丁目20番65号
大阪営業所　TEL.06-656-0377㈹　FAX.06-656-0311
合わせガラス事業部／〒105 東京都港区東新橋2丁目6番3号(電栄ビル4F)
東京支店　TEL.03-3435-9221㈹　FAX.03-3435-9220
合わせガラス事業部／〒661 兵庫県尼崎市下坂部3丁目24番地
尼崎ガラスセンター　TEL.06-491-7599㈹　FAX.06-491-1976
合わせガラス事業部／〒144 東京都大田区東糀谷5丁目12番7号
東京工場　TEL.03-3743-5851㈹　FAX.03-3743-5852

三機

人を育む。自然を守る。産業を支える。
三機のエンジニアリング技術は多彩。



人間活動のすべてを支える社会環境を一体化させ、そして調和させようとする三機の総合エンジニアリング技術。快適で機能的な都市生活、合理的で先進的な産業活動、そして、それをとりまく自然。——三機は、これらを単独ではなく、総合技術を通して見つめ、有機的なひとつの流れを実現しようとしています。多彩な技術を結び、新たなシステムを展開している三機。

建築設備
プラント設備

三機工業株式会社
本　店　東京・日比谷・三信ビル　TEL (3502) 6111
支　店　大阪・名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国



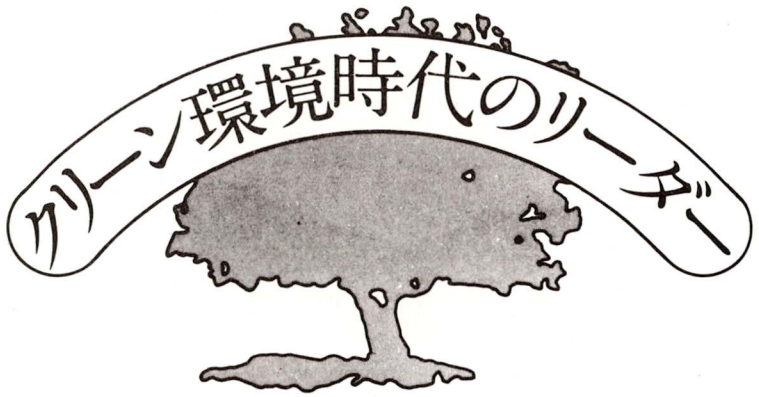
地球サイズの快適と、人間サイズの素敵を。

自然との調和、ライフスタイルの変化へのフレキシブルな対応。さらには、都市の表情を豊かに演出する感性。私たち三協アルミは、これからも、地球・時代・人間を見つめ、快適空間を創造しつづける企業でありたいと思います。そして今回、その思いをより具体的に実現させるために、新たなテーマを掲げました。"ドリームワーク"——夢をひとつずつカタチにすること。全国のお客様から寄せられる、さまざまなご要望にお応えするために、私たちは、蓄積されたノウハウのすべてを生かし、このテーマのもとに未来を目指します。



■新潟工場

三協アルミニウム工業株式会社
本　　社：〒933 富山県高岡市早川70　ビル建材本部 TEL.(0766) 20-2201
大阪本部：〒550 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館ビル6階　営業推進部 TEL.(06) 448-5451
©三協アルミニウム工業株式会社 1991年



SKK

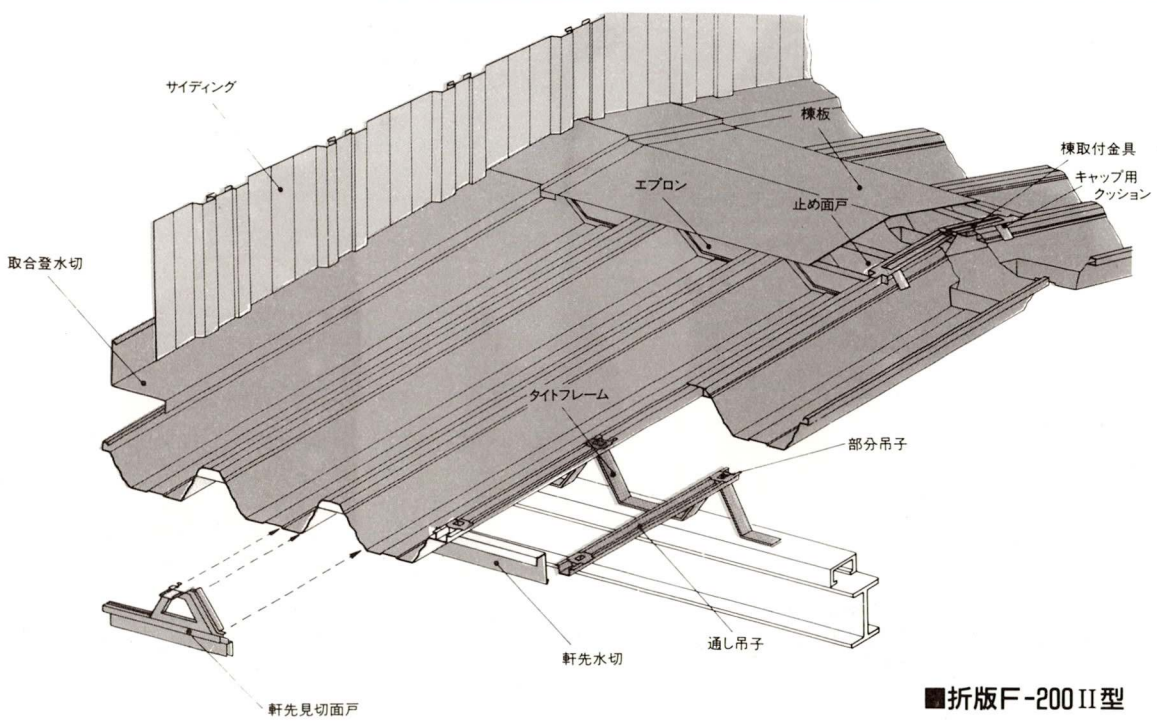
●空気調和●衛生設備●公害防止●防災設備

設計・施工

三建設備工業株式會社

取締役大阪支店長　喜多村　博

大阪支店　〒530 大阪市北区紅梅町３番５号　☎(06)352－1131(大代表)
本　社　〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町１－35－８　☎03(3667)3431
支　店　北海道・東北・横浜・名古屋・中国・九州
営業所　京都・神戸・四国・釧路・青森・新潟・長野・千葉・静岡・北陸



■折版F-200II型

三晃金属工業株式会社
Sanko

本　社　104　東京都中央区京橋2-9-2 第1ぬり彦ビル6・7F　03(3567)3551(代表)　03(3562)2787
●長尺営業部　☎03(3567)3558(直通)　FAX03(3564)5206
●Mルーフ営業部　03(3567)3556(直通)　03(3564)5206
●R-T営業部　03(3567)3557(直通)　03(3564)5206
●建材営業部　03(3567)3569(直通)　03(3561)9238
●リフレッシュ営業部　03(3567)3559(直通)　03(3567)3968
●海外営業部　03(3567)3566(直通)　03(3567)5206

Technique and Service

空気調和・衛生設備・設計施工

理想の環境創りをめざす……

株式会社 三晃空調

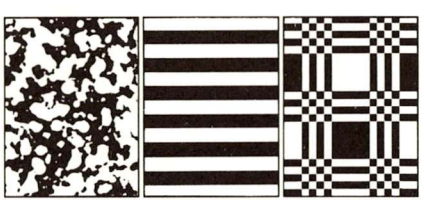
本　　店	大阪市中央区城見　ツイン21MIDタワー	06 (949) 1371
東京本店	東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル	03(3344)1911
大阪本店	大阪市北区西天満4丁目6番18号	06 (363)1371
支　　店	仙台・横浜・名古屋・広島・福岡	
営 業 所	札幌・京都・神戸・松江	
出　　張	青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井 和歌山・高松・岡山・鳥取・下関・熊本・鹿児島・沖縄	



さまざまな建築空間に
美を添えます

エレベーター扉、エスカレーター踏板に多くの実績をもつ〈エッチング〉。さらにバイブレーション加工、ビーズ加工などあらゆる金属表面処理技術を加え、さまざまな建築空間に確かな実績を誇る優れた技術でお応えします。

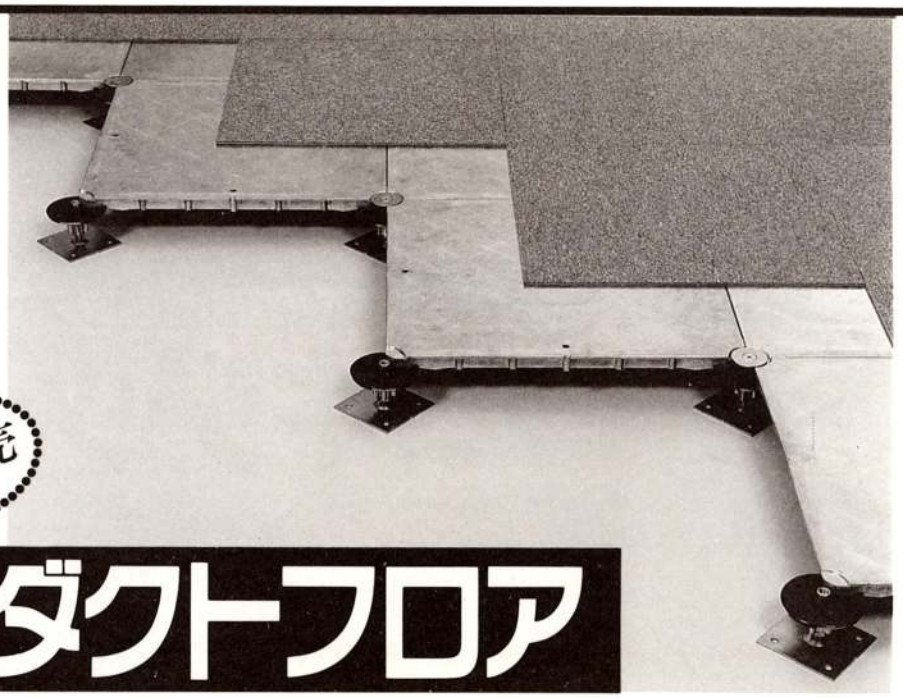
- CADシステムによる大型オリジナルパターンの製作。
- ステンレス、銅、アルミなど各種金属の大サイズに対応。
- フォトエッチング技術による精密なパターンの再現。
- フローコーターによるフッ素塗装で、超耐候性を実現。



株式会社 写真化学
建装材事業部

本　　社	〒602 京都市上京区東堀川通一条上ル TEL(075)432-1153(代表) FAX(075)431-9577
大阪営業所	〒541 大阪市中央区北浜3-2-24 北沢ビル6F TEL(06)231-8061(代表) FAX(06)231-8067
東京営業所	〒160 東京都新宿区四谷4-1 細井ビル7F TEL(03)3341-1211(代表) FAX(03)3341-4600

SHODEN



新発売

OAダクトフロア

Fタイプ 型式 SD500-OA-F

高度情報社会の中枢機能をもつインテリジェントオフィスには、氾濫する
ケーブル配線を安全に収納し管理するための二重床の敷設が必要です。
そこで昭電はこれまでの経験をふまえ、
このたびあらゆるインテリジェントビルに対応できる、
超軽量アルミダイキャスト製パネルを開発しました。

特長

- 超軽量アルミダイキャストパネル
- 高層階オフィスにも対応可能
- 床下空間は配線自由
- 取扱い易く割れない
- 選べる床高2タイプ
- 選べる表面材
- ガタつきがない固定型
- フロアコンセントもオプションパネルで、簡単な配線は切込みにて可。
- 直接機器固定も出来ます。
- ほこりが出ないので、空調も可能です。

株式会社 昭電

本社 〒136 東京都江東区大島1丁目2番23号 ☎03(3637)7711
千葉事業所 ☎0434(22)2111　北陸支店 ☎0764(31)2011
北海道支店 ☎011(271)6701　中国支店 ☎082(246)5711
東北支店 ☎022(222)1401　四国支店 ☎0878(21)9231
名古屋支店 ☎052(936)3311　九州支店 ☎092(731)0373
大阪支店 ☎06 (444)5231　沖縄支店 ☎098(869)0215

機械室をなくし、かつハイレベルな空調環境を実現

ターミナル空気調和機・カームマルチ

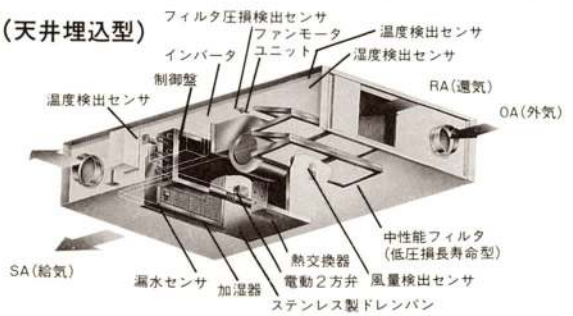
SINKO

空調新時代のひとつの解答として——

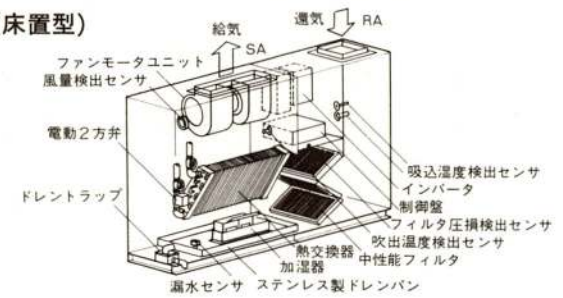
高層化するビル。そこには、多彩なテナントが入居し、店舗に、オフィスにと、さまざまに使用されます。新晃工業が開発したターミナル空気調和機・カームマルチは、変化するビル環境に柔軟に対応する建物一体形の個別制御システム。その最大のメリットは、空気調和機を天井内へ設置または、建物内のデッドスペースにコンパクトに分散設置することによる機械室レスの実現です。

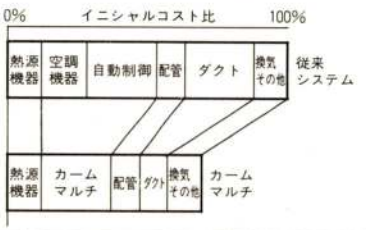
- ハイグレードな空気環境を実現
- 緻密な個別制御・個別運転
- 最適メンテナンス時期や異常をチェックする中央監視
- 高い省エネルギー効果
- イニシャルコスト低減

CH型(天井埋込型)



CV型(床置型)





新晃工業株式会社

本社・大阪支社:〒541 大阪市北区南森町1-4-5 ☎(06)367-1801 (代表)
東京本部:〒100 東京都千代田区有楽町1-10-1 ☎(03)3216-4311(代表)
名古屋支店:☎(052)581-8661



これからの外装仕上げ

不燃性(プラス)＋超耐候性

無機外装超耐候性仕上げシステム

ムキテックス

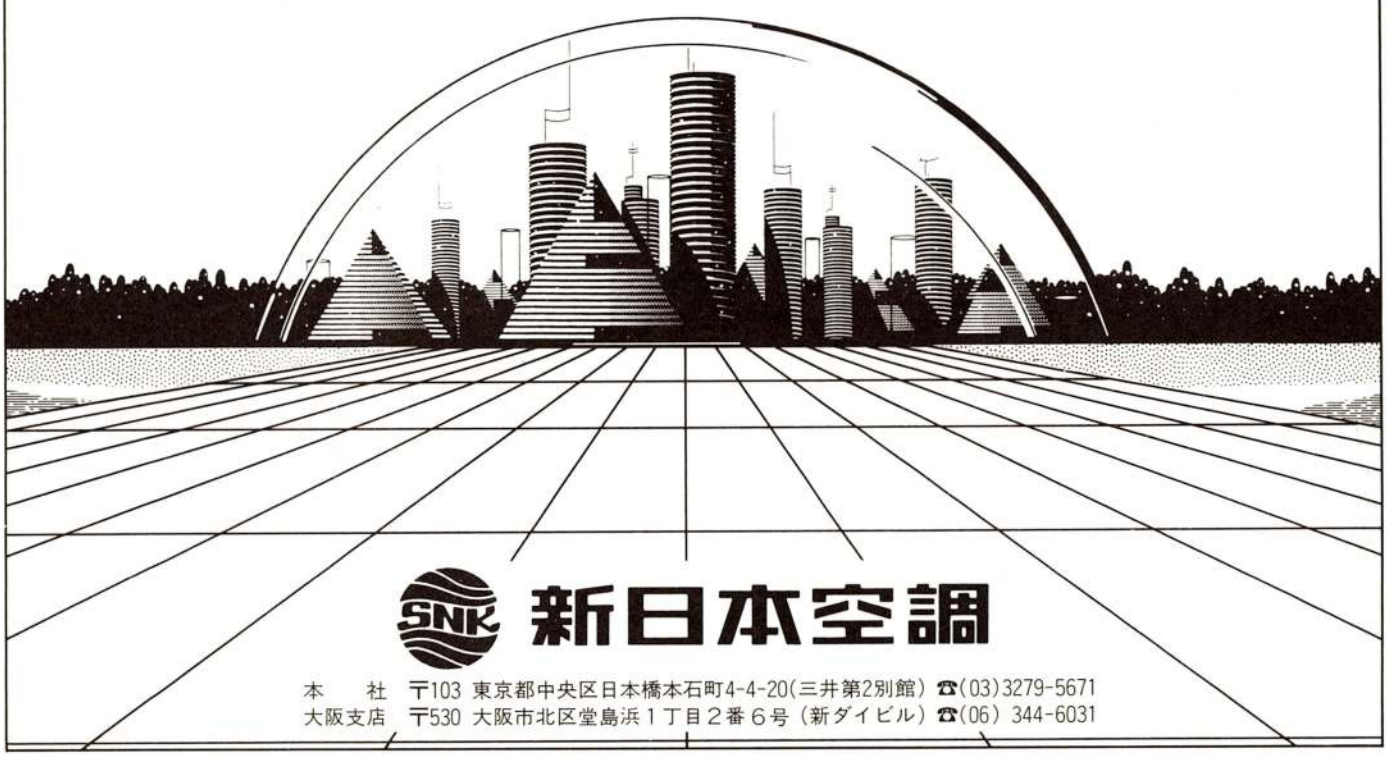
■強靱な塗膜
■不燃性
■超耐候性
■可とう性
■抜群の施工性
■鮮明なデザイン

さわやかな環境の提案

神東塗料

東　京　☎(03)3272-4031
大　阪　☎(06) 421-9851
名古屋　☎(052)262-5810

技術がつくる　快適空間



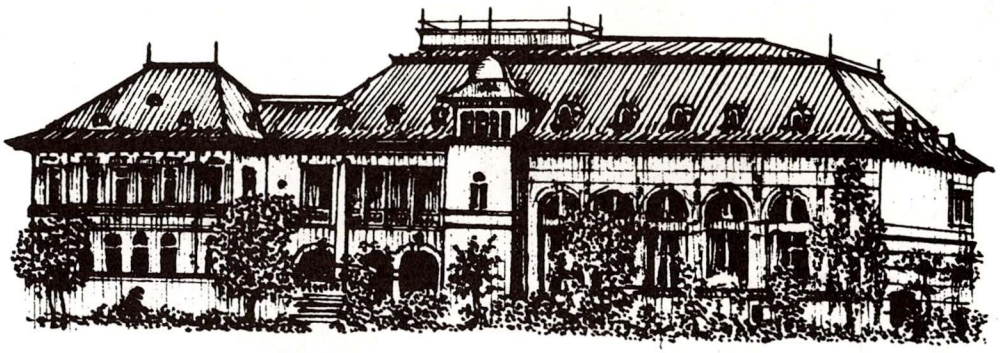
新日本空調

本　　社　〒103 東京都中央区日本橋本石町4-4-20(三井第2別館) ☎(03)3279-5671
大阪支店　〒530 大阪市北区堂島浜１丁目２番６号（新ダイビル）☎(06) 344-6031

90
創業1901年

技術と信頼に生きた90年

21世紀をめざして新たな奉仕を。



当社創業時施工の「大阪ホテル」

空調衛生設備のパイオニア

SUGA

須賀工業株式会社
本社 03(3823)1211
大阪支社 06(441)5171

閉まってもお店は注目のマト!

SUZUKI



お店のセールスポイントをかくすことがなく、閉店後の夜でも、注目度100%のアピール効果を発揮します。業務・店舗形態を選ばない洗練されたデザイン。防水、耐風などのセキュリティ効果にも優れた新しいタイプのグリルシャッター〈クリスタルグリル・ポピュラ〉で、お客さまの視線をしっかりキャッチしてください。

クリスタルグリルポピュラ

防災ひとすじ87年

鈴木シャッター工業株式会社

〒170 東京都豊島区南大塚1-1-4 TEL03(3944)1111(代表)



住友ゴムは
足もとを科学しています。

●住友ゴムでは、スポーツと「グラウンド特性」、あるいは品質管理やOA機器と「床機能」の関係といった、いわば「足もとの科学」とも言うべき研究を軸にし、製品の開発・改良に力を入れています。

●そして、住友ゴムのスポーツ舗装や床材には、いまスポーツ、教育をはじめ生産の現場や建築界から、多くの評価があつまっています。これは、足もとに視点をおいた永年の研究成果が「品質の良さや快適さ」、「設計・工法技術の合理性」となって製品に現れた結果だと考えています。

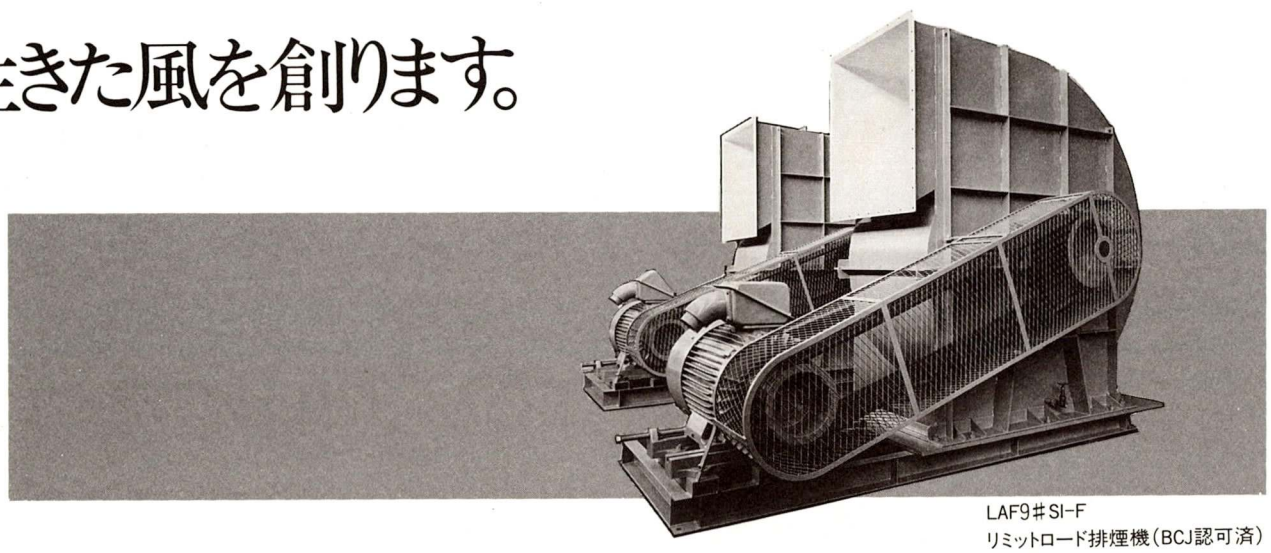
●品質と性能で、みなさまの信頼にお応えできる製品を——。私共は、明日も力をゆるめることなく「足もとの科学」を重ねる積りです。

住友ゴム工業株式会社
本社・環境施設部
〒651 神戸市中央区筒井町1-1-1 TEL.078(232)7223(代表)
東部地区営業
〒107 東京都港区赤坂1-1-12 TEL.03(3585)9147(代表)
福岡事務所
〒812 福岡市博多区上牟田3-8-5 TEL.092(411)2864(代表)

●砂入り人工芝/オムニコート・オムニターフ ●複合弾性舗装/ポリタン・マスターズコート ●複合弾性床/ラザーコート ●高規格塗り床/グリップコート ●OA二重床 AIシステムフロア

タニヤマ送風機

生きた風を創ります。



LAF9#SI-F
リミットロード排煙機(BCJ認可済)

送風機・乾燥機
一般産業用機械 設計・製造・販売

株式会社 タニヤマ

本社・工場 〒536 大阪市城東区中央2-3-17 TEL.06-931-7802(代) FAX.06-933-3733
東京営業所 〒113 東京都文京区湯島4-6-17 TEL.03-3814-6651(代) FAX.03-3814-6653

ALWAYS WITH YOU

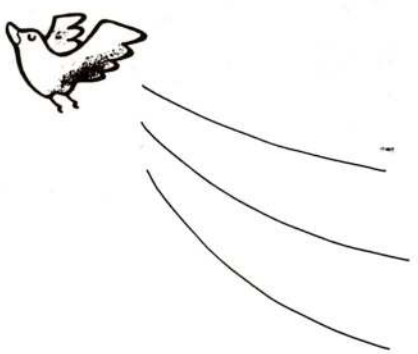


光と空気と水のコントロールを通して、
人間空間をさまざまな角度から科学するダイダン。
私たちのテーマは、
人々が最も過ごしやすいと感じる
最適環境の創造です。
システム・インテグレータ、ダイダンの技術は、
あなたの近くで生きています。

—光と空気と水を生かす—
ダイダン

専攻、地球環境学脱フロン科。





地球レベルで急速に減少を続けるオゾン。それに伴うさまざまな環境破壊の恐れ。中でも、オゾン層の破壊は、地上で使用されたフロンガスに起因すると考えられています。そして今、人類はこの人為的な行為の代償として、地球レベルでのさまざまな転換を迫られています。世界規模によるフロン規制が叫ばれ、廃止の機運が高まる中、地球で生活する個人として、企業として、また国家として何をしなければならないかが問われているのです。そうした現状の中で私たちダウ化工は、全工場における特定フロンの使用を全廃。これによって、ダウグループの基本理念、"環境保全への積極的参加と貢献"を単なるキャッチフレーズで終わらせる事なく、地球によりやさしい断熱材の供給を実現しました。今後、建築材料における環境の保全には、さらに厳しい選択の目が向けられるに違いありません。「地球環境学」。それは私たち建築に携わるもの全員が専攻する大切なテーマとして、常に考え続けなければならないことでもあります。



1990年10月1日
スタイロフォーム®は、特定フロンの使用を全廃。地球にやさしい断熱材に生まれ変わりました。

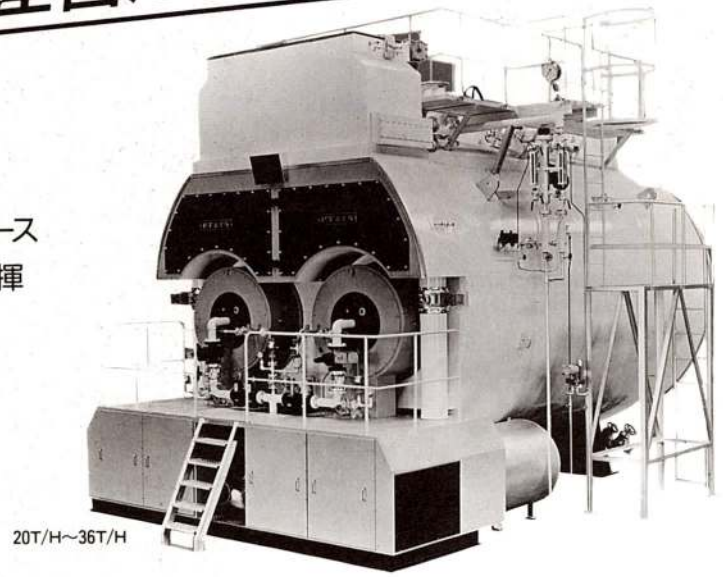
「地球の選択」
スタイロフォーム®
DOW ダウ化工株式会社
大阪事務所 〒542 大阪市中央区南船場3-10-19 住友心斎橋ビル10階 ☎06(281)1351

* ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーの商標 ** ダウ化工株式会社の商標

タカオFTE-IIボイラ

DHC地域冷暖房用
大形ツイン炉筒煙管超低NOxボイラ

●ボイラ効率92%以上で且つ省電力
●大形化により多缶設置を解消し省スペース
●保有水量が膨大・負荷の追従に威力発揮
●ツイン炉筒構造の採用により
★大容量でも小容量級の超低NOx
保証値38ppm以下
★20:1の広域制御



20T/H～36T/H

株式会社 **高尾鉄工所**

本社・工場　〒561 大阪府豊中市島江町1丁目3番29号 TEL06(332) 5751㈹
東京事務所　〒103 東京都中央区日本橋1丁目3番11号 TEL03(3272)8541㈹
名古屋052(971)5471・札幌011(261)1511・九州092(411)0765
東北0222(63)9866・豊田0565(29)2871

90年代への発信

満足から感動へ。

インテリアからスペースへ。

タカシマヤ建築業本部の歴史は、110年。
伝統に裏づけされた技術レベルの高さは、日本はもとより海外でも、
たいへん高い評価をいただいております。
インテリア・設計・施工からソフト開発まで、
1,000人のスタッフが、ご期待にお応えします。

高島屋
建装事業本部

●東京建装部／〒103　東京都中央区日本橋2-4-1　TEL(03)3246-4342
●関西建装部／〒556　大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館　TEL(06)632-3190

龍村のインテリア製品

TIF
TOTAL INTERIOR FABRICS

緞帳
タピスリー
カーテン地
壁張地
椅子張地

株式会社 龍村美術織物

本社・京都店　京都市中京区壬生森町29　(075)802－3251㈹
東京店　東京都中央区日本橋2－2－20　(03)3274－2274㈹
名古屋店　名古屋市中区栄2-1-1(日土地名古屋ビル2階)　(052)204－0815㈹
大阪店　大阪市中央区南本町3丁目5番14号　有楽ビル6階　(06) 245－5630㈹
札幌営業所　札幌市中央区南一条西五丁目　秋山愛生館ビル5階　(011)271－3644

電気設備 ㊉ 設計施工

大正８年創業以来７０余年に
わたり豊かな経験とすぐれた
技術で社会に奉仕しています

豊かな生活環境の建設をめざす

朝陽電気株式会社

取締役会長　山本博三
取締役社長　山本貴士

本社　大阪市北区中之島３－２－４(朝日ビル)　電話 大阪 06(385)1361㈹
大阪営業所　電話 大阪 06(385)1361　京都営業所　電話 京都075(311)1185㈹
東京営業所　電話 東京03(3574)0665　福岡出張所　電話 福岡092(771)6168

人 空間×環境

創るのは、人の環境です。

DAIMARU
大丸・装工事業部

電気設備工事
計装制御工事
空調衛生設備工事
映像・音響・システム工事

設計施工

浅海電気株式会社

取締役会長　浅海正雄
取締役社長　浅海伸之

本　社　大阪市北区西天満3丁目7番4号
　　電話 大阪 362－8701(代表)
東京支店　東京都中央区日本橋本町1丁目4番12号
　　電話 東京 3243－1671(代表)
支　店　札幌・浜松・名古屋・福岡
営業所　旭川・仙台・甲府・静岡・奈良・神戸・
　　広島・高松・北九州・鹿児島・沖縄
出張所　苫小牧・函館・光・堺・泉南

良心的な電気工事

●ゆたかな経験

●すぐれた技術

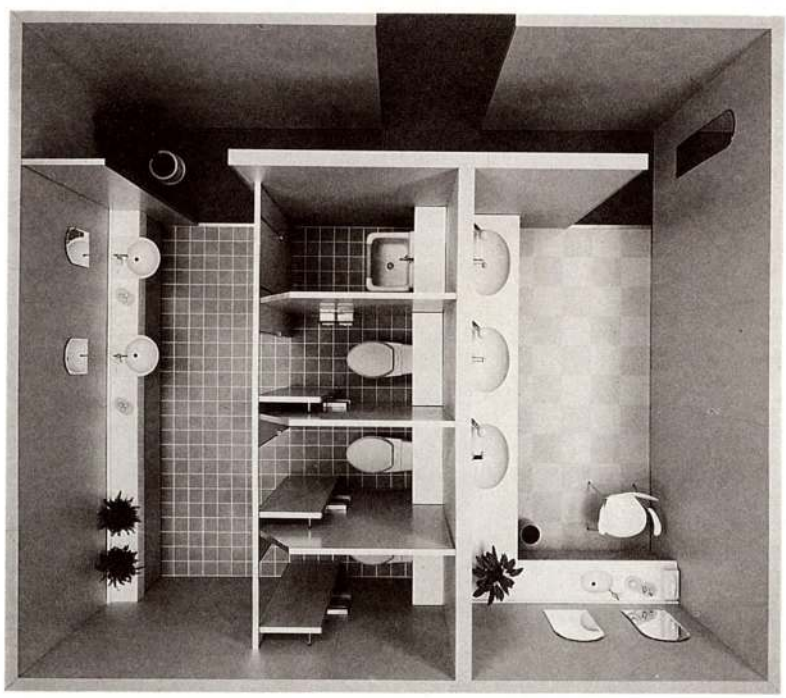
東光電気工事株式会社

取締役会長　松本福男　　取締役社長　紅田和典

本　社／東京都千代田区西神田１－４－５　〒101　電話／東京3292－2111大代表

支　社／札幌・仙台・東京（丸の内）・東京（新宿）・横浜・名古屋・大阪・福岡

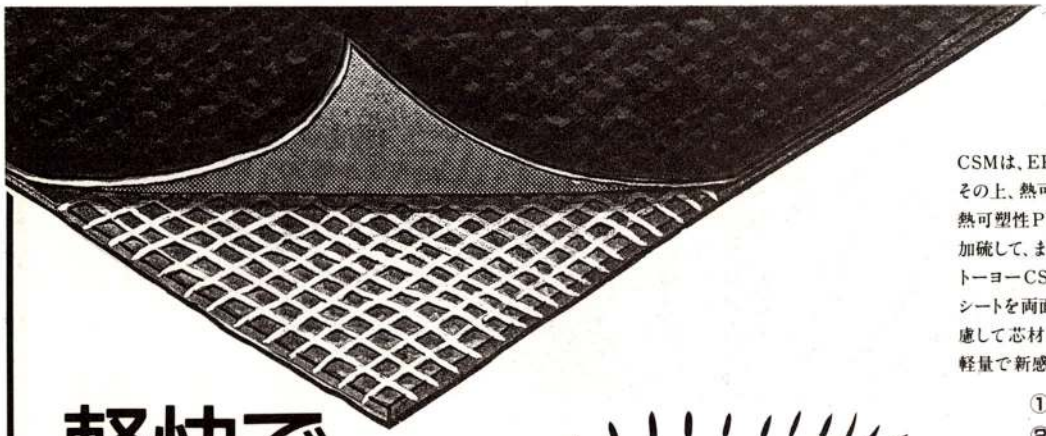
人間中心に水まわり空間を考える。



機能性を追求し、かぎりなく
人に近づいていくような
人間中心の環境づくり。
TOTOは、そのような時代の流れを
見つめながら、オフィスビルを主体とした
パブリックトイレにおいて
人間中心の水まわり空間を
トータルなシステムとして考えています。

TOTO
システムトイレ

カタログご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器㈱ 大阪支社までご請求ください。☎06(364)1181



軽快で、新感覚のカラー防水



CSMは、EPDMと同様に耐オゾン・耐候・耐熱性に優れ、その上、熱可塑自然加硫タイプのゴムですから施工時には熱可塑性PVCのように熱融着ができ、施工後は経時自然加硫して、ますます強度が増加する性質をもっています。
トーヨーCSMシートは、これら優れた特性をもつCSMゴムシートを両面に用い、なお、引裂強さ・寸法安定性などを考慮して芯材にポリエステル繊維をサンドイッチ加工した、軽量で新感覚カラーの防水シートです。

①接合は熱融着ができます。
②仕上がりが美しい。
③軽歩行ができます。
④ホワイトは省エネに役立ちます。

トーヨーCSMシート

標準サイズ
厚さ 1.0mm, 1.2mm　長さ 20m　重さ 36kg, 43kg

接合仕様
熱融着 300℃　重ね幅 40mm以上

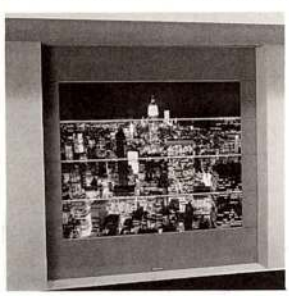
TOYO 東洋ゴム工業株式会社
化工品事業本部・工事資材販売部

東京本社　〒151 東京都渋谷区千駄谷4-24-15 TEL:03-3404-6219
大阪本社　〒550 大阪市西区江戸堀1-17-18 TEL:06-441-8703

TOYO Shutter

光り輝くビジュアル・シャッターが、閉店後のお店をアピール。

絵や写真、文字を使って自由にデザインされたスクリーンとバックライトを、シャッターに組み込んだ〈アドビジョン〉。浮かびあがる美しいメッセージが、閉店後のお店を、効果的にアピール、夜間でも、あなたのお店を強く印象づけます。〈アドビジョン〉は、今、新しい時代の、新しい扉を開きます。



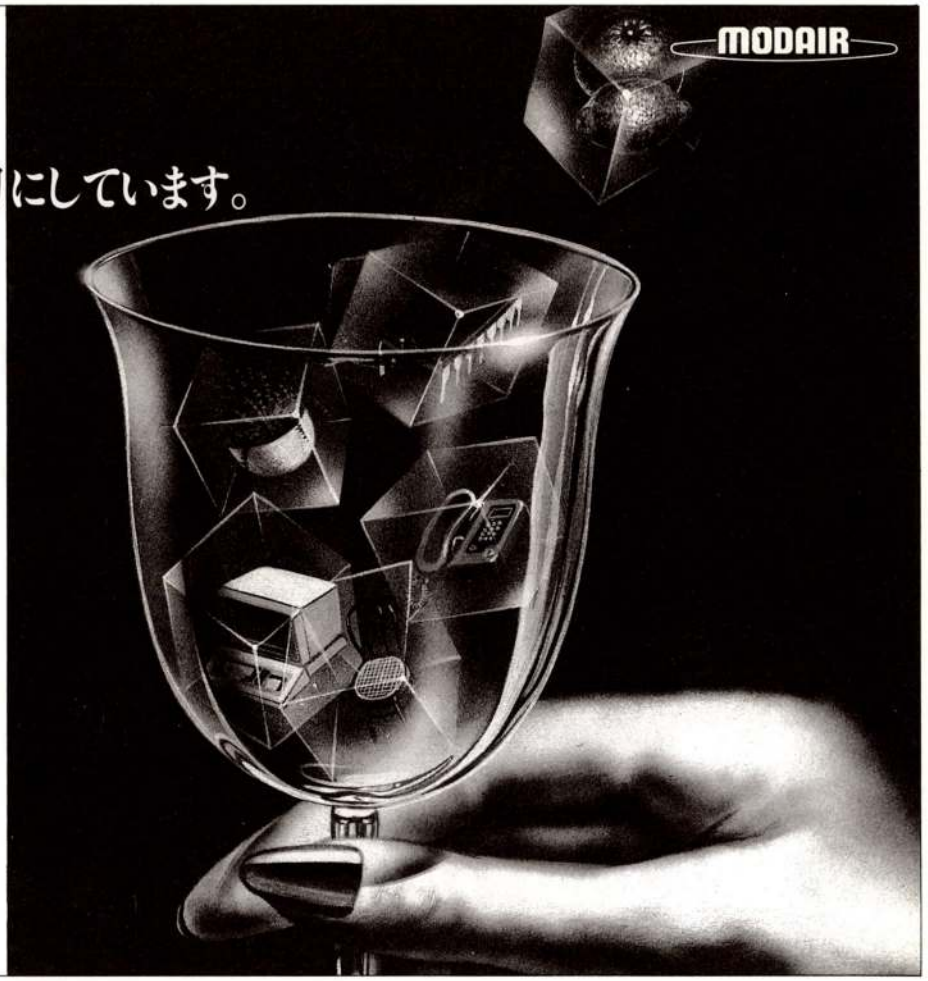
アドビジョン



東洋シヤッター株式会社
本　社／大阪市中央区常盤町1-3-8（日本生命谷町ビル）〒540
TEL.06-943-6571㈹
東京本社／東京都港区六本木6-3-18（第一地所麻布ビル）〒106
TEL.03-3479-2911㈹

“人間”と“物”のかかわりに……

東熱は、用途に応じた
「生きた環境」づくりを大切にしています。



人間が生活するための環境
働くための環境
または、物が製造されるための環境、
品質を管理するための環境…。
人間と物とのかかわりに空間の中で
生きた環境づくりを
東洋熱工業は常に考えています。

——環境設備を探究する——

東洋熱工業

本社　〒104 東京都中央区京橋2-5-12☎(03)3562-1351(大代表)
支店／大阪・名古屋・九州・横浜・広島・仙台・関東・札幌・新潟・グアム

クオリティの高い現代建築を創造。

ナカ工業は、インテリジェントビルの内装をシステムでとらえ、トータルな内部空間をつくります。

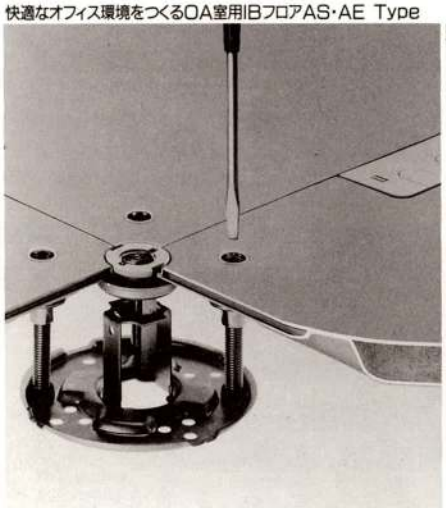
NAKA
新アクセスフロアシステム

IB FLOOR
INTELLIGENT BUILDING FLOOR

OA室用
AS・AE TYPE

コンピュータ室用
CS・CS-S TYPE

快適なオフィス環境をつくるOA室用IBフロアAS・AE Type



コンピュータの未来を支えるIBフロアCS Type



企画・開発
NTT都市開発株式会社

OA時代の床を支える
ナカ工業 NAKA CORPORATION
お問い合せは 06-531-1755 大阪フロア部へ
〒550 大阪市西区北堀江3-12-23 三木産業ビル

サービスネットワーク
事業本部 〒100 東京都千代田区内幸町1-1-1 インペリアルタワー10F ☎03-3501-8311
東京 ☎03-5389-1031　札幌 ☎011-222-1332　東北 ☎022-211-6711
北関東 ☎048-648-0871　横浜 ☎045-201-7751　名古屋 ☎052-204-1880
大阪 ☎ 06-531-7222　広島 ☎082-246-9200　福岡 ☎092-272-3511

新しいコンセプトが生み出したインテリジェントの新しい形

総合監視システム 中小規模の設備群向けに新登場!!

FA時代のモニタリングシステムの新しい形

NABAC-Jrは

- 小型・高機能・低価格!!
- 簡単施工!!
- 通信機能も充実!!(オプション)
- 上位コンピューターに接続可能!! (オプション)
- 完璧なアフターサービス!!



PAS-9000は

- 設備管理と直結!!
- 生産工程の管理!!
- 通信機能の充実!!
- 配線工事が容易!!



営業品目

- 伝送式総合監視盤 NABACシリーズ
- コンピュータ応用制御装置
- 各種電子式制御装置
- キュービクル式受変電設備
- 自動力率調整制御盤
- ホーム分電盤
- 各種標準分配電盤
- 各種ボックス

株式会社 内外電機製作所

東京特注品営業 〒160 東京都新宿区新宿2-1-15(古屋ビル) ☎(03)3356-1361㈹ FAX(03)3356-1363
大阪特注品営業 〒577 東大阪市高井田本通3-5 ☎(06)782-1161㈹ FAX(06)781-3791

営業本部 〒160 東京都新宿区新宿2-1-15(古屋ビル) ☎(03)3350-0901㈹ FAX(03)3350-0902
東日本営業部 〒160 東京都新宿区新宿2-1-15(古屋ビル) ☎(03)3350-0761㈹ FAX(03)3350-0849
中日本営業部 〒460 名古屋市中区大須4-14-26(ジツダビル) ☎(052)242-1526㈹FAX(052)242-1770
西日本営業部 〒577 東大阪市高井田本通3-5 ☎(06)782-0181㈹ FAX(06)782-4731
商事部 〒577 東大阪市高井田本通3-5 ☎(06)782-9670 FAX(06)783-6065
本社 〒577 東大阪市高井田本通3-5 ☎(06)783-3361 FAX(06)783-6065

伝統の技術と信頼

設計・施工

●営業品目
造作建具工事
インテリア工事
耐火間仕切工事
特注家具製作

●オリジナル製品
内外化粧不燃板
ナイガイロンレックス
エースライト(人造木材)
パルナス(樹脂含浸木材)

内外木材工業株式会社

本社及工場 〒574 大阪府大東市谷川2丁目7－1 TEL0720-72-2161
大阪営業部 〒540 大阪市中央区東高麗橋2-11 TEL(営業) 06-941-5454
(大阪東高麗橋ビル3階) TEL(建装) 06-942-1931
東京支店及工場 〒354 埼玉県入間郡大井町亀久保1150 TEL0492-61-3611
東京営業部 〒170 東京都豊島区南大塚3－43－1 TEL(営業) 03-5992-5611
(大塚HTビル6・7階) TEL(建装) 03-5992-2931



ビル用サッシ・カーテンウォールメーカー
NWS ニューウォールシステム株式会社

本　　社　〒101　東京都千代田区神田美土代町1　TEL03(3294)8511
大阪支社　〒541　大阪市中央区南本町4-5-20　TEL 06(252)1881
支店　横浜／名古屋　　営業所　札幌／仙台／広島／福岡

よりよい生活環境づくりをめざす

衛生・空調・防災設備・設計施工

株式会社 西原衛生工業所大阪店

本　　社　〒531 大阪市北区中津6丁目8番4号
電話 大阪（06）458－3628番(代)
支店・営業所　東京・福岡・京都・神戸・天理・川西

21世紀を担う——メルタン21

トーチ工法



NISSHIN

マルエス S 日新

総合防水メーカー

日新工業株式会社

本　　社 東京都足立区千住東2－23－4☎03(3882)2424
大阪支店 大阪市西区新町1－12－22☎06(533)3131
●九　州　●名古屋　●札　幌　●仙　台　●広　島

ビルにも、個性を表現する顔があります。



設　計　㈱日建設計
施　工　㈱熊谷組・㈱大林組・㈱前田建設
　　㈱鴻池組・㈱新井組　共同企業体

東京・隅田川ウォーターフロントのアサヒビール吾妻橋ビル。完成以来、最新鋭のインテリジェントビルとして脚光をあびています。

このビルは、白く波打つ最上部と琥珀色に輝くオフィス部分で構成され、グラスに泡立つビールを巧みに表現しています。

日本アルミは、この個性的なビルの外装に、多種多様な加工技術を活かしています。

当社は、創業以来、アルミニウムをはじめ、さまざまな素材と取り組み、ビルや建物の内外装など、幅広い分野の製品をお届けして来ました。

今後も、豊富な経験と高度の技術力で21世紀に向けた都市づくりに貢献してまいります。

日本アルミニウム建材株式会社

本　　社 大阪市東淀川区東中島1-19-4 新大阪東口ビル　〒533 ☎(06) 815-2251
東京支店 東京都墨田区吾妻橋1丁目23番1号（アサヒビール吾妻橋ビル9F）〒130 ☎(03)5608-5404
札幌支店 札幌市中央区北一条西3丁目3番地（住友信託ビル）　〒060 ☎(011)231-9395
横浜支店 横浜市中区本町6丁目61番地2（原ビル）　〒231 ☎(045)212-5201
名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目24番8号（日本団体生命名古屋ビル）〒450 ☎(052)563-6881
福岡支店 福岡市博多区住吉3丁目1番80号（オヌキ新博多ビル）　〒812 ☎(092)271-5271
仙台営業所 仙台市青葉区大町2丁目2番10号（住友生命青葉通りビル）〒980 ☎(022)227-2671
広島営業所 広島市中区上八丁堀8番23号（広島県林業ビル）　〒730 ☎(082)221-3158
瀬戸内営業所 高松市塩屋町13番8号（水野ビル）　〒760 ☎(0878)22-1336
旭川出張所 ☎(0166)34-3016　金沢出張所 ☎(0762)91-4400　米子出張所 ☎(0859)33-1504
平塚駐在 ☎(0463)23-9461　安城製造所 ☎(0566)74-5221

NSG
NIPPON SHEET GLASS

ガラスは今、
ガラスであり、
ガラスではない。

ガラスは今、さまざまな顔を持っています。
一つは、快適な生活空間をつくり出す顔。建築や自動車に、
デザイン性・断熱・省エネ・安全・防音・調光など
高度の機能を演出します。
もう一つは、情報化社会を支える隠れた顔。光ファイバ・
磁気ディスク・ガラス繊維などの研究開発が
未来を明るく照らします。

快適空間と情報未来をクリエイトする

日本板硝子

〒541 大阪市中央区道修町３丁目５番11号 TEL06-222-7511
東京本社 〒105 東京都港区新橋５丁目11番３号 TEL03-3436-8811

氷蓄熱に、ニューシステム。



新世代の蓄熱システムとして注目を集める氷蓄熱システムに、いま新たな可能性をひらく"レブロードアイスバンク"が登場しました。独自の構造が解氷効率や熱交換効率をいちだんと高めるとともに、設備コストも大幅に削減。エネルギーコストを大きく低減する最適の氷蓄熱システムが構築できます。

- 蓄熱タンク容量が小さく、収納スペースは氷蓄熱の約$\frac{1}{10}$。
- 新機構を採用して解氷効率が大幅に向上。
- 断熱効果が高く、エネルギー損失は最小限。
- チラーとアイスバンクの併用運転が可能。
- ポンプの消費電力を抑える密閉式循環システム。
- 工場組立のモジュール式ですから据付は簡単。

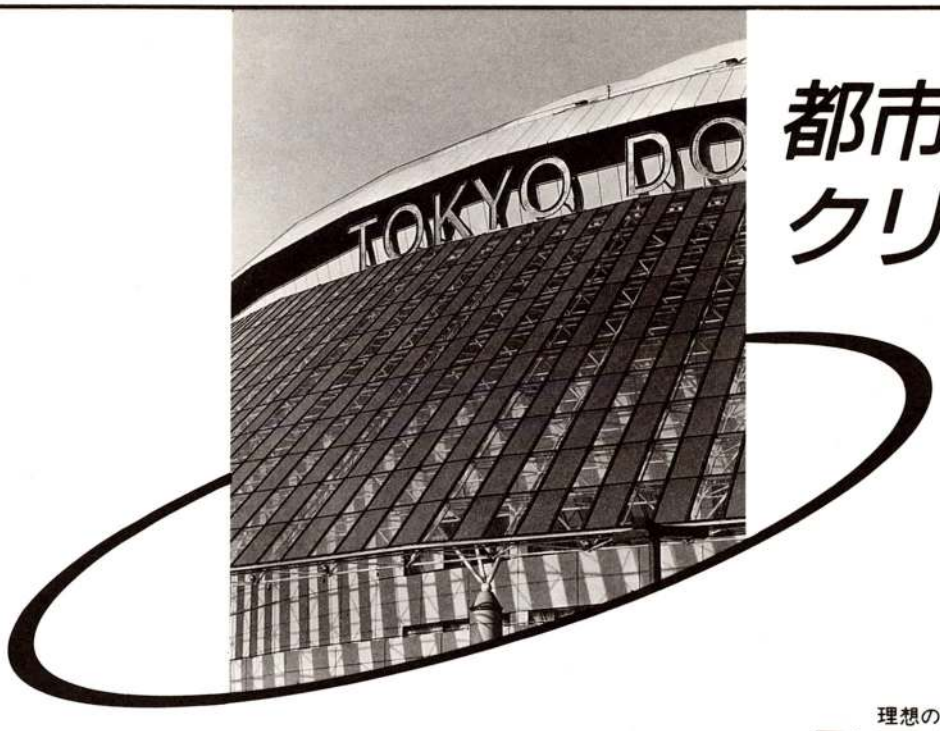
ブライン式氷蓄熱タンク **レブロードアイスバンク**

日本スピンドル
NIHON SPINDLE

※レブロードアイスバンクは米国等で実績豊富な「カルマック社」のブライン式氷蓄熱タンクです。

日本スピンドル製造株式会社 環境機器事業部

東京/☎(03)3279-4053㈹ 名古屋/☎(052)582-9031㈹ 大阪/☎(06)203-7006㈹ 福岡/☎(092)474-9275㈹ 本社・工場/〒661 尼崎市潮江4-2-30☎(06)499-5560㈹



都市空間のクリエーター

理想のファサードを求めて70年

日本建鐵株式会社

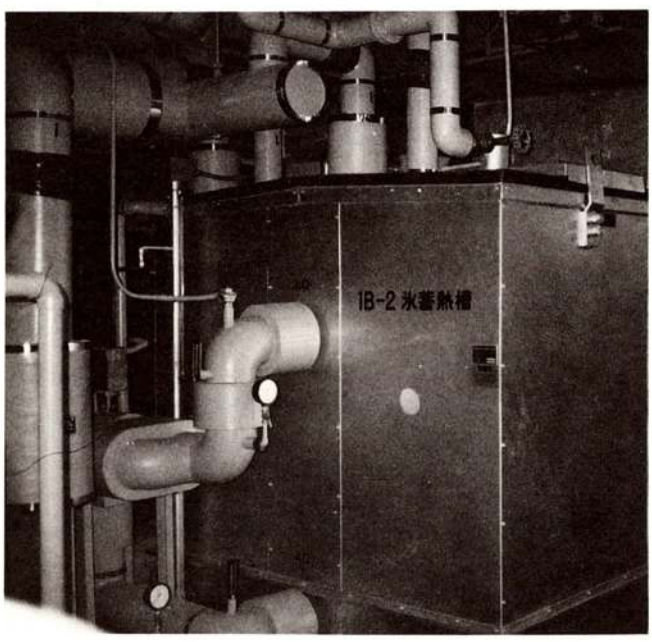
本　　社　〒100 東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル)　TEL (03)3270-6521(大代)

大阪支店	〒530 大阪市北区梅田2-2-25(新阪神ビル)	TEL (06)341-4 3 3 1(代)
横浜支店	〒231 横浜市中区太田町1-10(東京建物太田町ビル)	TEL (045)651-2 9 8 6 ～ 7
東北支店	〒980 仙台市青葉区大町1-1-30(新仙台ビル)	TEL (022)221-3 4 9 1(代)
札幌出張所	〒003 札幌市白石区中央2条3-7-22	TEL (011)841-2 2 7 9(代)
船橋製作所	〒273 千葉県船橋市山手1-1-1	TEL (0474)35-5111(案内台)

B.A.C.®

一般使用から、特殊使用まで!

低温取出、急速取出、大温度差取出ができます。



- 低温送風方式、低温送水方式に最適です。
- 1時間～2時間の短期間に、急速に、大容量を必要とする場合(ホール用、ピークカット用、非常用等)にも柔軟に対応できます。
- 温度差を大きく取ることにより、搬送動力の低減が計れます。

日本BAC株式会社

本　　社　〒100 東京都千代田区有楽町1-10-1　有楽町ビル
電話(03)3213-3001　ファックス(03)3213-3006
大阪営業所　〒530 大阪市北区南森町１－４－５
電話(06)315-6310　ファックス (06)315-6277
西日本営業所　〒730 広島市中区上八丁堀8-20 上八丁堀井上ビル303号
電話(082)223-8998　ファックス(082)223-8980

安全は空気のように大切です。



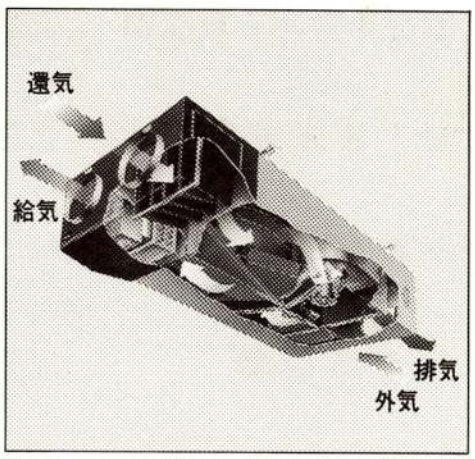
毎日の生活のなかで、気づかないけど大切なものが空気や水であるように。火災などの災害から住宅環境や都市環境をまもるのが防災機器。能美防災は、研究開発から機器の生産、施工、メンテナンスサービスまで、トータルな防災システムで、安全な生活空間を構築しています。

NOHMI
能美防災株式会社
本社 〒102 東京都千代田区九段南4-7-3
TEL03-3265-0211

(Uの時代です。)

エコノミニの最新型「U」。この一台ですべてを満たす万能タイプ。やがて外気処理ユニットは「U」に変わる。

新しいエコノミニUは、ビルのゾーン別に熱回収換気、加湿、除塵ができる第一級の外気処理ユニットです。しかも温湿度、塵埃濃度、CO、CO_2濃度などのビル管理法(外気処理分野)を満たす万能タイプ。天井埋込み設計ですから、機械室も不要。しかも小型軽量。取り付け工事も簡単で経済的です。新時代のオフィスの空気環境を徹底して追求したニュータイプです。



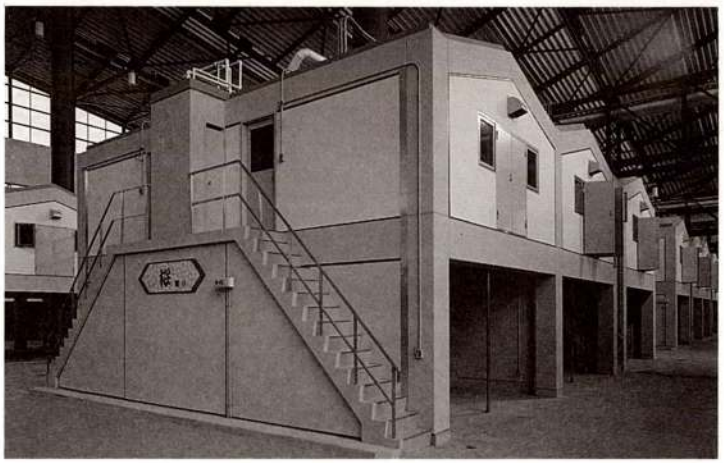
空調換気扇／外気処理ユニット
エコノミニ® U

Berner Econovent
Gadelius Group

バーナー エコノベント株式会社
●本　　社 〒162 東京都新宿区神楽坂2-16-1(軽子坂田中ビル)☎(03)3235-6671(代)
●神戸営業所 〒650 神戸市中央区港島中町2-3-4(ガデリウスポートアイランドビル)☎(078)303-5782(代)

今、時代は PC システム構法

技術力で社会に奉仕するフドウ建研



東京都太田市場
青果棟仲卸店舗
設計：㈱日建設計
施工：㈱大林組他
共同企業体
PC施工：フドウ建研㈱

営業品目
●建築工事
PCシステム建築
各種緊張工事
各種PCプレキャスト工事
他
●土木工事
PC橋梁工事
人工地盤
アンカー工事
他

フドウ建研株式会社

取締役社長 白井義惟

東京本社・本店 〒110 東京都台東区台東1−38−9 TEL 03-3837-6072
大阪支店 〒541 大阪市中央区平野町4−2−16 TEL 06-201-3737
名古屋支店 〒460 名古屋市中区大須4−10−40 TEL 052-262-3801
九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-16 TEL 092-451-4170

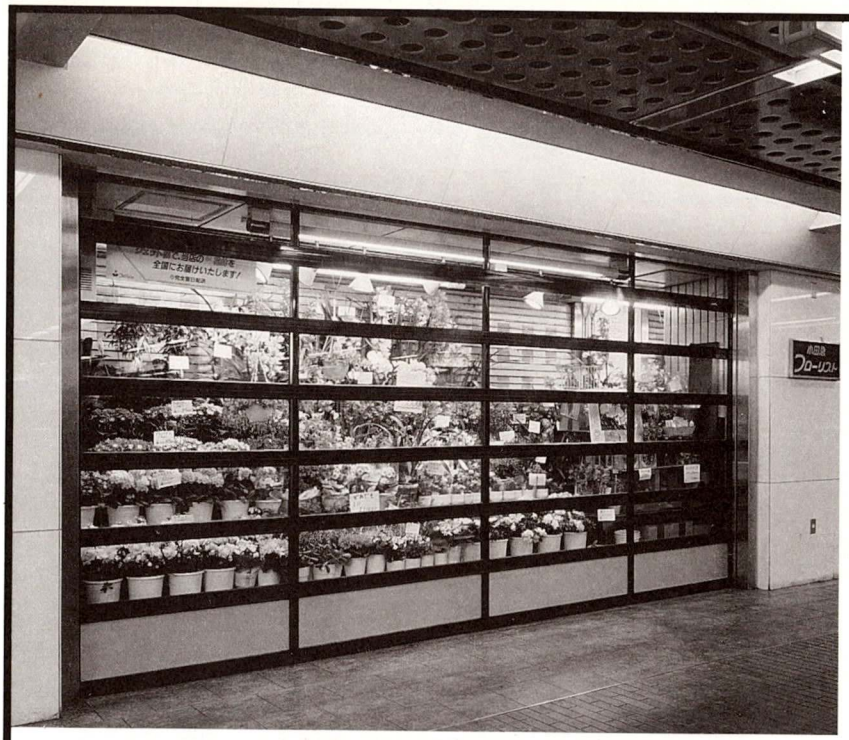
営業所 仙台・水戸・古河・北関東・千葉
北陸・滋賀・京都・四国・広島
長崎・佐賀・熊本・沖縄

富士精工株式会社

営業品目

銀行用金庫室扉設備	金庫室用特殊壁体工事	出入口管理システム
耐火書庫室扉設備	金庫室内収納設備	警報装置
夜間金庫設備	移動書架設備	監視カメラ設備
貸金庫設備	磁気テープ保管庫設備	原子力関係防護設備

本　社／〒101　東京都千代田区内神田2丁目15番9号　☎（03）3254−3911(代)
大阪支店／〒550　大阪市西区南堀江4丁目1番18号　☎（06）543−1551(代)
支店・営業所／札幌・青森・秋田・盛岡・仙台・宇都宮・新潟・富山・水戸・前橋・松本・岐阜・長野・北陸・名古屋・津・大阪・神戸・和歌山・岡山・福岡・長崎・宮崎・鹿児島



文化シヤッター

新時代の空間演出にパネルック。アルミ枠と透明パネルを組合わせたフロント構成のため、シャッターを閉めた後でも店内ディスプレーが見せられる、いわばショーウィンドーを兼ねた建築素材です。透明だから、空間を広く、明るく、美しく演出し、大切なお客様とのコミュニケーションを活性化します。

●最大間口6m、最大高さ4mに対応するワイドタイプと標準型のライトタイプ。

●気密性が高く、耐火性能についても乙種防火戸性能試験をクリア(6.8㎜厚の網入ガラス使用の場合)。

透明パネルシャッター

パネルック

ワイドタイプ●ライトタイプ

多彩な空間クリエーション

文化シヤッター株式会社　関西事業部／大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル9F ☎06(399)2777

岩盤破砕 パワーアップ!!

超大口径・超大深度アースドリル工法(OMR/B工法)の
連続施工に威力を発揮します。

SOMAS SUPER DRILL工法



S.S.D.工法の主な特徴

1. 18.6tf·mの我が国最大の強力な回転力で、岩盤掘削・地中障害物の撤去が迅速にできる。
2. ケーシングドライバーは、回転トルク166 tf·mと非常に高く、口径2000mmまでの掘削ができ、岩盤や鉄筋の切削が可能である。
3. 伸縮式ケリーバーは剛性の高い丸型で、5段式摩擦ケリーバーのほか、全段ストッパーのかかる4段のロッキングケリーバーの2種を装備している。

新しい場所打ち拡底杭OMR工法

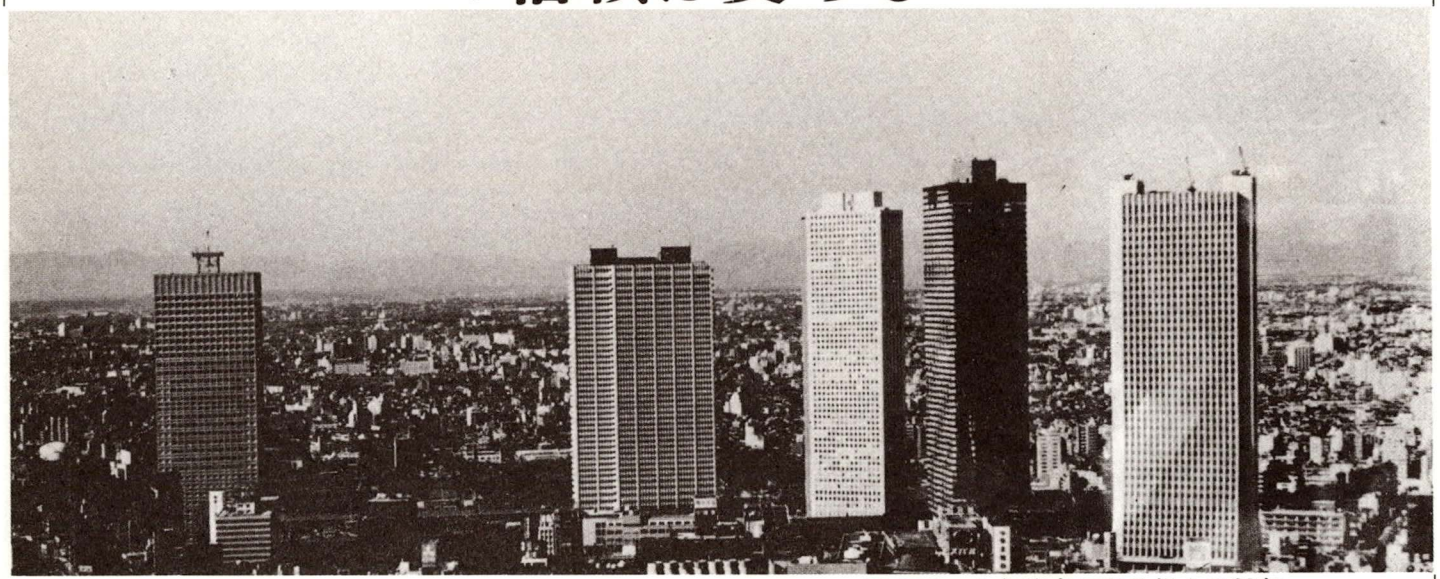
1. OMR/A工法
   (リバース式拡底部掘削)
2. OMR/B工法
   (バケット式拡底部掘削)
3. NKTB·SKTB·KKTB工法
   (リブ付鋼管コンクリート拡底杭)

丸五基礎工業株式会社

本　社　大阪市北区東天満2-6-2(南森町中央ビル) 〒530 ☎(06)358-3601㈹

関西支店　大阪市北区東天満2-6-2(南森町中央ビル) 〒530 ☎(06)358-3601㈹
東京支店　東京都江東区東陽6－3－30 〒135 ☎(03)3649-5131㈹
名古屋支店 ☎(052)524-6181㈹　福岡支店 ☎(092)472-4392㈹
広島支店 ☎(082)246-3211㈹　高松営業所 ☎(0878)81-2257

構造が変っても—
ビニロイド防水
の信頼は変らない



営業品目
- ビニロイド防水工事
- アコシート防水
- ＤＮ防水工事
- 三星プラスタイル貼工事
- 保温・保冷防熱工事
- シポレックス工事
- 三星プラスオール製造・販売
- 三星シーリング材製造・販売

アスファルト防水に取り組んで60年

三星産業株式会社

大阪営業所　〒550　大阪市西区京町堀１－10－18　大栄ビル内
TEL<443>9721
本社・東京<3292>1961㈹　札幌<551>3781㈹　仙台<262>5201㈹
名古屋<931>3390㈹　福岡<781>3361㈹

現代にマッチした宮崎の内装材

■ 内装全般の施工・総合室内設計・施工・監理
■ 木質不燃・準不燃・難燃化粧合板・受注製作

不燃 ミヤライト
建設大臣認定　不燃(個)第11111号

準不燃 ミヤライト
建設大臣認定　準不燃(個)第2710号

難燃 ミヤノン
建設大臣認定　難燃(個)第3257号

難燃 ミヤノン小巾板
建設大臣認定　難燃(個)第3067号

不燃 準不燃 エースウッド

不燃 ミヤメタル
建設大臣認定　不燃(個)第1762号

宮崎木材工業株式会社

取締役社長　宮崎弘夫

本社・太秦工場　〒616 京都市右京区太秦下角田町５
電話(075)861－1585番(代表)　ＦＡＸ(075)882－6926番
東京支店　〒104 東京都中央区新川１－８－４日通ビル
電話(03)3555－2541～3番　ＦＡＸ(03)3555－9637番
営業所　〒460 名古屋市中区大須４丁目12番８号　東洋殖産ビル２階
電話(052)262－4421番　ＦＡＸ(052)242－0243番
〒541 大阪市中央区高麗橋２丁目２－５　小山ビル４階
電話 (06)231－5723～4番　ＦＡＸ (06)231－5720番
〒730 広島市中区十日市町２丁目４番20号　Ｋビル２階
電話(082)232－3344番　ＦＡＸ(082)232－6626番
〒814 福岡市早良区西新１丁目７－25　ホワイティ西新２階
電話(092)831－3310番　ＦＡＸ(092)831－3380番
建材部　〒541 大阪市中央区高麗橋２丁目２－５　小山ビル４階
電話 (06)231－5748番　ＦＡＸ (06)231－5720番
古川工場　〒612 京都市伏見区羽束師古川町300
電話(075)922－9183番　ＦＡＸ(075)932－1456番

yamagiwa



NESTORE

ネストーレ/イタリー

DESIGN:CARLO FORCOLINI

ギリシャ・ホメロス伝説の
"老賢者"を意味する「ネストーレ」。
穏やかに人の話に耳を
傾けるかのような流線形のフォルムは、
大胆に出たバランサーさえもが
アクセントとしての存在を主張しています。
可動性にすぐれたフロア・スタンド。
他にテーブル・スタンドのバージョンもあります。



ヤマギワ照明システム株式会社
〒160 東京都新宿区西新宿4-15-7 後楽園新宿ビル4F
TEL.03-5371-1638

もっと素敵に 創・快・環

YAMATAKE

やっぱり人が快適であるように
人間が主人公



オフィス、ホテル、ショッピングセンター、
ホール、レジャー施設、工場……などあらゆる
建物に、快適で、しかも便利で安全なアメニティ空間
を確立する統合化ビルディング・
オートメーション・システム。
山武ハネウエルは建物の管理・運用・制御を
実績のあるかたちで、
設計、施工、保守、運用、
サービスから更新まで、一貫して
提供しております。

●統合化ビルディング・オートメーション・システム
空調・衛生・電気制御管理システム／防災管理システム
／セキュリティ・システム／熱供給管理システム／広域ビル管理システム
●ビル総合運転管理サービス(BOSS)
●保守サービス

ビル運用管理に統合力と対応力を提供します。

時代は、統合化へ。

山武ハネウエル株式会社

ビルシステム事業部
本　社　〒105 東京都渋谷区渋谷2-12-19 ☎(03)3486-2321・2344
大阪支店　〒530 大阪市北区芝田2-6-23　☎(06)376-0355
山武ハネウエルは、ビルディング・オートメーションおよびファクトリー・オートメーションに欠かすことのできないセンサからコントローラ、バルブまでをトータルでお届けします。

これからのビル・オートメーションは横河ジョンソンの総合力です。

YOKOGAWA JOHNSON



横河ジョンソンコントロールズ株式会社　本社・東京本店／〒102 東京都千代田区九段北3-3-9(新一口坂ビル) 03-3230-7111

■支店／横浜045-212-2776 東関東0472-74-5722 大阪06-385-8631 名古屋052-935-2641 九州092-291-4767 東北022-221-4556 北海道011-271-5911 広島082-249-9401

■営業所／盛岡0196-46-8753 新潟025-243-1248 水戸0292-26-4179 静岡0542-84-2101 北陸0762-65-6595 岡山0862-32-6433 鹿児島0992-54-0649

吉野耐火遮音システム

鋼製下地構造	A21	耐火2時間(W2101)	遮音構造(個54号)
	A	耐火2時間(W2068)	遮音構造(個38号)
	B	耐火1時間(W1045)	遮音構造(個43号)
	B15	耐火1時間(W1059)	遮音構造(個80号)
	SR-50	防火構造(503号)	遮音構造(個105号)
ノンスダッド構造	●A60シリーズ		
	A60	耐火2時間(W2156)	
	A60 -II	耐火2時間(W2183)	
	A60-SR	耐火2時間(W2173)	遮音構造(個115号)
	●パネラシステム		
	耐火パネラA	耐火2時間(W2164)	遮音構造(個106号)
	耐火パネラA-II	耐火2時間(W2211)	遮音構造(個155号)
	遮音パネラ	防火構造(304号)	遮音構造(個66号)
	●NSシリーズ		
	A-NS21	耐火2時間(W2186)	遮音構造(個132号)
	B-NS15	耐火1時間(W1103)	遮音構造(個131号)

耐火構造・遮音構造のご相談は

TIGER BRAND

燃えない建材 吉野石膏

吉野石膏株式会社大阪支店

〒550 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号(肥後橋シミズビル3階) TEL(06)449-1000㈹

本社　東京都千代田区丸ノ内3の3の1(新東京ビル) TEL(03)3216-0951番(大代表)

商業スペースから住空間まで、美しさの創造。

科学や伝統美を積極的に取り入れた壁紙、ファブリック本来の多彩な魅力を表現するカーテン、自然素材をふんだんに生かしたカーペット。リリカラは、それぞれに新しいインテリアの可能性を秘めたラインアップで、商業スペースから住空間まですべての環境に、美しさの創造をめざします。

壁紙・カーテン・カーペット



新・インテリアイズムを創造する

リリカラ

本社
〒160 東京都新宿区西新宿7-5-20
TEL.03(3366)7825
大阪支店
〒550 大阪市西区京町堀2-14-28
TEL.06(444)5250

QUALITY

YKK APグループは、
ものづくりの本質を求めて
高品質の製品づくりを
実践してまいります。

YKK ap

YKKアーキテクチュラルプロダクツ株式会社

本　社／東京都千代田区神田和泉町1 TEL03-3864-2181
大阪支店／大阪市中央区谷町4-8-7　TEL06-945-0568

DAIKO通信開催

最先端のライティングとさまざまなジャンルのアーチストとのジョイントによるイベント—DAIKO通信—が、下記のとおり開かれる。

■DAIKO通信 in 名古屋Part 4

日　時　1991年 3 月12日(火)　18:30～20:00
会　場　今池ガスホール（名古屋市千種区今池１－８－８　TEL052－732－3211）
内　容　「日本の次世代ポストモダン」
　　講師：出江　寛氏（建築家）
定　員　350名（会場定員に達し次第締切）
入場料　無料（ただし入場整理券が必要）
申込先　官製ハガキに所要事項記入の上、DAIKO通信運営事務局（大光電機名古屋支店内、TEL052－821－6276）へ申し込むこと。折り返し入場整理券を発行。

■DAIKO通信 in 福岡Part 5

出江寛氏による同上のテーマで、福岡でも開催。

日　時　1991年 3 月28日(木)　18:30～20:00
会　場　大博多ホール（福岡市博多区博多駅前２－20－１大博多ビル TEL092-471-6831）
定　員　400名（会場先着順）
申込先　DAIKO通信運営事務局（大光電機福岡支店内　TEL092－531－3164）へ。

■DAIKO通信in札幌Part 4

日　時　1991年 4 月 5 日(金)　18:30～20:00
会　場　札幌市教育文化会館小ホール（札幌市中央区北１条西13－７ TEL011-271-5821）
内　容　「NATURE vs FUTURE」
　　講師：鈴木エドワード氏（建築家）
定　員　350名（会場先着順）
申込先　DAIKO通信運営事務局（大光電機札幌支店内　TEL011－561－8067）へ。

1991TAKENAKA DESIGN KYUSHU展—テーマは「豊かな環境と文化の創造」

竹中工務店は、多元化する価値観の中で変貌する建築の様相を、自社の作品と技術の展示を通して広く社会に問いかける。入場は無料。

■展示会

日　時　1991年 3 月28日(木)～ 3 月31日(日)
　　10:00～18:00
会　場　福岡国際ホール（西日本新聞会館16階　福岡市中央区天神１－４－１）
内　容　テーマ「豊かな環境と文化の創造」
　　会場を三つのゾーンに分け、主要作品の写真パネル展示、模型展示、ストラディア（ホールの設計図から実音をシミュレートできるシステム）等の展示をする。

■講演会

日　時　1991年 3 月30日(土)
　　「地球・宇宙・そして人間」
　　13:30～15:00　松井孝典氏（東京大学）
　　「都市・建築・文化」
　　15:15～16:45　槇　文彦氏（建築家）
会　場　福岡国際ホール・大ホール
申込先　ハガキに住所・氏名・年齢・職業・学校名を明記して、竹中工務店九州支店講演会事務局（〒810 福岡市中央区天神４－２－20、TEL092－711－1211）へ。応募多数の場合は抽選とする。

第5回A＋E FORUM開催

FESAE（The Far East Society of Architects & Engineers）関西支部は、下記のように月例のフォーラムを開催する。

日　時　1991年 3 月29日(金)　18:30～21:00
会　場　大阪府立労働センター（大阪市中央区北浜東３－14　TEL06－942－0001）
講演会　「新しい地域間協力－ワシントン村・兵庫村－」
　　講師：ジン・北岡（兵庫県商工部商業貿易課）－講演は英語使用－
交流会　講師を囲む立食パーティー
参加費　会　員：一般4,000円　学生2,000円
　　非会員：一般5,000円　学生3,000円
申　込　ハガキに住所、氏名、職業、連絡先電話番号を記入し、３月27日必着でFESAE関西支部事務局（大阪大学環境工学科内、TEL06－877－5111 担当：川北）まで。

NSGガラスサーカス

1991年は、３年に一度の「ガラス機器工具フェア」の年。第５回の今回は、省力化への手助けとなる機器工具の新製品を一堂に集める。

主催は日本板硝子。日程・会場は下記のとおり。

- 大阪　７月13日・14日　インテックス大阪
- 福岡　７月27日・28日　西日本総合展示場
- 東京　８月３日・４日　幕張メッセ国際展示場

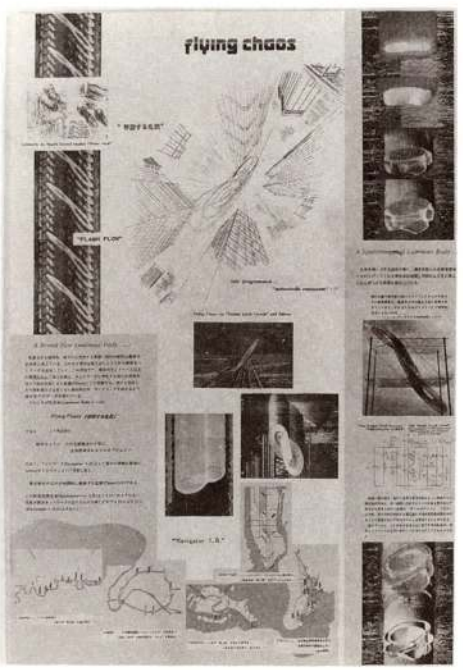
タキロン・デザインコンペ受賞者決まる

「都市の発光体」をテーマにした第２回タキロン・デザインコンペティションの受賞が決定した。

266件の応募作品は、平成２年11月14日の建築家・伊東豊雄氏による審査の結果、１等１点、２等１点、３等５点、入選10点が決まった。これらの入選作品は、平成３年３月４日～15日（AM9:00～PM5:00、入場無料）まで、日本建築学会会館展示コーナー（東京都港区芝５－26－20）で展示される。

１等、２等の入賞者は下記のとおり。

１等　竹下　祥（多摩美術大学大学院）
　　徳永隆治（早稲田大学）
２等　葉釣・杨征・俞文新・謝震緯（中国上海市同済大学）



１等入賞の竹下祥/徳永隆治氏の作品

建築省エネルギー賞作品募集

(財)住宅・建築省エネルギー機構は、建築省エネルギーに関する設計・施工および建築物運用管理技術の進歩・向上を目的として、建設省の後援を得て、第４回建築省エネルギー賞の候補建物を募る。

表　彰　三つの部門ごとに建築物を数点表彰
　　①事務所ビル部門
　　②商業・サービスビル部門（店舗、ホテル、病院、娯楽施設等）
　　③その他部門（共同住宅、工場、文教施設等）
対　象　●国内で竣工した建築物で、その種類、規模は問わない。（戸建住宅を除く）
　　●使用開始後１年以上経過したもの。
　　●昭和61年４月以降に竣工したもの。
応　募　原則として建築主、設計者および施工者の連名とする。詳細問い合わせは、(財)住宅・建築省エネルギー機構（〒107 東京都港区赤坂１－６－19 TEL03－3583－7121）へ。
応募締切　平成３年８月31日(土)必着
表　彰　各部門ごとに最優秀建築物１点に対して建設大臣賞、その他の優良建築物に対して同機構理事長賞が授与される。表彰は平成４年２月の省エネルギー月間とする。
審査員　藤井正一氏(芝浦工業大学名誉教授)-委員長-
　　青柳　幸人氏（住都公団建築部長）
　　明野　徳夫氏（芝浦工業大学教授）
　　石福　　昭氏（早稲田大学教授）
　　今泉　勝吉氏（工学院大学教授）
　　梅野捷一郎氏（建設省建築指導課長）
　　香山　壽夫氏（東京大学教授）
　　小泉　重信氏（建設省建築研究所所長）
　　沼生　哲男氏（建設省高度情報・技術対策官）
　　松尾　　陽氏（東京大学教授）

特集

新しい都市空間づくり

— II —

新しい都市空間づくりへのプロローグ

「21世紀をめざした……」「21世紀にふさわしい……」「21世紀の……」と、これまであらゆる分野でキャッチフレーズとして使用されてきた「21世紀」まで、あとわずかになり、「21世紀」は、そんなに先の夢物語ではなくなってきました。

「都市」のさまざまな実態やそれがこれまでにたどってきた歴史をふりかえれば、何世紀にもさかのぼることもあれば、ここ100年すなわち1世紀ほどの間に大きな変化をとげたものもあります。その「都市」の「空間」がどのように形成され、コントロールされてきたかをふりかえることは、大切なことでしょう。さらに、これからどのようにして、どのような都市空間づくりをめざすのかを考えてゆくと、多くのテーマが浮かび上がってきます。

これらをすべて、一度に取り上げるのは難しいことですが、その一つとして、あらためて都市空間づくりをふりかえりながら、具体的に身近なところで取り組まれようとしているいくつかの試みに注目し、今後の都市空間づくりのヒントになるものを探ってみようとしました。

「新しい都市空間づくり－Ｉ－」（1991年1月号所載）では、その総論、そしていくつかの手法と展開に関する報告によって、今後の都市空間づくりへの手掛かりを得ようとしました。

「新しい都市空間づくり－II－」は、都市開発を実際に担当する何人かの有志が自由に語りあった内容から、これからの都市づくりへ向けた問題提起や課題整理を試みたものです。この座談会はA、B、C、D4人の出席者によってすすめられ、この4人がどこの誰であるかについては全く関係なく、その結果をまとめた形式にしています。時間的な制約や誌面の都合でまだまだ語り尽くせていないというのが、出席者全員の思いでしょう。またこのような場があれば、また違った視点で、議論に参加していただけた方も多くおられることと思います。今後の「新しい都市空間づくり」を求めて、次々に、いろんな立場の方からの報告や提案がまた紹介できればと思っています。　（編集委員／田中直人）

本特集編集幹事
梅村宏尚／河端秀直／小浦久子／鈴木克彦／田中直人／中井省吾／松川敏正／山尾弘子／横関真紀／吉村英祐

特集
●
新しい都市空間づくり－II－

どうなる？これからの都市づくり

初夢朝まで座談会

A　新年早々、初詣、お年始、○○始め…etc.,で皆さまお忙しい中、わざわざお集まりいただきましてありがとうございます。さて、90年代に突入してから、はや一年が過ぎました。この一年間、激動の90年代を象徴するようなexitingな事件がいろいろあったと思います。例えば、ドイツの統一、イラクのクウェート侵攻など歴史を塗り替えるような出来事が世界各地で起こりました。

一方、日本の都市に目を転じますと、地価高騰が切実な社会問題となり、都市づくりという観点から対応が迫られてきているような状況にあるのではないかと思います。そのような中、わが国では、都市計画の新しい手法として遊休土地転換利用促進地区、用途別容積型地区計画、住宅地高度利用地区計画などの新しい制度が創設され、今後、用途地域の考え方についても見直されるのではないかというようなことも言われているようです。また、80年代終わりに出来ました再開発地区計画制度や立体道路制度などが本格的に動き出していますし、まさに、都市づくりにとっても90年代の幕開けを告げるような出来事が起こっているのではないかと思います。

そこで、皆さんにお集まりいただき、これまでを振り返りながら、これからの都市づくりはどうなっていくのか、またどうあるべきなのかを、おとそ気分に任せて自由気ままに語っていただきたいと考えています。おせちもお酒もふんだんに用意しておりますので、時間の許す限り忌憚のない議論をしていただければと思います。

それでは、まず、これまでの都市づくり、特に最近の再開発の動きについてどのように感じておられるでしょうか。

再開発で何をつくる

B　再開発といってもいろいろあると思いますが、市街地再開発事業と言われるものの状況については、再開発をして良くなったということばかりではないと思うんです。むしろおもしろくなくなったこともあるんじゃないかと。もちろん、これまでの再開発を十分評価したうえで、あえて素人的ユーザー的に言えばですが…。

C　再開発というのは、街のストックとフローのバランスみたいなところで評価が分かれるんじゃないでしょうか。駅前再開発で、いつも行ってた縄のれんの飲み屋がなくなったとか、ごちゃごちゃした路地が再開発ビルになっておもしろくないとか、よく言われますが、このような再開発事業を行うときに、街をつくり育てる目から見たストックとしてものをつくっていくという意識がないから、失ったものへのノスタルジィが大きいんじゃないでしょうか。

ヨーロッパの街並みは石造りの建物で何百年も経っています。これが生活しやすいかというと、例えばフィレンツェで空調が完備されているのは４つ星以上のホテルぐらいで、電線は建物の壁につたわせています。それでも、石造りの街並みのストックとして風土にあった建物として生きているから、その中で生活をつくっています。日本の都市は、そんな風にはつくってこなかったと思います。

B　だから、日本には日本の風土を生かした再開発があって良いということですか。路地空間が大切であれば、現在の再開発の中で、それを都市空間の要素として新しいストックの中に再生していくことも考えられますね。

C　50年経ったら建て替えるものとして開発していくのか、街のストックとして、この広場は残すとか、この施設は残していくことを考えて再開発に組み込んでいくのか、によって長い目で見た



フィレンツェ

ときの評価が出てくると思うのですが。

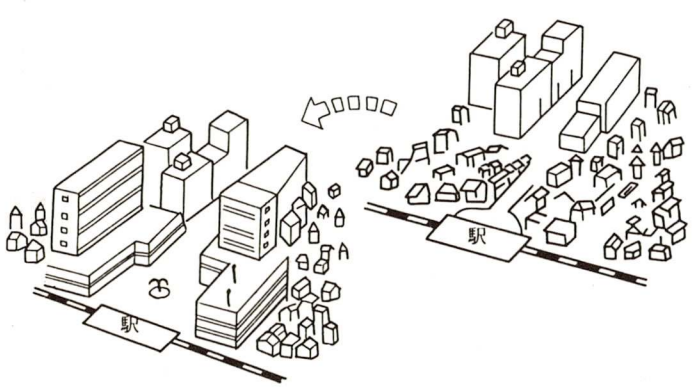
A　これまでは、駅前再開発と言われるように、市街地再開発事業は駅周辺の開発がほとんどですね。都心は、道づくりを軸に民間の建設活動で出来てきました。また土地区画整理事業やニュータウン開発でも、基盤整備により街をつくってきたように思いますが、今、社会・経済構造の変化の中で、都市空間と都市機能の両面から再開発が必要になっていると思いますね。

D　これまでを振り返るとして、例えば、市街地再開発事業のような小規模権利者をまとめあげるものと、再開発地区計画のような大規模権利者によるものに分けて考えてみることができます。

前者の場合、権利者としての商業者・住民の意向、事業採算性、そこから出てくる容積upの問題、つくりあげる行政の能力、制度上の制約等々から出来上がるものは、キーテナントを核とした商業施設と住宅が高密度に集積した複合開発という具合に、どこにでもあるような画一的なものになりやすい。

後者の場合、まず、開発者の側で開発に見合うインフラ整備をすることが当然必要となりますが、そのときに例えば、インフラ整備だけでなく文化施設等の建設等に対して何らかのボーナスがあって、事業者も街づくりとして開発を考えようという状況をつくっていくことが大切でしょう。ただ、今は、企業の論理や経済の論理というのが計画をおもしろくなくさせているのではないでしょうか。

都市の大規模な遊休地は、ニュータウンのように大規模な展開が可能なだけに一歩まちがえれば大きな失敗を犯す可能性もあるし、放っておくと採算性の高い施設ばかりになってしまう。経済性だけでなく総合的開発を念頭に置いて、どうすれば街にとって必要な機能を開発に取りこんでいけるかを仕組んでいくことが、鍵となると思いますね。



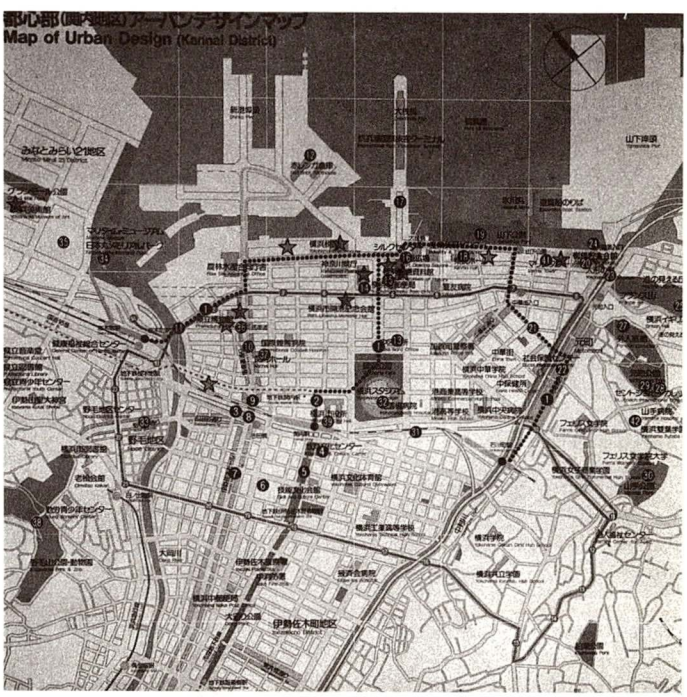
ビジョンを持つ

B　今の行政に、街に対するビジョンがあるのでしょうか。企業もソフト化の時代に入って企業イメージを重視し、オーナーの思い入れ、大企業の論理の中に企業のイメージづくりがあって、文化事業への関心とか冠コンサート・イベントの投資効果は認識していると思います。それをうまく街づくりに生かすには、トータルコーディネーターとしての行政の街に対するビジョンの提示が必要じゃないですか。どのような街にしたいのか、街にとって何が必要なのか、行政はどのような道路や基盤施設をつくり、どのように機能配置を考え、このような街のシステムをつくっていくからそれに合うように考えて下さいとか。

例えば横浜はある時期、街づくりに対するビジョンを持ったことが、今につながっているように思います。同じような試みは、ようやくいくつかの都市で始まりつつありますが、全くそのような考え方のないところもあるようです。

D　そうだと思いますが、実際問題として行政が打ち出したビジョンの実現を誘導できる範囲には限界があると思いますね。

それは、行政の財政上、機能上の問題にかかわってくると思うん



横浜、関内地区での都市デザインへの取り組み

ですが、特に機能上の問題として、同じ行政の名の下に規制・緩和、許認可、事業実施といろいろな立場が縦割りという組織の中にちりばめられているようなところから出てくる普通の答えは、作られた基準による機械的な指導であり、判断範囲も狭いものにならざるを得ない。「あそこでやっているのに、なんでここではあかんねん」ということを理屈だけで理解できる人達ばかりであれば、またちがってくるかもしれないと思いますが…。言い方を換えれば、個人のレベルと言いますか、担当セクションでの個々の頑張りに左右されることが多くなり、おのずと限界があると思うのです。

C　「あそこでやっているのに、なんでここではあかんねん」ということに応えるためには、行政マンが共通の街のビジョンをしっかり持つことが必要だと思います。街に住む人、使っている人、企業等の交渉相手に、わかりやすく説得力のあるビジョンを物語れないから、理屈がたたなくなるのです。

それに、「誘導」が難しいというのは制度を行政上の手続きとしか見ていないからだと思います。あくまでも制度は手法であって、手法は何をつくりたいのかという目的がなければ意味がないのではないかと思います。制度があるから、都心のビル建設に合わせて住宅をつくることを強要するというのはおかしい。例えば、街づくりの方針として都心に居住機能を取り戻すということがあって、はじめて、その街づくりの計画に沿った制度を活用することになると思います。その方が制度適用について説得力を持つのではないでしょうか。

企業には企業の立場があるし、住む人には住む人の立場があります。企業としての事業採算ベース、住む人の住宅コストとしての許容範囲等、本当に都心居住を「誘導」しようとするなら、住宅供給と容積緩和、税制上のインセンティブ、家賃補助や社宅利用の促進等、トータルに手法としての制度の組み合わせを考える必要があると思います。そのためには、おのおのの立場を通訳するようなコーディネーターが必要なのかもしれませんね。

D　「都心居住」の話が出ましたが、地価高騰は都市部での人口減少を招く反面、都市機能更新の活性化というかバイタリティを生み出しているという具合に、お互い反比例するような要素を持っていると思うんです。そうすると、都心部の土地はみんな業務商業地化してしまい、都心部の人口はどんどん減少していき、たとえ新たに住む人がいても仮住まい的意識しか持っておらずコミュニティが育たない、ということですね。コミュニティが育たない、住民が地域に関心がないというのは、都心部に限ったことでなくて、周辺部でも見られる現象だと思います。

B　確かに、都心部の土地は機能更新が進んで商業・業務地化しています。それどころか、行政自体が、学校を集約して廃校によって生まれた「遊休地」に「公有地信託」により業務商業施設をつくっていっている。これなんか私は、すごい矛盾を感じます。



C　そうですね。都心居住と言いながら、住むための条件をなくしていっているようなものです。有効利用の名目で公共用地で安易に儲けることばかりを考えるのはおかしいと思いませんか。民間に対して住宅整備やインフラ整備への協力を求めるならば、公共用地の有効利用の中で、例えば、居住機能整備のあり方も示すとか、広場や文化施設をつくっていくときの用地等として考えるとか、もう少し公共として使い方を考える必要があると思います。

D　開発を誘導するという意味での制度が続々と出てきているけど、僕の印象としては、規制緩和・容積ボーナスの話が大半を占めているんじゃないかと思いますね。これには「ちょっと待てよ」という感じなんですよ。というのは、ここでは、ベースの容積率はどう考えられているのか、インフラとの整合性はどうとっていくのか、開発されつくしてボーナスを与え切ったら次はどうするのか、みたいなことを考えておく必要であるんじゃないかと思うんだけどね。

地域にあった制度運用

A　制度の話が出たところで、これまでの都市づくりの制度について、皆さんは何かお考えでしょうか。

B　まず思うことは、どんな制度がどれだけあって、どういうときにどの制度を使うことが最も適切なのかということです。いろんな制度があることは、それが多様なニーズに応えるために役立つなら必要だと思うけれど、省庁間の変な競争のために、いたずらに数が増えていくこともあるのではないですか。

それに、制度はだいたい全国一律の基準になっているでしょう。でも「市」と名乗っているところでも人口３、４万人から100万人以上の大都市まで様々です。自治体レベルでの運用が考えられるような制度の考え方があってもいいのではないでしょうか。

D　一定の基準で運用されるからだけど、どこにでもあるようなものしか出来ない場合が、たまにありますよ。

B　でも、どこにでもあるようなものしかできないのは、制度のためだけじゃないと思いますよ。例えば、視察団は時として全国各地のプロジェクトのコピーを生み出す集団となるし。

C　自治体の中には、○○都市と同じものにしてほしいという話もありますよ。コンサルタントも、それに乗じているところもありますけど。

まちづくりのルール

A　ここらあたりで都市のあり方みたいなものを踏まえたうえで、思い切った法体系の整理が必要だということになるんでしょうか。冒頭にも言いましたように、都市づくりということでは、今そういう転換期を迎えているんだと思うんですが。

B　これまでの街のつくりかたとしては、根本には法体系があって、道路と敷地というか、敷地境界線の枠の中で単体主義的に

規定されていたと思うんだね。しかし法体系の問題もあるけれど、都市計画に対する取り組みを見直すことも大事なんじゃないかな。

C　これは都市計画の企画・立案に従事しているわたしたちを含めて言えることだけど、やっぱり専門分野が土木・建築の人ばかりにかたよっているでしょう。これでは、考え方もワンパターンに陥りやすい。空間的にも機能的にも、もっと違う分野の人が集まっていろいろな視点から都市づくりを考えていくほうがいいと思うんです。

都市計画というのは、先に出ていたビジョンを、図面上に見える形にしていくものではないでしょうか。その中で一つの地区について見ると、建築活動についても敷地の連担性みたいなことで、一つの都市空間としてもっとコーディネートしていく視点がいるんじゃないでしょうか。

D　制度の使い勝手の悪さは、作った後にそこへ行き実際に経験すればよくわかると思うけどね。そうすれば、次の制度を作るときにも生かされるんじゃないかな。

B　制度はある程度、こういうことがしたい、この問題を解決したいということに対して出来ているとは思いますよ。例えば立体道路制度であれば、用地買収が困難な中で、首都高速を早くつくりたいとか、道路公団が建物もつくりたいとかいった…。

これまで、道路内の建築は制限されていたから、道路として使う空間を限定して、その他を都市空間として立体的に活用しようという考え方は画期的だと思います。大阪で使うとなれば、東京とはちがうニーズもあるし、道路空間は永遠のものだけど建物空間は今のところ建て替えが想定されるから、存続期間の考え方が全くちがうし、再開発地区計画や地区計画の中で位置づける必要があるから、都心のようにある程度街の形が出来ているところでは使いにくい仕組みになっているし、これからの具体的なケースの中で考えていくことは多いと思います。



自動車専用道路と建築物との一体的整備、西ベルリン・シュランゲンバーダー住宅

C　道路区域を限定するという考え方は評価できますよ。歩行者空間にも適用できれば、三次元の都市計画も出来るかもしれない。ターミナル地区では、現地盤を車の空間、2階レベルを歩行者空間としてネットワークを都市計画すれば、人工地盤みたいな固い構造物に頼らなくても立体的な街が出来るかもしれないですね。でも、今の土地事情から考えると、自分の土地の自由な利用が制約されるからといって難しいでしょう。

D　それと、最初に誰がどれだけ街に関心を持って、そういうものを必要と認めて、何を考えて、どんなイメージを描き、誰がコーディネートしていくのかということも大事なことですね。

B　例えば、今、梅田の北の茶屋町付近では大規模な民間開発が集中していて、とてもおもしろくなりそうです。でも建築確認



大阪、梅田北周辺

とか開発許可という制度上の手続きは、一つ一つの建築活動を見ているだけのように思います。長期的に見て梅田ターミナル地区をどうするとか、大阪駅北側の貨物駅の開発と道路ネットワークと周辺地区をどう整合させるとか、おもしろいものが出来れば当然人が集まるけれど、歩行者空間をどう考えるといった点への配慮が見られないようです。都市計画としての道路整備や公開空地の連続性への配慮が必要なのではないでしょうか。

コーディネートするという話がありましたが、共通の「都市計画」をもって行政と民間の調整をするということだと思うんです。公共として地域整備上何がメリットかという意識がなければ調整もないですけど…。

D　企業と街の関わり合いみたいなもののルールがないのかもしれないですね。それに、今の地価水準だと利益率の高い床と低い床をうまく組み合わせないと事業も成立しないから、公共的空間の確保は難しい。大規模開発では必要性はある程度理解できても、例えば道路に土地をとられることには、メリットがなければ開発に伴い道路整備をしなさいと言われても応じにくいのが当然でしょう。

個人も働く場所と家のある場所がちがっていて、街との関わり合いのルールがうまく見出せない。だから、今の生活パターンからは自分の街を自分でどうしようとは思えないんじゃないのですか。

C　大都市の都心は業務・商業と職住近接を必要として高い住宅コストを負担できる人が住む高密度社会でもいい、一種のジェントリフィケーションもあると思います。そのまわりは、もう少し子供も老人もといろいろな年代層、社会層の人が住む職住地区があって、飲み屋も、公園も、学校も、仕事場もある。一つの地区のまとまりの意識みたいなものが必要であると思うし、コミュニティという場合には、それに参加する人々が共通に思う一定の街のイメージがないと成立しないと思います。自分の参加している街として意



識できれば、街を良くしようという発想も出てくるのではないでしょうか。

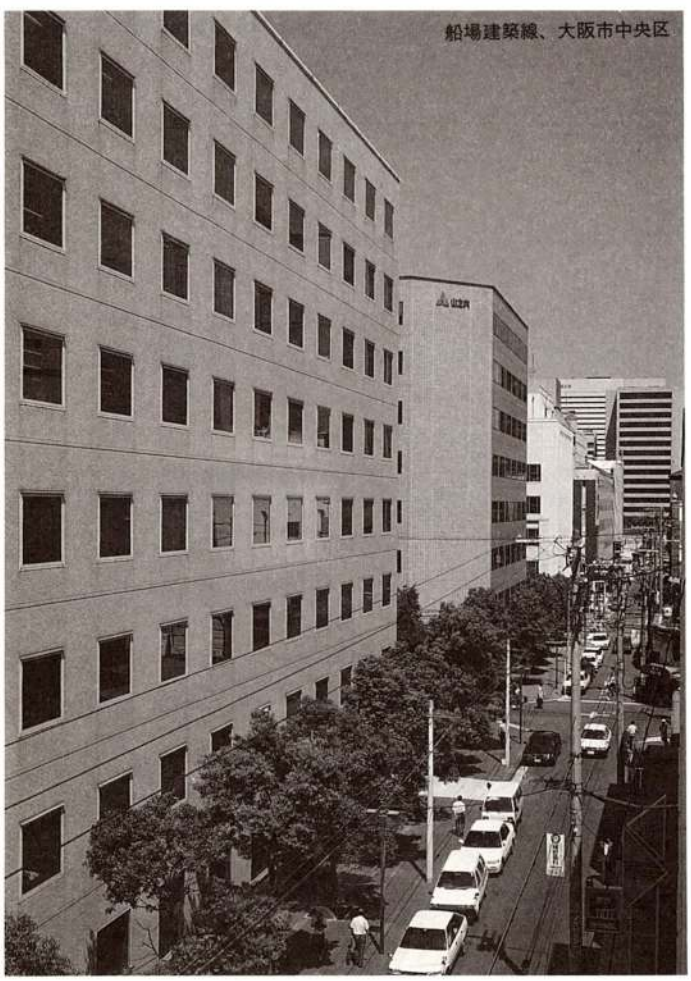
アーバンデザインコントロール

D　都心には業務・商業機能とアミューズメントだけあればそれでいいかというと、そういうわけにはいかないと思うし、何かプラスαをもって都市計画を進めていかなければだめだと思うんです。アメニティとか、アーバンデザインというのもその一つでしょう。ただ、今の都心の現状から見て、より良い街をつくっていこうという動きは、行政やコンサルタントだけが頑張ってもなかなか出てこないと思うんですよ。

B　多分、アーバンデザインみたいなものを持ち込めるのは、魅力ある街にビルがかっこよくあるということがそこに住む人や企業のステイタスにつながるというコンセンサスがどこかで得られて、大都会の風格とでもいうか、世界を相手にするためには世界の都心でありたいという意識があってはじめて出てくると思うね。

経済優先のベクトルが、ただ床面積を増やせば良いという方向だけでなくなってくれば、そういう機会をとらえて、具体的にどういう誘導をして、街づくりのビジョンを実現していくかを考えなければだめだと思う。

D　大阪の御堂筋界隈で建築後退線をやっている例があるんですが、これは行政主導で戦前に始められたんですよ。最近では、いくつかのビルが連坦して壁面後退や統一感ある街路空間整備を実践している所もあります。



船場建築線、大阪市中央区

小さなビルの機能更新に合わせて空間を開けていくように誘導できれば、スクラップ・アンド・ビルドによらなくても、街路空間をつくっていくことはできると思いますよ。

B　何か強い力があるとか、それに対する見返りが大きいとか、同じ人がプランニングするとかならできるかもしれないよ。

C　拠点開発とか、埋立地とか、大規模な遊休地の開発とか、まとまりのある一定の区域であれば、デザインコードを作るとか、マスタープランを作るとかいう発想があるけれど、既存の街についても長期的・総合的な視点を持った誘導手法が必要でしょうね。四ツ橋筋では今どんどん新しいビルが建ってきているけれど、もう少し早く意識して街づくりを考えていれば、たとえば、公開空地をとるにしても、歩行者空間をもっと豊かにする可能性があったように思いますが。

B　アーバンデザインコントロールということでは、そのあたりも含めて、かなり以前から幹線道路沿いで実施されているみたいだけれど、もう少し突っ込んだ議論があってもいいんじゃないかな。

ウォーターフロントを生かす

A　先ほど、大規模開発の話が出たので、少し話題を変えて、ここ最近よく耳にする「ウォーターフロント」についてお考えになっていることをお伺いしたいのですが。

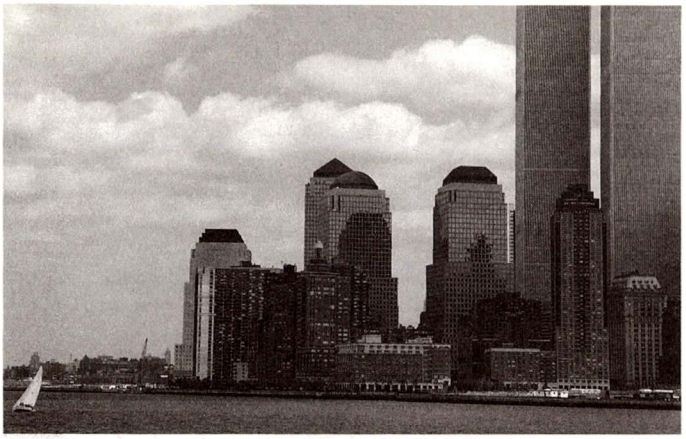
B　最近ウォーターフロントでいくつか話題になっている開発がありますね。拠点づくりということで、かなりインパクトがあ



▲サンフランシスコ、ベイブリッジ

▼中之島大川沿い、大阪市中央区





ニューヨーク、バッテリーパーク

り、それ自身は十分機能しそうなものもあると思うんだけど、その拠点と内陸部のつながりがうまくいってないと思うんだね。

例えば、アクセスとして交通機関は整備されていても、街として目に見えたストーリー性のあるつながりに欠けている場合が多いんです。もちろん、法規制とか土地利用とか都市基盤とかのいろいろな問題があるので、一筋縄ではいかないと思いますけど、これからウォーターフロントを考えていくときに重要なことだと思いますから、何か都市計画的な考え方なり技術を整理しておくことが必要だろうね。

D　ウォーターフロントは欧米での事例が多いけれど、その多くは都心から歩いて行けたり、全くのリゾート開発だったりするんですよ。例えば、大阪だと日常的な都市空間とウォーターフロント拠点の距離が離れており、その間に工場があったりして、連続性がないんですよ。

日常的な都市空間からは海も見えず、海に近づいても唐突にその拠点が出現し、間の抜けた感じがすることもあるでしょう。だから、ウォーターフロントではその周辺を含めて土地利用も考える必要があると思います。実際には時間がかかるでしょうから、意識的な連続性だけでも、つくりださないとダメですよね。

A　どういう仕掛けが考えられますか。

D　安直かも知れませんが、タワーや橋なんかは、利用者にとってだけでなく、まわりから見てそれ自体にも演出効果はあると思いますね。

B　あれは演出効果とともに、そこから街が見えることの効果が大きいと思うよ。橋にわざわざ、展望台をつくっている例もありますし、例えば、横浜のベイブリッジにしても、海から街を見る、いつもとちがう風景が見えることがおもしろい。見られる街は美しくありたいと思うでしょ。

C　水のあるところは空まで何もないから見通しがきくので、街がよく見えるのです。しかし、大阪の川辺の建物は都心ではみんな水に背を向けていますよ。河口では水運のための利用が多くなっていますから、すぐそこにある水が全く見えない存在になっています。ウォーターフロント開発というのは、水空間を環境としてどう使っていくかということではないでしょうか。

B　川は、つながっている水空間として見ることもひとつあるよね。

C　水があるから個性的なわけではなくて、ウォーターフロント開発と呼ばれているものは、水空間をうまく利用して計画するということだと思うんです。歴史の流れの中で水運が衰退し、たまたまウォーターフロントが都市の中で機能更新が必要となってきたわけです。ニューヨークにしても、ボストンにしても、ドックランドにしても、おのおのは住宅開発であったり、商業開発であったりしますが、いずれも都心機能整備の一環だと思います。

ウォーターフロントだから何かが出来るのではないと思います。水空間が環境要素に使えるから都心とはちがうアメニティがつくれる、ということが個性的なまちづくりと言われるところではないでしょうか。

B　たとえば水がきれいで、そこには生き物がいて、それに接することができれば、都市的な開発をしなくても、それだけでも魅力的なものが出来ると思うけど。

C　そういう意味からだと、生態学のような分野から都市づくりを考える人がいても良いのでしょうね。空港なんかをつくるために海を埋め立てるときにも、生態面や環境面の配慮も要りますしね。

街のアイデンティティ

A　ウォーターフロントはこれくらいにしまして、次に、景観とか、街のアイデンティティに関わる点については、どうでしょうか。

D　都市の美しさというか個性という点で、都市が一つの形として見えてこない、絵にならない、アイデンティティがない、どこも同じだと、日本の都市についてはよく言われますね。ヨーロッパやアメリカの街は街全体として何かを感じさせると僕は思うんですけど、それは、石造りや超高層の建物に何かエネルギッシュなものが感じられるんですね。つまり、精神性みたいなものを感じさせ



▲フィレンツェ

▼ニューヨーク、マンハッタン







パリ、デファンス

る街というのはアイデンティティがあるんじゃないかと思うんです。そして、それが美しさに通ずる場合が多いんじゃないのかな。

今の日本は豊かな時代なんだから、この時期をつかまえて良質なストックをつくるチャンスだと思うんですね。そのとき、どういうアイデンティティをつくっていくのかが重要でしょうけど。

D　一人格だけじゃ無理な話で、行政、事業者、設計者がある一定の方向性を持つ必要があると思うね。

C　街づくりとか、街のアイデンティティというのは、とても長い期間の中で醸成されてくるものだと思います。京都の街並みも何百年の歴史があるし、ヨーロッパの街もルネサンスやバロックの時代から見ても300年以上の時の積み重ねがあり、ニューヨークのスカイスクレーパーでも半世紀は経ているでしょう。

そういう意味では、パリの新都市デファンスは、計画からすでに30年以上を経て、ようやく姿が見えてきたと思います。特に中心部の人工地盤によって構成された地区は、アルシュの完成によってハード的にもソフト的にもアイデンティティを持ったと思います。6、7年前に訪れたときにはこの地区は死んでいました。当時の雑誌の評価の中でも失敗だと言うものもありました。でも、今は人を集める場所になっています。あれほどヒューマンスケールを越えた人工地盤の空間が、今は身近なものになっています。時代とともに計画は変わっても、新都心をつくる、人の住める街をつくるという基本的に変わらない意志でつくりつづけた結果として、やっと街が見えてきたといった感じです。

最初の話に戻りますが、アイデンティティは、ソフトもハードも合わせて街のストックをつくっていく行為の積み重ねによってはじめて形成されるのだと思うんです。

美しさを感じることが景観づくり

B　先ほど景観という話があったけど、前に言ったように企業も魅力ある都市で活動したいと思っているし、人々も魅力ある街で生活したいと思うようになってきている。景観や街のイメージについて投資していける環境にはなってきていると思うね。

ひとつひとつの街のストックをつくり出すときに、景観や街のイメージ形成に対してどの程度配慮、意識して計画するかが問題だと思います。そういうことに意識の高い人がつくっていかなきゃだめなんでしょうけど、最近よく思うのは、ひとりよがりな計画によって、結局ゴチャゴチャになってしまったり、素人趣味的な発想が街のイメージをかえって悪くしてしまう場合があると思います。

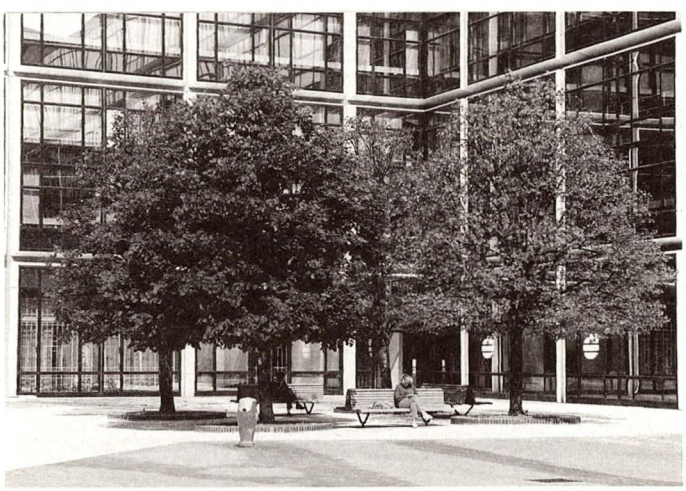
C　建物単体としての多様性と、街全体としての協調性のバランスが必要ですよね。

B　使い手だけでなく、街づくりを誘導する立場の人も、高い見識と柔軟性を持って対応することが必要だと思う。

D　だから利用する側も含めて一人一人の意識を高めることが大切であり、景観だけでなく広く街づくり、都市計画ということについて、一般の人が議論できる場を多くつくっていくことが必要であり、マスメディアでももっと取り上げて欲しいですね。

C　何よりも、街づくりにたずさわっている者が、意識を高く持って美しいものをつくるように努力することでしょう。

歴史を物語るものでも、守るべきものは守り、変えていくものは変える。その中で街の美しさの物差しみたいなものを示していくことが大切だと思います。一流のもの、美しいものは感じることができるものです。文化も評価を受けることによって育つのですから、本物を体験して感性を高めていくことで、街づくりや景観を評価できる人づくりをすすめていくことが大切なように思います。



パリ、デファンス

A　いよいよひとづくりの分野まで話が発展してきたようですね。私もこれからの都市づくりに「いつでも夢を」抱き続けていたいものだと思います。

そろそろ夜も明けてきたようですので、本日の新春企画「初夢朝まで座談会」はこの辺でお開きにさせていただきたいと思います。どうも長時間にわたりましてありがとうございました。

日　時　1991年元日
場　所　夢の新年会場
出席者　編集委員――梅村宏尚・河端秀直・小浦久子・田中直人・中井省吾――

構造の頁

189
弁天町プロジェクト ORC200の構造設計

辻　英一／浮田高志

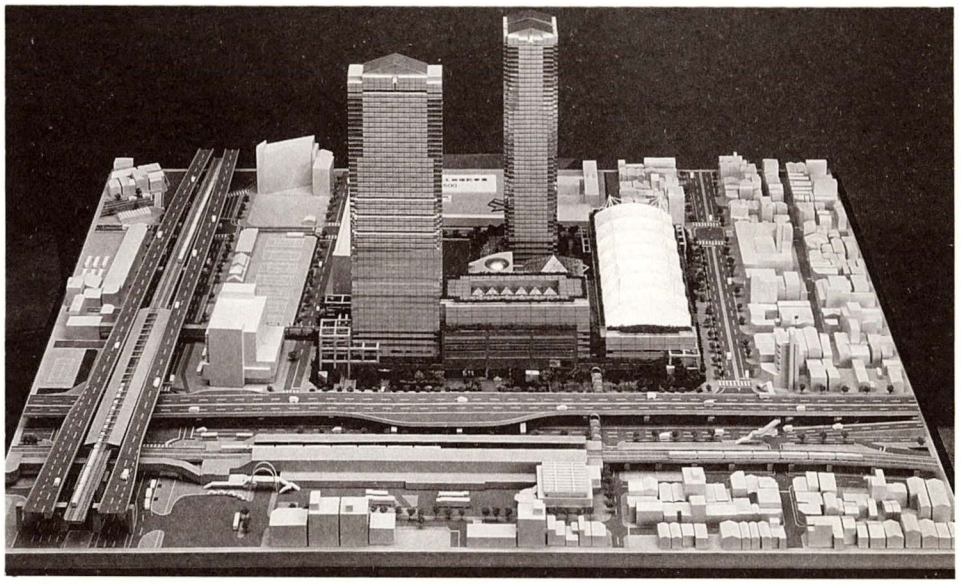


写真１　プロジェクト模型写真

本プロジェクトは大阪市・弁天町副都心整備として、事業コンペによって具体的な内容が決定された、公有地信託事業の第一号プロジェクトである。**（写真１）**

図１に示すように、本プロジェクトの施設群は、①Ａ－２ブロック（ホテル・事務所など）、②Ｂブロック（マンション・事務所など分譲型）、③中・低層部（アミューズメント施設・健康増進施設など）からなる５ブロックで構成されている。

Ａ－２ブロックとＢブロックはともに50階建てで、この地域のランドマークとなることが期待される。ここでは、Ａ－２ブロックの構造設計を紹介する。

Ａ－２ブロックの構造概要

図２に架構伏図、**図３**に架構軸組図を示す。

Ａ－２ブロックは、地下３階、地上50階、塔屋３階、軒高188.25ｍ、最高部高さ200.05ｍである。ある期間、関西でもっとも高い超高層建物となる。

Ａ－２ブロックの主体構造は、基礎が鉄筋コンクリート構造、地下部が鉄筋コンクリート造耐震壁を含む鉄骨鉄筋コンクリート造、地上部が鉄骨造である。

建物の地上部は３層構造よりなっている。下層部（22階床以下）は31ｍ×49.5ｍ、上層部（34階床以上）は15ｍ×49.5ｍの長方形平面で、22階床から34階床までの中層部が建物幅を31ｍから15ｍにしぼる遷移部分である。

地上部の構造形式はツインコア形式である。建物の両端部にコア部をとり、両コア部を中間（21）階のベルトトラス梁と最上階のハットトラス梁で緊結することによってスーパーストラクチュアーを構成した。

Ｘ方向の主要耐力架構は、外周部に3.3ｍピッチに配置した柱列（ベアリングウォール）架構とし、Ｙ方向はコア部側面にブレース架構を、上層部では中間にプレコン耐震壁を、また、中層部では斜め柱を配置して、耐力と剛性を確保した。地下部は鉄筋コンクリート造耐震壁をコア部と外周部の直下に配置して、地上部との一体化を計っている。

斜め柱は、作用する外力の大部分を柱の軸方向力として負担し、かつ層の水平剛性の値が正となるように、傾きを調整した。すなわち、設計用の地震荷重と風荷重のいずれに対しても、それぞれの外力の作用位置が斜め柱の延長線の交点よりや

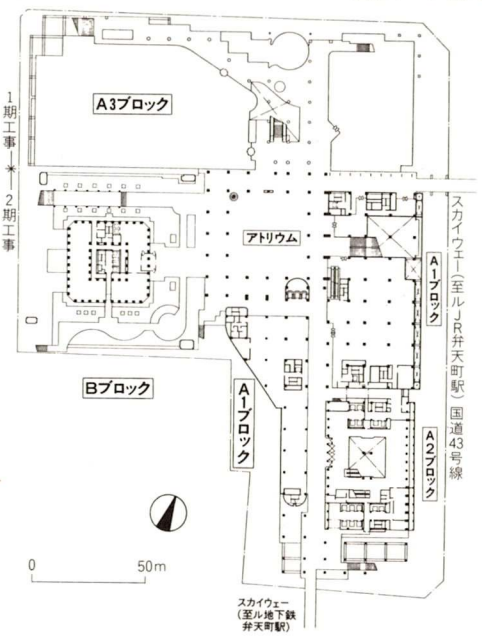


図１　配置図

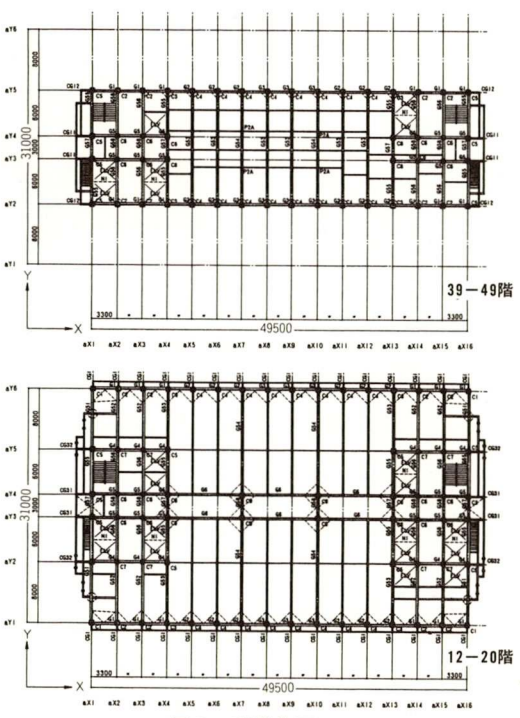


図２　架構伏図

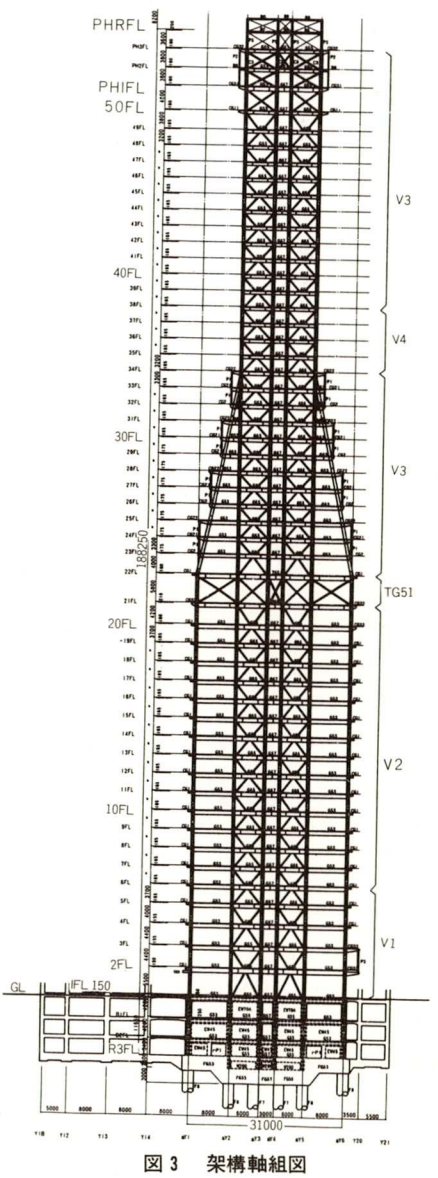


図３　架構軸組図

や下になるようにしている。

柱鉄骨は溶接箱形断面材（ＳＭ53Ｂ、ＳＭ50ＢおよびＳＭ50Ａ）、梁鉄骨は溶接Ｈ型断面材（ＳＭ50Ａ）、ブレースの鉄骨は圧延Ｈ型断面（ＳＭ50ＡおよびSS41）である。板厚の最大は70㎜で、50㎜以上の柱厚板にはTMCP鋼（約550ｔ）を使用した。

Ａ－２ブロックの構造設計

ＯＲＣ200の構造設計の最重要課題は、風に対する応答を構造耐力上の安全性と居住性の両面でいかに克服するかにあった。

(1)風洞実験

本プロジェクトの実施に先立ち、①周辺気流実験、②バルコニー部気流実験、③風圧実験について風洞実験を実施した。実験に、主として使用した模型は縮尺1/400で、計画建物を中心として直径800ｍの範囲を模型化している。**（写真２）**

(2)耐風設計

設計用風荷重は、①建築基準法施行令による値と、②風洞実験による値のうち、大きい方（①）を採用した。

共振風速Vcrは転倒モーメントスペクトル**(図4)**をもとに算定した。転倒モーメントスペクトルは風洞実験で建物に作用する変動風圧力を積分して求めた変動転倒モーメントから算定した。

Ｘ・Ｙ方向のVcrはそれぞれ75.4ｍ/ｓ、134.8ｍ/ｓと求められる。一方、再現期間を100年とした場合の軒高における風速はV_{100}=53.7ｍ/sであり、Vcrと比較して共振を起こすことはないと考えた。また、別途空力負減衰に対する検討を行い、ギャロッピングが生じないことを確認している。

(3)疲労に対する考察

建物のライフサイクル（100年を想定）期間内の台風による建物の疲労損傷の評価を行い、問題のないことを確認した。

①台風のモデル化　**表１、表２**に示す台風が２年に１回大阪を直撃するものと仮定する。

②疲労損傷　疲労損傷の評価については日本鋼構造協会の「疲労設計指針（案）」を参考にした。

等価繰返し回数Nは次式で定義される。

$$N=\sum_{i=1}^{m}\left(\frac{Si}{S_a}\right)^{5.56}\cdot Ni \quad \text{——⑧}$$

ここに　S_a：設計断面力変動範囲
Si：断面力変動範囲
Ni：繰返し回数

③考察　疲労損傷を引き起こす強風として台風を対象とした場合、最大変動応力に換算した等価繰返し回数は100年で5.7×10^3（回）と推定でき、1×10^4回以下の繰返し回数となる。

また、耐用期間（100年）中にギャロッピングなどの共振現象が生じないことを考えあわせると、この程度の繰返し回数では部材の疲労に対して亀裂などの問題が発生する可能性は考えられないと判断した。

(4)居住性の検討

台風や季節風に対する建物の加速度応答評価は転倒モーメントスペクトルをもとに求めた。建物頂部の応答加速度σ_Aの算定結果を**図５**に示す。加速度応答の結果は、設計クライテリアの上限に近い値であるが、建物の剛性確保に限界があるので、制振装置により居住性の改善を図ることとした。

現在、セミ・アクティブ型制振装置の設計を進めており、揺れの低減効果など詳細は別の機会に報告したい。

また、設計チーム全員が振動台で実際にシミュレートした揺れを体感し、その結果を制振装置の設計にフィードバックさせているほか、竣工後、地震・風観測を実施する予定であることを付記しておく。

謝辞

最後に、当プロジェクトの機会を与えて下さいました事業主はじめ、社内外の多くの関係者の皆様に謝意を表します。

（つじ ひでいち　株式会社安井建築設計事務所構造部部長
うきた たかし　同　構造部主任）

表１　台風の襲来回数と軒高風速

台風規模	再現期間（年）	超過確率（%）	襲来回数（回）	中心示度（mb）	軒高風速（m/s）
A	100	1	1	920	53.7
B	50	2	1	930	50.2
C	20	5	3	945	45.5
D	10	10	5	955	41.9
E	5	20	10	965	38.2
F	2	50	30	980	32.5

表２　風速別継続時間・繰返し回数

軒高風速 U_H（m/s）	ガスト影響係数G	応力比 S_1/S_a	継続時間（hour）	繰返し回数（回）
20.0	1.3	0.10	604.0	494.182
30.0	1.5	0.26	246.5	201.682
35.0	1.6	0.38	91.5	74.864
40.0	1.6	0.49	35.0	28.637
45.0	1.7	0.66	16.5	13.500
50.0	1.8	0.87	4.5	3.682
53.7	1.8	1.00	2.0	1.637

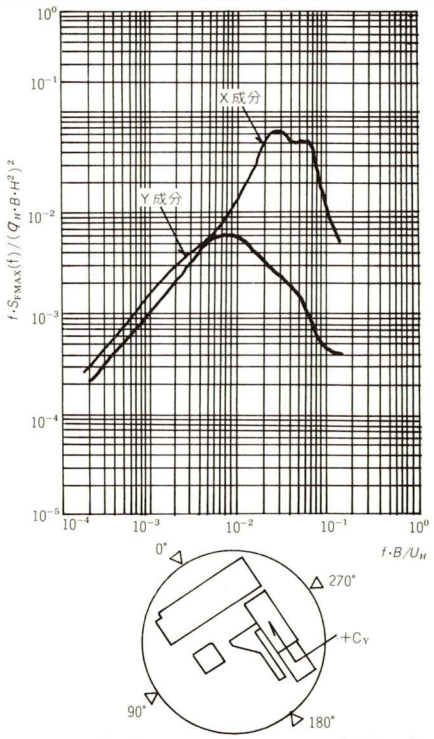


図４　転倒モーメントスペクトル（風向0°）

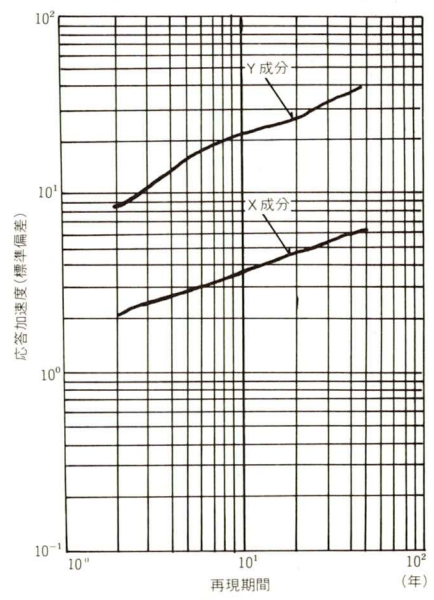


図５　応答加速度（風向0°）

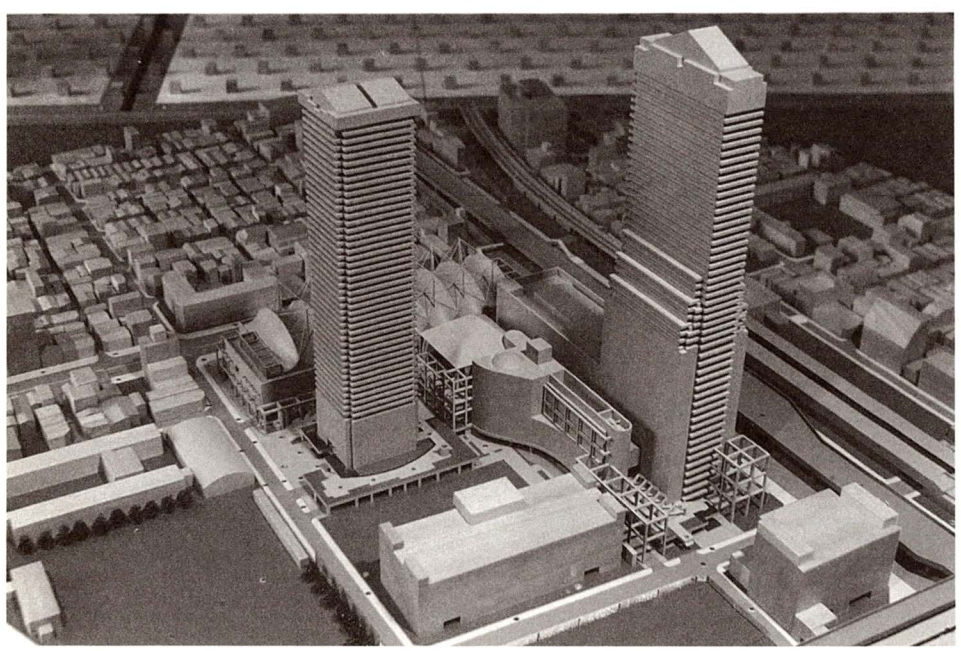


写真２　風洞実験模型

設備の頁

191
新しいマルチ型空気調和機

大西　晴夫

最近のビルディング等の多室空調には、省エネルギー性と快適性に加え、残業時間の空調対応等運転管理の簡便さが要求される。この省エネルギー面と運転管理の簡便さの面において、とりわけ床面積5000㎡以下の中小規模ビルの空調に直膨個別分散方式の「ビル用マルチ」と呼ばれるシステムが多く採用されている。

「ビル用マルチ」は熱の搬送を冷媒の潜熱で行うため、熱搬送に要する動力がほとんど不要である。また、必要な時間に必要な部分に対応した運転ができるため、間膨中央熱源方式に比較し非常に省エネルギーな空調システムである。近年「ビル用マルチ」にインバータを用いて圧縮機の回転数を変化させ熱源機器の能力制御幅を大きくすることにより、個別制御性、省エネルギー、省工事、快適性を向上させたシステムが開発され、「ビル用マルチ」システムは急速に普及している。

今回、この「インバータービル用マルチ」に新しい機能を加えたマルチシステムを開発したので、以下その製品について紹介する。

冷暖フリービル用マルチ

従来のビル用マルチでは、１冷媒系統の運転モードは冷房か暖房のいずれかしか選択できなかった。しかるに昨今ＯＡ機器の普及により、内部発熱の偏在等、冷暖房負荷の同時発生が増えてきている。従来のビル用マルチではこれに対応するには空調ゾーンごとに冷媒系統を予め分ける必要があったが、レイアウト変更への対応ができない、冷媒配管本数が増える等の問題があった。そこで１冷媒系統に接続された複数の室内ユニットでも冷房と暖房を同時に運転できるシステムを開発した。

このシステムは冷暖房同時運転時には冷房の廃熱を暖房の熱源とする熱回収運転ができるため、さらに省エネルギーな運転が可能となる。このシステムの使用例を**図１**に示す。システム機器は、室内ユニット、ＢＳユニット、室外ユニットで構成されており、ＢＳユニットで冷暖房の切り換えを行う。ここで代表的な運転モード例を**図２**に示す。次に、従来方式と本方式での冷暖同時運転時の消費電力差について、10HPの例を**図３**に示す。

この「冷暖フリービル用マルチ」は、

① ＯＡ機器のレイアウト変更対応
② 実験室や照明装置と事務室の混在
③ 方位の異なる事務室等

従来の「ビル用マルチ」では不満足であった部分を解消でき、冷暖房の同時負荷時には熱回収が可能となるシステムである。

氷蓄熱ビル用マルチ

最近の電力供給事情は、夏場の空調需要のピーク時にかなり悪化しており、負荷の平準化が要望されている。このため、蓄熱による夜間電力の利用を奨励する制度が見直され、業務用電力では蓄熱調整契約の割引率が高められた。

このような社会的背景の中で様々な機器が提案されているが、前述のような「ビル用マルチ」の長所を生かし、次のような特徴を持つ蓄熱システムを開発した。

① 昼間の蓄熱利用方法として、冷房能力の20%を解氷による液冷媒の過冷却を利用し熱搬送する方式で、熱搬送での動力ロスを削減。

② 解氷利用熱量を一定とし、冷房運動時間内では蓄熱利用を含めた全冷房能力が不足しないよう、また小負荷時でもできるだけ蓄熱利用量が増すよう、冷媒の自動制御を採用。これにより、従来並みの機種選定で効率の良い蓄熱システムを計画できる普及型である（**図４**）。

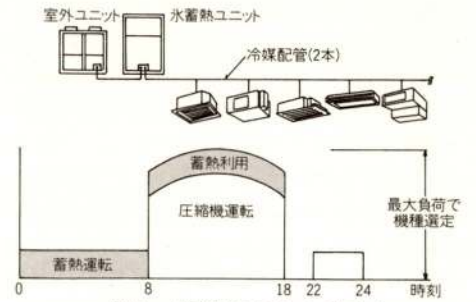


図４　氷蓄熱システムの概要

③ 直膨スタティック製氷方式でＩＰＦ（氷充填率）を55%と高め、蓄熱槽を小型ユニット型とし、据付面積の縮小と施工性を良くした（**図５**）。

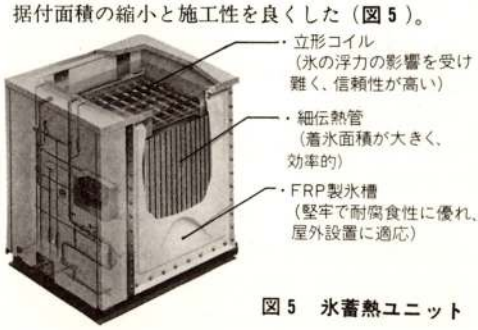


図５　氷蓄熱ユニット

④ 夜間製氷時の効率を上げるため、製氷運転時間と製氷能力に応じ最もＣＯＰの良くなる運転容量で圧縮機を運転する機能を搭載。さらに縦配列の細径伝熱管を採用し、製氷時の伝熱効率を高め、ＣＯＰが冷房運転時並みである。

このような特徴を有するこの氷蓄熱ビル用マルチでは当社の試算結果、個別制御時の省エネルギー面と契約電力の低減による基本電力料金の削減および夜間の割安な電力利用により、従来のガス吸収式中央熱源方式に比べ年間空調運転費を約40%も削減可能となる。

おわりに

このように業務用マルチエアコンは当初の個別制御性と長配管という特徴のみならず、エネルギーの有効利用、快適性の向上へと新たな展開をしており、今後も空調面での室内環境の改善やエネルギー利用の新しい形態等の社会ニーズに沿ったシステム商品が開発されるものと考える。

（おおにし　はるお
ダイキン工業株式会社堺製作所汎用空調設計部）

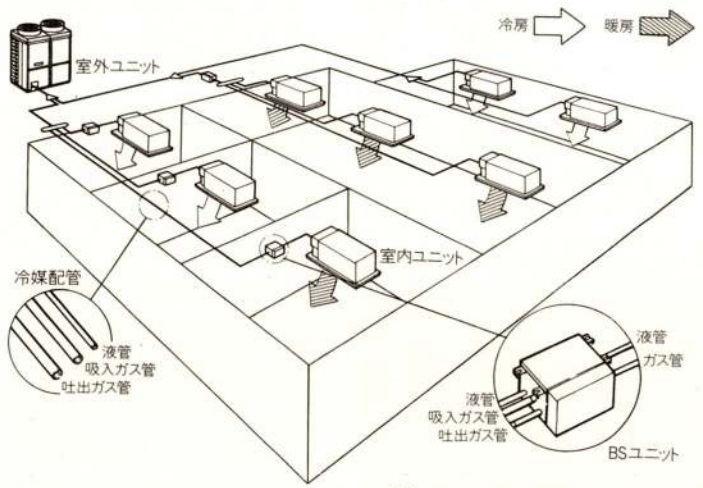
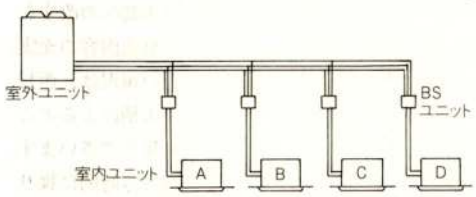


図１　システム例



室外ユニット	室内ユニット			
	A	B	C	D
放熱運転	冷	冷	冷	冷
放熱ぎみ熱回収	冷	冷	冷	暖
熱回収	冷	冷	暖	暖
吸熱ぎみ熱回収	冷	暖	暖	暖
吸熱運転	暖	暖	暖	暖

図２　代表的な運転モード

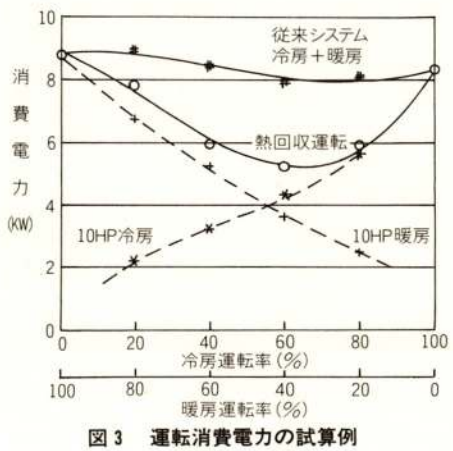


図３　運転消費電力の試算例

施工材料の頁

178

フローベース工法（通気下地工法）

永田　圭助

1．「ふくれ」のメカニズム

屋上の防水や屋内の塗り床に発生するトラブルで最も多いものは「ふくれ」であろう。ふくれは膜体のみが原因となることは稀で、そのほとんどが何らかの形で下地との接着不良を生じて発生する。現在、ふくれの発生原因は次のような種類があると考えられている。

1）水圧・蒸気圧

下地コンクリートが常に地下水に接する、あるいは含水率が高く乾燥性が悪い場合、膜体に水分が浸透してミクロに膨潤させ、これと並行して蒸気圧が加わって接着力を劣化させる。一旦膨潤して浮き上がった塗膜はランダムにふくれ型となる。

2）毛細管蒸気圧

コンクリートの多孔質部分に存在する粉塵が膜体の密着を妨げるとともに、蒸気圧の押上げ部分ともなる。気孔周辺から疲労した付着部分はピーリング（剥離）を生じ、次第に周辺に拡大して「ふくれが育つ」現象を呈する。

この他、浸透圧、含有揮発成分の膨張圧、歩行や車の回転トルクが原因となる移動等などがあるが、実際のふくれの原因は1）と2）が大部分であると見られる。この二種の原因に共通している点は下地の含水率が高く、膜体の付着力を低下させるとともにくり返し蒸気圧が膜体の裏面を押し上げるという複合的な作用であると考えられる。

2．ふくれ防止対策のいろいろ

コンクリートに量の差はあるが水分が含まれており、その上を防水層や塗り床などの膜層を密着させた状態では、蒸気圧を処理する方法は大別して次の二種がある。

1）被着体と膜体との密着力を強化する方法。

これには接着作用を与える材質（接着剤またはプライマー類）のグレードを上げることが第一に考えられる。一方、下地の表面を高圧洗滌するなど、付着条件をよくするなどの処理方法がある。

密着力の強化によって蒸気圧を押え込む一般的な処理方法だが、下地が多孔質であり、微細なひびわれなどもあるので目標通りの付着率は期待できない。密着力があっても毛細管蒸気圧のふくれが絶えない原因は、このような付着していない部分から押し上げる圧力が生じる剥離の拡大である。

2）被着体と膜体との間に通気緩衝層を設け、蒸気圧を拡散する方法

屋上防水の下張り緩衝材がその一例だが、蒸気圧に抵抗せず、誘導して外へ逃がす方法は密着に依存する工法よりも極めてふくれ防水性が大きい。ただし通気層は下地との付着率や通気層自身の強度が通例それほど大きくないので、床仕上げや屋上舗装のようにできるだけ強い密着力が必要な部位では、回転トルクなどによるふくれを生じる懸念がある。

3）被着体自身を通気性として蒸気圧を放出する方法。

ふくれが発生する構造的な要因は、湿気が蒸気圧として外部に放出されず、局部的に膜体に圧力を加えるパターンであることは先述の通りである。対策として通気工法が問題解決の合理的な方法であることも理解できる。通気工法のもつ問題点は下地と膜体の付着面積が少なくなるため、床面や歩行仕上防水のように一定以上の付着強度が要求される場所では蒸気圧以外の要因である回転トルクによって「浮き」が生じることがある。それゆえ、通気工法であり、膜体は下地に全面密着する密着通気工法が解決へのポイントとなる。「フローベース」はこの要求を満たす「密着通気工法」下地材である。

3．フローベースの材質・施工仕様

フローベースは従来の通気工法が通気シート類を用いるのに対し、被着体である下地面を通気性とするところが特徴となる。フローベースは連続気泡を備えたゴム系のPCM（ポリマーセメントモルタル）で、防水層や塗り床層などの水密性仕上げ材と下地（コンクリート・モルタル）の間にサンドイッチ状にPCM層として介在させ、下地からの蒸気圧を拡散して脱気点から放出する機能をもつ。従来の通気工法と異なり、下地側を通気性にするので、防水層や塗り床などの膜体は通常の施工で全面密着性が得られ、歩行や運動によって膜体に加えられるトルク（回転偶力）への抵抗力を強める。これによって通気性で密着工法を同じ水準の付着強さを有する防水膜層や床仕上げ塗膜が実際に施工され、効果を上げている。

フローベースの仕様は次の通りである。

1）フローベースの材質仕様

①プライマー　FTプライマー（A、B材）

②通　気　層　FT-1100（白色ラテックス）、調合容材、セメント

③バリアー層　FT-1800（白色ラテックス）、調合容材、セメント

2）フローベースの施工手順

施工に際し、下地のひびわれ、浮きなどはあらかじめ補修し、塗面は付着物のないよう清掃する。

①プライマー塗布

プライマーA材、B材を混合し、ローラー刷毛で下地に塗りむらがないよう均一に塗布する。

②通気層塗布

FT-1100を撹拌し、モルタルミキサーで骨材・セメントと混合する。練り上った塗材を指触乾燥したプライマー塗面に約4㎜の厚さにコテ塗りする。

③脱気器の設置

防水の場合、一連続区画の水上部分に1点の割合いで脱気塔、脱気盤を設置する。床仕上げの場合は床仕上げ施工後、巾木ぎわに指定の床用脱気器をとりつける。

④バリアー層塗布

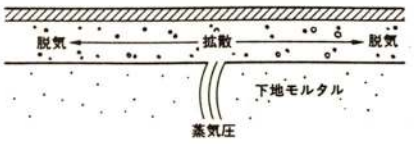
ミキサーで粉体材を空練りしたのち、FT1800を加えて混和した塗材を、硬化した通気層面をしごくようにコテ塗りする。

以上でフローベース層の施工が完了する。仕上げ材は防水シート、塗膜防水、塗り床、水密性の張り床などが適用できる。

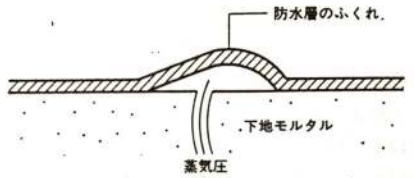
4．フローベースの機能

フローベースの通気機能を従来のふくれ現象と比較して図に示す。

フローベースの通気機能の効果



従来のふくれ現象



フローベースはモルタル状の表面で、仕上げ材の被付着性はほぼコンクリート面と同水準である。これらの性能を一般物性として表に示す。

フローベースの一般物性

試験項目	性　能	試験方法	備　考
密　度	1.6(g/cm³)		
曲げ強度	55(kgf/cm²)	JISA1172	室内4週間養生
圧縮強度	161(kgf/cm²)	同　上	同　上
引張り強度	15(kgf/cm²)	ASTMC190	同　上
付着強度	9.2(kgf/cm²)	JISA6915	下地：JISコンクリート フローベース凝集破断
吸水率	12(wt%)	JISA1404	
収縮率	0.02(%)	JISA1129	
熱伝導率	1.47(kcal/mh℃)	JISA1412	
被付着性	ウレタン防水塗膜	9.8(kgf/cm²)	JIS A6915	ウレタン塗膜の凝集破断
	ゴムアスファルト防水塗膜	2.0(kgf/cm²)		ゴムアスファルト塗膜の凝集破断
	加硫ゴム防水シート	5.1(kgf/cm²)		付着界面破壊
	ウレタン塗り床材塗膜	11.3(kgf/cm²)		フローベース面の凝集破壊
	エポキシ塗り床材塗膜	10.5(kgf/cm²)		同　上
	アスファルト	10.9(kgf/cm²)		同　上
	長尺シート	3.2(kgf/cm²)		付着界面破壊

フローベースはモルタル状塗布形という性状により、通気性とともに下地の面調整を同時に行なえる特性がある。建物の改修工事で既設仕上げ材の撤去や経年劣化による下地の傷みも、フローベースで平坦にレベリングができるので、経費や工期ともに節約できる。

5．まとめ

土地の高騰で屋上スペースの活用が叫ばれている一方で、従来の通気工法には歩行トルクの問題が残されている。床のふくれ対策も同様の傾向をまぬかれていない、フローベースは下地側を通気化する思想を実際に生かして多くの実績を挙げている。今後この工法の普及により、とりわけ改修工事の床仕上げや歩行防水仕上げにかかわるふくれ防止問題はほぼ解決できるものと信じる。

（ながた けいすけ/中外商工㈱）

●追悼文

元理事・編集委員長

鳥田家弘先生逝く



神戸大学退官記念講演会での鳥田家弘先生（昭和52年５月）

■ご略歴

大正３年２月27日生まれ
昭和14年３月　京都帝国大学工学部建築学科卒業
昭和14年４月　満州工業開発株式会社入社
昭和18年12月　南満州工業専門学校教授
昭和22年９月　特別調達庁参事、総理庁技官
昭和24年９月　神戸大学神戸工業専門学校教授
昭和31年４月　工学博士（京都大学）
昭和32年２月　神戸大学工学部教授
昭和50年６月　神戸大学評議員
昭和52年４月　神戸大学名誉教授
昭和52年４月　摂南大学教授
平成２年11月14日ご逝去。享年77歳。

■公職・団体歴

昭和34年11月　㈳日本建築学会評議員
昭和36年４月　兵庫県建築審査会委員
昭和36年５月　㈳兵庫県建築士会副会長
昭和44年10月　神戸市都市計画審議会委員
昭和45年４月　㈳日本建築協会理事・編集委員長
昭和45年８月　西宮市都市計画審議会委員
昭和45年11月　兵庫県開発審査会会長
昭和45年12月　神戸市開発審査会会長代理
昭和46年１月　㈳日本建築学会近畿支部長・理事
昭和46年４月　西宮市建築審査会会長
昭和47年１月　兵庫県産業立地審議会委員
昭和48年11月　西宮市環境保全審議会委員
昭和49年３月　神戸市日照調停委員会委員
昭和49年12月　兵庫県土地利用審査会会長
昭和52年10月　兵庫県都市計画地方審議会委員
昭和54年３月　兵庫県環境影響評価技術審査会委員
昭和55年４月　東大阪市建築調整委員会委員
昭和58年12月　神戸市建築審査会会長代理

■賞罰

昭和37年11月　日本建築士会連合会会長功労表彰
昭和42年10月　日本建築士会連合会会長功労表彰
昭和42年10月　兵庫県建築士会会長功労表彰
昭和55年10月　建設省全国建築審査会協議会表彰
昭和59年12月　国土庁長官表彰
昭和61年５月　日本建築学会功労賞
昭和62年11月　勲三等旭日中綬章

鳥田家弘先生の急逝を悼む

嶋　田　勝　次

神戸大学名誉教授鳥田家弘先生は、平成２年11月14日未明、ご自宅マンションで心筋梗塞のため急逝されました。日頃ご健康でもっともっと長くご長命ではないかと思っていましたのに、大分以前から奥様の看護の疲労が重なっていたのでしょうか。一人息子さん御一家はずっと東京なので、普通はお一人の生活で、毎日病院に奥様を見舞われていたようで、その心労については想像することもできません。先生は大正３年２月27日のお生まれなので、近く満77歳の喜寿のお祝いをお迎えになるはずだったのに誠に残念でなりません。

先生は、昭和14年京都帝国大学工学部建築学科を卒業後満州に渡り、昭和18年からは南満州工業専門学校教授として教育研究にたずさわられました。戦後苦労して引き揚げて来られてから、昭和24年神戸大学神戸工業専門学校教授、学制改革によって昭和25年４月神戸大学工学部助教授を経て、昭和32年２月教授になられ、同52年４月１日停年退職されました。その後続いて52年４月２日摂南大学教授として教鞭をとられましたが、その間多くの学生を指導してこられました。

鳥田先生の建築デザインの研究については、一般に近代建築史・建築論の分野に総称できますが、その中でも難解な哲学や美学に歴史的方向も加えたものでした。昭和31年４月に学位論文となった「19世紀中葉の英国における建築論争」は、近代建築が花開いてくる前期である19世紀中頃のイギリスの、モダンムーブメントが顕在化する以前に、めざとく近代の方向を見出したもので、先生は近代そして現在に広く成長する方向を、警戒しながら注目されてこられました。それと同時に、建築空間論についての研究として、建築空間創造のプロセスの中で構造的認識の可能性を追求されました。さらに学問的研究のみならず、具体的な建築計画や都市計画における実績も数多くあげることができます。

学会や社会活動面においては、日本建築学会理事・近畿支部長、日本建築協会理事・同編集委員長、兵庫県建築士会理事・同副会長などにご就任されたほか、兵庫県の建築審査会委員、開発審査会会長、産業立地審議会委員、西宮市の都市計画審議会委員などを各種委員をご歴任になり、お亡くなりになるまで兵庫県の土地利用審査会会長・都市計画地方審議会委員・環境影響評価技術専門委員会委員、神戸市の開発審査会会長代理・建築審査会会長代理・都市計画審議会委員・日照調停委員会委員、西宮市の建築審査会会長・環境保全審議会委員、東大阪市の建築調整委員会委員などを努められており、建築界ならびに地方行政の発展向上に大きく貢献してこられました。

これらのご業績により、日本建築士会連合会、兵庫県建築士会会長、建設省全国建築審査会協議会、国土庁長官、日本建築学会等から功労表彰、昭和62年秋には勲三等旭日中綬章をお受けになられました。

先生の言動を後で思い返しながら、あのことはこういうことだったのかと想像するのですが、今はもうきちんとお聞きすることもできなくなってしまいました。日常いわれる言葉にも逆説的なことも多かったし、皮肉も大分含まれていたように思っています。「図面は鉛筆で書くものではない。消しゴムで書くものだ。」（書いては消し、消しては書き、何度も案を考えるものだ、ということだろうか。）「君たちはエロダクションの集団ですか？」（そんな集団で建設的なものができるのかなあ、という皮肉が含まれているようです。）

いつも静かに若い学生や卒業生に接されて、父とも師とも思いながら畏敬をもっていましたが、先生が遠い異なる世界に旅立たれてまだ間のない現在、云うべき言葉すら持ち得ないままです。

慎んで先生のご冥福をお祈りいたします。

（神戸大学教授）

●追悼文

事業委員長

故．西村良平氏を偲ぶ



■略歴

生年月日　昭和９年６月19日

学　　歴

昭和25年３月　神戸大学附属住吉中学校卒業
昭和28年３月　私立灘高等学校卒業
昭和32年３月　国立大阪大学工学部構築科卒業

■社内略歴

昭和32年４月　入社
昭和32年12月　企画室
昭和35年７月　第一企画室
昭和37年11月　企画室
昭和40年11月　企画室係長
昭和46年11月　企画室課長
昭和50年12月　建設部第二工事課課長
昭和52年10月　企画室課長
昭和54年６月　企画室次長
昭和58年７月　企画室部長
平成元年４月　㈱シアターデザイン出向（常務取締役）
平成２年12月31日　逝去（享年56才）

■協会歴

昭和42年２月　個人正会員として入会
昭和49年４月～昭和50年３月　事業委員会副委員長（若い会員の集い小委員会担当）
昭和53年４月～昭和56年３月　同（広報小委員会）担当
昭和56年４月～昭和61年３月　同（専任副委員長）
昭和61年４月～平成２年12月　理事・事業委員長

友を送る

篠　田　匡　世

西村君

あなたの訃報に接した時、私たちはあなたの健康状態を知り乍らも、突然のことに、ただ呆然としてなす術を知りませんでした。

ご家族のお話では、大晦日の昼間は、お正月の飾付けをしたり、祝箸に家族の名前書きなどをし、夜は家族全員で年越しそばをいただいて談欒の途中に急に身罷ったと聞きます。

あなたとはつい最近、あなたの健康状態や、家族のことそして仕事のことなどを話し合ったばかりでした。

そんなあなたは、昭和32年４月１日私たちと共に阪急電鉄株式会社に入社いたしました。

あなたも私と同じ運輸部神戸線運転課に配属されましたが、あなたは私たちよりも早く、同年12月には企画室に異動されました。それは関西テレビ放送の局舎建設工事にたずさわるためでした。建築屋さんはいいなとその時に羨望したことを覚えています。

爾来平成元年４月、株式会社シアターデザインに出向するまでの実に32年間、企画室一筋に電鉄初の本格的建築屋として仕事をされました。

この32年間にあなたが手掛けた建築工事は枚挙にいとまがありませんが、その一部をここに紹介したいと思います。

まず旧梅田駅跡地再開発工事があります。これは梅田駅がJR線の北側の現在の場所に移転した後の梅田阪急ビルの増築工事並びに阪急グランドビルの建設工事です。

この阪急グランドビルの建設工事のときのみあなたは二年間建設部に異動しておりました。

昭和44年11月に梅田阪急ビル第７期工事が竣工し、同48年３月に梅田阪急ビル第８期工事が竣工しておりますそして再開発工事の総仕上げ工事として昭和52年７月に阪急グランドビルが竣工しております。

つぎに、宝塚ファミリーランドの諸施設の新設計画はすべてあなたの手によってなされました。宝塚ヘルスセンターの建設をはじめ、T_1計画、T_2計画を実行され、現在進行中の宝塚大劇場建替工事の基本計画もあなたの仕事だったと聞いております。

又、昭和58年からはJRとの共同事業である広島ターミナルホテルの建設計画にたずさわり、同62年６月に見事に竣工いたしております。

その他、阪急の傍系各社の事業計画に伴う建設工事を多数手掛けられました。

この様にあなたは素晴らしい業績を残され、且つ数多くの人達に薫陶を与えられました。あなたの業績を称え、あなたの人柄を慕う人達が社の内外を問わず沢山います。

現在、世の中は21世紀に向って激しく動いております。

今こそあなたの指導力が必要なのです。

しかし、今はあなたの教えを受けた人達が、あなたの業績を引き継ぎ、更に発展させていくしかありません。

西村君

どうか安らかにお眠り下さい。

ここに同期生を代表して、謹しんで哀悼の意を表します。

平成３年１月５日

（㈱阪急ホテル開発　専務取締役
阪急電鉄㈱同期入社）

西村委員長を想う

鶴　田　昭　一

正月寒波の寒さ峻酷な１月５日、神戸栄光教会にて、今にも話しかけてこられる様な、温和な面差しの西村委員長の遺影を拝し、事業委員会での10年余のことが、強烈に追想されて、限り無い淋しさを強くいたしました。

西村さんとのお近付きは、私が、昭和53年事業委員会に参画して以来で、その後は、共に副委員長として、また、昭和61年西村委員長就任の年からは、委員長と副委員長の立場で、事業委員会の運営について、親しくお話し合いを致してきました。

その時々のお考えは、強靱な意志を感じさせるものでしたが、常に、温厚なお顔を変えられることは無く、適切なご意見を、よく響く大きなお声で話されました。

西村さんの此の様な才能は、永い企画のお仕事の間に、ますます、高められた生来の資質なのでしょう。その才能の豊かさに、幾度か感服いたしてまいりました。

事業委員会の活動につきましても、所管の３小委員会の企画を、一層タイムリーな事業への改変などに、前向きに務められ、昨今の事業内容の充実、発展を増進させている事業委員会の現況は、西村さんの積極的な指導力と明るいお人柄によるところが大きく、西村さんの情熱の成果でございます。然も、此の数年は、人工透析を毎日定時的に繰り返される体調で務められた変らないご努力には、西村さんの奉仕の気持ちと責任感の強さを偲ばせるものですが、私にとっては、むしろ一層の悲しい想いでございます。西村さん、ごめんなさい。

西村委員長に感謝を申し上げ、事業委員会の一同と共に、委員長のご冥福をお祈り申し上げます。

（日本建築協会事業委員長代行）

西村委員長の意志を受け継いで

松　田　至　弘

私が西村委員長と初めてお目にかかったのは、昭和62年５月14日　私が協会にお世話になって、事業委員会の席上であった。以来、事業委員会の会議を通じてそのお人柄が、温和、誠実で決断力に富み、常に相手の身になって物事を考えられる方であることに敬服し、自らを戒しめたものであった。昭和62年の冬に国立循環器病センターに入院された折、毎年「建築と社会」の１月号に掲載する各委員長の「本年の抱負」原稿のお願いに伺ったが、病床にありながら嫌な顔一つ見せず書いて頂き、12月11日に頂きに伺ったが、あの頃が、西村委員長の人生の転機ではなかったろうか。その後退院され、委員会にも出席されるようになったが一見して、病状が察せられたが、会議の時間を変更して２ヵ月に１回の委員会には殆んど出席され適格な判断と指示を下され、委員会事業の隆盛に努力された。昭和63年12月３日に事業委員会総会を大阪湾船上（ルミナス号）で開催した。参加者がお酒も入り大変にぎやかな会になったが、委員長は笑顔を絶やさず、時折冗談も出されて、名委員長ぶりを発揮された。

私ごとで恐縮ですが、昨年５月に私が入院した折には直後にお見舞して頂き、激励を受けたことは感激もし感謝したことでした。

逝去された後に届いた今年の年賀状には「何時もお世話になります。その後お体の具合如何ですか。小生最近不調で理事会も休むことが多く相すみません。」とありました。奥様にお聞きすると例年よりも多く賀状に一言づつ書かれたそうです。しかも相手に合わせて、「最近は調子が良い」とも書かれたそうで、将に西村委員長の細やかな、優しさを感じさせる年賀状でした。

これは奥様から伺った話ですが、今のお住いが古くなったので、改築を計画され、設計図の素描をはじめ、資金計画、償還計画まで準備しておられたそうで、実現せずに他界されたことは西村委員長にとって心残りの一つであったろうと推察します。このように何事も将来を見越して周到な計画を常に立てられる性格の方を失ったことは協会にとっても誠に残念でなりません。

西村委員長が私達に残された愛と教訓を継承し、協会の発展のため更に努力することを誓って追悼の言葉とします。

（日本建築協会専務理事）

●追悼文

故．梶本秀尾氏を悼む



■略　歴

明治42年８月28日兵庫県朝来郡朝来町に生まれる
昭和２年３月　兵庫県立工業学校電気科卒業
　ただちに鉄道省に入省
昭和20年12月　鉄道省依願免本官
昭和21年３月　八千代電設工業株式会社を設立取締役社長に就任
昭和35年４月　㈳日本建築協会理事に就任
昭和37年６月　㈳日本電設工業協会評議員に就任
昭和42年　現本社ビル完成
昭和45年４月　㈳関西鉄道資材協会理事・副会長に就任
昭和46年５月　㈳鉄道電業研究会理事に就任
昭和51年５月　電車線工業協会理事に就任
昭和51年６月　八千代電設工業㈱製作部を分離し、八千代工機株式会社を設立取締役社長に就任
昭和54年７月　大阪東ロータリークラブ会長に就任
昭和58年５月　㈳大阪工業会理事に就任
昭和59年１月　八千代電設工業㈱代表取締役会長に就任

■叙　勲

昭和48年６月　運輸大臣表彰
昭和51年11月　黄綬褒章受賞
昭和60年５月　勲五等双光旭日章受賞
平成２年12月　正六位に叙す

弔　辞

今村　　騰

八千代電設工業株式会社取締役会長梶本秀尾さんご逝去に際し、電設業界を代表して謹んで弔文を捧げます。

梶本さんの悲報に接し夢にも思っていなかったことであり誠に残念であり悲しい極みです。

梶本さんと私は昭和21年頃、大阪中が未だ一面の焼野が原であった頃、相前後して電気工事業を創めたのです。彼は八千代電設工業、私は中央電気工業、お互いに無一文、無経験、全くの裸一貫からの出発でした。

よく彼から聞かされましたが、あの当時は自転車の後にリヤカーをくっつけて材料を運んだものだとか、重い大八車を引っ張って森の宮の坂を上るのは一苦労であったとか、会えばよく昔話をしてくれました。全く私も同様でありました。

しかし彼はよく頑張った、本当に寝食を忘れて精魂を傾けての努力でした、文字通り、粒粒辛苦、会社の発展と基礎造りに励んで来られました。そのために今日では、全国でも有数の優秀な電設工事会社に発展されました。

梶本さんは私にとって事業の上では良きライバルでありました、反面何でも打ち明けて話の出来る心の友でも有りました。

彼はお子達の学校入学の時、八千代電設ビルを建築される時も、若いご子息をビルの社長にする事を、ご長女と現社長の岩橋さんとの婚姻が整った時も、いち早く私に話をしてくれました。

昭和28年頃と思いますが、私は彼にゴルフを勧めた、お互いに誘い合わせて早朝から淡の輪の大阪ゴルフ倶楽部へよく通った、殆ど毎日曜日でした、何事にも熱心な彼はメキメキ腕を上げてハンデが遂にシングルになった。私は14で止まってしまった完全に彼に負けた。

彼はまた、趣味として長唄にも精進されました。天性の美声を生かしての語りは実に見事なものでした、私も誘われましたが生来の悪声のためとても彼には叶わぬと思い日本舞踊の道を選んだ、後年これだけは彼と競争せずに済んだなあと思いました、やがて業界の会合では、彼の長唄の地で私が踊るのが一つの名物になりました。

彼とダイダンの菅谷三郎さんと私の三人でよく南地に或いは京都の祇園にまで足を伸ばして練習しました、彼の得意の新曲浦島や勧進帳でよく舞わして頂きました、忙しさの中の楽しいひとときでした、いろいろと思い出はこんこんとして尽きません。

梶本さん、貴方には実に45年半世紀に亘りご親交を頂きました、君は私にとって掛け替えのない親友でした、本当に有難うございました。

梶本さん、あなたは人生の大成功者です。熱意と全精力を傾注して育て上げた、八千代電設工業株式会社と八千代工機株式会社は、隆々と発展を遂げられました、そしてそれぞれ立派な後継者がおられ、優秀な社員が沢山育っておられます、羨ましい限りです。

また、ご家庭にあっても良妻賢母の心優しいご令室様がご健在ですし、何の心配もないと思います。梶本さんは人間としてやらなければならぬ全ての事を完全に、立派に成し遂げられました、本当に幸せな人であったと思います

「然しこんなに早く」、永の旅立ちをしなくても良かったのにと、そればかりが残念ですせめてもう一度ゆっくり昔話をしたかった出来れば茨木でゴルフも一緒にやりたかった、久し振りに長唄も聞きたかった、それもこれも遂に叶わぬ願いとなりました、親友を失った老友は晩秋の寂寞一入の思いにかられております。

梶本秀尾さん、長い間本当にご苦労様でした、有難うございました。

どうか天国でごゆっくり永の疲れを癒して下さい、そして安らかにお眠り下さい。

平成２年12月13日

（中央電気工業株式会社・取締役相談役）

日本建築協会

月間の動き

平成２年12月分

理　事　会

第６回定例理事会
14日　５時～５時半　於太閤園
出席者　佐野会長ほか31名
議事　(1)通常総会開催の件
(2)入退会者承認の件
(3)報告事項その他

編　集　委　員　会

第９回会員企画小委員会
４日　６時半～８時半　於本会会議室
出席者　高橋副委員長代行ほか５名
議事　シリーズものの報告と掲載予定
第９回作品作風小委員会
６日　６時～７時半　於本会会議室
出席者　宮下副委員長ほか６名
議事　(1)最近の掲載状況・予定の報告
(2)「新建築調査表」の作品選定
(3)「Gallery」内容報告及び予定
(4)「インテリア」の作品掲載について
(5)その他
３月号設備特集執筆者打合せ
６日　４時～６時　於本会会議室
出席者　藤岡茂・瀬戸良昭（日建設計）、日根東治（安井建築設計事務所）、弓崎幸治（東畑建築事務所）、遠藤委員
３月号東海支部特集編集委員会
７日　５時半～８時　於東海支部会議室
出席者　中島支部長ほか９名
議事　(1)「東海支部復活30周年記念」特集の記事内容について（作品、本文、その他）
第９回編集委員会
13日　４時～６時　於本会会議室
出席者　溝神委員長ほか４名
議事　(1)12月号「高級感―建物の顔：感性の時代を迎えての外装材」特集経過報告
(2)１月号「新しいまちづくりの手法」特集経過報告
(3)２月号「オフィス・プレジャー」・「日建設計」特集経過報告
(4)３月号「東海支部」・「きんでん」特集経過報告
(5)４月号「設備（商業施設）」（仮称）特集経過報告
(6)５月号「今、京都」（仮称）特集経過報告
(7)その他の検討事項
(8)収支状況報告
第７回計画系―インテリア・住宅―分科会
14日　６時半～８時半　於本会会議室
出席者　加藤幹事ほか６名
議事　平成３年２月号「オフィス・プレジャー―感性に訴えるオフィス・インテリア」特集案検討
第７回計画分科会―建築系―
18日　６時～９時半　於本会会議室
出席者　田代特別幹事・上杉幹事ほか６名
議事　平成３年５月号「今、京都」（仮称）特集の検討
第９回広告企画小委員会
25日　４時～５時半　於本会会議室
出席者　溝神委員長ほか４名
議事　(1)12月号「高級感―建物の顔：感性の時代を迎えての外装材」特集広告途中経過報告
(2)１月号「新しいまちづくりの手法」特集広告途中経過報告
(3)２月号「オフィス・プレジャー」・「日建設計」特集広告途中経過報告
(4)３月号「東海支部」・「きんでん」特集広告途中経過報告
(5)４月号「設備（商業施設）」（仮称）特集広告途中経過報告
(6)５月号「今、京都」（仮称）特集広告途中経過報告
(7)その他特集企画
(8)平成３年度独自特集企画
(9)収支状況報告

事　業　委　員　会

第５回リゾート施設見学分科会
６日　４時～５時半　於本会会議室
出席者　三好副委員長ほか２名
議事　「淡路島リゾート施設」見学会の企画
第10回若い会員の集い「関西の祭事」研究会
10日　６時半～９時　於本会会議室
出席者　大森主査ほか３名
議事　(1)各担当分野のボリュームの報告と検討
(2)原稿作成作業について
第11回「海外建築視察」企画分科会
11日　６時半～８時半　於本会会議室
出席者　大川主査ほか２名
議事　(1)申込状況の報告と今後の対応
(2)見学物件の確認と見学コースの検討
(3)旅行説明会について
第６回「原　広司氏」作品展、講演会企画分科会
17日　７時～９時　於本会会議室
出席者　ゲスト　大森幸雄氏（積水ハウス）
中谷俊治氏（アトリエ・ファイ建築研究所）
松隈主査ほか２名
議事　(1)テーマ・タイトルの最終決定
(2)ポスターの検討
(3)展示作品の確認

出　版　委　員　会

「プロのノウハウ」講座シリーズ（第４回）
―建築基準法を読みこなすコツ―
14日　６時～８時　於日本建築協会・ラウンジ
講師　高木　任之（㈶性能保証住宅登録機構専務理事・東洋大学建築学科講師）
参加者　30名

建　築　ク　ラ　ブ

第224回朝食会
11日　８時半～10時　於大阪グランドホテル
演題　「ともかくアメリカは大きい」
講師　藤川重一氏（吹田市会議員）
参加者　52名

建築関係団体合同忘年懇親会

14日　６時～７時半　於太閤園
出席者　350名

12月の入会者（敬称略）

〔団体会員２社〕
伊藤電気㈱　㈱スペース
〔個人会員12名〕
浅井　良則（浅井良工務店）　木田　耕蔵（田渕建築設計事務所）　倉渕奈千子（田中啓文総合建築研究所）
小久保泰隆（小久保建設）　田中　啓文（田中啓文総合建築研究所）　田渕　利都（丸山組）
高林　一樹（大阪市計画局）　西　春彦（日邦建設）　藤川　忠成（創設計コンサルタント）
古川　郁子（浦辺設計）　宮本　一宏（栄建工業）　和田　博夫（和田建設）

◀会員の訃報
〔個人会員〕
木村　久夫（53才）　大阪市都市整備局
12月16日死亡
西村　良平（56才）　シアターデザイン
12月31日死亡
〔団体会員関係〕
桐山　司郎（65才）　精研
12月14日死亡
宮地　吟三（82才）　クボタ
３年１月５日死亡

●INFORMATION

現代建築家122人展
――変わりゆく都市・建築

大阪展
主催　建築デザイン会議実行委員会
協賛　ＹＫＫグループ
協力　デルファイ研究所
期間　1991年３月20日（水）～24日（日）
時間　12：00～18：00
会場　Ｋ２ギャラリー（大阪・京橋）
出展　新鋭の建築家122名
入場　無料

建築においての一過性と永遠性——関西設計者会議シンポジウム

京阪神の建築家、インテリア・デザイナー、アーティスト、研究者、新聞記者ら約50名で構成されている関西設計者会議の第３回例会が、年末に大阪市中央区北浜のイトーキ大阪ニューオフィス・ギャラリーで開かれた。

今回のシンポジウムテーマは「建築はファッションだ？－ディベート形式による一過性と永遠性の追求」。パネラーには、東孝光（大阪大学）、狩野忠正（竹中工務店）、若林広幸（若林広幸建築研究所）、池上俊郎（アーバンガウス研究所）の各氏を迎えて２時間あまりにわたって討論した。司会は、吉羽逸郎氏(大阪府)、西川純一氏(昭和設計)。

シンポジウムでは、討論に先立って４人のパネラーが、スライドやOHPを使って、それぞれの立場から自論を展開。東、若林氏は、建築における一過性、狩野、池上氏は、永遠性を提唱した。

第２部は、パネラーの提案に対し、出席した建築家や研究者が、建築において永遠性、一過性のどちらにウェイトを置くかを発言した。

貴志雅樹氏は、現代の建築をとりまく状況を憂い「今、永遠性を志向する意義を確認すべきだ」と提案。

一方、若林広幸氏は「一瞬の感動があれば、建築は成功」と建築の一過性を主張した。

久保清一氏の「永遠性と一過性は表裏一体のもの。いままでの建築が目ざしているものとは異なる価値観をわれわれは見つけようとしている。コマーシャリズムの強い現代においては、建築家がそれに流されない精神性をもつことが重要。“感動を与える建築”とは、精神においての永遠性を認めているのではないか」と説明した言葉が、永遠性と一過性の相関関係をいいあらわしているように思われた。。

日本をおおう地価の上昇やコマーシャリズムの蔓延(まんえん)から、建築のトッピング化といわれている現状の中で、建築をつくる側においても、新しい視点、論理の組み立てが望まれる。

今年、開催される同会議でのイベント企画は、菅家克子、山中恵子、谷口美樹子氏ら「ARCネットワーキング」のグループで構成されるものが夏前後に、また、加藤晃規、北村陸夫、貴志雅樹氏らのグループでつくられるものが年末に、それぞれ予定されている。

本会議へのお問い合せは下記まで
㈳日本建築協会・大島（TEL06-348-0635）
㈳大阪府建築士会・鶴田（TEL06-943-1371）



シンポジウム会場風景

公園コンペ
——世田谷区都市の公園設計競技

都市公園の公開コンペとしては、５年ぶりの東京都世田谷区都市の公園設計競技が催されることになった。いままで大きな公園の設計競技は開かれたが、このような身近な公園でしかも、ランドスケープの専門家から、実際にその公園を使う子供たちもアイデアを提案できる方式をとりいれた公開コンペは初めてといえる。主な内容はつぎのとおり。

■名称
世田谷区都市の公園設計競技
■形式
公開競技
■内容
・第１部門「人工地盤上の近隣公園」
東京都玉川浄水場内の玉川給水所の人工地盤上部の約１万㎡の近隣公園の基本計画。
・第２部門「住宅地の中にある公園群」
東京都世田谷区岡本２丁目・鎌田３丁目地内の鎌田前耕地土地区画整理事業（14.8ha）から生まれる三つの児童公園と緑道の基本構想。
・第３部門「公園にいかしたいアイデア」
今後できる公園や改修する公園にいかしたいアイデアの募集。
■スケジュール
・募集要項配布　平成３年２月８日から
・質疑受付期間（第１・２部門のみ）平成３年３月１日～３月８日
・応募登録締切（第１・２部門のみ）平成３年３月29日
・質疑応答書発送（第１・２部門のみ）平成３年４月中旬
・応募図書受付期間　平成３年７月中旬
・入選発表　平成３年10月上旬
・表彰式　平成３年10月中旬
・作品展示会・シンポジウム　平成４年１月中旬
・作品集の刊行　平成４年１月中旬
■賞金
賞金総額358万円。
■入選作の取扱い
第１・２部門の一席入選者に、設計委託。
■応募資格
日本国内に居住する方ならば誰でも応募可。（資格・国籍は不問）。表現も日本語、または英語。
■主催
東京都世田谷区
■問い合せ
〒154 東京都世田谷区世田谷４-21-27
世田谷区土木部公園課計画係世田谷区都市の公園コンペ事務局　浅見、山上
TEL03-3412-1111（内2784）
FAX03-3412-1501

「ホテル・旅館等の省エネルギー基準と計算法」講習会

「ホテル・旅館等の省エネルギー基準」の建設省告示が近く制定される（予定）のを機に、㈶住宅・建築省エネルギー機構（寺島三雄理事長）では、建設省、開催地都道府県の後援と㈳日本建築学会、㈳空気調和・衛生工学会等の協賛（予定）をえて、建築設計・設備技術者、行政担当者を対象としたホテル・旅館等の省エネルギー基準と計算法に関する講習会を全国４会場にて実施する。

と　き　1991年３月15日㈮
大阪・大阪府立産業技術総合研究所
参加費　一般22,000円他※テキスト代含む
問い合せ　㈶住宅・建築省エネルギー機構
〒107 東京都港区赤坂１-６-19勝永ビル
TEL 03-3583-7121

世紀末の精華と改変——パリのグランドプロジェクト

パリからニューヨークへ戻る機内でこの原稿を書いている。パリには7日間滞在した。“グランド・プロジェクト”と称される一連の首都大改造計画の数々を観て回る日々だった。

それらは、一部を除き既に完成後数年間を経ており、ジーナリズムで微細に渡り報告されてもいる。即ち、離陸後時を経て水平飛行に移った辺りと言える。従って、これ迄なるべくタイムリーな話題をと思い報告して来た趣旨からは幾分外れる。但し、建築は竣工直後よりもある程度の使用を経た後で評価されるべきとの考え方も根強い。以下に連ねるのは、それらが賛否両論の批評を受けた後の感想と思って頂きたい。客観的データは省略している。

ルーヴル美術館増築（＊1） 極めて困難な条件に見事に応えた作品。ピラミッドのサッシュの色がやや濃過ぎる印象だが、全体から細部に至る迄、ペイ一流の思想が貫かれている。ニュートラルな表現が美術の殿堂への序章として相応しい。

オルセー美術館（＊2） “保存と再生”と言う古く新しいテーマの今後のプロトタイプとも呼び得る高水準の作品。抑制が効きかつ華やかな空間を創出しており、欧州文化の奥深さを再認識させられる。

大蔵省新庁舎（＊3） “横たわったスカイスクレーパー”。セーヌ川に対する独創的な読み取り方には脱帽。良くも悪くも官庁建築としての存在が際立つ。

ラ・ヴィレット公園（＊4） 整備途上であるが、科学技術博物館が公園の短辺に比して巨大過ぎる印象。フォリーは“脱構築主義”と言うより“新構成主義”の趣き。但し、機能に無関係な部分から退化と荒廃が進まないか懸念される。

テット・デファンス（＊5） 都市軸に対し微妙に（6度）振っているのが効果的。壮大かつ華麗なモニュメントであり、デファンスの他の建物の凡庸さの中に“新凱旋門”として一際異彩を放つ。

バスチーユ・新オペラ座（＊6） 当選案発表時より心配されていたが、旧市街に対する構え方がかなり高圧的。シルエットから細部に致る迄いかにも北米的。

アラブ世界研究所（＊7） ややマニアックではあるが、歴史的名作になり得る質を秘めた佳作。全体及び各立面構成、内部空間共に、テクノロジーとの共生が高次に結実し、鋭角的かつ繊細な造形表現は他の追随を許さない。

それら計画総てを司る新たな省庁（＊8）が設定されたと言う今回の国家的最大改造であるが、一部を除きその長官の、さらには大統領の思惑通り事が運んだと結論付けられそうだ。しかも、闖入者達は古都に混沌と破調を来たすことなく、むしろ弁証法的な彩りさえ添えている。

そして、それは日本にとって極めて羨ましい光景であると言える。パリは西洋史の中心であり続けた都市であり、様式建築は勿論、モダニズムさえ欧州のアヴァンギャルドが用意したものだと言う史実が強く意識される。日本の場合、近代国家への移行の際に東と西を隔てる不連続線を越えたためある程度の混乱も止むを得ないとの解釈がなされようが、それは自己に対する弁明とも捉え得る。相変わらずの舶来趣味が原因か、最近怒濤のように進出しつつある欧米の建築家達から余りに楽天的な西洋のコピーを逆に指弾される迄もなく、我々はさらに再考すべきだろう。

欧米は変革の只中にある。特に、何れもパリを舞台としたアルシュ・サミットからCSCE（全欧安保協力会議＊9）に至る間は激動との形容に相応しい。東欧では総ての体制が代わり、欧州随一の大国も復活した。パリ憲章の発表直後に英国の指導者交代が劇的に報道され数日後にユーロトンネル貫通の付録迄追いかけて来る始末だ。そして、“新世紀に向けて”の大改造が成功裏に完了しつつあるパリに於てそれら時代を総括する歴史的な憲章の発表がなされたことは、今世紀末の豊饒と変動を集大成する事例と捉えて良いと思われる。

眼を覆いたい程の惨状を呈する日本に比べ、国際社会に於て常に毅然と独自の路線を貫くフランスは、ともあれ不思議でかつ魅力的な存在だ。そして歴史的にもこれ程憧憬と羨望の対象としてあり続けた都市はその首都をおいて他に思い付かない。EC統合の進展と共に大国ドイツとの今後の主導権争いは興味深いが、少なくとも政治と文化の領域におけるその指導的地位は当分揺らぎそうにない。さに世紀末のモデルチェンジを受け、パリは、大欧州の“グランド・キャピタル”としての地歩を確実に固めたと言えそうである。

（薄田　学／株式会社竹中工務店設計部）

＊1 LE GRAND LOUVRE,I.M.PEI etc.
＊2 MUSEE D'ORSAY,G.AULENTI etc.
＊3 MINISTERE DE L'ECONMIE ET DES FINANCES, P.CHEMETOV etc.
＊4 PARK DE LA VILLETTE,B.TSCHUMI etc.
＊5 TETJ DEFENSE,O.SPRECKELSEN etc.
＊6 OPERA DE LA BASTILLE,C.OTT etc.
＊7 INSTITUT DU MONDE ARABE,J.NOUVEL etc.
＊8 都市開発最大プロジェクト庁、EMILE BIASINI氏が長官を務める。
＊9 11月19日から3日間、34ヶ国の首脳がパリにて一堂に会した。


写真2　オルセー美術館


写真3　大蔵省新庁舎

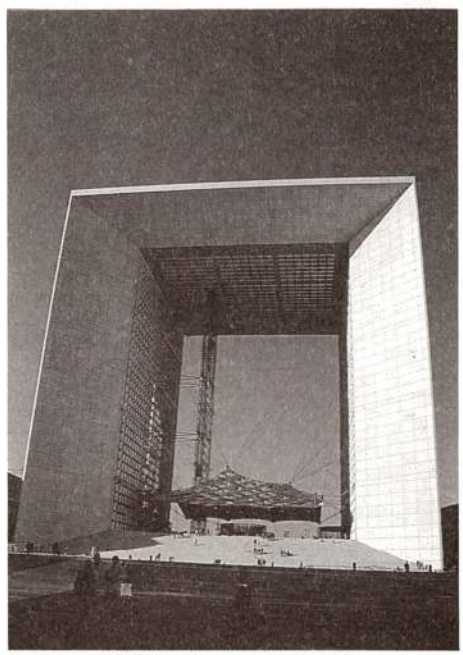
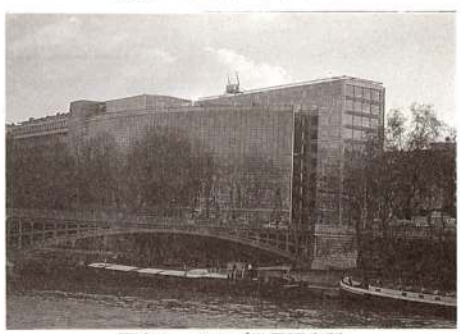

写真4　テット・デファンス


写真1　ルーヴル美術館


写真5　アラブ世界研究所

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区三宮町3−7−6(神戸フクトクビル5階)
電話　神戸(331) 0881〜3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031〜4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目（電話811-3610)

OM

テトカッパー防水層

カッパー防水帯——コーパータイト　オクロン防水帯

資料をご請求下さい。

奥山化工業株式会社

本　社 東京都中央区銀座8-4-9 奥山ビル　TEL03(3571)2703㈹ FAX03(3571)0264
大阪事務所 TEL06(391)1081−2 FAX 06(395)2109　名古屋出張所 TEL052(811)3660
横浜営業所 TEL045(320)4832　FAX045(320)4765　厚木出張所 TEL0462(21)1761 FAX0462(23)1341
埼玉営業所 TEL048(774)2845　茨城出張所 TEL0292(28)0878 FAX0292(28)2614

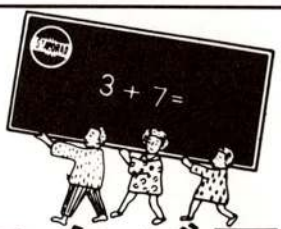
新しい時代の、新しい扉をひらきたい。

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1−3−8（日本生命谷町ビル）
TEL(06)943−6571(代)
■東京/横浜/盛岡/仙台/水戸/静岡/岡崎/名古屋/富山/大津/京都/神戸/広島/高松/福岡/他全国主要都市

Standard



Board&Slate

フタバ工業

〒547　大阪市平野区加美北3−4−5　TEL 大阪06(792)5858(代)

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

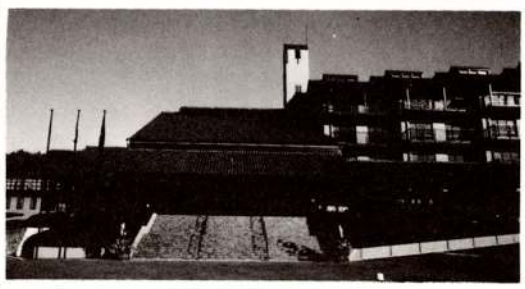
本　社　〒550 大阪市西区西本町1−13−33
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
天理営業所　天理市丹波市新町50

情報処理・電算写植組版

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26)4371
津山写植センター　〒708 津山市福田1372−1　☎0868 (28)4377



〒556 大阪市浪速区塩草二丁目二番三号
ファックス 五六一〜七四五四
☎ 五六一〜七四一六

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

空気調和・給排水・衛生・防災設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話(3434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03-3344-1851(大代)　大阪本社☎06-448-3603(代)
大阪支社 ☎06-448-5851(代)　名古屋支店 ☎052-211-1535(代)　中国支店 ☎082-247-5541
九州支店 ☎092-431-2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒650 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒102 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工
人に優しい環境づくり

第一工業株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話 06-364-6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号　電話 03-3211-8511(代表)

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
大阪支店長　三田村嘉也

大阪支店　大阪市中央区北浜2-2-21　電話06(202)3071(代表)
本　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(3502)6111(大代)
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靱本町3-1-27　TEL(443) 8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(3562)1351
支　店　名古屋・福岡

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話(352) 1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2—22　電話(3667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06-313-1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9-3　電0720-49-2128

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー　電話 06-949-1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03-3344-1911
大阪本店　大阪市北区西天満4丁目6番18号　電話 06-363-1371
支　店　仙台・横浜・名古屋・広島・福岡
営業所　札幌・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井・和歌山・鳥取・岡山・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

給・排水・衛生・消火・空調設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市北区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西・神戸

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

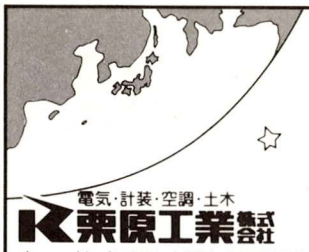
株式会社精研

本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1，2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768-5031　代表
メンテナンス部　電話　大阪(06) 768-1651　代表
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
郵便番号112　電話(03) 5689-2351代表

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1　電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352-3501(代)
三重支店　津市栄町2-111　電話(0592)26-3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53-7431(代)
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22-9738(代)



自然環境を大切に
夢ある未来を
くりエイト！

電気・計装・空調・土木
K栗原工業株式会社
本　社／〒530 大阪市北区角田町1番1号（東阪急ビル）
TEL 06(313)1101　FAX 06(315)0050

Carrier 冷暖房は CARRIER キャリア
東洋キヤリア工業㈱デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話 大阪（384）1201～7

電気工事設計施工
株式会社 三興社
代表取締役 土井敏裕
本　社　大阪市北区西天満2丁目6－8（堂ビル5階）
電　話　06（361）3671（代）
支　店　東京都中央区日本橋茅場町2丁目17番3号
電　話　03（3666）1478（代）
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

誠実と技術でお応えする
住友電設株式会社
取締役会長 代谷正元
取締役社長 相馬一男
本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)　東京／〒105 東京都港区芝2丁目2－17 ☎(03)3454-7311(大代)
営業種目 設計・施工・監理
●電力工事：発変電設備工事、架空送配電線工事、地中送配電線工事
●設備工事：ビル電気設備工事、工場電気設備工事、防爆電気設備工事、計装工事、空調工事、給排水衛生工事、特殊配管工事、消防施設設備工事
●プラント工事
●情報システム工事：光伝送システム工事、CATVシステム工事、各種アンテナ装置工事

電気設備・計装制御設備・空調設備・クリーンルーム設備・プラント設備
給排水衛生設備・エネルギー集中監視システム…設計施工
三宝電機株式会社
取締役社長 嘉納秀一
本　社　〒530 大阪市北区西天満2-6-8(堂ビル)　TEL 06(364)1471・FAX 06(364)5533
東京支社　〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル)　TEL03(3504)0231・FAX 03(504)0268
名古屋支店　〒462 名古屋市北区金城3-12-14　TEL052(991)5131・FAX052(914)7535
神戸支店　〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル)　TEL078(881)5571・FAX078(871)6261
堺研究所　〒590 大阪府堺市三宝町七丁389　TEL0722(27)8408・FAX0722(27)1424

電気設備 設計施工
朝陽電気株式会社
代表取締役 山本貴士
本　社　大阪市北区中之島3－2－4　朝日ビル　TEL 大阪06（385）1361(代)
大阪営業所　TEL 大阪06(385)1361(代)　京都営業所　TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所　TEL 東京03(3574)0665　福岡出張所　TEL 福岡092(771)6168

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン（無機質壁紙）
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子501

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
関西支社
専務取締役支社長 横田幸一
大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪（202）0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・中部・九州

営業種目
●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町3－21
星和地所扇町ビル201S
TEL06(315)0701
(株)特殊技研

Construction chemistry for the future.
コンクリート用混和剤／コンクリート用補修材
高性能無収縮材／コンクリート用高性能床材
Master Builders Technologies
ポゾリス物産株式会社
日曹マスターピルダーズ株式会社
本　社：東京都港区六本木3－16－26 TEL03-3582-8813
大阪支店：大阪市中央区北浜3-2-23(信愛ビル) TEL06-202-3294

技術と信頼で人と企業に貢献する
青葉印刷株式会社
代表取締役社長 依藤孝行
〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号　TEL(06)351—5428(代)
FAX(06)351—5299

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー!



大和郡山市九条スポーツセンター屋根　エターノコアーF

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
・鋼板製オリエンタルフネンシングル
・オリエンタルオリセラム
・オリエンタルエターノコアー(ETC-F)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログをご請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

大　阪　本　社　〒660 尼崎市昭和南通り３―26　電話大阪(06)412―5131㈹
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・姫路
東京本社及工場　〒335 蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42―3115㈹
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充塡モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート軀体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2−2220
舞鶴（0773）76−0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332−6861
TEL 東京（03）272−8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443−6181

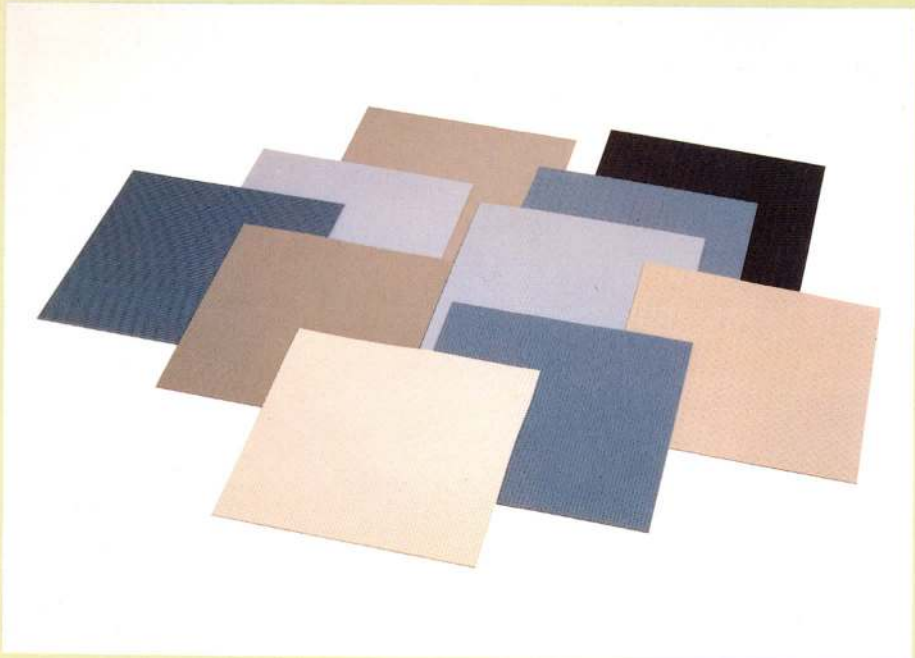
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252−6000

株式会社トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山(0775)83−2381

NICHIMAN
ハイテック床材シリーズ

新製品

Astroface Series



品名：床仕上材・アストロ フェース・「テクノ」「ギア」「ウェーブ」「プレーン」

特長：天然ゴム配合により、歩行感がソフトで快適です。
抜群のノンスリップ性があり、安全な床材です。
防炎性があり、タバコの火の影響は受けません。
歩行音が気にならない静かな空間演出ができます。
パターンを自由に組合わせることによって、ハイテクな空間演出ができます。
色調は未来をイメージする色です。４タイプ共通。

規格：サイズ／500㎜×500㎜
色　数／基準色30色(内常備在庫色10色)

価格：上代9,500円／㎡(材料費の設計価格)

用途：文化施設、スポーツ施設、オフィス、娯楽施設、病院、学校など

株式会社 ニチマン
本社　〒726 広島県府中市府中町74-1
TEL0847-41-5600(代表)FAX0847-41-5420・8021

東日本発売元 東京ニチマン商事株式会社
〒111 東京都台東区浅草6丁目8-3　TEL03-3871-3561(代表)FAX03-3871-3546
西日本発売元 大阪ニチマン商事株式会社
〒536 大阪市城東区関目1丁目21-11 TEL06-939-3521(代表)FAX06-939-3592

建築と社会
第72輯第2号

床を創る
TAJIMA

オフィスの、あ・た・り・ま・え。

■快適で、あたりまえ。■コードがなくて、あたりまえ。■すっきりキレイで、あたりまえ。



二重床の、あ・た・り・ま・え。

■地震に強くて、あたりまえ。■大容量配線が可能で、あたりまえ。■不陸・段差にも対応して、あたりまえ。

配線収納床システム
浮き根太式鋼製二重床〈不燃&軽量〉

タジマ フロア・ベース

これが新時代の"あたりまえ"。これが新時代のインテリジェント。タジマ フロアベースは浮き根太式により、段差や不陸のある下地にも平らな二重床を実現。また耐震性、強度など、二重床に要求される性能を全てクリアした鋼製＆不燃の二重床です。もちろん、大容量配線にもフレキシブルに対応。居住性や制電性に優れたタジマ床仕上げ材とのコンビで、オフィス、学校スペースに機能と快適をお届けします。

タジマの
フロアベースなら…
そのすべての
"あたりまえ"に
お応えします。



株式会社 タジマ

営業本部
〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13
☎03-3866-6101 FAX03-3862-5908

東京営業所
〒101 東京都千代田区岩本町3-10-12 山源ビル
☎03-3861-3101 FAX03-3861-3615

大阪営業所
〒550 大阪市西区京町堀1-10-5
☎06-441-5951 FAX06-444-2596

■技術的なお問い合わせはタジマサービス株式会社へ。☎03-3866-6105

HUMAN WORKS
タジマは、"床づくり"で人と語ります。

社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の1の3の2100 電話大阪06(348)0635 FAX06(348)0634
振替口座大阪一三九九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九八〇円（本体九五一円 送料共 消費税二九円）